甲府市文化財調査報告 24

# 塩部遺跡 I

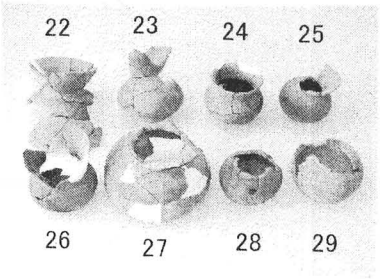
— 山梨県都市計画道路「塩部町開国橋線」道路改良工事に伴う発掘調査報告書 —

2004

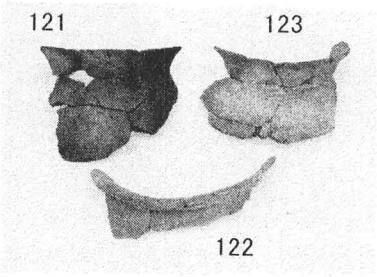
山梨県峡中地域振興局
甲府市教育委員会

写真図版誤植

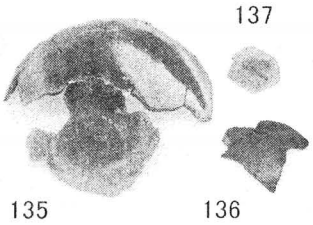
104頁




108頁




108頁



# 序

本書は、甲府市の南北を結ぶ新たな架橋として期待されている、山梨県都市計画道路「塩部町開国橋線」の道路改良工事に先立ち、平成13年度に緊急発掘調査を実施した塩部遺跡の調査報告書であります。

遺跡が所在する塩部地区周辺には、その昔「塩部田んぼ」と呼ばれる水田地帯が広がっておりましたが、戦後になりますと宅地化が進み、周辺の地形も大きく様変わりする中で、のどかな水田風景は人々が暮らす街並みへと移り変わってまいりました。数十年間の変遷でさえも、長い年月の中から見ればほんの一コマであり、その長い年月による遺跡という土地に刻まれた履歴を紐解きますと、文献には記録されることのなかった先人達の生活の様子を知ることができます。

このたび発掘調査の運びとなりました地点では、弥生時代末期から古墳時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが多数発掘され、掘立柱建物跡の規則的な配置から、一定の計画に基づいて形成された大規模な集落の存在が伺われます。

本書は、こうした貴重な調査成果を記録し、後世に引き継いでいくことを目的に編集しており、資料や研究の蓄積によりまして、古代の甲府の生活や文化がより具体的に解明されますことを願わずにはいられません。

最後になりましたが、このたびの発掘調査にあたり、御協力を賜りました山梨県峡中地域振興局をはじめといたします関係各位に心より御礼を申し上げますとともに、本市文化財保護行政の更なる推進に引き続き御助力をいただけますよう、お願い申し上げます。

平成16年１月

甲府市教育委員会
教育長　角　田　智　重

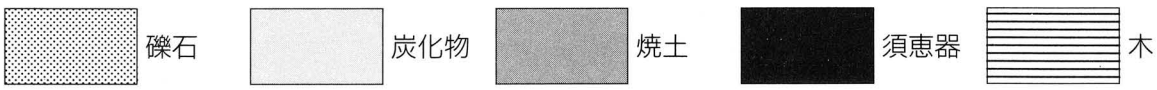
# 例　　言

1．本書は山梨県甲府市塩部二丁目地内に所在する塩部遺跡の発掘調査報告書である。
2．本調査は、山梨県都市計画道路「塩部町開国橋線」道路改良工事に伴うものであり、山梨県峡中地域振興局との協定に基づき、甲府市教育委員会が主体となり実施した。
3．調査経費は、試掘調査を甲府市教育委員会、本調査を山梨県峡中地域振興局が負担した。
4．試掘調査は、佐々木満（文化財主事）が担当し、本調査は佐々木満・山﨑雅恵（富山大学大学院人文科学研究科修了）・望月秀和（元文化芸術課嘱託）が担当した。
5．発掘調査の期間及び面積は以下の通りである。
　試掘調査　平成13年７月４日～７月25日　調査面積　約 180㎡
　本 調 査　平成13年11月８日～３月29日　調査面積　約1300㎡
6．本書の執筆は、佐々木満が行い、図化作業は栗田かず子・林久美子・鈴木由香が行った。
7．国土座標測量及び航空写真測量は、㈱シン技術コンサルに委託した。
8．出土した木製品の保存処理は、㈶帝京大学山梨文化財研究所に委託した。
9．本書の編集は、中込　功（文化芸術課長）を責任者とし、佐々木満が行った。
10．本書に係る出土遺物及び記録図面、写真などは甲府市教育委員会で保管している。
11．発掘調査及び報告書の作成にあたっては、次の機関及び諸氏から御指導・御協力を賜った。記して厚く感謝申し上げる。
　山梨県峡中地域振興局都市整備課・山梨県教育委員会学術文化財課・㈱間組・㈱坂本建運
　石神孝子・岡野秀典・小林健二・畑　大介・保坂和博・宮澤公雄
12．調査・整理作業参加者及び協力者

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 荒木昭彦 | 雨宮英郎 | 池谷富士子 | 岡　悦子 | 小沢四郎 | 影山博子 |
| 金井いく代 | 川口格一 | 岸本美苗 | 倉田勝子 | 窪田信一 | 栗田宏一 |
| 工藤忠誠 | 小池孝男 | 小池幹子 | 小宮通子 | 坂本しのぶ | 佐田金子 |
| 佐田　昇 | 佐藤美喜男 | 清水秀樹 | 鈴木正文 | 末木義光 | 高橋主税 |
| 武井美知子 | 塚原澄子 | 雀田　勝 | 長澤晴雄 | 中村孝一 | 波木井祥和 |
| 花曲敬子 | 平沢則子 | 樋口　進 | 福井光幸 | 古屋袈裟男 | 本道政清 |
| 本道歌子 | 望月宏美 | 望月貴美子 | 渡辺百合子 | 渡辺　茂 | |

# 凡　　例

1．調査においては、Ｘ－36850.00・Ｙ－5360.00を基軸として５ｍグリッドを設定している。
2．本書に掲載した地図は、平成３年度甲府市都市計画図2500分の１・10000分の１を用いた。
3．遺構断面土層の色調及び遺物観察表中の色調は、『標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修　1997後期）に基づいている。
4．遺構・遺物の実測図縮尺は、図中に示した通りである。
5．セクション図に表記されている水平線の数値は、海抜高度を表し、単位はｍである。
　また、セクションポイント表記のＥ・Ｗ・Ｓ・Ｎは、東西南北を表し、同じ遺構で複数の断面観察を行っているところは、アルファベットで表記している。
6．本書作成に際して引用・参考にした文献は、一括して本書の最後に記載した。
7．本書に使用した記号及びスクリーントーンで、各図中で指示のないものは、以下のとおりである。



# 目　　次

序
例　言・凡　例
目　　次
挿図・挿表目次

第１章　調査の概要……1
　第１節　調査に至る経緯……1
　第２節　試掘調査と基本層位……1
　第３節　調査の方法……4
　第４節　調査の経過……4

第２章　塩部遺跡の概要……6
　第１節　遺跡の立地……6
　第２節　歴史的環境……6
　第３節　周辺の遺跡……7

第３章　遺構と遺物……8
　第１節　溝　跡……8
　第２節　建物跡及び柱穴列……12
　　(1)　周溝付平地建物跡……12
　　(2)　竪穴建物跡……15
　　(3)　掘立柱建物跡……42
　　(4)　柱穴列……48
　第３節　方形周溝墓……56
　第４節　土　壙……56
　第５節　遺構外出土遺物ほか……59

第４章　考　　察……84
　第１節　塩部遺跡の集落変遷……84
　第２節　塩部遺跡と周辺の景観……86

第５章　結　　語……92

参考文献……92
写真図版……93
付図：全体図

# 挿図・挿表目次


図１　調査区位置図 …… 2
図２　試掘調査トレンチ位置図（Ｓ＝１／1000） …… 3
図３　グリッド配置図 …… 5
図４　塩部遺跡及び周辺遺跡分布図 …… 7
図５　１号溝跡 …… 9
図６　１～２号周溝付平地建物跡 …… 13
図７　３号周溝付平地建物跡 …… 14
図８　１～２号竪穴建物跡 …… 16
図９　３号竪穴建物跡 …… 18
図10　４号竪穴建物跡 …… 19
図11　５号竪穴建物跡 …… 20
図12　５～６号竪穴建物跡 …… 21
図13　６号竪穴建物跡 …… 23
図14　７号竪穴建物跡(1) …… 24
図15　７号竪穴建物跡(2) …… 25
図16　８号竪穴建物跡(1) …… 27
図17　８号竪穴建物跡(2) …… 28
図18　９号竪穴建物跡 …… 29
図19　９～10号竪穴建物跡 …… 30
図20　10号竪穴建物跡 …… 31
図21　11～12号竪穴建物跡 …… 32
図22　13号竪穴建物跡(1) …… 33
図23　13号竪穴建物跡(2) …… 35
図24　14号竪穴建物跡(1) …… 36
図25　14号竪穴建物跡(2) …… 37
図26　15号竪穴建物跡 …… 38
図27　16号竪穴建物跡(1) …… 39
図28　16号竪穴建物跡(2) …… 40
図29　17号竪穴建物跡 …… 41
図30　18～20号竪穴建物跡 …… 43
図31　１～４号掘立柱建物跡 …… 50
図32　５～９号掘立柱建物跡 …… 51
図33　10～13号掘立柱建物跡 …… 52
図34　14～17号掘立柱建物跡 …… 53
図35　18～21号掘立柱建物跡 …… 54
図36　22号掘立柱建物跡、１～７号柱穴列 …… 55

図37　1～2号方形周溝墓 ……57
図38　1～3号・5～8号土壙 ……58
図39　1号溝跡出土遺物(1) ……70
図40　1号溝跡出土遺物(2) ……71
図41　1号溝跡出土遺物(3) ……72
図42　1号溝跡出土遺物(4) ……73
図43　4・6・12・14号溝跡・3・5～6号竪穴建物跡出土遺物 ……74
図44　6～7号竪穴建物跡出土遺物 ……75
図45　7号竪穴建物跡出土遺物(2) ……76
図46　7号竪穴建物跡出土遺物(3) ……77
図47　7～9号竪穴建物跡出土遺物 ……78
図48　9～10・12号竪穴建物跡出土遺物 ……79
図49　13号竪穴建物跡出土遺物 ……80
図50　13～16号竪穴建物跡出土遺物 ……81
図51　17・20号竪穴建物跡、1～2号方形周溝墓、3・5・8号土壙、柱穴出土遺物 ……82
図52　Grid・試掘調査出土遺物 ……83
図53　遺構変遷図① ……88
図54　遺構変遷図② ……89
図55　富士見一丁目遺跡第3面水田跡 ……89
図56　塩部地域の景観模式図 ……89
図57　調査区及び周辺の調査状況 ……90
図58　塩部遺跡主要建物跡配置図 ……91

ピット観察表 ……60
出土遺物観察表 ……65

# 第１章　調査の概要

## 第１節　調査に至る経緯

山梨県都市計画道路「塩部町開国橋線」道路改良工事に先立ち、平成13年５月17日付け峡中建15第５－２号により、山梨県峡中地域振興局建設部長名で、周知の埋蔵文化財包蔵地である塩部遺跡の発掘調査が通知された。平成13年５月24日付け教学文３第５－126号により周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について通知を受け、平成13年７月４日から25日まで試掘調査を実施した。

その結果、開発総面積延べ8360㎡のうち、弥生時代末から古墳時代の遺構・遺物が多数包蔵されていることが確認された、ＪＲ中央線北側の旧湯村自動車学校教習所敷地を中心とする約1400㎡を調査対象区に絞り込んだ。

次いで、山梨県峡中地域振興局建設部と本調査に向けた協議を重ね、平成13年度の発掘調査及びその後の整理作業を含めた費用を原因者側の負担とすることで合意に達した。平成13年10月23日には塩部遺跡発掘調査に関する協定を締結し、平成13年11月８日から発掘調査に着手した。

## 第２節　試掘調査と基本層序

試掘調査は、開発面積8360㎡に対し、８か所のトレンチで180㎡と僅かに２％強の面積比に止まっているが、中央線南側は基本的に遺跡範囲外となっているため、実際の対象面積はより限定された範囲内であった。さらに周辺の発掘調査状況を考慮すると、遺跡密度は北側が高いと予測されたため、主に中央線以北に重点をおいてトレンチ確認を実施した。

重機による表土掘削後、人力による掘削作業を行い、各地点において遺構及び層位確認を行っている。そのうちトレンチ５・６から多数の遺物とともに、溝跡やピット、竪穴建物跡が確認され、弥生時代末期から古墳時代の遺構群であることが判明した。

しかし、他のトレンチでは遺物量も極端に少なく、遺構もトレンチ３において近世の水路が１条検出されたのみであった。中央線南側でもトレンチ７・８を掘削したが、トレンチ７では沼地状の土壌が観察され、遺構・遺物は確認されなかった。遺構・遺物の分布状況からトレンチ５・６付近に遺跡の主体があると判断し、調査対象区を限定した。

基本層序は、中央線を挟んだ南北で大きく異なり、北側が粘土質の安定した地盤であるのに対し、南側は腐植土や流れ込みの砂層が顕著に見られ、沼地化した状況が確認された。沼地は、トレンチ６内から落ち込みが確認されているため、ある時期比較的広範囲が沼地であったと考えられる。

最も安定した土層が観察されたトレンチ５内では、湯村自動車学校旧教習コースのアスファルト・砕石層が40㎝程度の厚さで敷かれた状態であったが、以下は良好な土層が包蔵されていた。自動車学校造成層直下は、全面で近世以降の水田層が検出され、水田層下に非常に粘質の強い黒色土層が20㎝ほど堆積していた。弥生時代から古墳時代の遺物が多数出土したのは、この黒色土層であり、生活面も黒色土中に存在すると考えられた。本調査段階の確認では、調査区の地形が北東から南西方向に緩斜面を形成しているため、黒色土層は、北側ほど薄い状況であったが、基本層位は上記のとおりであった。

本調査では、黒色土上で遺構確認を行っているが、場所によっては遺構確認が極めて困難であったため、最終的に黄褐色の地山層付近まで掘削したところで調査している。

下帯那町
千代田湖
甲府
山梨県
和田町
羽黒町
山宮町
下積翠寺町
塚原町
小松町
古府中町
西田町
音羽町
大和町
天神町
宮前町
元紺屋町
調査地点
甲府市
金竹町
長松寺町
中村町
新田町
愛宕町
山梨県庁
甲府市役所
寿町
貢川本町
若松町

図1　調査区位置図

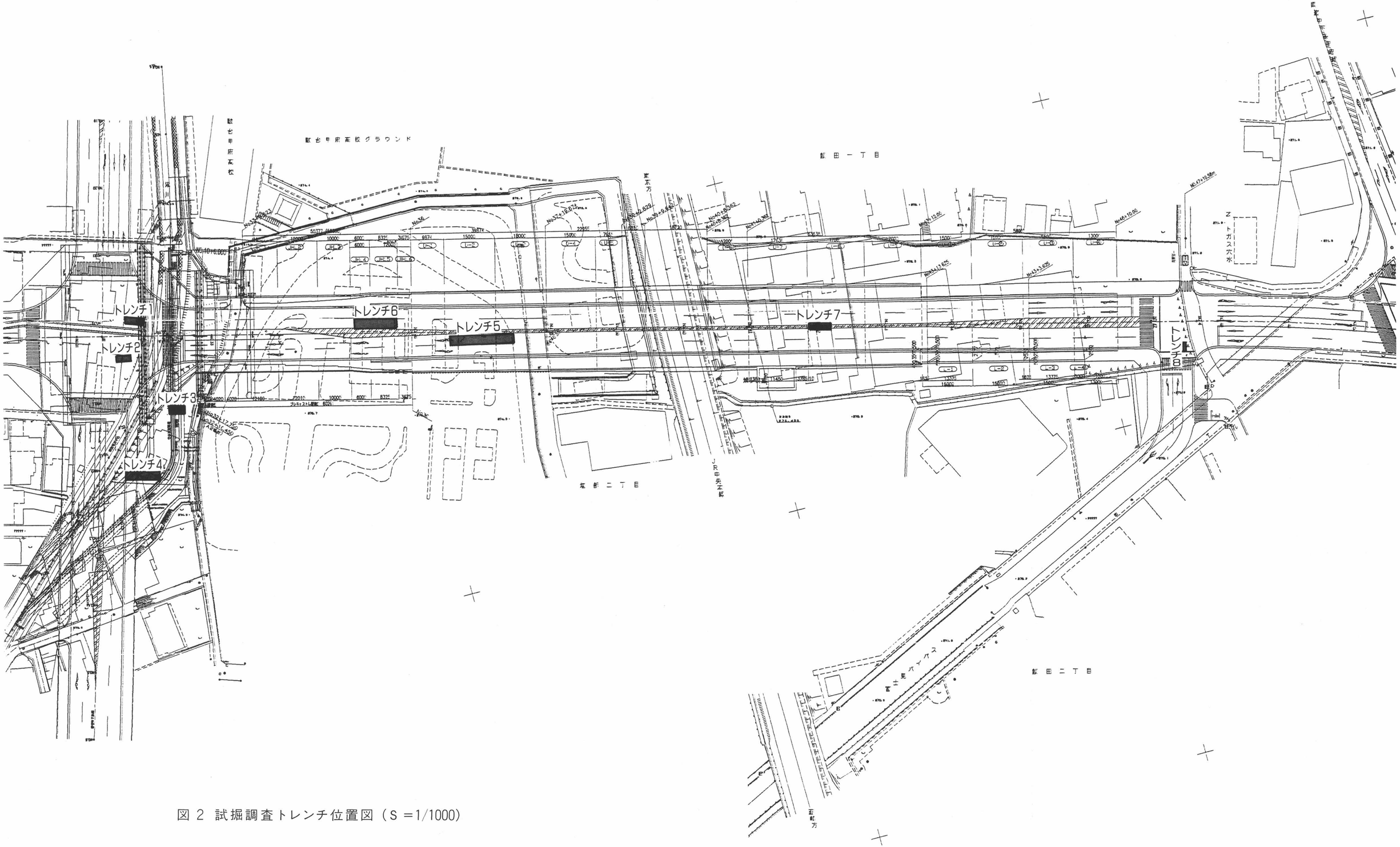



図 2 試掘調査トレンチ位置図（S =1/1000）

## 第３節　調査の方法

本調査区は、調査対象面積約1400㎡のうち、隣地境界部分の控えや調査用車両及び中央線下跨道橋工事車両の通行を考慮し、最終的に約1300㎡を調査した。重機による掘削は、基本的に水田層及び南側の沼地層までとし、遺跡全体を覆っていた黒色土（包含層）は、すべて人力により掘削した。

本来約1300㎡全体を１度で調査することが効率的であったが、表土掘削及び調査中に排出される土砂置き場を確保するため、南北に長い調査区を中央で分割調査した。したがって、調査段階では便宜的に北側をＩ区、南側をII区としたが、最終的には航空写真測量を基に南北の調査区を接合している。

調査は、国土座標に合わせた５ｍ×５ｍグリッドを基本単位として設定し、東西列をアルファベット、南北列を算用数字で表記したものを組み合わせてグリッド番号として用いた。各グリッド番号は北西隅にあたる杭を基準とし、遺構実測、遺物取り上げ等に際しては、すべてグリッドに合わせて記録した。

## 第４節　調査の経過

発掘調査は、平成13年11月８日から着手し、平成14年３月29日まで実施している。調査に係る主な進捗状況は以下のとおりである。

11月８日　アスファルト・コンクリート除去。
11月９日　重機によるＩ区表土掘削開始。
11月13日　重機による表土掘削終了。調査区全体を覆っていた遺物包含層（黒色粘質土）を人力により掘削・精査。
11月16日　１回目の国土座標杭打作業を実施。
12月20日　１号溝跡掘削開始。
１月10日　１号溝跡完掘。順次溝跡掘削。
１月11日　柱穴掘削開始。順次柱穴掘削。
１月19日　１号竪穴建物跡掘削開始。順次竪穴建物跡掘削。
２月３日　１・２号方形周溝墓掘削開始。
２月５日　１・２号方形周溝墓完掘。航空写真測量１回目実施。
２月６日　Ｉ区補足調査及び図化作業。
２月７日　Ｉ区埋め戻し作業。
２月11日　重機によるII区表土掘削開始。
２月13日　人力による掘削・精査開始。合わせてＩ区との重複部の補足調査。
２月15日　２回目の国土座標杭打作業を実施。
２月18日　II区遺構掘削に着手。７号竪穴建物跡掘削開始。順次II区竪穴建物跡掘削。
３月25日　航空写真測量２回目実施。
３月26日　II区補足調査及び図化作業。
３月28日　重機によるII区埋め戻し作業。
３月29日　全調査作業終了。現場機材等撤収。

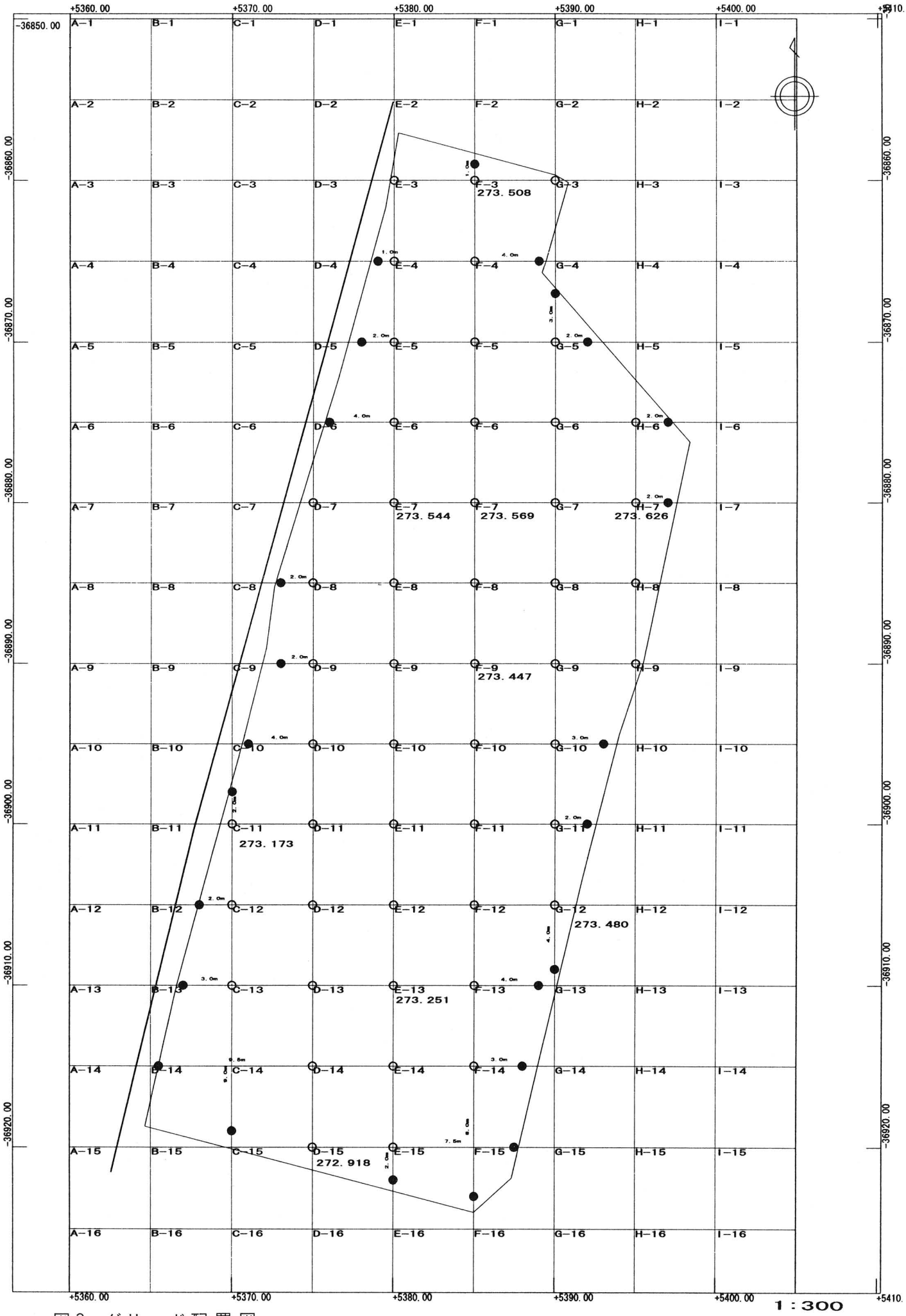

+5360.00
+5370.00
+5380.00
+5390.00
+5400.00
+5410.
-36850.00
-36860.00
-36870.00
-36880.00
-36890.00
-36900.00
-36910.00
-36920.00
A-1 B-1 C-1 D-1 E-1 F-1 G-1 H-1 I-1
A-2 B-2 C-2 D-2 E-2 F-2 G-2 H-2 I-2
A-3 B-3 C-3 D-3 E-3 F-3 G-3 H-3 I-3
A-4 B-4 C-4 D-4 E-4 F-4 G-4 H-4 I-4
A-5 B-5 C-5 D-5 E-5 F-5 G-5 H-5 I-5
A-6 B-6 C-6 D-6 E-6 F-6 G-6 H-6 I-6
A-7 B-7 C-7 D-7 E-7 F-7 G-7 H-7 I-7
A-8 B-8 C-8 D-8 E-8 F-8 G-8 H-8 I-8
A-9 B-9 C-9 D-9 E-9 F-9 G-9 H-9 I-9
A-10 B-10 C-10 D-10 E-10 F-10 G-10 H-10 I-10
A-11 B-11 C-11 D-11 E-11 F-11 G-11 H-11 I-11
A-12 B-12 C-12 D-12 E-12 F-12 G-12 H-12 I-12
A-13 B-13 C-13 D-13 E-13 F-13 G-13 H-13 I-13
A-14 B-14 C-14 D-14 E-14 F-14 G-14 H-14 I-14
A-15 B-15 C-15 D-15 E-15 F-15 G-15 H-15 I-15
A-16 B-16 C-16 D-16 E-16 F-16 G-16 H-16 I-16
273.508
273.544
273.569
273.626
273.447
273.173
273.480
273.251
272.918
1:300

図3 グリッド配置図

# 第２章　塩部遺跡の概要

## 第１節　遺跡の立地

塩部遺跡は、甲府市中央部を南流する相川によって形成された扇状地の扇端部に所在する。秩父山系に源流を発する荒川と相川に挟まれ、調査区北側には荒川から取水して甲府城下町に上水を運んだ湯川が横断している。村石眞澄氏が作成した塩部遺跡周辺地形分類図（山梨県教育委員会1996）によると、現在ではほとんど確認することのできない自然堤防、後背湿地、旧河道などの微地形が復元されている。

実際に調査対象地区全体を試掘調査した際に土層観察をしたところ、中央線付近以南で広範囲に渡り湿地化した状況が確認された。同時に調査対象地区最南端では再び安定した土壌が検出されたため、本地区における村石氏の微地形復元は信憑性が高いと評価できる。

また、本調査区に隣接する中央線跨道橋工事現場では、10ｍ前後の砂礫層が確認されており、古墳時代の土器片も採取されている。土器の年代観だけで河川跡の年代を決めることはできないが、少なくとも古墳時代には河川が存在したと考えられ、本調査で確認された集落と密接に関わる河川であったと考えられる。県立甲府工業高等学校校舎改築工事に先立つ発掘調査で確認された河川跡の延長である可能性があるが、今後の周辺部調査に期待したい。

## 第２節　歴史的環境

塩部の地名の由来について、『甲斐国志』は溝水に塩気があったことに由来すると述べるが、実際のところは判然としない。県立甲府工業高等学校地点の調査では、弥生時代末期から平安時代の遺跡が調査され、方形周溝墓及び竪穴建物跡が検出されていることから、弥生時代末期には集落が営まれ始めたと考えられる。特に３号方形周溝墓からは、日本でも最古級の馬の歯も出土している。

奈良・平安時代については、竪穴建物跡や河川付近の小規模な水田が確認されている。河川跡からは、斎串や２体の人形木製品などが出土しているため、周辺にこれらを用いた集落が存在する可能性が高い。文献上では文治２年（1186）の醍醐寺文書目録（醍醐雑事記）に「塩部庄」の記載が見られ、平安末期に醍醐寺領が存在していたと推定されている。庄域は不明であるが、甲府市中西部一帯に及んでいたと考えられる。

醍醐寺領が形成された契機は定かではないが、中世には塩部郷とも呼ばれ、甲斐源氏武田有義を始祖とする塩部氏が領有していたと考えられる。有義開基と伝える法輪寺は、横沢から文禄年間に西青沼の現在地へ移転しているため、有義の拠点が一条郷に隣接する塩部東部付近に存在していたとも考えられる。

永正16年（1519）武田信虎の躑躅が崎館移転によって誕生した戦国城下町甲府と一体的に塩部には三日市場が存在していた。甲府の東に設置された八日市場と並んで、戦国期城下町甲府における商業活動の拠点であるとともに、信州方面への玄関口として重要な位置を占めていたことが想像される。三日市場は、相川右岸の横沢（現甲府市朝日）周辺に存在したと考えられ、中世塩部の中心は、古墳時代の集落域から大きく東に移動していたと考えられる。『甲斐国志』によると、近世初頭には甲府城と甲府城下町の建設に伴い塩部集落の移転と村境の変更が行われた。最近の発掘調査成果でも、近世初頭に大規模な農地の改変が行われた痕跡が確認されている。

## 第３節　周辺の遺跡

塩部遺跡は、甲府市教育委員会により本調査段階までに15次の調査が実施されているが、古くは1985年に山梨県教育委員会によって調査された飯田一丁目遺跡（現在は塩部遺跡内）から古墳時代の遺物が出土している。隣接地において民間開発に伴う試掘調査を行った際は、古墳時代中期の竪穴住居跡が遺跡の南側で検出されていることから、塩部遺跡南側には本調査地区の集落とは異なる集団が居住していた可能性も考えられる。

また、東側では甲府城下町遺跡と重複している。近年開発に伴う試掘調査等によって中世から近世の城下町に係る遺構・遺物が出土しつつあり、文献等に散見される中世の三日市場との関連で注目される。発掘調査例はまだまだ少ないが、今後の調査が期待される。

北側では本調査区と接続する都市計画道路「愛宕町下条線」道路改良工事に伴う調査において、弥生時代末期～古墳時代初頭の集落跡や方形周溝墓を確認していることから、本調査区の前身集落である可能性が想定され、今後の調査に期待が持たれる。やや離れた場所には緑が丘一丁目遺跡・同二丁目遺跡が存在し、同じく古墳時代～平安時代の遺跡として知られている。これまで大規模調査は実施されていないものの、住宅の建替えに伴う小規模な試掘調査などから、同時代の遺構・遺物が検出されている。

西側では富士見遺跡が存在し、山梨県埋蔵文化財センターにより富士見一丁目遺跡として調査が実施されている。下層からは小規模な区画で仕切られた水田跡が検出され、時代的に弥生～古墳時代と考えられている。本調査区域から直線距離で約500ｍであるため、今後集落復元をする上で貴重な成果であった。

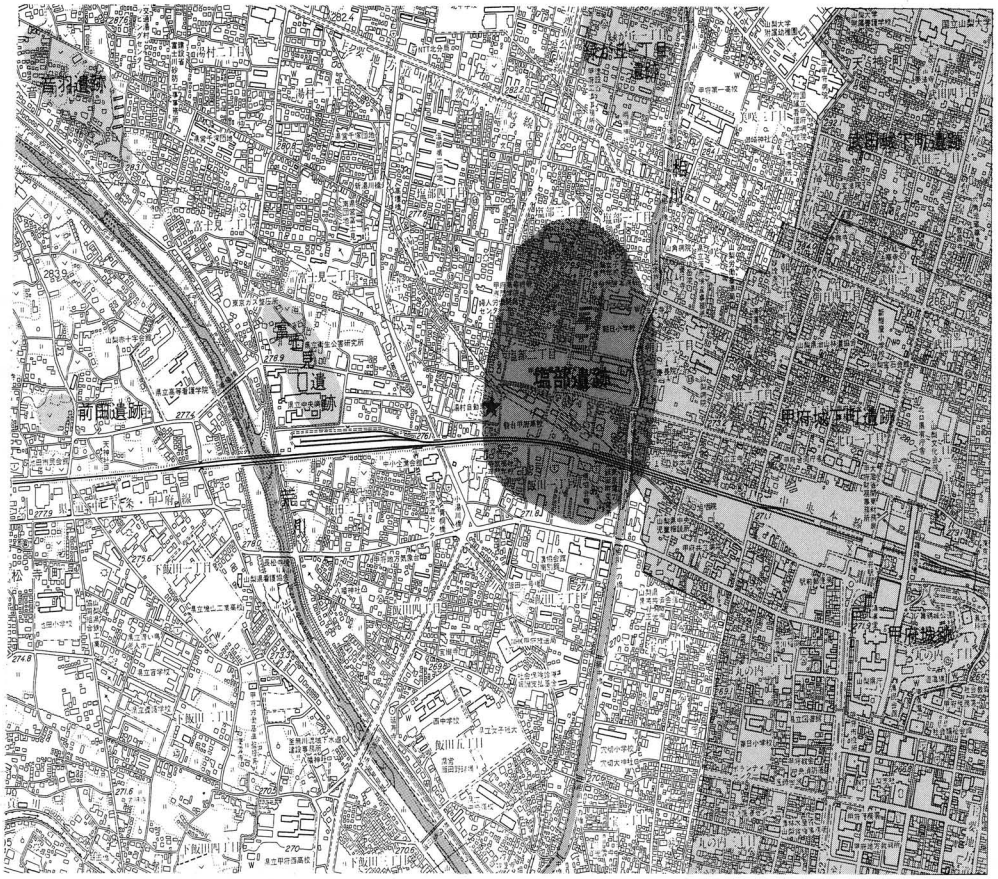



図４　塩部遺跡及び周辺遺跡分布図

# 第３章　遺構と遺物

本調査区で検出された遺構は、溝跡17、周溝を有する平地建物跡３（以後、仮に周溝付平地建物跡と呼称し、本書内では以降その名称を用いることとする。）、竪穴建物跡20、掘立柱建物跡22、柱穴列７（うち３列は掘立柱建物の可能性が高い。）、方形周溝墓２、土壙８、ピット702である。主体は弥生時代末期から古墳時代後期までの遺構群と考えられるが、縄文時代と江戸時代の遺構・遺物も若干確認されている。

## 第１節　溝跡

調査区全体で大小17条の溝跡が検出されている。うち６・13・14号溝跡については、周溝付平地建物を構成する遺構であるため、第２節建物跡で報告することとする。

**１号溝跡**（遺構：図５　遺物：図39～42）

位　　置：Ｄ－４～Ｆ－４グリッド及びＤ－５～Ｆ－５グリッド

検出状況：検出されたのは、溝全体のごく一部分と考えられるが、Ｆ-５グリッド付近で湾曲し、調査区外へ延びている。規模は検出された範囲で全長約18.0ｍ、幅約6.0ｍ、確認面から深さ約1.1ｍで、北東から西方向に傾斜している。土層堆積状況からみると、最下層に粗粒砂が堆積していたが、地山壁面も砂礫層であったため、風化によって堆積したものか、水の流れによって堆積したものであるかは微妙であった。しかし、流木と思われる木片等が検出され、砂層と黒色粘質土が交互に堆積した状況も確認されていることから、掘削された当初は水の流れがあったと考えられる。その後、水路としての機能が停止したために水の流れがなくなり、結果として黒色土が徐々に堆積し、土器捨場化するに至ったと推測される。最終的に小礫を含む粗粒砂層である６層に全面覆われていたことから洪水によって埋没したと考えられる。

なお、溝跡北側では、試掘調査結果から判断しても新旧関係にある方形周溝墓を除き、集落に関わる遺構・遺物が希薄となるため、溝跡南側で検出された集落の境界として認識されていた可能性もある。

重複関係：１号方形周溝墓より新しい。

出土遺物：掲載遺物は１～70である。出土遺物は層位で取り上げており、４層に大別している。黒色土で覆われた１・２層を上層、洪水による粗粒砂層を中層、中層直下の土器溜りを含む黒色土層を下層とした。さらに底部付近の砂礫層である17層を最下層として取り扱っている。また、調査着手時に掘削したサブトレンチから出土したものは層位が不明であったために一括出土として扱ったが、下層遺物と接合したものもあり、多くは下層扱いの土器と考えられる。

出土状況としては、中層直下の黒色土中から多数の遺物が全面にわたり出土したが、２箇所ほど集落側からまとめて投棄された土器溜りが形成されていた。土器溜りは時期的にＳ字甕段階以降の古墳時代中期の遺物が主体で、丸底小坩や高坏、壺、甕、甑等生活に関連する様々な土器類や木製品等が出土し、本地区の遺構群の中で最も出土量があった。特筆するものとしては、21の高坏有段脚部や49の須恵器蓋、60の木製刀形が出土している。21は二之宮遺跡西46号竪穴建物跡等に類似品があり、古墳時代中期に位置付けられている。木製品の他には下層から桃の種が少量出土している。

最下層からは51・52のＳ字甕Ｄ類が出土していることから、１号溝跡の開削時期は概ねこの前後と考えられ、廃絶は古墳時代後期以降の洪水によると考えられる。

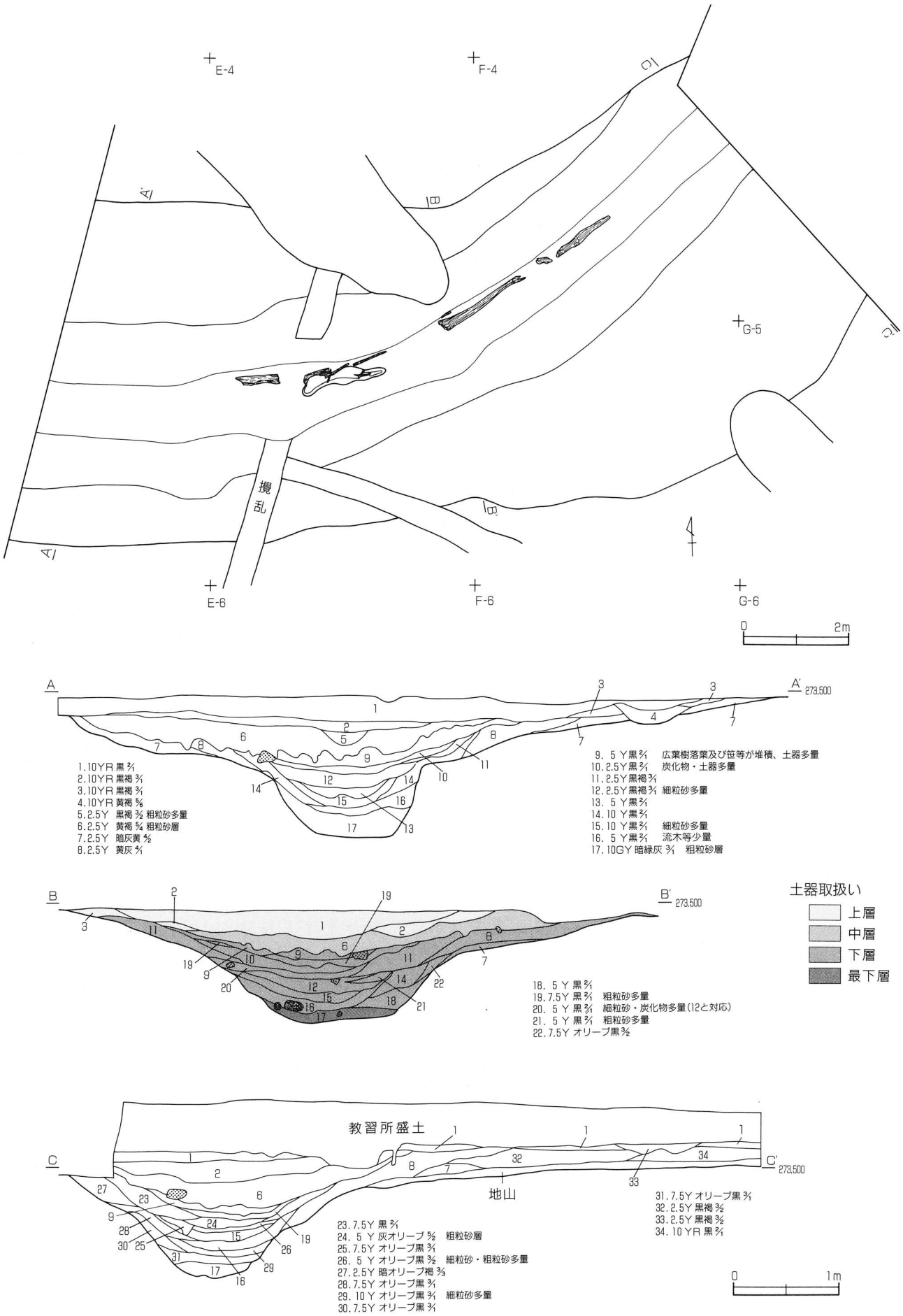

E-4
F-4
G-5
E-6
F-6
G-6
A
A'
B
B'
C
C'
攪乱
0
2m
273.500
1.10YR 黒 3/1
2.10YR 黒褐 3/1
3.10YR 黒褐 3/1
4.10YR 黄褐 5/6
5.2.5Y 黒褐 3/2 粗粒砂多量
6.2.5Y 黄褐 5/4 粗粒砂層
7.2.5Y 暗灰黄 4/2
8.2.5Y 黄灰 4/1
9. 5 Y黒 3/1 広葉樹落葉及び笹等が堆積、土器多量
10.2.5Y黒 3/1 炭化物・土器多量
11.2.5Y黒褐 3/1
12.2.5Y黒褐 3/1 細粒砂多量
13. 5 Y黒 3/1
14.10 Y黒 3/1
15.10 Y黒 3/1 細粒砂多量
16. 5 Y黒 3/1 流木等少量
17.10GY 暗緑灰 3/1 粗粒砂層
18. 5 Y 黒 3/1
19.7.5Y 黒 3/1 粗粒砂多量
20. 5 Y 黒 3/1 細粒砂・炭化物多量(12と対応)
21. 5 Y 黒 3/1 粗粒砂多量
22.7.5Y オリーブ黒 3/2
土器取扱い
上層
中層
下層
最下層
教習所盛土
地山
23.7.5Y 黒 3/1
24. 5 Y 灰オリーブ 5/2 粗粒砂層
25.7.5Y オリーブ黒 3/1
26. 5 Y オリーブ黒 3/2 細粒砂・粗粒砂多量
27.2.5Y 暗オリーブ褐 3/3
28.7.5Y オリーブ黒 3/1
29.10 Y オリーブ黒 3/1 細粒砂多量
30.7.5Y オリーブ黒 3/1
31.7.5Y オリーブ黒 3/1
32.2.5Y 黒褐 3/2
33.2.5Y 黒褐 3/2
34.10 YR 黒 2/1
0
1m

図5　1号溝跡

**2号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：G－5グリッド及びD－6～G－6グリッド
検出状況：1号溝跡とほぼ併行して走る溝で、北東から南西方向に傾斜している。検出範囲内で全長約21.0m、幅約0.9m、確認面から深さ0.3mである。1号溝跡との関係から集落に関わる区画溝か排水溝と考えられる。
重複関係：2号方形周溝墓及び3・8号溝跡より新しい。
出土遺物：土器小片が少量出土したが、周囲からの流れ込みと考えられる。

**3号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：E－6～F－6グリッド付近
検出状況：やや湾曲した溝跡で、検出範囲内で完結している。検出範囲内で全長約6.5m、幅約1.4m、確認面からの深さ約0.1mで、平面形はやや不整形である。付近には方形周溝墓も展開しているため、方形周溝墓あるいは建物周溝である可能性もある。
重複関係：2号溝跡より古く、2号竪穴建物跡より新しい。
出土遺物：土器が少量出土している。

**4号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：図43）
位　　置：G－8～G12グリッド及びF－12～F－15グリッド
検出状況：調査区を南北に走り、北から南へ傾斜する。検出範囲内で全長約35.0m、幅0.5～0.8m、確認面からの深さ0.1～0.3mで10号溝跡と併行関係にある。近世の陶磁器片が出土しているため、水田用の水路と考えられる。
重複関係：重複するすべての遺構を切る。
出土遺物：掲載遺物は71・72である。掲載遺物については、6号竪穴建物跡付近で出土したものであり、本来竪穴建物に帰属すべき遺物の可能性もある。他に近世陶磁器及び土器が少量出土している。

**5号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：F－8・9グリッド付近
検出状況：検出範囲内で全長約7.0m、幅約0.3m、確認面からの深さ約0.3mで断面は逆台形である。北東から南西方向に延びているが、検出された範囲内で完結している。何らかの区画溝あるいは排水用の溝であるかは不明である。
重複関係：75・76・187号ピットより古い。6号溝跡、189号ピットと重複するが、黒褐色の類似した覆土であったため、明確な新旧関係を識別することはできなかった。
出土遺物：土器が少量出土している。

**7号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：G－7～H－7グリッド
検出状況：不整形な溝跡であり、検出範囲内で完結する。全長約3.3m、幅約0.5m、確認面からの深さ約0.1mである。他遺構と異なる灰黄褐色の覆土であり、出土遺物から縄文時代に帰属する溝と考えられる。
重複関係：9号溝跡と重複するが、新旧関係は不明である。
出土遺物：縄文土器小片が微量出土している。

**8号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：E－5グリッド及びE－6～G－6グリッド、H－7グリッド
検出状況：調査区を東西方向に延び、G－6グリッド付近で緩やかに湾曲する。検出範囲内で全長約18.0m、幅約0.5m、確認面からの深さ約0.4mで断面は逆台形である。ある時期の集落の区画溝あるいは排水溝と考えられる。
重複関係：1・2号溝跡、1号竪穴建物跡、1号掘立柱建物跡、1号柱穴列より古く、9号溝跡より新しい。2号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：土器小片が少量出土している。

**9号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：G－6・7グリッド
検出状況：緩やかに湾曲しながら南北方向に延びる不整形な溝跡で、検出範囲内で完結している。全長約8.5m、幅約0.8m、確認面からの深さ0.1mで、7号溝跡と結合する。7号溝跡同様の覆土で縄文土器片が出土しており、同時期の遺構と考えられる。
重複関係：7号溝跡と重複するが、新旧関係不明。
出土遺物：縄文土器小片が微量出土している。

**10号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：掲載なし）
位　　置：C－11～C－14グリッド
検出状況：調査区を南北に走り、北から南へ傾斜する。検出範囲内で全長約20.0m、幅0.3～0.5m、確認面からの深さ0.1～0.3mで、4号溝跡と併行関係にある。近世水田に伴う水路と考えられる。
重複関係：重複するすべての遺構を切る。
出土遺物：土器小片が微量出土している。

**11号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：なし）
位　　置：C－12～D－12グリッド付近
検出状況：D－12グリッド内で屈曲する小規模な溝跡で、検出範囲内で完結する。全長は東西軸約5.8m、南北軸約2.8mで、幅約0.2m、確認面からの深さ約0.15mである。何らかの区画溝である可能性もある。
重複関係：13号竪穴建物跡、18号掘立柱建物跡より古い。
出土遺物：なし。

**12号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：図43）
位　　置：B－13グリッド及びC－14～D－14グリッド、E－15～F－15グリッド付近
検出状況：調査区を東西方向に横断し、西から東へ緩やかに傾斜している。検出範囲内で全長約22.5m、幅0.5～0.7m、確認面からの深さ0.2～0.3mで断面はU字形である。集落域中心の南端付近に位置しており、8号溝跡と同様ある時期の区画溝か排水用の溝と考えられる。
重複関係：11号竪穴建物跡より古く、10・18・20号竪穴建物跡より新しい。22号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：掲載遺物は74のみである。出土量は多いが土器小片がほとんどで、周囲からの流れ込みの可能性が高い。

**15号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：なし）
位　　置：C－9グリッド
検出状況：東西方向に延び、検出範囲内で全長約3.8m、幅約0.4m、確認面からの深さ約0.2mである。検出されたのは一部分であり、性格等は不明である。
重複関係：2・3号周溝付平地建物跡及び334・400・401号ピットとの新旧関係は不明。
出土遺物：なし。

**16号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：なし）
位　　置：G－9・10グリッド
検出状況：6号竪穴建物跡床面下から検出された溝跡で、2度大きく屈曲する。南北の長軸で長さ約4.0m、幅0.1～0.2m、確認面からの深さ約0.1mであった。南西側については、6号竪穴建物跡壁面で止まっているが、土層観察で明確に溝跡の続きを追うことができなかった。形状も屈曲の状況は11号溝跡と類似するが、やや規則性に欠ける。よって、遺構の性格は不明である。
重複関係：6号竪穴建物跡範囲内で重複するすべての遺構より古い。
出土遺物：なし。

**17号溝跡**（遺構：全体図中　遺物：なし）
位　　置：C－10～D－10グリッド及びB－11グリッド
検出状況：北東から南西方向に延びる溝で、当初は5号溝跡の延長と考えられたが、規模が異なったことから、独立した遺構番号を付した。検出範囲内で全長約10.0m、幅0.2～0.4m、確認面からの深さ0.15mである。
重複関係：14号竪穴建物跡より古い。6号溝跡と重複するが、新旧関係は不明。
出土遺物：なし。

## 第2節　建物跡及び柱穴列

建物跡を大別すると、(1)周溝付平地建物跡、(2)竪穴建物跡、(3)掘立柱建物跡に分類される。柱穴列については、検出状況や柱規模から掘立柱建物跡になる可能性が高いものも含まれているが、現段階では柱穴列として扱うものとする。

### (1) 周溝付平地建物跡

本遺構は、北陸から関東、東海まで幅広く確認されつつある建物形態であるが、管見の範囲で確実な事例としては、本県では未報告の建物跡である。調査段階では担当の認識不足から十分な情報を得ることができなかったが、調査区中央付近において3棟を検出している。

**1号周溝付平地建物跡**（遺構：図6　遺物：図43）
位　　置：E－9～E－11グリッド及びF－9～F－11グリッド付近
主軸方位：N－43°－E
検出状況：4本柱の掘立柱建物跡とそれを半円形に外周する6号溝跡によって形成された建物跡であり、基本的に溝跡で囲まれた範囲内を居住空間として利用したものと考えられる。6号溝跡内の東西軸は約10.0m、南北軸は約7.0mで、溝跡の深さは確認面から約0.2～0.3mである。上屋になる掘立柱建物跡平面形は正方形で、柱間は1辺約4.0mを測り、北東側で炉跡を検出している。重複によって南側は失われているが、溝跡西端は確認されているため、おそらく南西側が出入り口であったと考えられる。

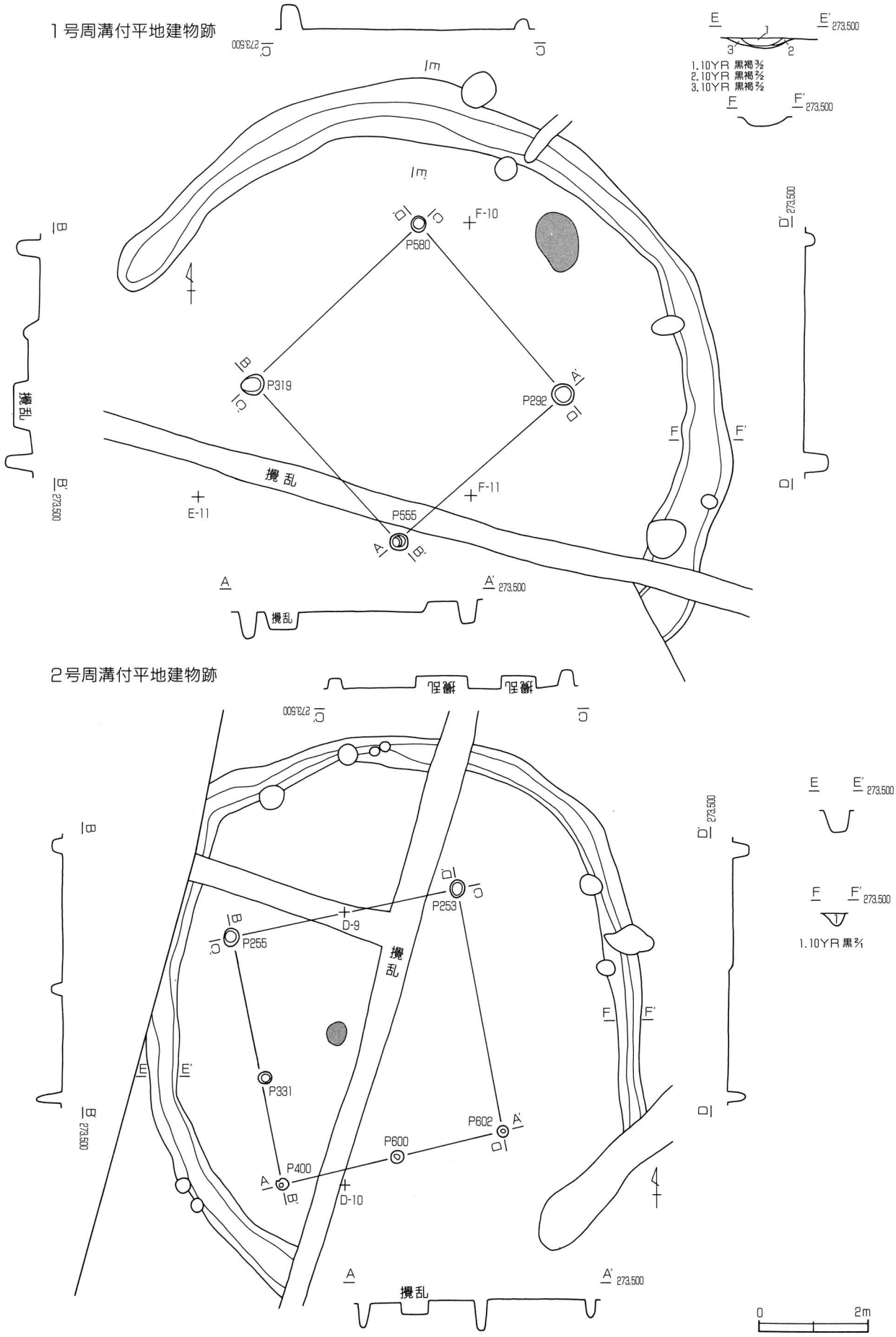



図6　1～2号周溝付平地建物跡

3号周溝付平地建物跡

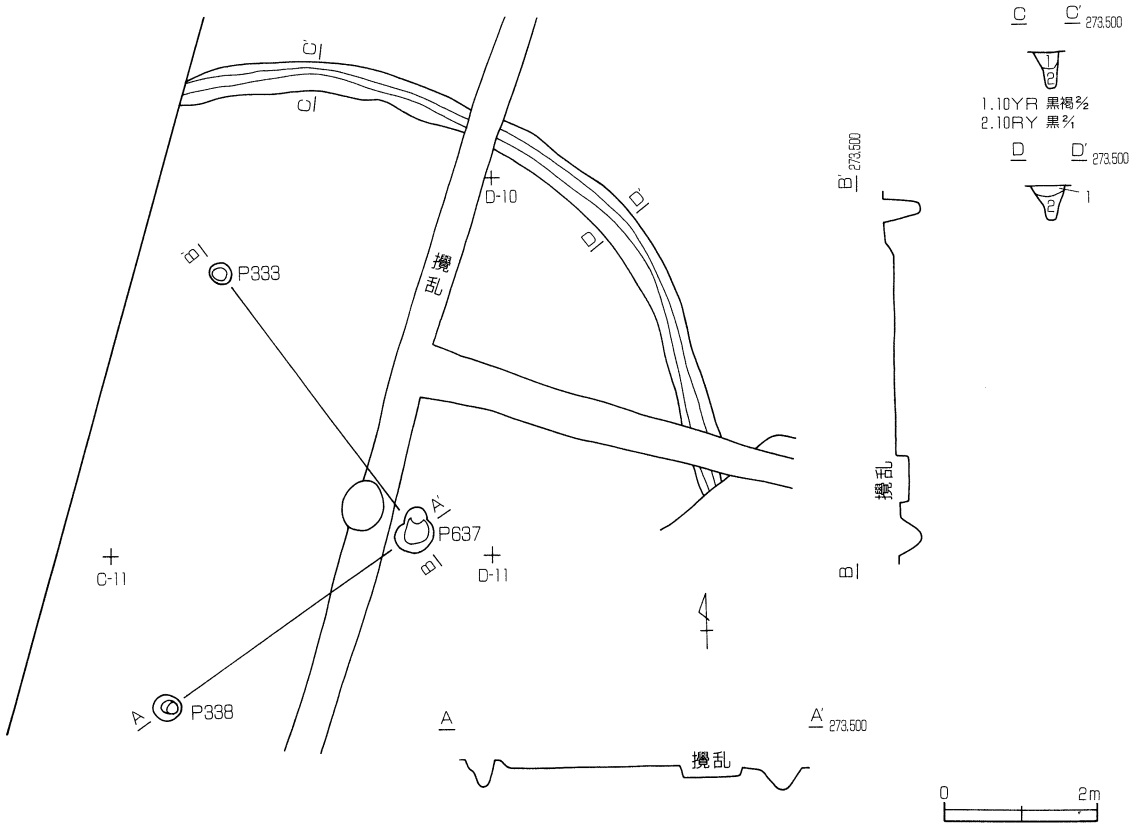



図７　３号周溝付平地建物跡

重複関係：７・17号竪穴建物跡より古く、２号周溝付平地建物跡、５号溝跡より新しい。
出土遺物：掲載遺物は73のみである。６号溝跡内から土器が少量出土している。

**２号周溝付平地建物跡**（遺構：図６　遺物：図43）
位　　置：Ｃ－８～Ｃ－10グリッド及びＤ－８～Ｄ－10グリッド付近
主軸方位：Ｎ－14°－Ｗ
検出状況：６本柱の掘立柱建物跡とそれを外周する形で展開する楕円形の14号溝跡で形成される建物である。14号溝跡内の東西軸は約7.8ｍ、南北軸約9.0ｍ、溝跡の深さは確認面から0.4～0.5ｍを測る。上屋となる掘立柱建物跡は、東西軸約4.2ｍ、南北軸約4.6ｍで平面形は正方形に近い。炉跡は建物中央付近で確認したが、掘削時に上面を削平してしまったため、検出状態は不良となってしまった。１号周溝付平地建物跡同様撹乱や重複により、部分的に不明瞭になっているが概ね全体の把握が可能で、南側に出入り口を設けている。
重複関係：Ｄ－８付近一帯は黒色粘質土層の堆積する低地部にあたり、遺構覆土もほぼ同様の黒色土が堆積していた。４号竪穴建物跡と２号周溝付平地建物跡を構成する14号溝跡との重複部分は遺構確認面及び撹乱部断面で明確な重複を捉えることは困難であったが、炭化物等の混入状況から４号竪穴建物跡を先行して調査した。しかし、４号竪穴建物跡掘削段階で残した土層観察用のベルト上で253号ピットが竪穴建物を切っていると判断したため、４号竪穴建物跡より新しいと想定した。１号周溝付平地建物跡と

3号周溝付平地建物跡との併行関係から本遺構との重複関係があるものと考えられるが、新旧は明らかにできなかった。また、15号溝跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：掲載遺物は75～79である。216・236号ピットと4号竪穴建物跡との重複部付近からまとまって出土したもので、位置的に13号溝跡直上に位置していたため、同遺構に帰属するものと判断した。75は北陸系と考えられる器台、78は畿内系と考えられる二重口縁壺であり、外来系の土器がまとまっている。

**3号周溝付平地建物跡**（遺構：図7　遺物：掲載なし）

位　　置：C－9～C－11グリッド及びD－9・10グリッド付近

主軸方位：N－36°－E

検出状況：本遺構は、西側が調査区によって切られている。検出状況から推測して4本柱の掘立柱建物跡と半円形に外周する13号溝跡で形成されていると考えられるが、調査区内では、柱は3本分のみ検出されている。13号溝跡内の推定規模は、東西軸は7～8m、南北軸は9～10mと考えられ、溝幅は約0.5m、深さは確認面から約0.5mで断面は逆台形ある。上屋となる掘立柱建物跡の平面形は正方形で一辺約4.0mを測り、地床炉は確認できなかった。南東側が大きく開いていることから、出入り口は南から南東と考えられる。

重複関係：2号周溝付平地建物跡との重複関係については、前述のとおりである。8・14・16号竪穴建物跡より古く、17号溝跡より新しい。15号溝跡については、新旧関係は不明である。

出土遺物：13号溝跡から少量土器片が出土している。

**(2) 竪穴建物跡**

従来竪穴住居跡と呼んできたが、近年その遺構の機能を住居に限定することを疑問視し、再評価されつつある。本遺跡においても掘立柱建物跡や周溝付平地建物跡等様々な建物形態の存在と多様な居住性から、竪穴住居跡と限定した用語ではなく一つの建物形態として扱い、竪穴建物跡と呼称する。

**1号竪穴建物跡**（遺構：図8　遺物：掲載なし）

位　　置：G－6・7グリッド

主軸方位：N－26°－E

検出状況：平面形は長方形を呈し、建物規模は南北約3.5m、東西約3.0mを測る。柱穴は確認されなかったが、遺構中央に新旧関係が不明であった1号柱穴列が存在することから、特殊ではあるが本遺構の上屋建物の柱となる可能性もある。炉跡は建物中央よりやや南西に位置する。床面全体には炭化物や焼土塊が多く、火災により廃絶した建物跡と考えられる。

重複関係：1号掘立柱建物跡・1号柱穴列より古く、1号土壙、8・9号溝跡より新しい。2号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：土器小片が微量出土したのみで、掲載遺物はない。

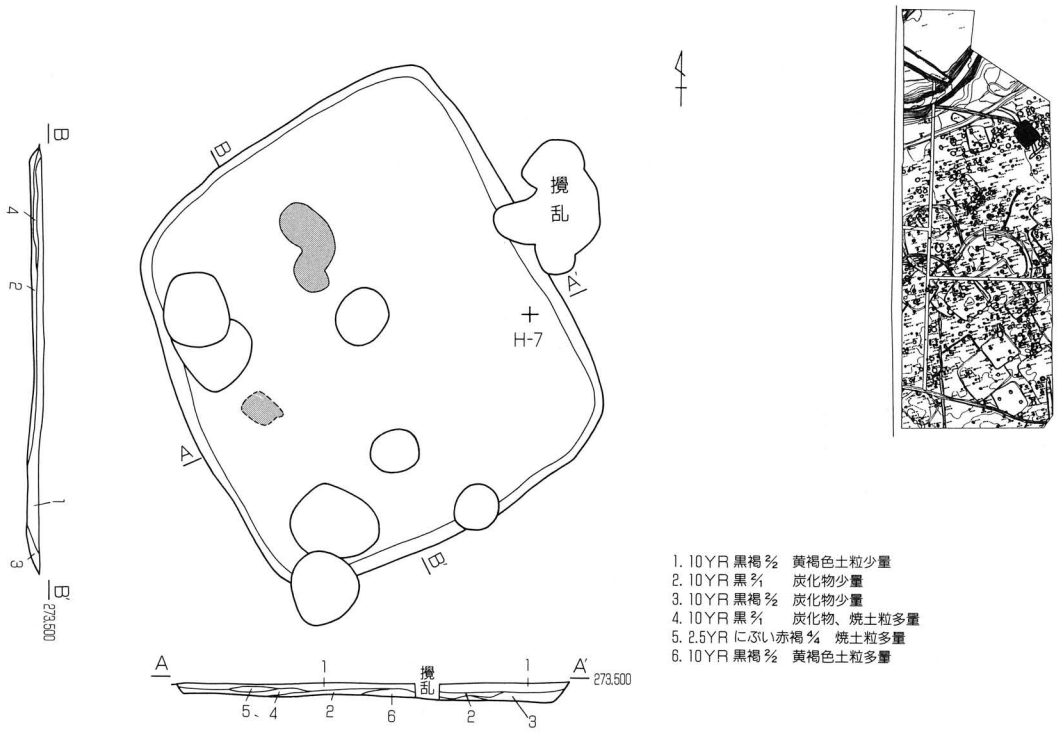
**2号竪穴建物跡**（遺構：図8　遺物：掲載なし）

位　　置：F－6・7グリッド

主軸方位：N－2°－E

検出状況：平面形は長方形を呈し、建物規模は南北約4.1m、東西約3.2mで、主柱は4本の建

1号竪穴




2号竪穴

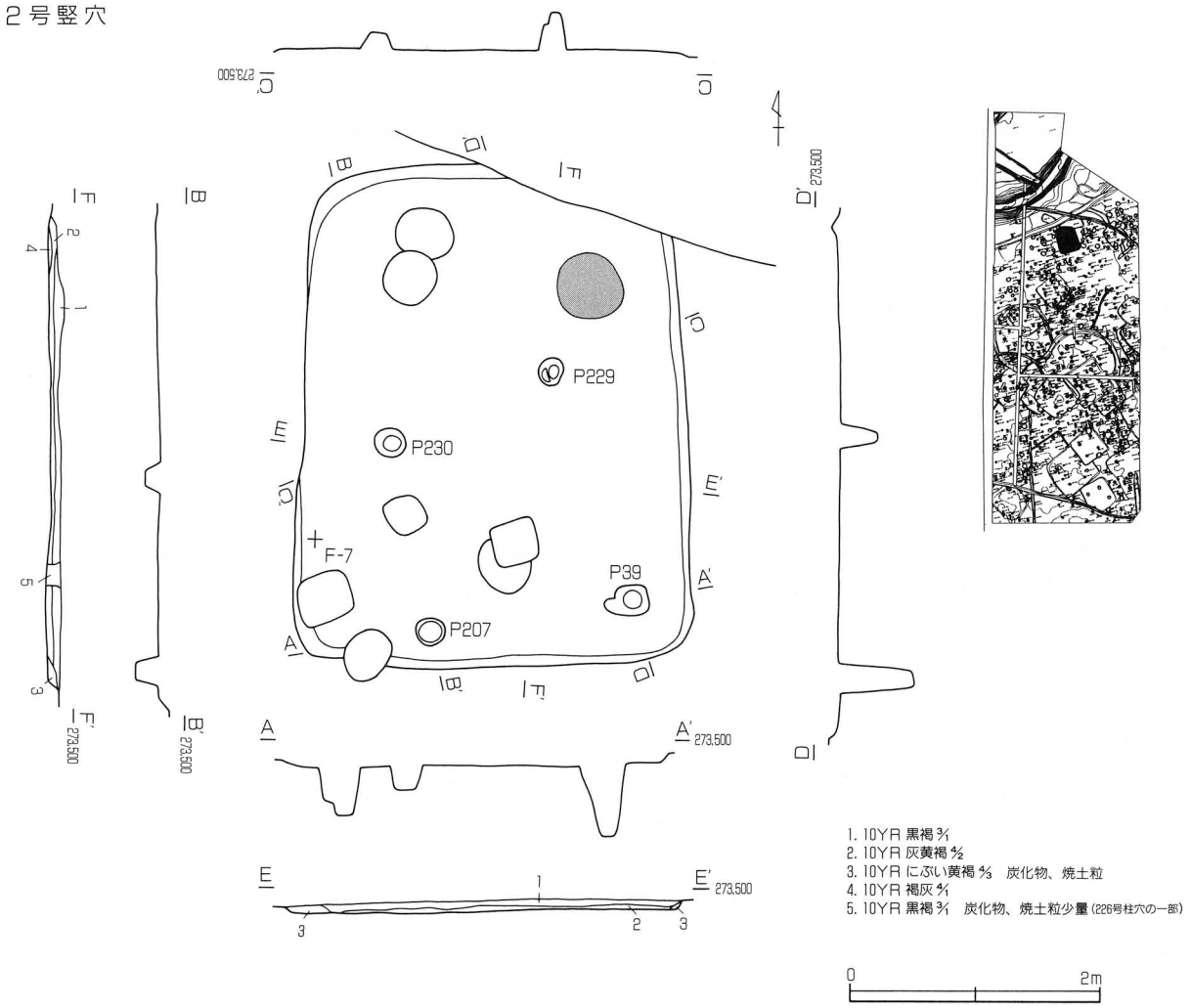



図8　1～2号竪穴建物跡

物構造である。炉跡は中心からやや北側に位置する。西側については、検出段階で壁面を明確に捉えることはできず、推定線で掘削を止めた。

重複関係：３・４号掘立柱建物跡、３号溝跡より古い。５号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：１号竪穴建物同様土器小片が少量出土。

**３号竪穴建物跡**（遺構：図９　遺物：図43）

位　　置：Ｅ－７・８グリッド

主軸方位：Ｎ－35°－Ｗ

検出状況：平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北約4.0ｍ、東西約4.4ｍで、主柱は４本の建物構造である。炉跡は建物中央やや東寄りに位置する。貼床や硬化面等は確認できなかった。

重複関係：５号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：掲載遺物は80～82である。全体に出土量は少なかったが、３点を掲載している。82の焼成は良好で器高も低く、やや特殊な器台と考えられる。

**４号竪穴建物跡**（遺構：図10　遺物：掲載なし）

位　　置：Ｄ－８・９グリッド

主軸方位：Ｎ－64°－Ｅ

検出状況：本建物跡付近は、全体的に粘性の強い黒色粘質土層で覆われていた場所で、遺構の重複も含め黒色粘質土層面での遺構平面形の確認が非常に困難であった。14号溝跡との重複は、確認面と攪乱部分の断面で観察したが、どちらでも明確にすることはできず、本遺構の掘削を先に着手した。しかし、掘削途中のベルト断面の観察で、２号周溝付建物跡を構成する253号ピットが新しいと判断したため、調査手順としては逆転してしまった。

遺構全体は幸い床面に炭化物が面的に拡散していたため、それを目印として掘削を行い、全体を検出した。したがって、平面形はやや不整形な隅丸方形である。建物規模は南北約4.7ｍ、東西約4.7ｍで、主柱は４本と考えられるが、北東側は14号溝跡との重複もあり、確認することはできなかった。337号ピットには枕木状の礎板、214号ピットには柱材が残存していた。炉跡は建物中央やや東寄りに位置する。床は低い部分に土を入れて簡易な整地をしていたが、硬化面等は確認できなかった。

重複関係：２号周溝付平地建物跡より古い。５号柱穴列との新旧関係は不明である。

出土遺物：土器小片が少量出土している。

**５号竪穴建物跡**（遺構：図11　遺物：図43）

位　　置：Ｇ－９グリッド

主軸方位：Ｎ－60°－Ｅ

検出状況：平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北約3.9ｍ、東西約4.0ｍで、主柱は４本と考えられるが、南東側は調査区外で確認できなかった。炉跡は一部攪乱を受けているが、建物中央やや北側に位置する。部分的に整地しているが、意図的な貼床ではなく、使用時に堆積していったものと推測される。

重複関係：６号竪穴建物跡より古い。

出土遺物：掲載遺物は83・84である。出土量は土器小片が少量であり、83は流れ込みによる縄文土器である。二重口縁壺の破片がまとまっていたが、図化までには至らなかった。

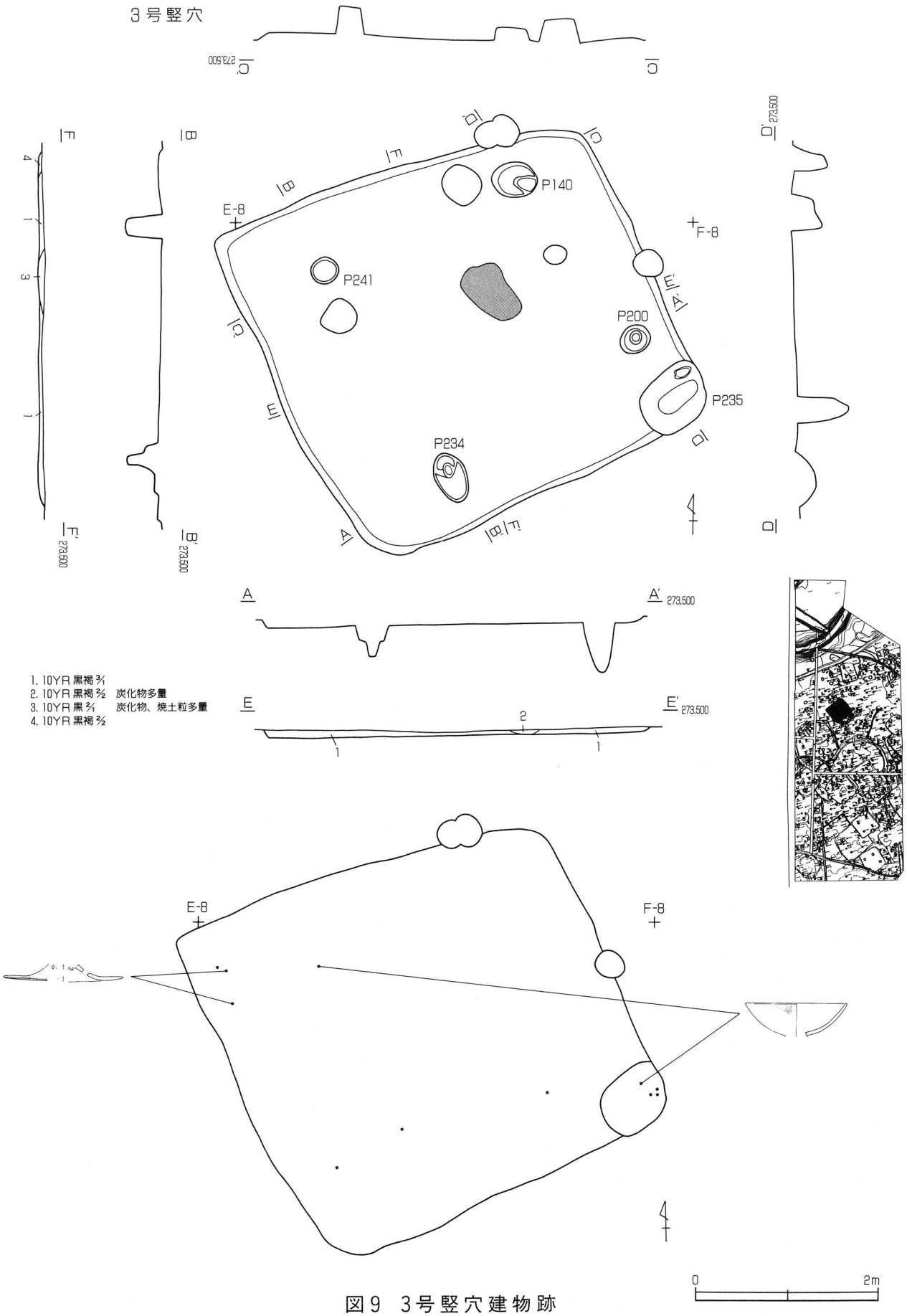
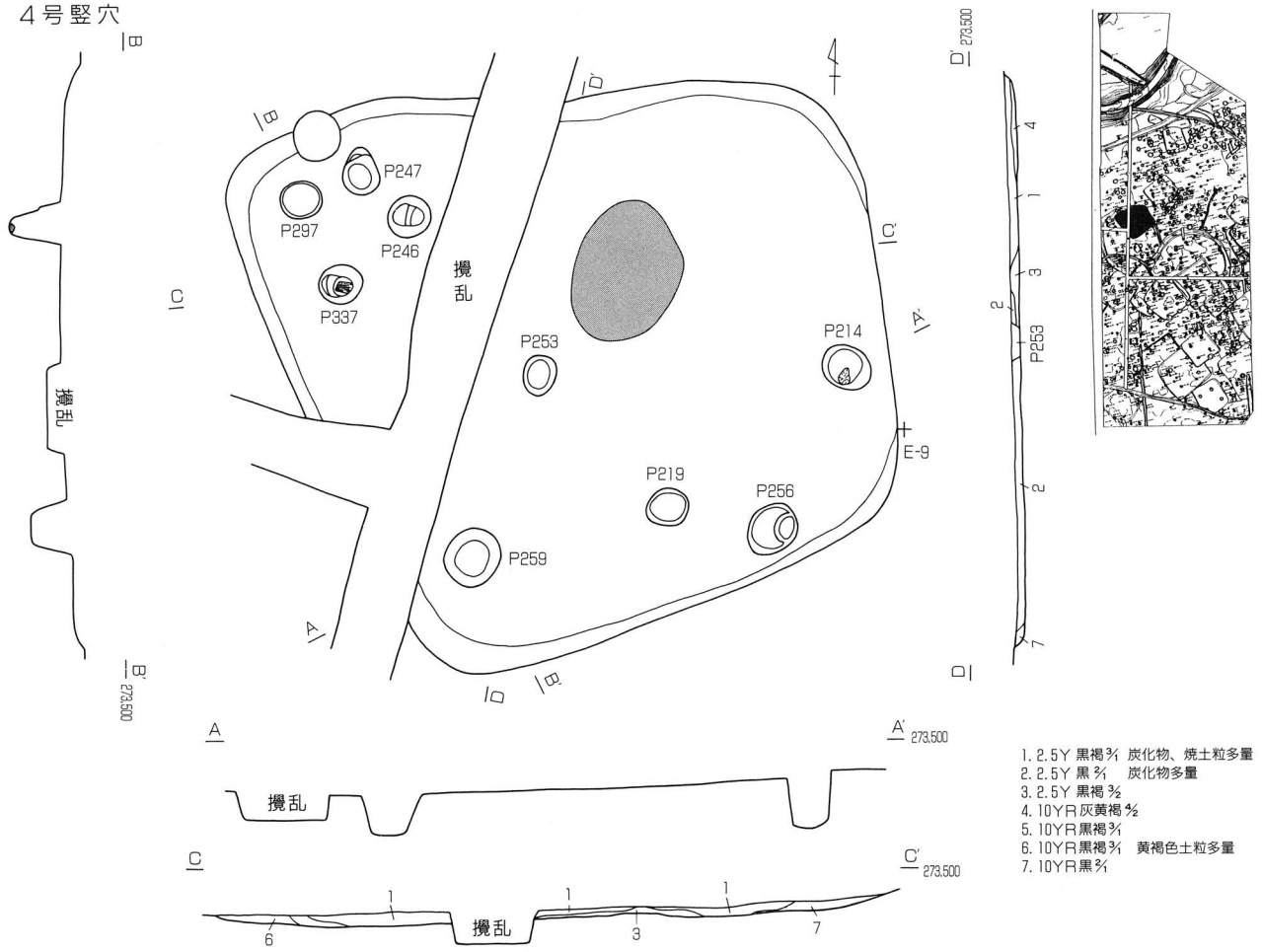

3号竪穴
C
C'
273.500
D
D'
273.500
E-8
F-8
P140
P241
P200
P235
P234
A
A'
273.500
E
E'
273.500
B
B'
273.500
F
F'
273.500
1. 10YR 黒褐 3/1
2. 10YR 黒褐 2/2 炭化物多量
3. 10YR 黒 2/1 炭化物、焼土粒多量
4. 10YR 黒褐 2/2
0
2m

図9 3号竪穴建物跡


4号竪穴
P247
P297
P246
P337
撹乱
P253
P214
P219
P256
P259
E-9
273.500
1. 2.5Y 黒褐 3/1 炭化物、焼土粒多量
2. 2.5Y 黒 3/1 炭化物多量
3. 2.5Y 黒褐 3/2
4. 10YR 灰黄褐 4/2
5. 10YR 黒褐 3/1
6. 10YR 黒褐 3/1 黄褐色土粒多量
7. 10YR 黒 3/1

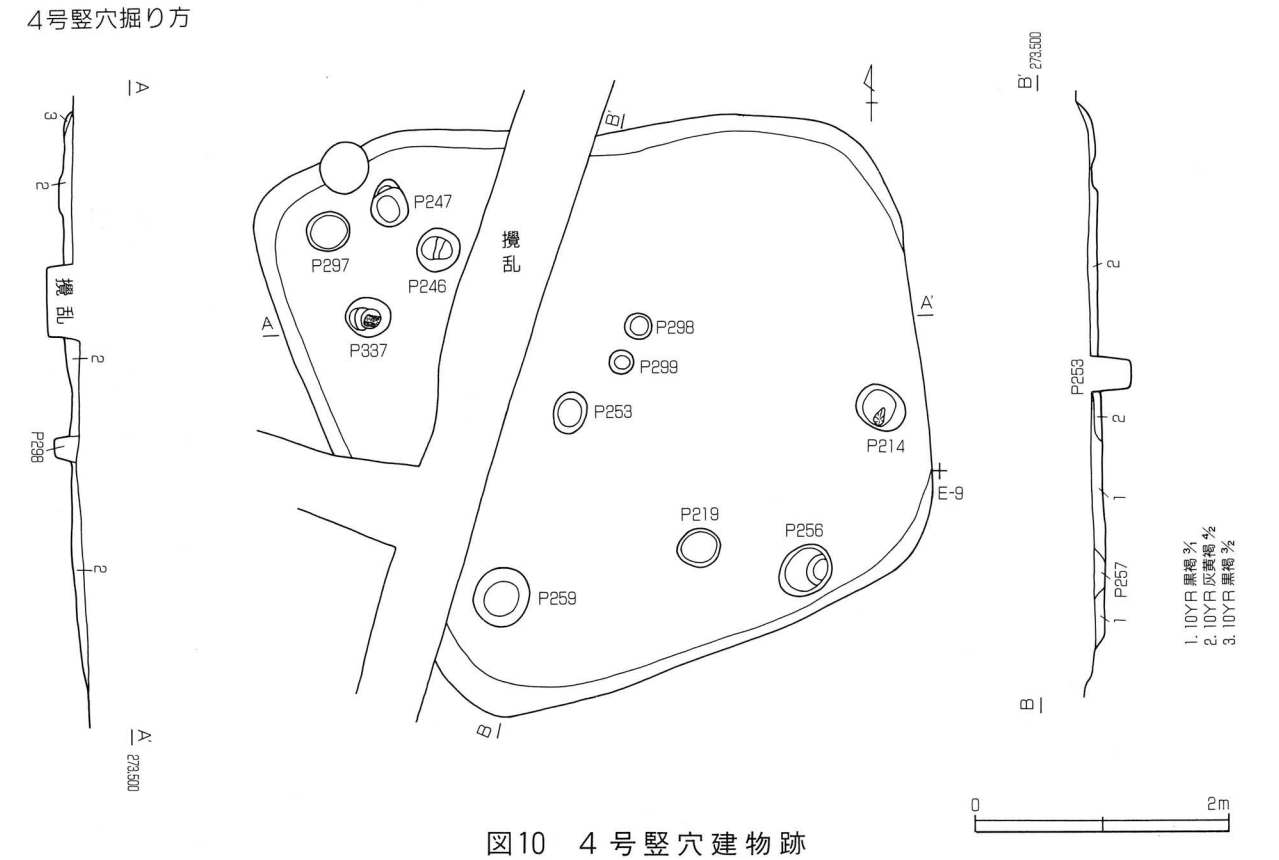
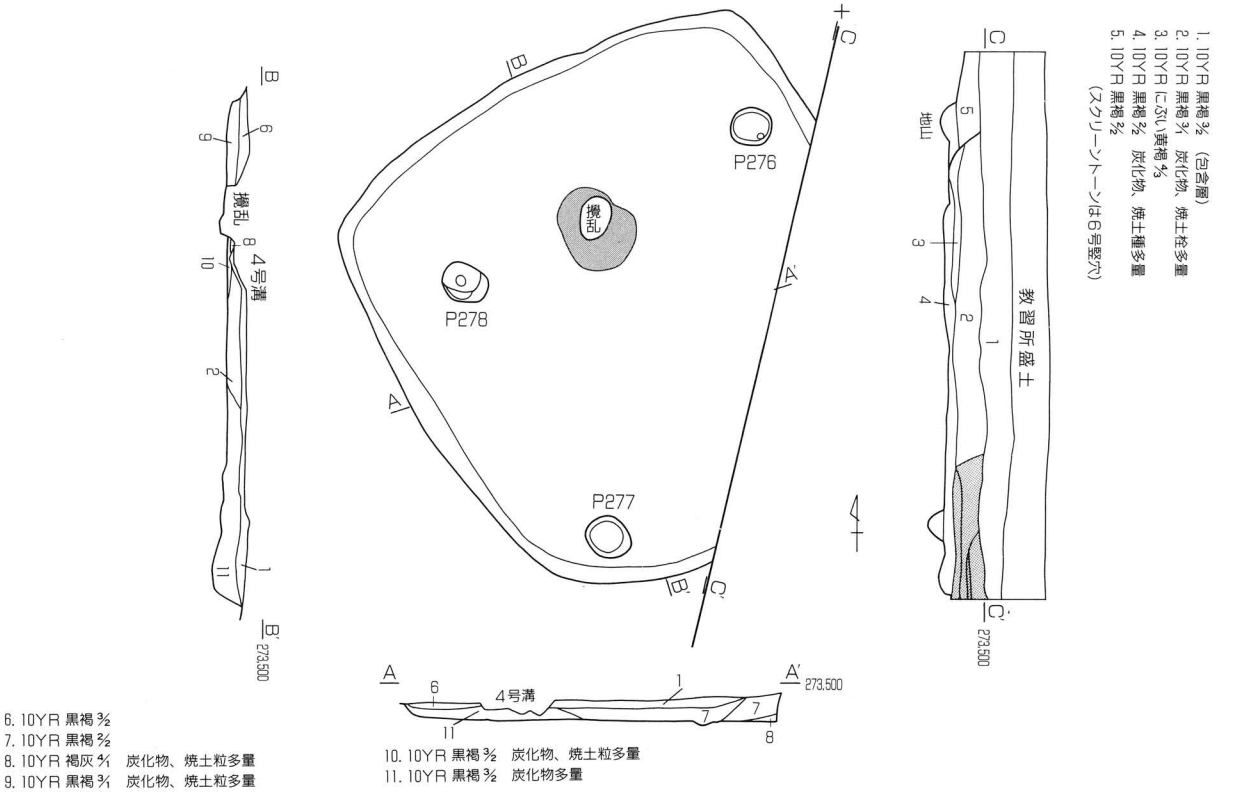

4号竪穴掘り方
P247
P297
P246
P337
撹乱
P298
P299
P253
P214
P219
P256
P259
E-9
273.500
P257
1. 10YR 黒褐 3/1
2. 10YR 灰黄褐 4/2
3. 10YR 黒褐 3/2
0
2m

図10　4号竪穴建物跡

5号竪穴




5号竪穴掘り方

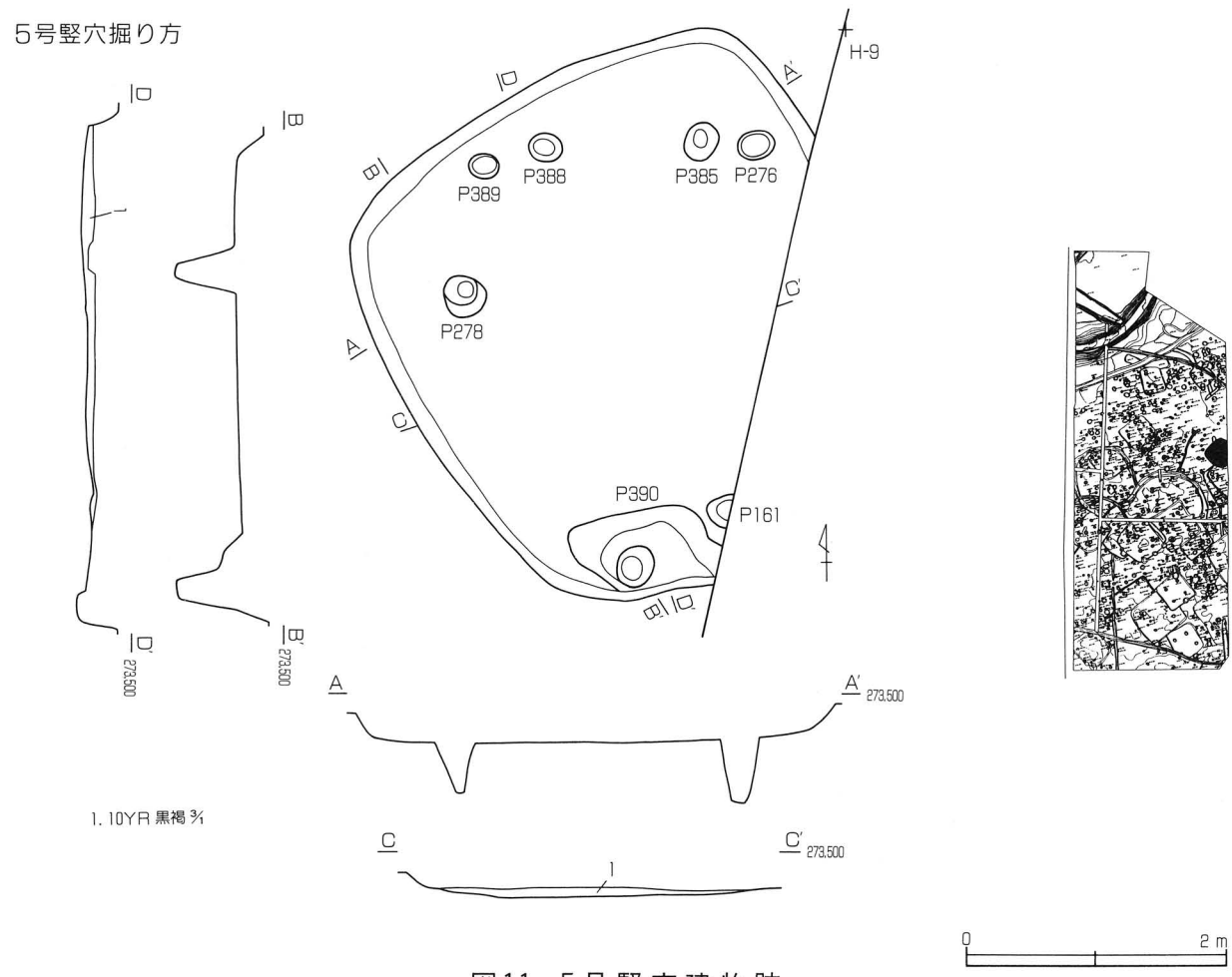



図11 5号竪穴建物跡

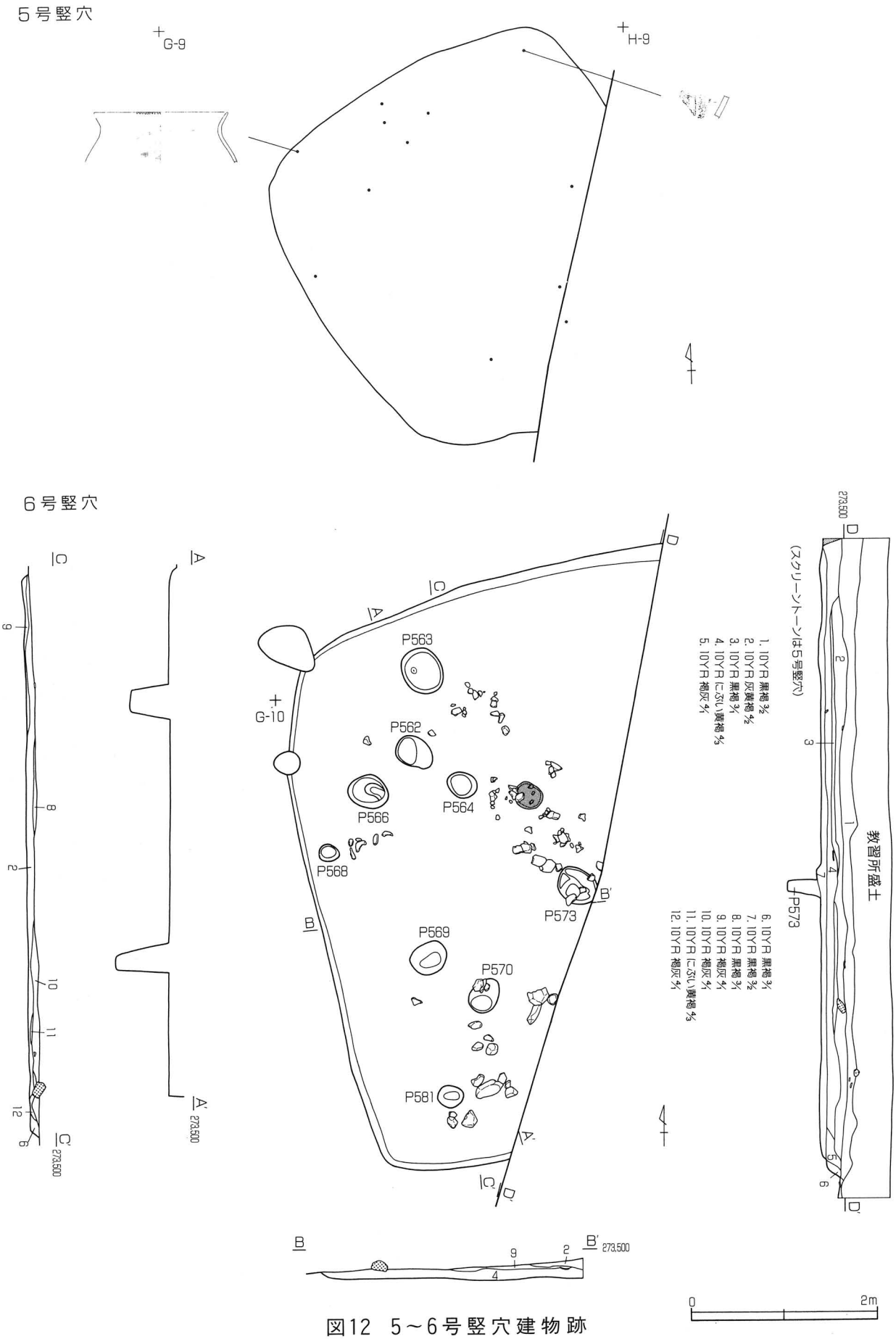



図12　5～6号竪穴建物跡

**6号竪穴建物跡**（遺構：図12・13　遺物：図43・44）

位　　置：G－9・10グリッド

主軸方位：N－72°－E

検出状況：建物跡は半分以上が調査区外に展開しているが、平面形は隅丸方形もしくは隅丸長方形と考えられる。建物規模は南北約6.0mであり、建物上屋に伴うと考えられる主柱は2本のみ検出された。炉・竈は確認できなかったため、調査区外に存在するものと考えられる。覆土及び床面には全体に炭化物や焼土が散在し、焼失した痕跡が確認でき、やや硬化した状態であった。しかし、貼床も特殊な土を用いたものではなく、意図的な貼床とは断定できなかった。

重複関係：16号溝跡、5号竪穴建物跡、6・7号柱穴列、12・13号掘立柱建物跡より新しい。

出土遺物：掲載遺物は85～98である。土器の多くは二次被熱を受けた痕跡があり、器種としては碗・甕類が多く出土した。

**7号竪穴建物跡**（遺構：図14・15　遺物：図44～47）

位　　置：E－10・11グリッド及びF－10・11グリッド

主軸方位：N－73°－E

検出状況：平面形は、隅丸方形を呈し、建物規模は南北約6.0m、東西約5.9mを測る。上屋の主柱は4本であるが、552・558号ピット間と552・553号ピット間、553号ピット南側に脇柱のような柱穴が存在する。うち629号ピットには柱材が残存しており、分析の結果、コナラ材が使用されていた。柱配置からみても南西部には脇柱がなく、広い空間が確保されているが、この付近の出土遺物から考えると、建物の中でこの一角が作業場として利用されていた可能性が高い。東側には竈が導入され、煙道部分が建物外に張り出す構造となっている点で、9・17号竪穴建物跡段階から一段階脱却した建物構造となっている。

建物覆土及び床面全体に炭化物と焼土が広がり、一見したところで焼失建物であることがわかった。特に建物北西付近は、壁面全体が焼土塊で覆われていたことから、壁材として粘土を貼っていた状況が観察された。北壁から西壁際周辺には浅い側溝も掘削されていたが、南東壁付近では明確な掘り込みは確認できなかった。床面はやや硬化した面もあり、貼床された状態に近かったが、意図的な貼床とは断定できなかった。

また、南東部に4号土壙が位置するが、土壙底部に近い覆土からは一部が炭化した材や遺物が出土したため、建物機能時には開口していたと判断し、本建物跡に伴う遺構とした。用途は定かではないが、貯蔵を目的としたものであろうか。

重複関係：1号周溝付平地建物跡、17号掘立柱建物跡、16・17号竪穴建物跡より新しい。

出土遺物：掲載遺物は99～146である。竪穴建物跡の中で最も出土量が多く、器種も多岐に及んでいる。焼失建物であったため、多くの遺物は二次被熱を受けた状態で散乱し、甕などは火災時の熱により大きく変形していた。よって著しく被熱した状態で出土した116、122、126、132～135の中には同一個体が存在する可能性もあるが特定できないほど変形していた。138・139は須恵器製品であるが、土器製品と比べ若干古い段階に位置付けられると考えられる。

また、553号ピットからは高坏（109）の坏部、559号ピットからは甕（75）、558号柱穴からは小壺（115）がそれぞれ出土している。115は人為的に底部を欠損させた状態で出土していることからも、火災による建物廃絶後に柱材を抜き取り、意図的に柱穴へ埋納したものと考えられる。

建物南西隅では、叩き台として使用されたと考えられる河原石と、長さ10cm前後の

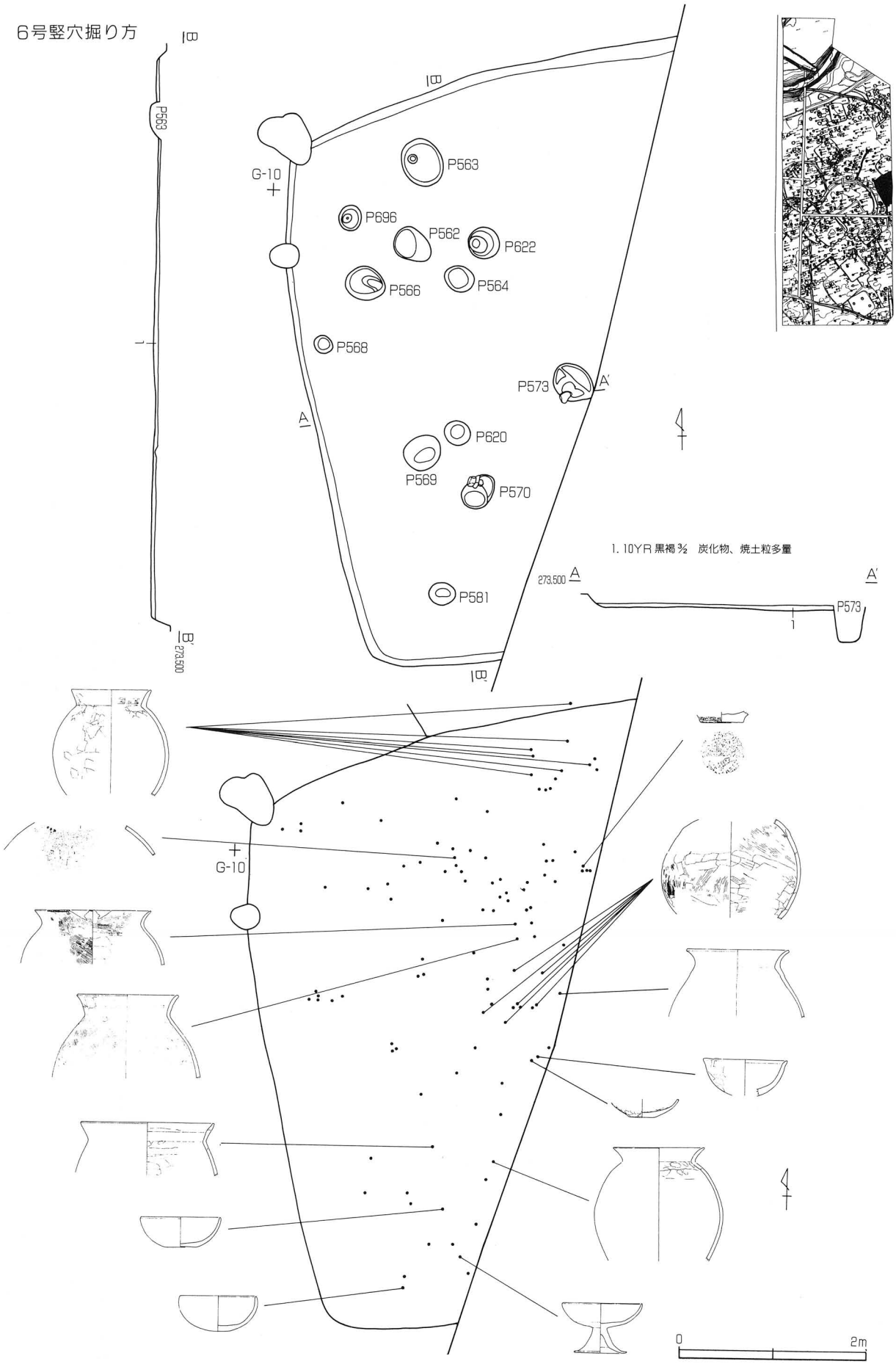

6号竪穴掘り方
B
P563
B'
273.500
B
G-10
P563
P696
P562
P622
P566
P564
P568
P573
A'
A
P620
P569
P570
P581
B
1. 10YR 黒褐 3/2　炭化物、焼土粒多量
273.500 A
A'
P573
G-10
0
2m

図13　6号竪穴建物跡

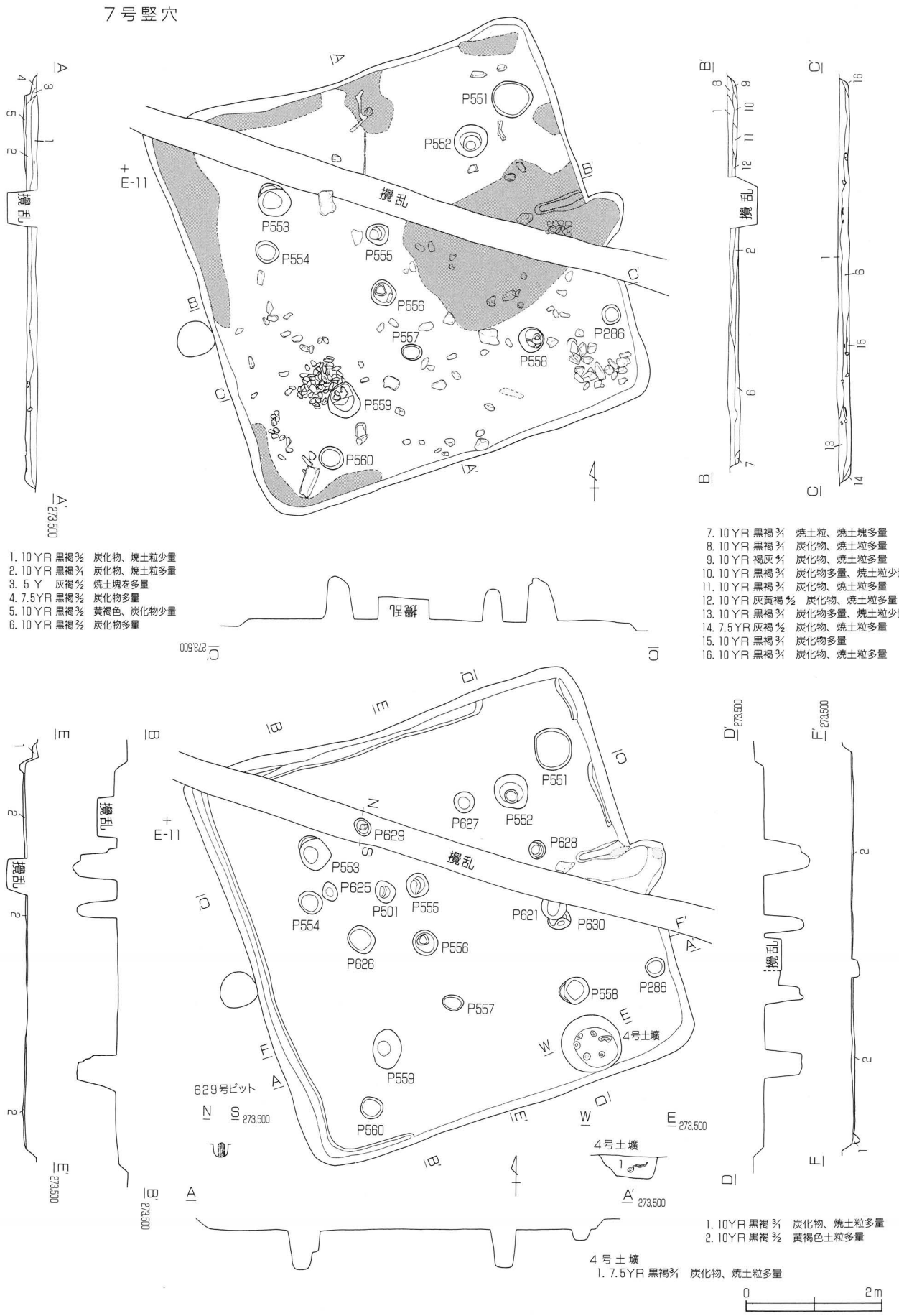
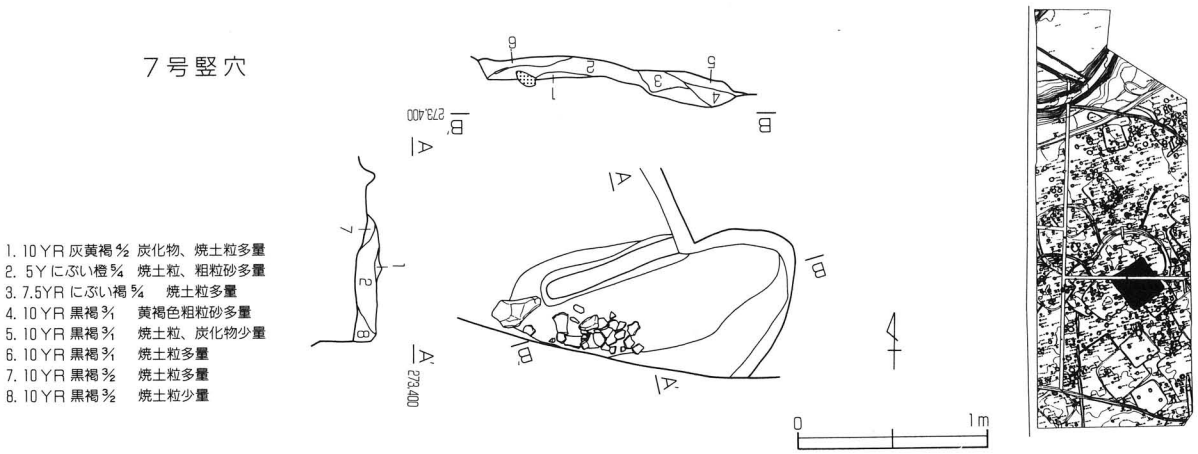



図14　7号竪穴建物跡（1）



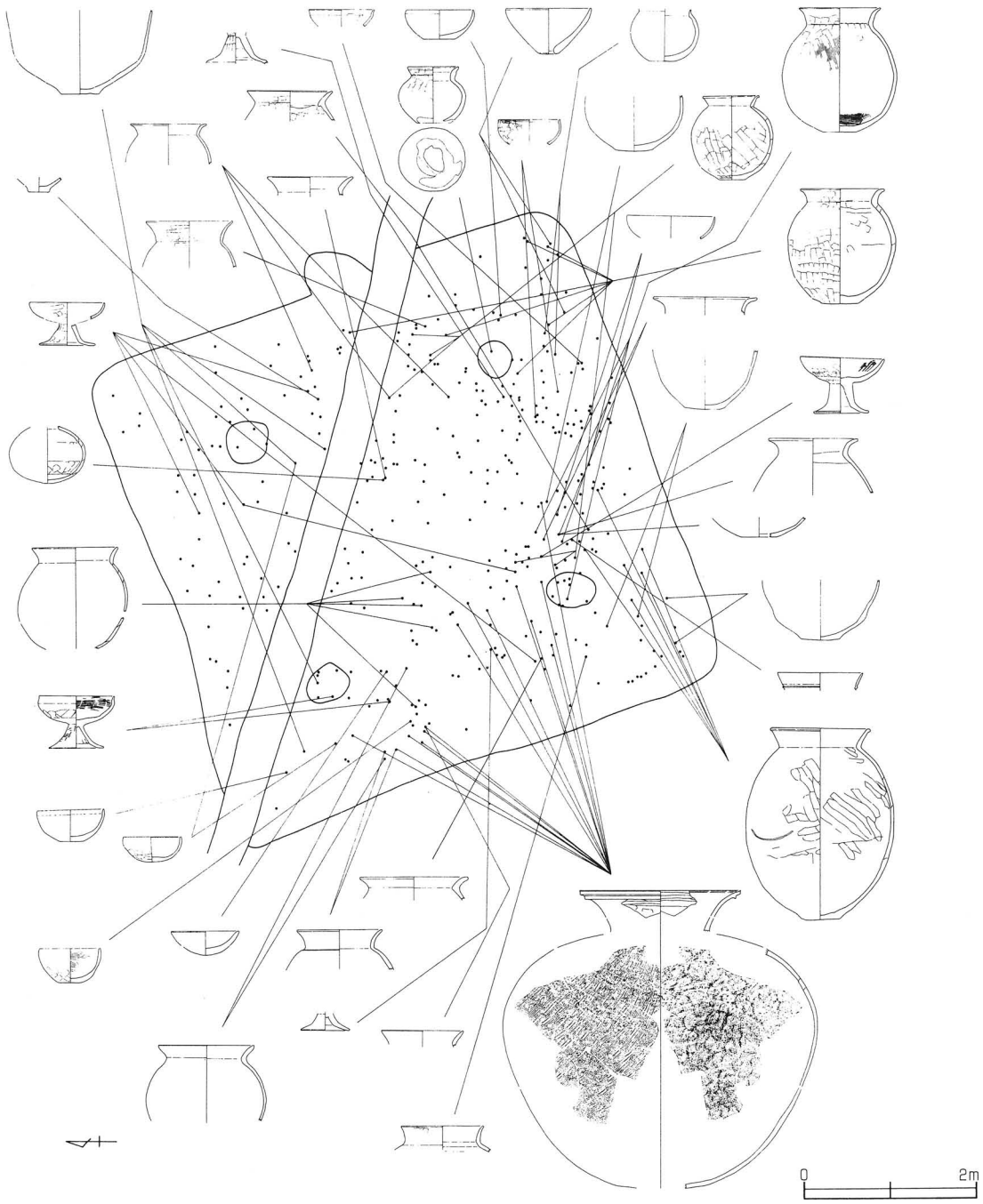




図15　7号竪穴建物跡（2）

俵形の小石が積み置かれた状態で検出された。図化掲載した141～146はその一部で全体では124個体が出土しており、これらは編物用石錘と考えられる。

**8号竪穴建物跡**（遺構：図16・17　遺物：図47）

位　　置：C－10・11グリッド及びD－10・11グリッド

主軸方位：N－56°－E

検出状況：平面形はやや不整形な隅丸方形を呈し、建物規模は南北約0.5m、東西約5.5mを測る。主柱は4本の建物構造であり、炉跡は中央やや北東寄りに位置する。床面は地山からの堆積があったが、明確に貼床とは断定できなかった。

重複関係：16号竪穴建物跡より古く、3号周溝付平地建物跡、14号竪穴建物跡より新しい。ただし、14号竪穴建物跡との時期差はあまりないものと考えられる。

出土遺物：掲載遺物は147～152である。土器小片は多かったが、543号ピットからは149の器台が出土しているが、7号竪穴建物跡で見られた廃絶時の埋納の可能性もある。

**9号竪穴建物跡**（遺構：図18・19　遺物：図48）

位　　置：D－12・13グリッド及びE－12・13グリッド

主軸方位：N－29°－W

検出状況：平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北約4.6m、東西約4.4mで、主柱は4本の建物構造である。本遺構は、炉跡ではなく竈構造に近い形態であり、竪穴建物北壁に接近した位置にある。構造は部分的に土器片を補強材として用いつつ、大部分は粘土で囲いを作る簡易な竈であったが、中央には煮炊きの際に土器の底部を支える支柱石が置かれていた。焚き口は南側と考えられる。

　焼失建物ではないが、竈周辺から東側にかけて炭化物と灰が広がり、中から焼けた獣骨と考えられる骨細片なども検出されている。床面は地山から僅かな堆積土が存在し、竈周辺部分がやや硬化していたが、意図的な貼床であるかは断定できなかった。

重複関係：13号竪穴建物跡、5号土壙より新しい。

出土遺物：掲載遺物は153～163である。13号竪穴建物跡からの混入と考えられるもの以外、前代まで甕類の主力であったS字甕が消滅した時期と考えられる。甕からも台が消え、地床炉から竈への変化と連動した土器構成へと移行している。甕は大小のセットとして捉えられる。

**10号竪穴建物跡**（遺構：図19・20　遺物：図48）

位　　置：B－13・14グリッド及びC－14グリッド

主軸方位：N－26°－E

検出状況：平面形は隅丸長方形を呈し、建物規模は南北約5.2m、東西約4.4mで、やや浅いが主柱4本の建物構造と考えられる。炉跡は建物中央やや北寄りに位置し、周囲には炭化物が面的に見られた。床面は炉跡周辺の炭化物の広がりから推測しつつ掘削を行ったが、はっきり検出することはできなかった。掘り方は、溝状に大きな掘り込みが検出されたが、建物との関係は不明であった。

重複関係：12号溝跡より古い。

出土遺物：掲載遺物は164～178である。この建物跡ではやや時間幅のある土器群がまとまって出土している。S字甕は量的には少ない。

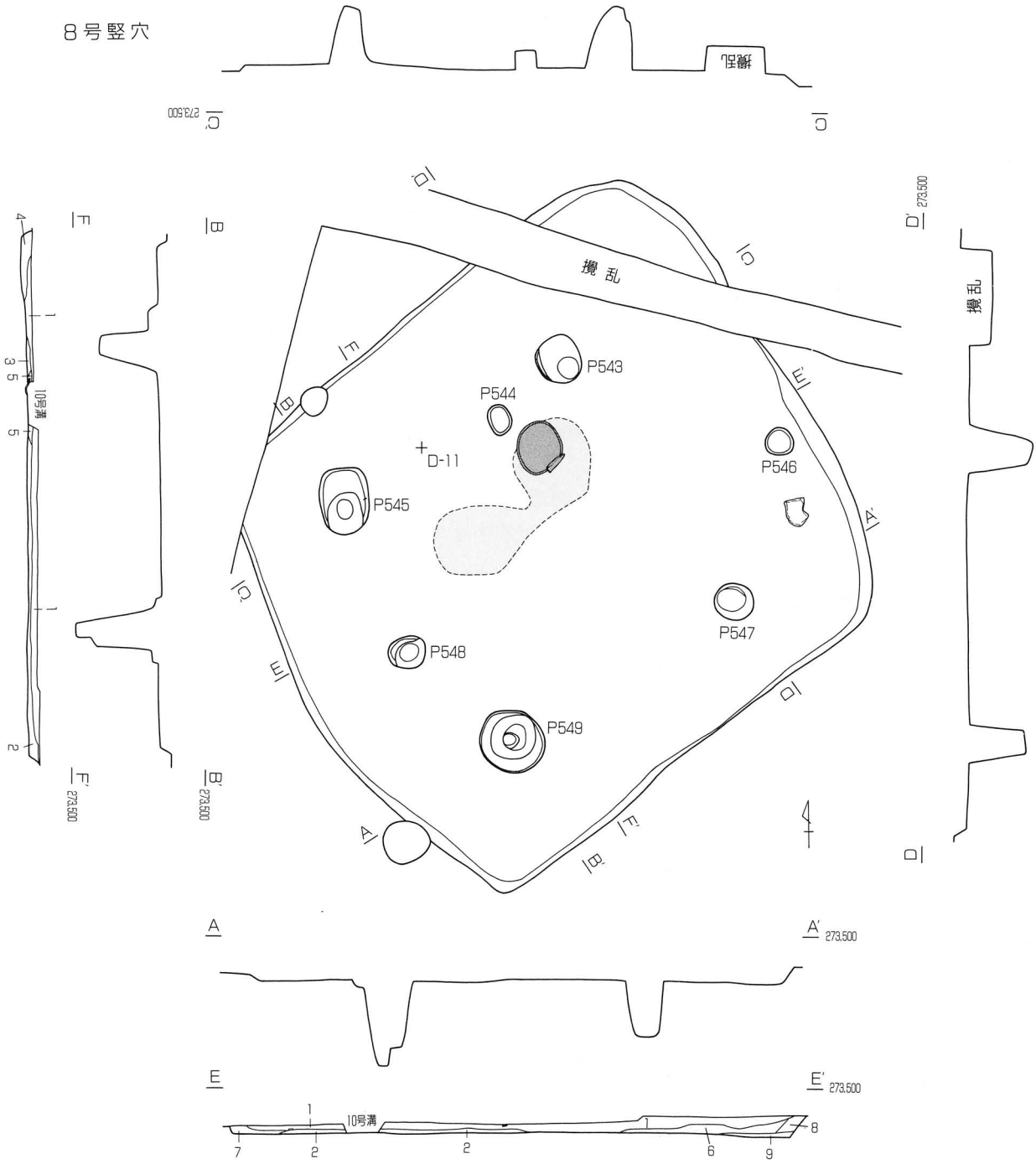



図16　8号竪穴建物跡（1）

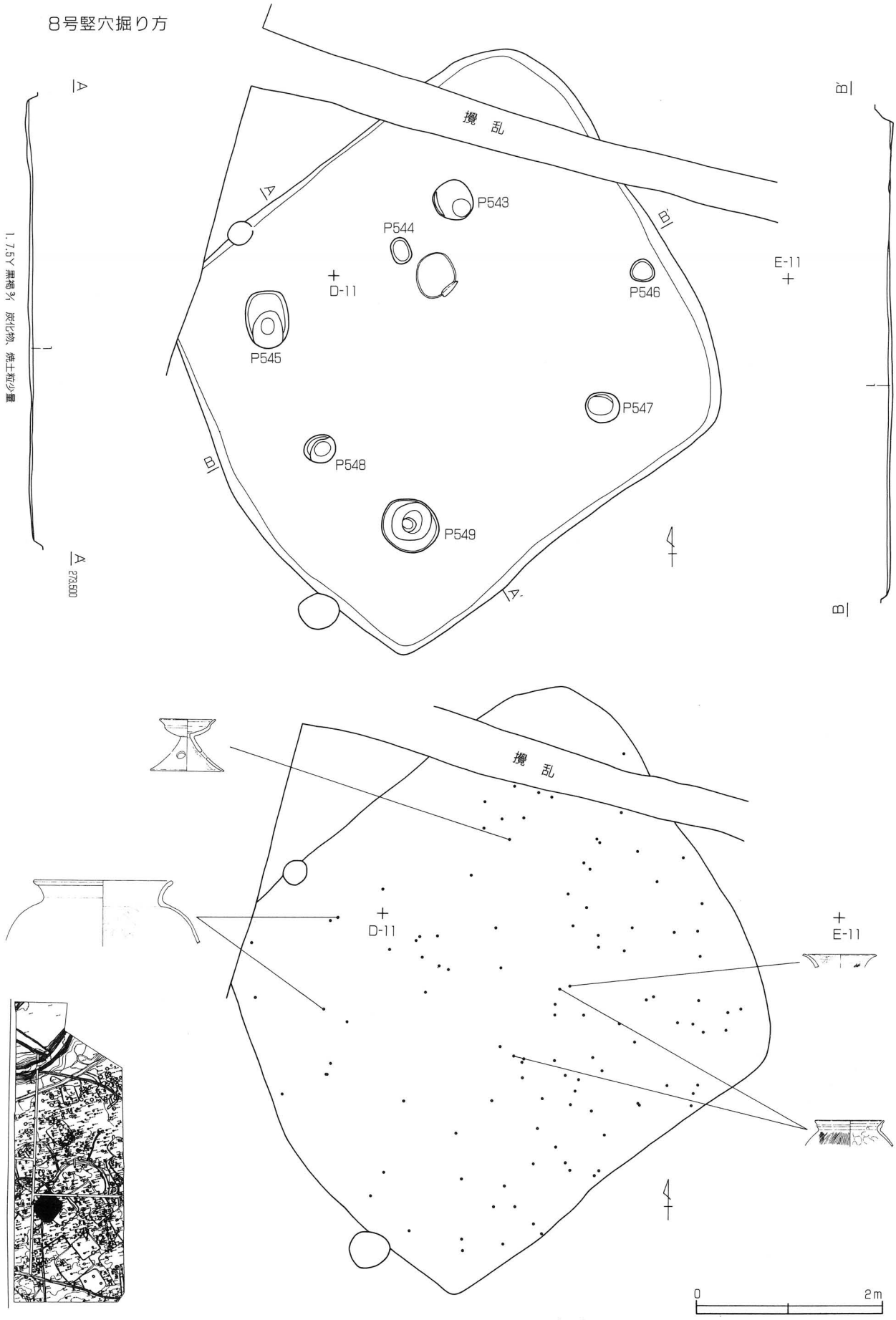



図17　8号竪穴建物跡（1）

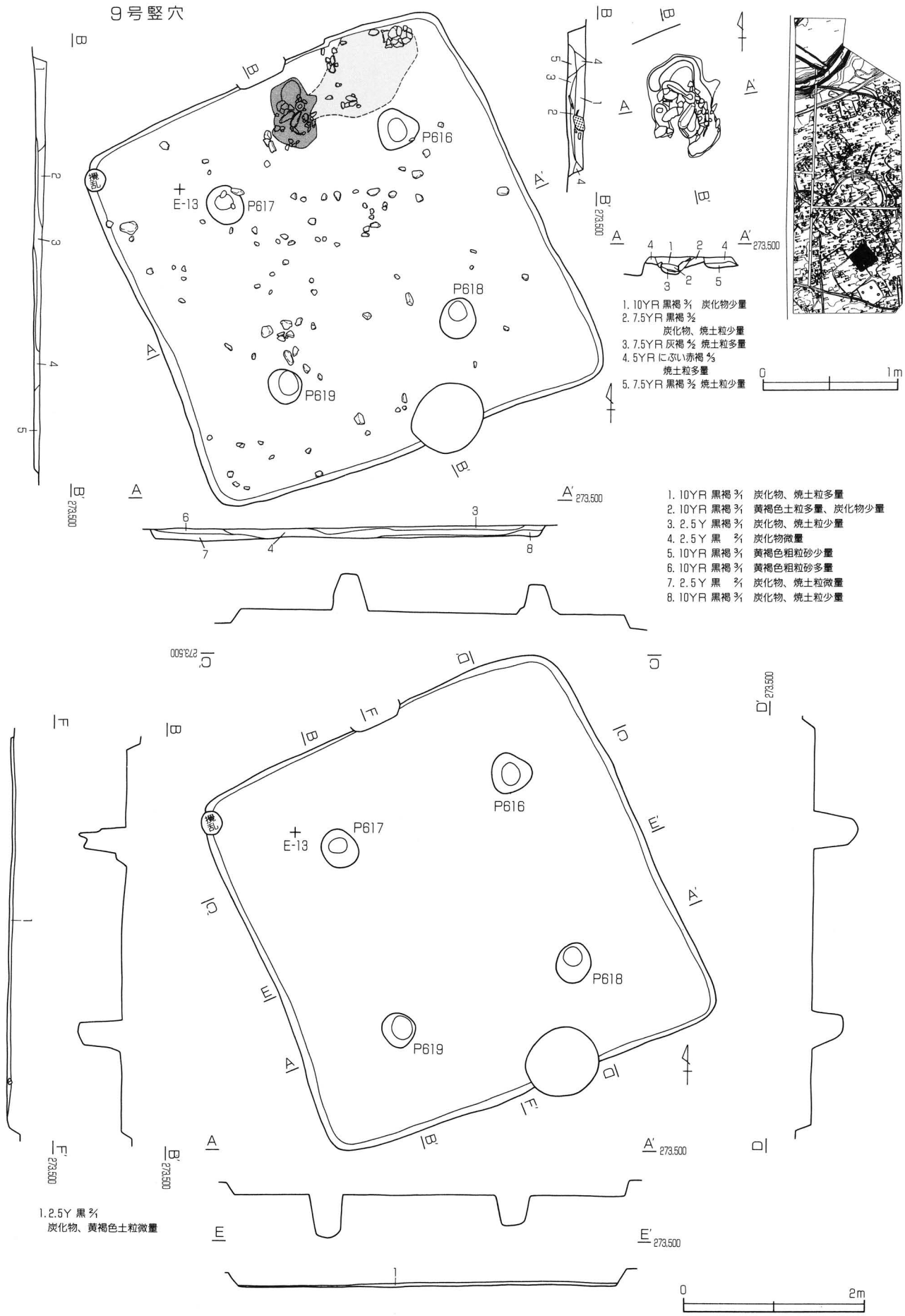

9号竪穴
P616
P617
P618
P619
E-13
撹乱
1. 10YR 黒褐 3/1 炭化物少量
2. 7.5YR 黒褐 3/2 炭化物、焼土粒少量
3. 7.5YR 灰褐 4/2 焼土粒多量
4. 5YR にぶい赤褐 4/3 焼土粒多量
5. 7.5YR 黒褐 3/2 焼土粒少量
1. 10YR 黒褐 3/1 炭化物、焼土粒多量
2. 10YR 黒褐 3/1 黄褐色土粒多量、炭化物少量
3. 2.5Y 黒褐 3/1 炭化物、焼土粒少量
4. 2.5Y 黒 3/1 炭化物微量
5. 10YR 黒褐 3/1 黄褐色粗粒砂少量
6. 10YR 黒褐 3/1 黄褐色粗粒砂多量
7. 2.5Y 黒 3/1 炭化物、焼土粒微量
8. 10YR 黒褐 3/1 炭化物、焼土粒少量
1. 2.5Y 黒 3/1 炭化物、黄褐色土粒微量
273.500
0 1m
0 2m

図18 9号竪穴建物跡

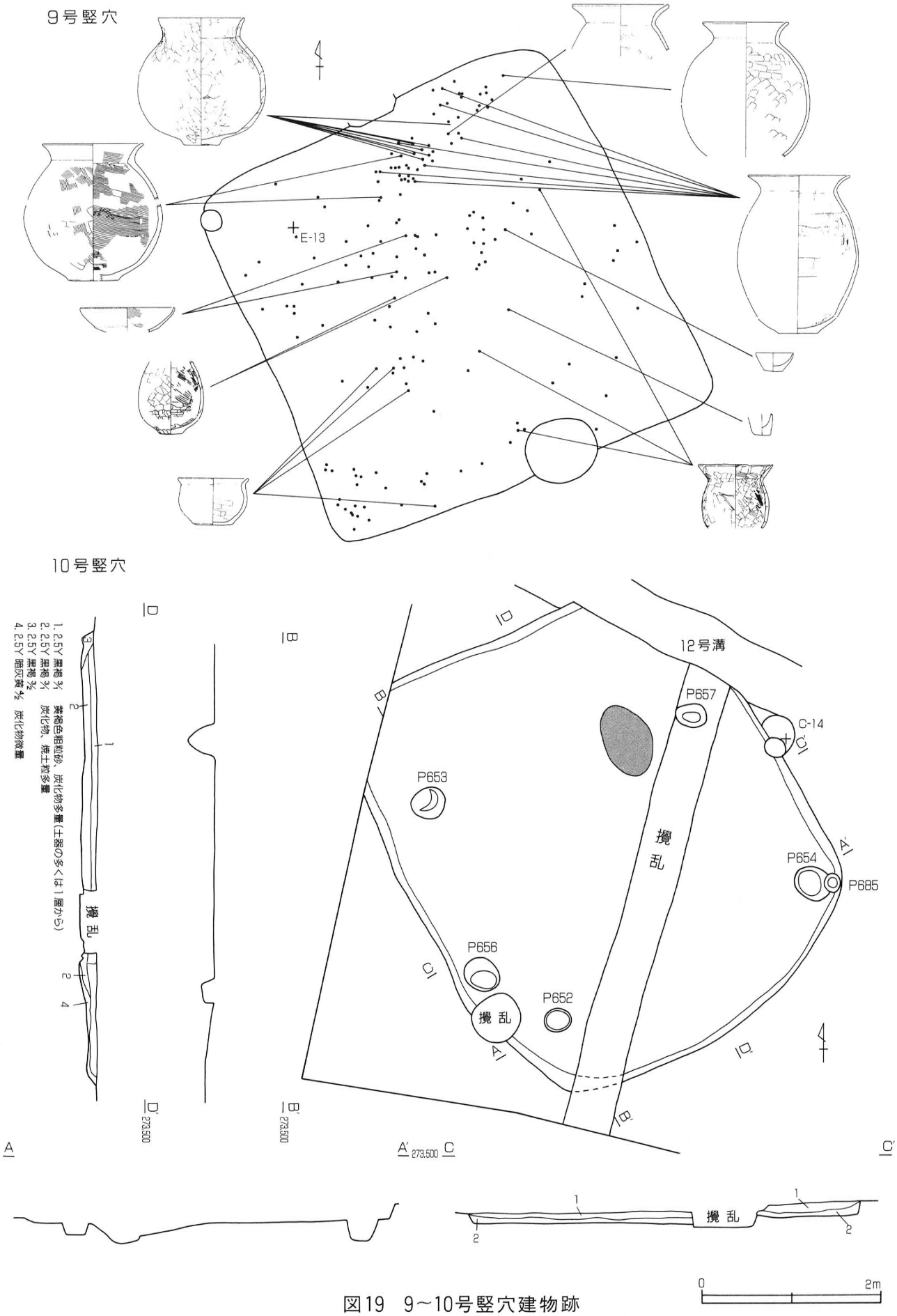



図19　9～10号竪穴建物跡

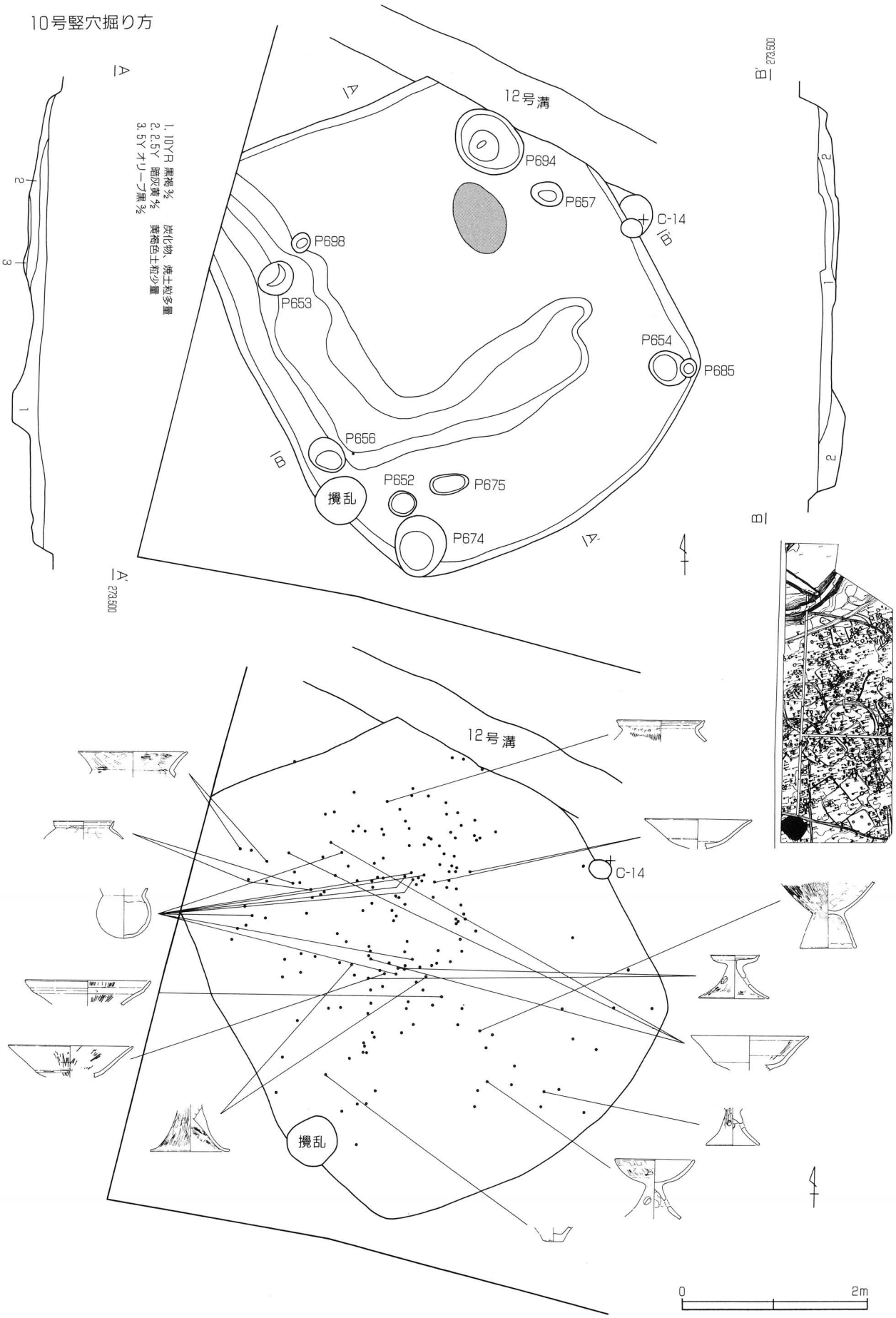



図20　10号竪穴建物跡

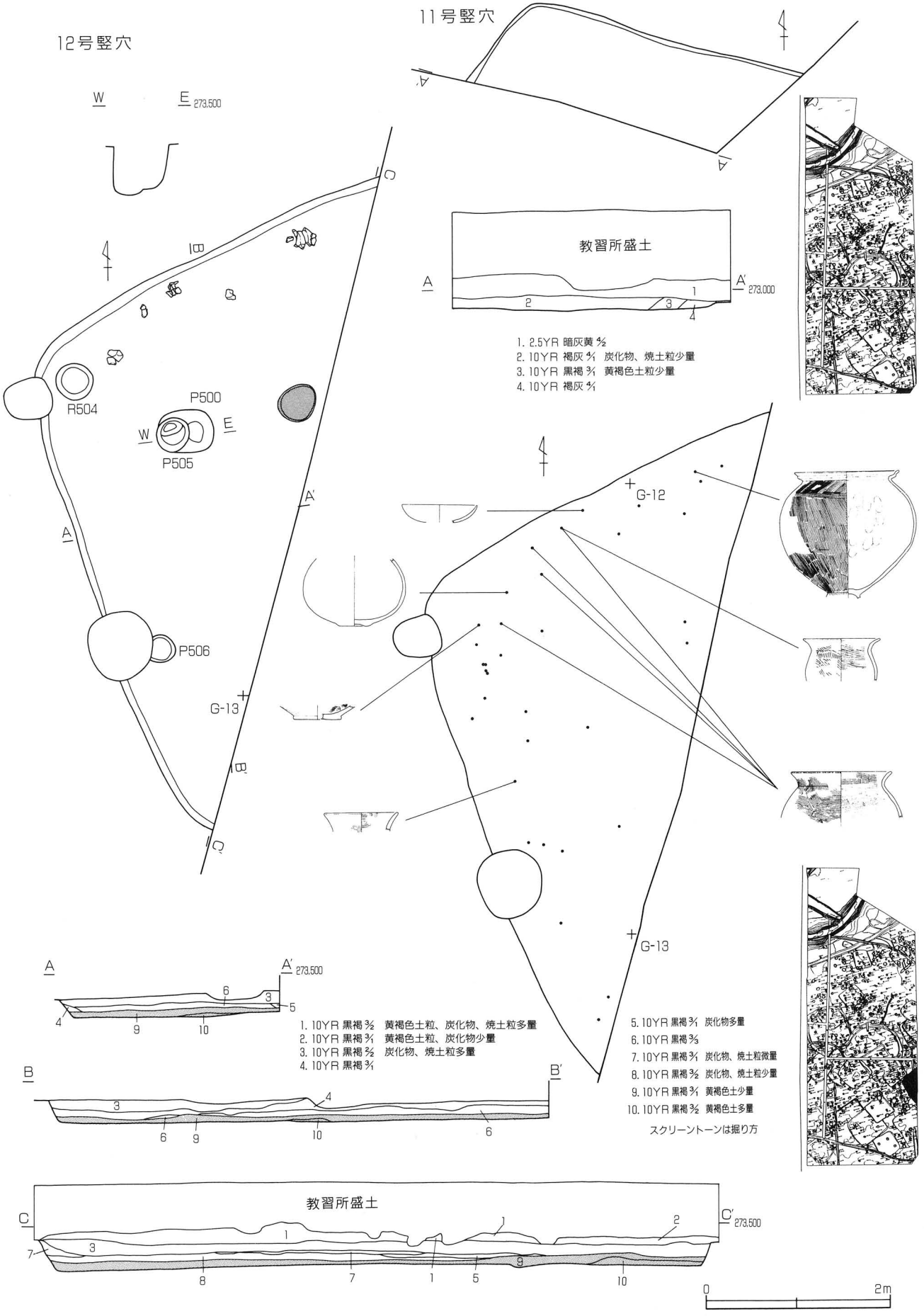



図21　11～12号竪穴建物跡

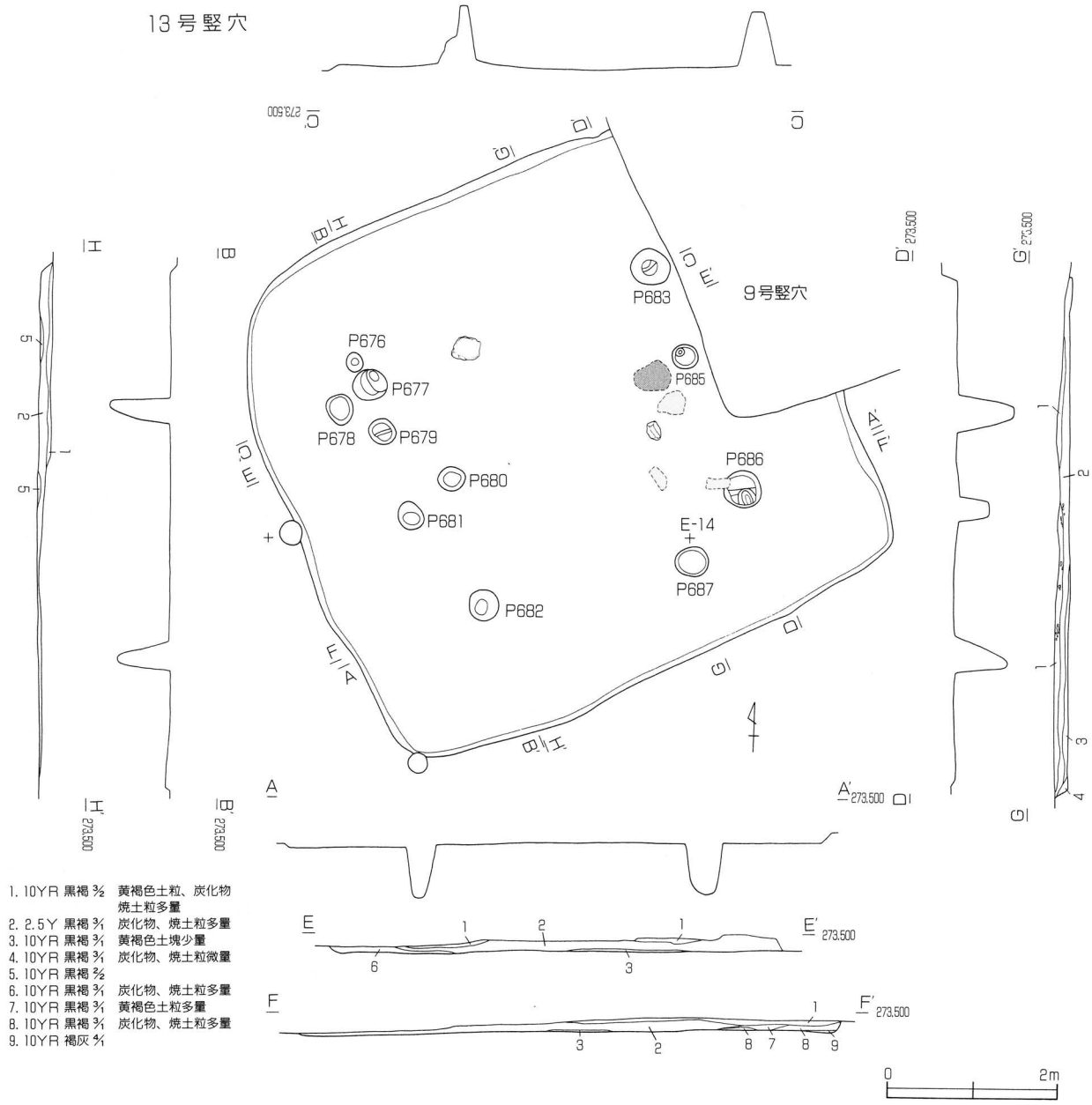



図22　13号竪穴建物跡（1）

**11号竪穴建物跡**（遺構：図21　遺物：掲載なし）

位　　置：E－15及びF－15グリッド

主軸方位：N－56°－E（推定）

検出状況：調査区南東隅で確認された遺構で、一帯が沼地化した段階で浸食されたために掘り込みも浅く、部分的な検出となったが、形状と土層の堆積状況等から竪穴建物跡として取り扱った。建物規模は不明で柱穴や炉・竈等の検出はない。

重複関係：土層観察でも12号溝跡との新旧関係は不明であった。

出土遺物：検出面積に比べ出土数は多かった。しかし、すべて小片であったため掲載はない。

**12号竪穴建物跡**（遺構：図21　遺物：図48）
位　　置：F－12・13グリッド及びG－12グリッド
主軸方位：N－66°－E
検出状況：大部分は調査区外に展開すると考えられるが、検出状況での平面形は隅丸方形で、建物規模は南北約6.0mを図る。柱穴は1基のみ検出され、炉跡等は確認されなかった。床面は若干土を入れて整地された部分も存在したが、意図的に貼床されたものと断定することはできなかった。
重複関係：14号掘立柱建物跡より古く、19号竪穴建物跡より新しい。
出土遺物：掲載遺物は179～185である。土器出土量は多いが、小片であったために接合率は低かった。中でもS字甕片が多いのが特徴であった。

**13号竪穴建物跡**（遺構：図22・23　遺物：図49・50）
位　　置：D－13・14グリッド及びE－13・14グリッド
主軸方位：N－67°－E
検出状況：本調査区内で明確に範囲確認ができる竪穴建物の中で最大規模の竪穴建物跡で、平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北約6.4m、東西約6.8mの主柱4本の建物構造である。炉跡は683号ピットと686号ピットの中間に位置し、周囲に炭化材が点在していた。掘り方段階で建物内周囲を浅く溝状に掘り込んだ痕跡が検出されたが、目的などは不明である。
　本建物跡も沼地による侵食を受け、ほぼ全体が削平された状態であったが、確認段階で建物中央から南側にかけて多量の土器が出土しており、建物廃絶後に一括廃棄されたものと考えられる。北側で何らかの作業に用いたと考えられる河原石が出土しており、7号竪穴建物同様付近が作業場であった可能性がある。
重複関係：9号竪穴建物跡より古く、11号溝跡、20号竪穴建物跡より新しい。
出土遺物：掲載遺物は186～216である。S字甕を中心にまとまって出土状況であったが、破片が細かいため思ったほど接合できなかったため、掲載できた遺物は意外と少なかった。この段階ではS字甕の大小セットが確実に成立している。

**14号竪穴建物跡**（遺構：図24・25　遺物：図50）
位　　置：C－10・11グリッド
主軸方位：N－52°－E
検出状況：南西側は調査区に切られているが、平面形は隅丸長方形を呈し、建物規模は南北約4.6m、東西約5.4mで、主柱は4本の建物構造である。炉跡はほぼ中央に位置する。床面には硬化したところはなく、明瞭な貼床も確認できなかった。
重複関係：8号竪穴建物跡、2号土壙より古く、17号溝跡、2・3号周溝付平地建物跡より新しい。
出土遺物：掲載遺物は217～222である。

**15号竪穴建物跡**（遺構：図26　遺物：図50）
位　　置：E－13・14グリッド及びF－13・14グリッド
主軸方位：N－18°－W
検出状況：調査区東壁に切られ、沼地による削平を受けたため、検出状態は不良であった。特に建物南側の線はほぼ推定であり、正確な全体規模は不明である。主柱は3本が確認され、炉跡らしき焼土集中箇所が2基検出され、周囲には炭化材が点在していた。

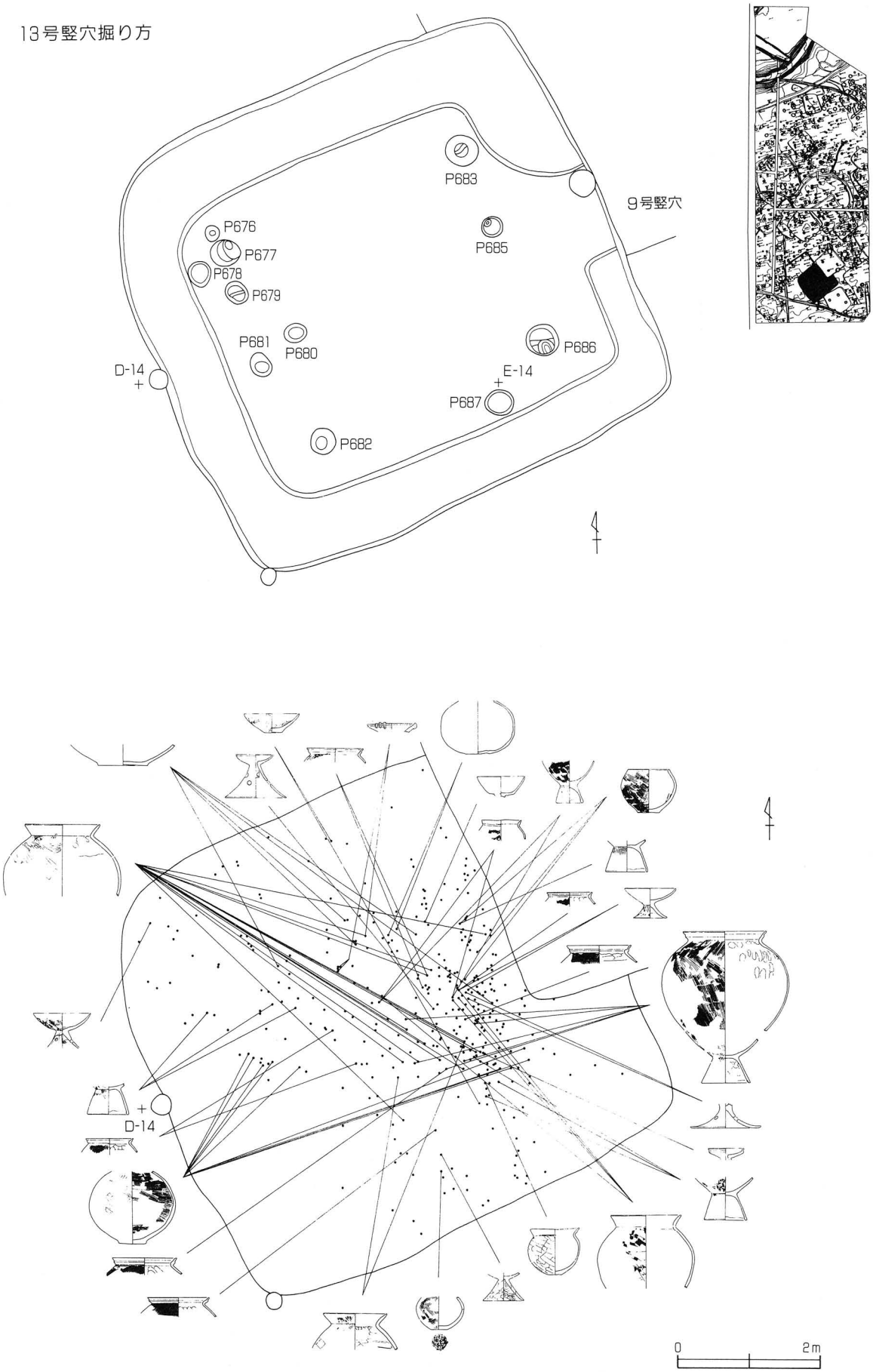



図23　13号竪穴建物跡（2）

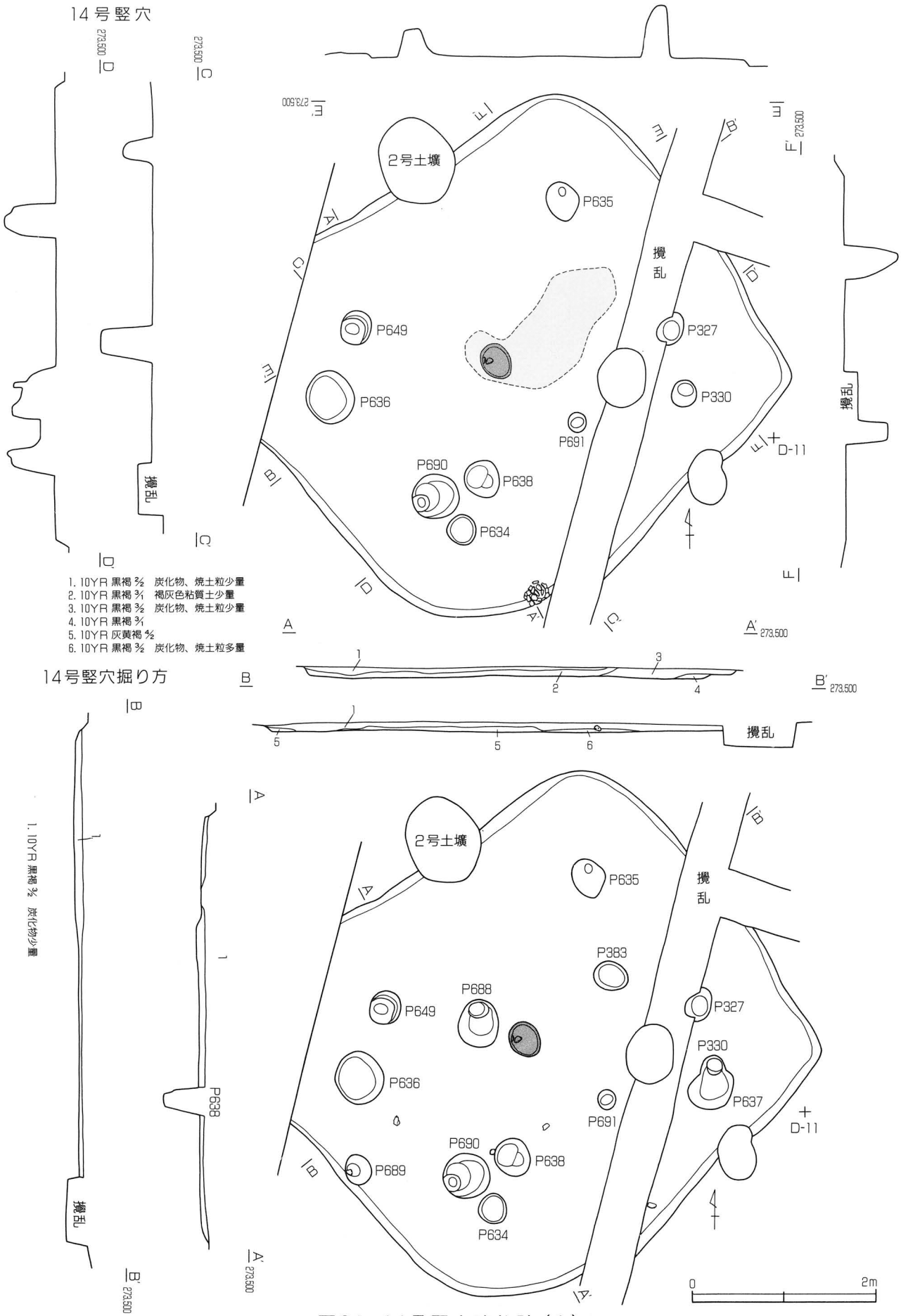



図24　14号竪穴建物跡（1）

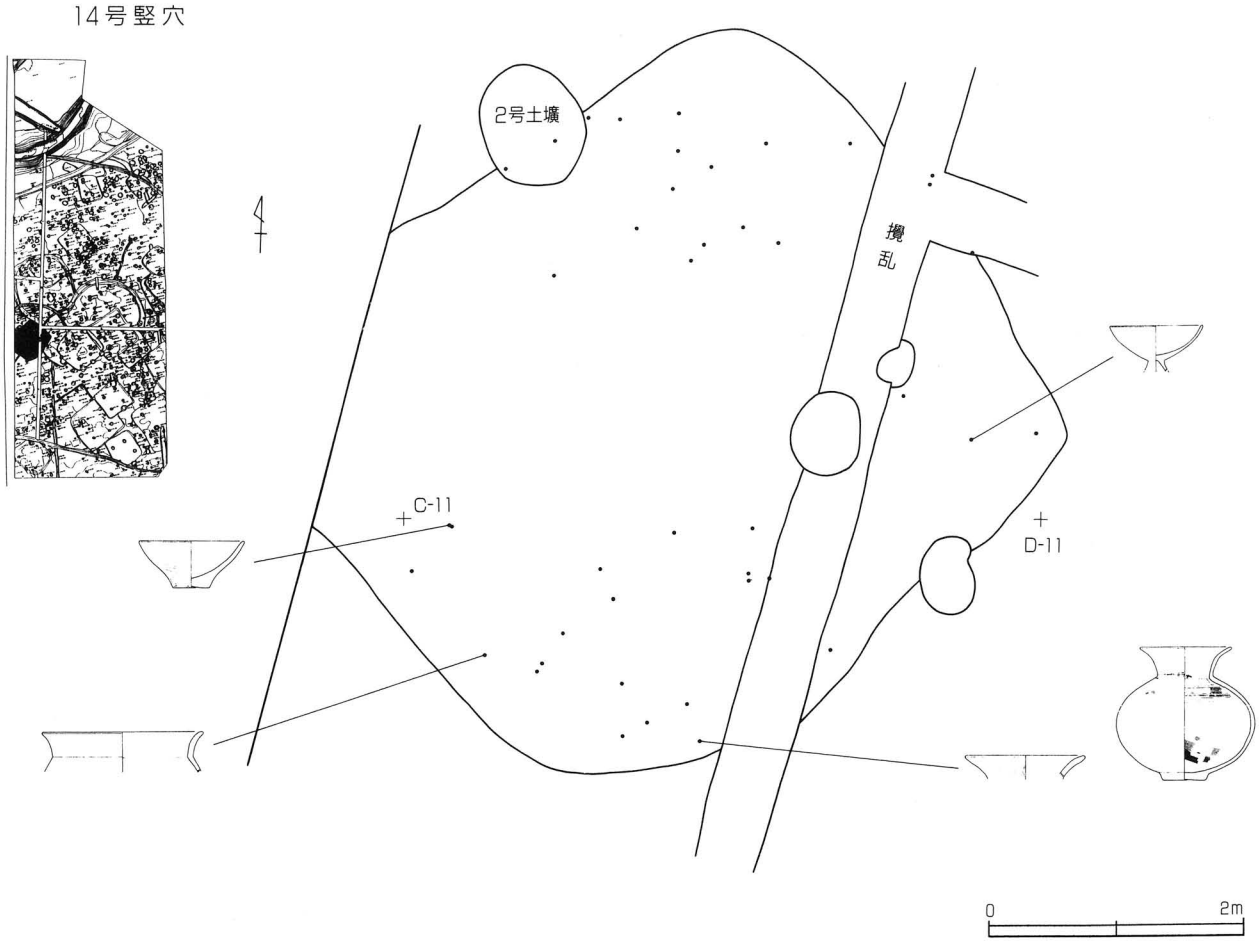



図25　14号竪穴建物跡（2）

重複関係：19号竪穴建物跡より新しい。22号掘立柱建物跡、８号土壙との新旧関係は不明である。

出土遺物：掲載遺物は223～229である。大きく２時期の遺物が混在しているため、19号竪穴建物跡の遺物が混入したか、あるいは２基の炉跡の存在からも、建物推定範囲内に別にもう１棟重複する竪穴建物が存在した可能性もある。

**16号竪穴建物跡**（遺構：図27・28　遺物：図50）

位　　置：Ｄ－10・11グリッド及びＥ－11グリッド

主軸方位：Ｎ－65°－Ｅ

検出状況：調査段階では８号竪穴建物跡との重複が定かではなく、結果的に８号竪穴建物跡より古いと判断したが、出土遺物からみる限りはそれほど時間差がないと考えられる。平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北約5.7ｍ、東西約5.8ｍである。主柱は４本の建物構造で、炉跡は建物中央に位置し、周囲に炭化物が面的に広がっていた。

床からは硬化面も確認できなかったが、掘り方までに比較的厚く土層堆積し、上層の炉跡直下にも部分的に炭化物等の集中が確認されたことから、この建物跡については、建替えが行われた可能性が高い。

重複関係：７号竪穴建物跡、17号掘立柱建物跡より古く、８号竪穴建物跡、３号周溝付平地建物跡より新しい。16号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：掲載遺物は230～242である。Ｓ字甕の段階であるが、若干古い土器も混入している。

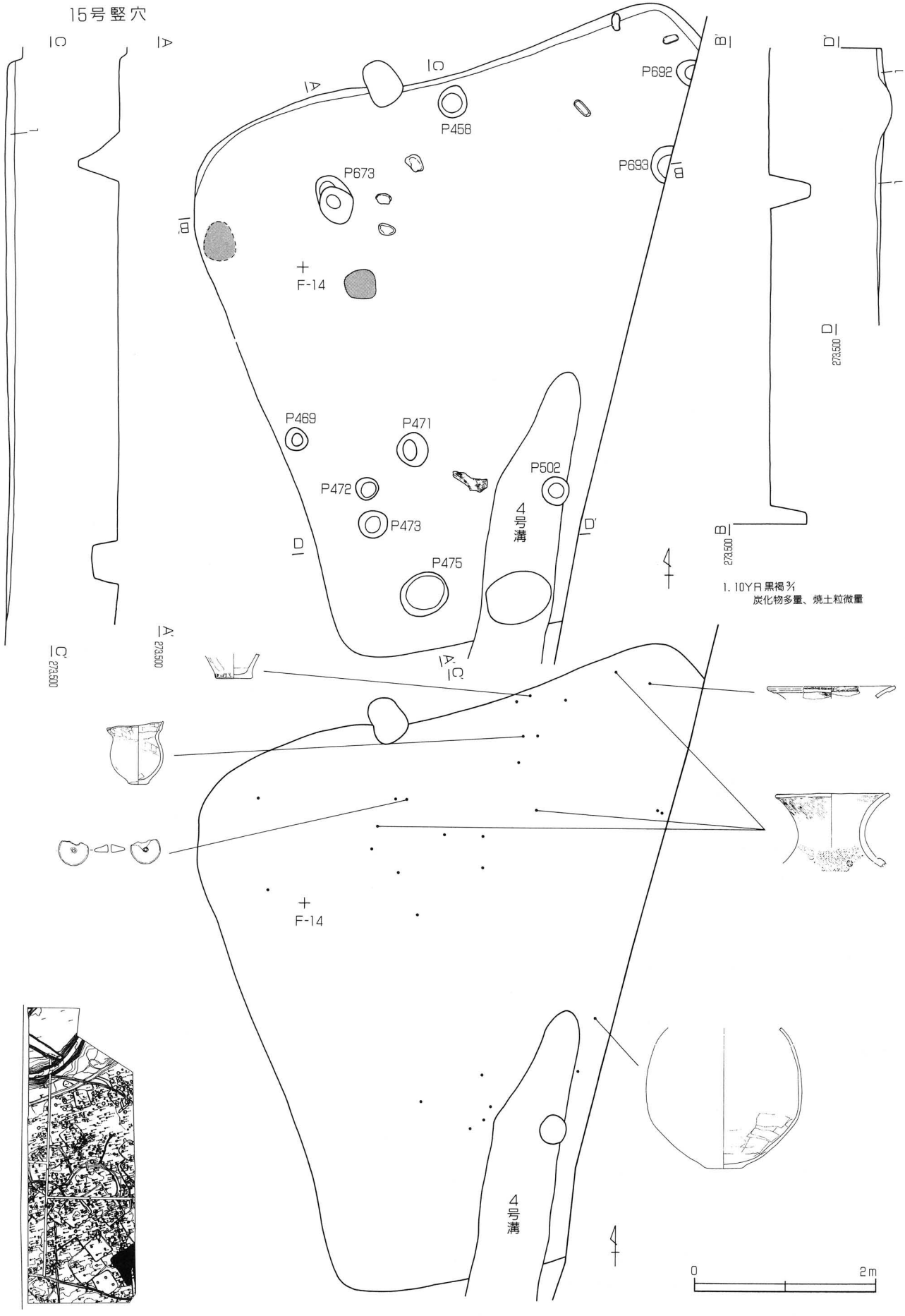



図26　15号竪穴建物跡

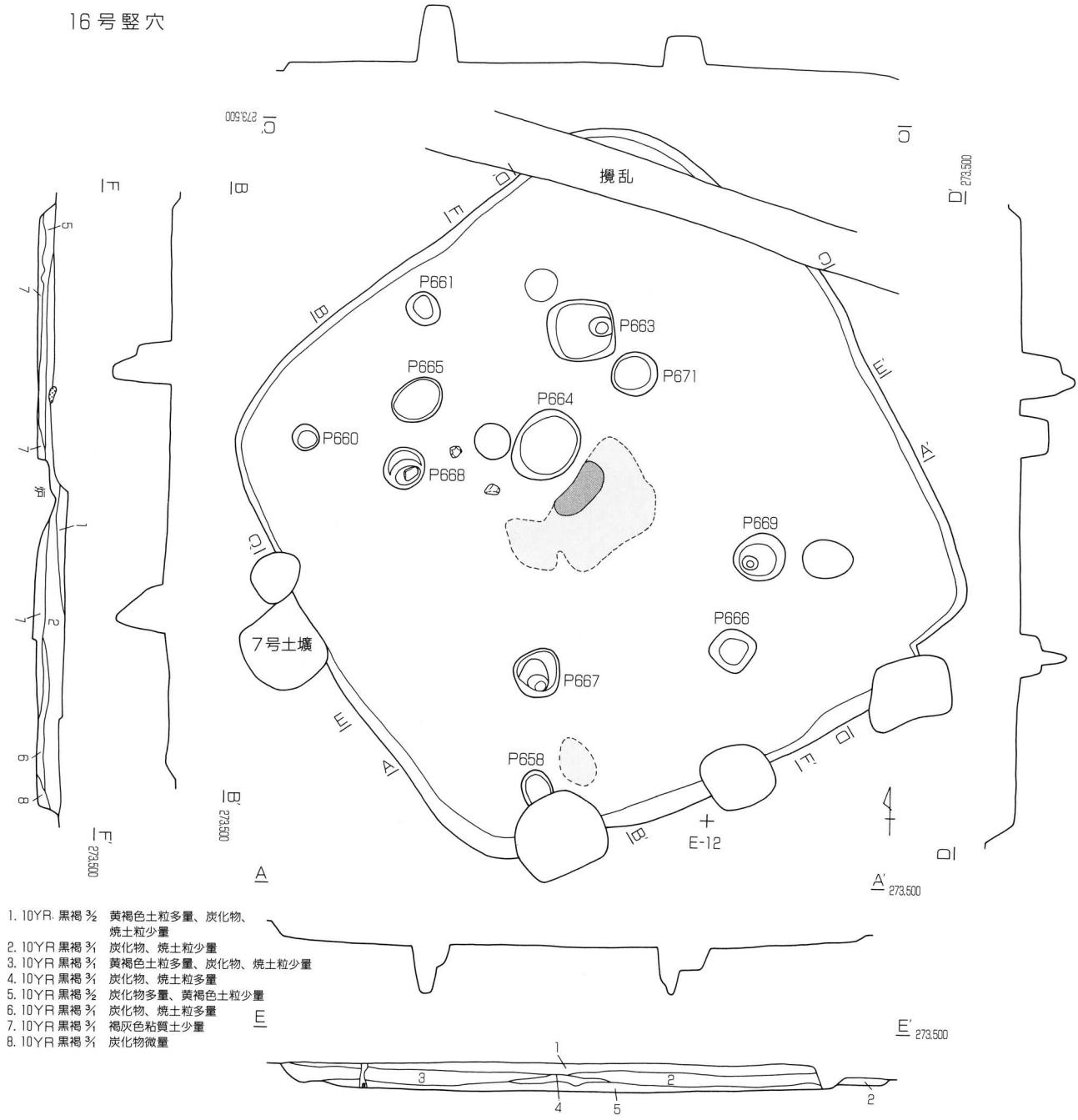



図27　16号竪穴建物跡（1）

**17号竪穴建物跡**（遺構：図29　遺物：図51）

位　　置：E－11・12グリッド及びF－11・12グリッド

主軸方位：N－69°－E

検出状況：7号竪穴建物跡に北側半分を大きく切られているが、平面形は隅丸方形を呈し、建物規模は南北4.0m以上、東西約4.8mである。主柱は2本のみ確認されたが、北側については不明であった。9号竪穴建物跡同様炉ではなく竈構造に近い形態で、東壁に近接した場所に位置する。竈焚き口は西側と考えられ、竈東壁近くに支柱石が存在した。床面は全体にやや硬化した状況であったが、貼床等は確認されなかった。

重複関係：7号竪穴建物跡より古く、1号周溝付平地建物跡より新しい。

出土遺物：出土遺物は少なく、掲載できたのは竈付近から出土した243のみであった。

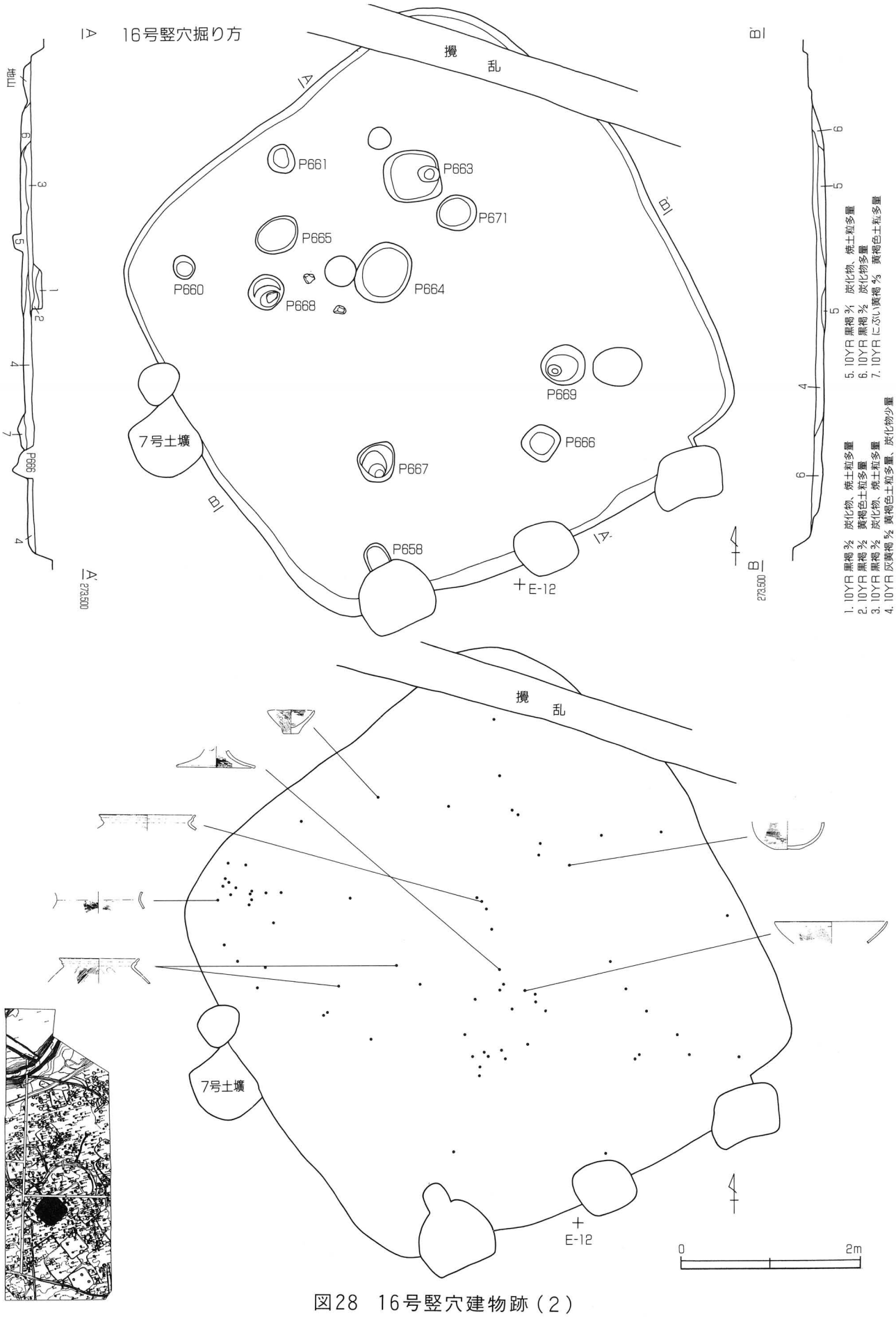



図28 16号竪穴建物跡（2）

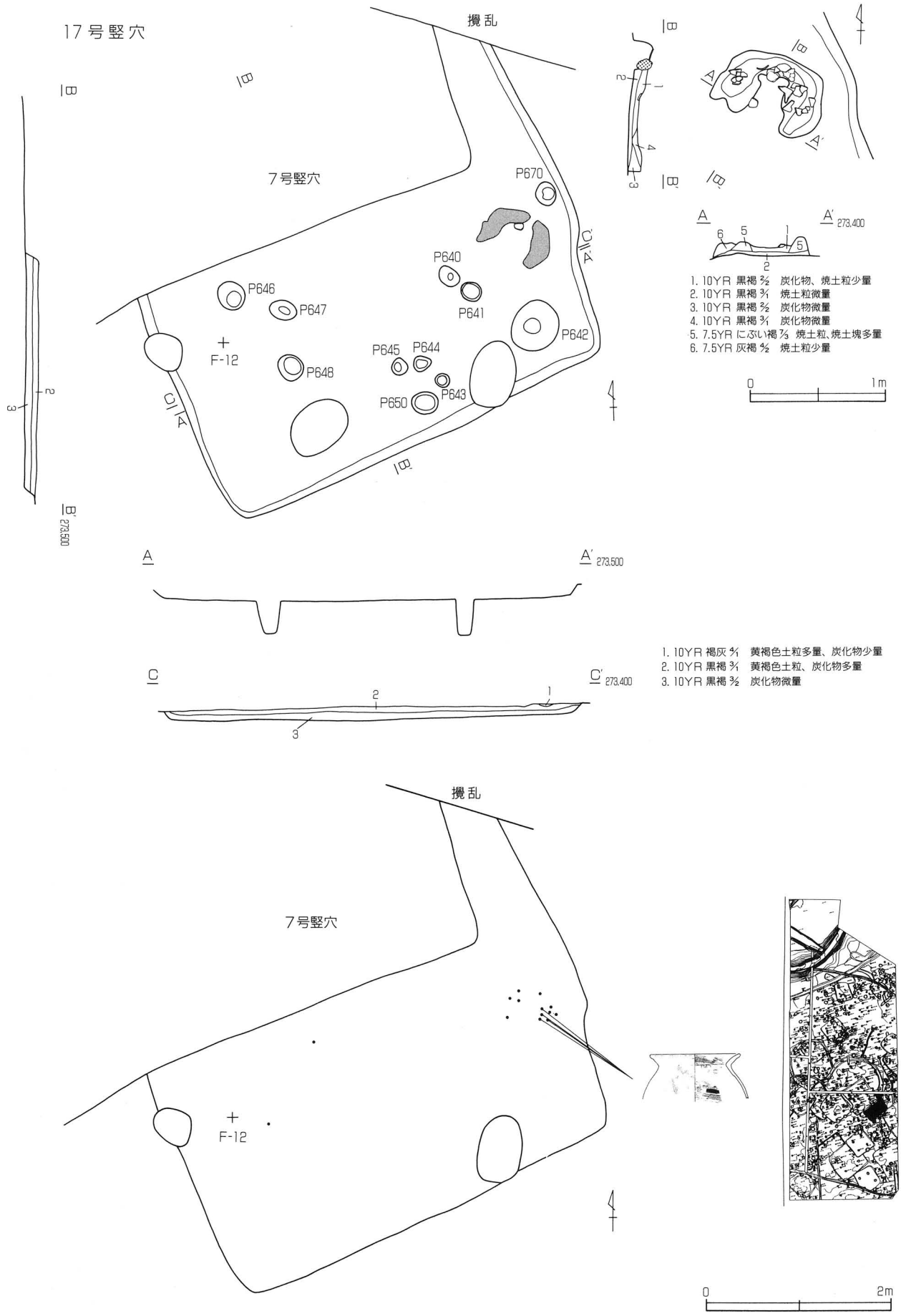



図29 17号竪穴建物跡

**18号竪穴建物跡**（遺構：図30　遺物：掲載なし）
位　　置：B－13グリッド
主軸方向：N－58°－E（推定）
検出状況：大部分が調査区西壁外に展開していると考えられ、検出されたのは南東隅のみであった。本遺構については確実に竪穴建物跡であると断定できる材料はないが、形状と周囲の状況から竪穴建物跡として番号を付した。
重複関係：12号溝跡より古い。
出土遺物：土器小片が数点出土した。

**19号竪穴建物跡**（遺構：図30　遺物：掲載なし）
位　　置：F－13グリッド
主軸方向：N－38°－E（推定）
検出状況：12・15号竪穴建物跡と重複し、大部分は調査区東壁外に展開していると考えられ、検出されたのは南西隅のみであった。18号竪穴建物跡同様確実に竪穴建物跡であると断定できる材料はないが、形状と周囲の状況から竪穴建物として番号を付した。
重複関係：12・15号竪穴建物跡より古い。
出土遺物：出土遺物なし。

**20号竪穴建物跡**（遺構：図30　遺物：図51）
位　　置：D－14グリッド及びE－14・15グリッド
主軸方位：N－12°－E
検出状況：上面は沼地による侵食を受けて削平されていたため、確認時にはほぼ床面が現れている状況であった。平面形はやや不整形な隅丸方形を呈し、建物規模は南北約4.8m、東西約4.4mを測る。主柱は4本検出され、炉跡は建物中央に位置する。
重複関係：12号溝跡、13号竪穴建物跡より古い。22号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：掲載遺物は244～245である。僅かに残されていた覆土部分から少量出土している。

**（3）掘立柱建物跡**

掘立柱建物跡は全体で22棟を確認したが、以下に記載する柱間はすべて中心からの距離で計測している。

**1号掘立柱建物跡**（遺構：図31　遺物：掲載なし）
位　　置：G－6・7グリッド～H－6・7グリッド
主軸方位：N－28°－W　柱穴：26・41・50・223・271号ピット
検出状況：北東部は調査区外であるが、5基の柱穴を検出している。平面形は長方形を呈し、長軸は北西から南東方向へ約4.6m、短軸は北東から南東へ約4.0mを測る。柱穴平面形は円形及び方形で、223号ピットには僅かではあるが礎板が残存していた。なお、26・223号ピットは同規模の柱穴と重複し、50号ピットも掘り方が大きいことから、この建物は建替えがあった可能性がある。
重複関係：1号竪穴建物跡、7・9号溝跡より新しい。2号掘立柱建物跡、1号柱穴列、8号溝跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：H－7グリッドを中心に高坏を主体とする土器の集中個所が存在したが、この建物に収納されていた土器の可能性もある。271号ピットから土器が多量に出土している。

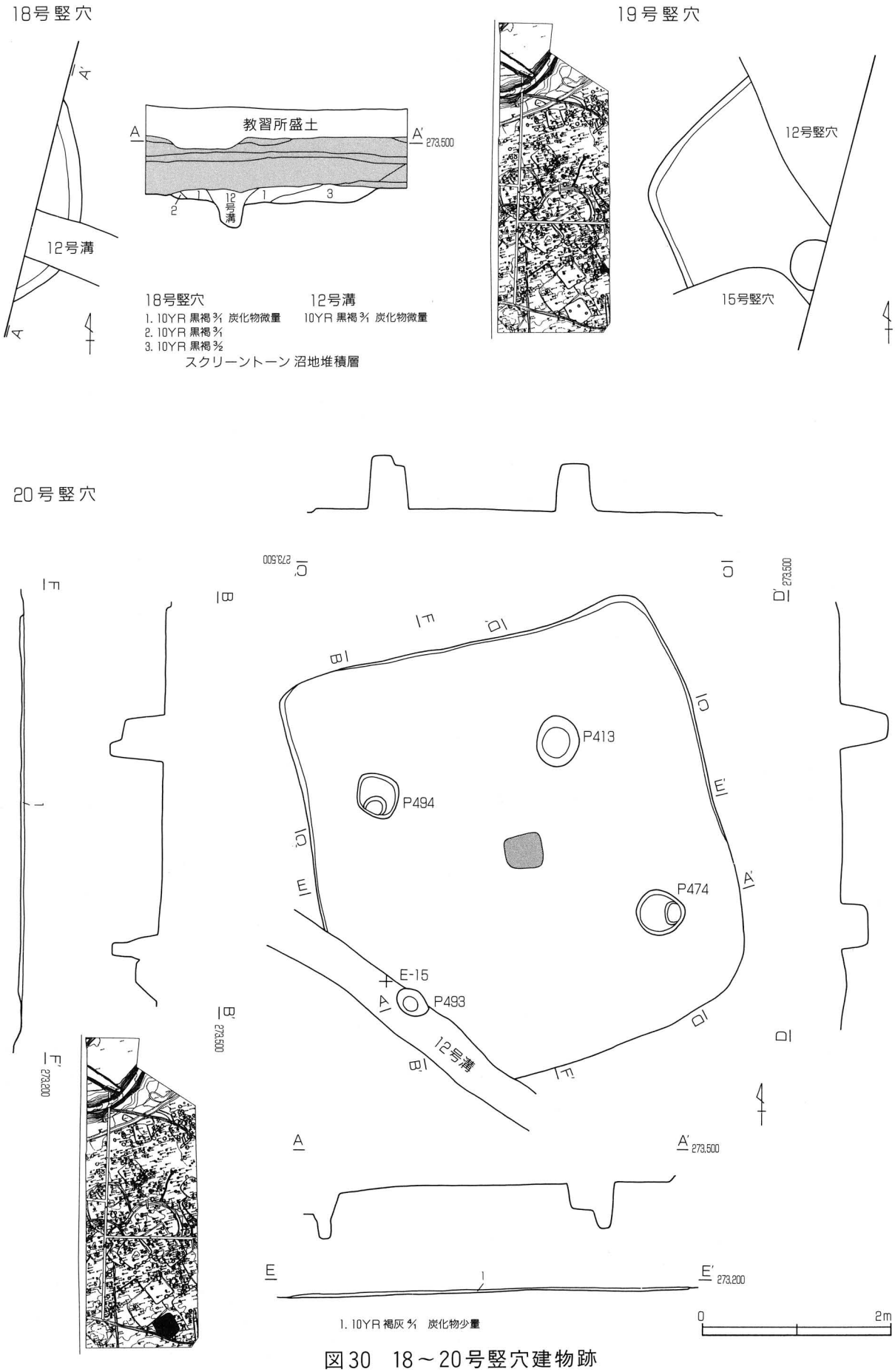



図30　18～20号竪穴建物跡

**2号掘立柱建物跡**（遺構：図31・遺物：掲載なし）
位　　置：F－6・7グリッド～G－6・7グリッド
主軸方位：N－70°－E　柱穴：11・21・28・259・268号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、長軸は北東から南西へ約4.2m、短軸は北西から南東へ約3.0mを測る。柱穴数は5基であり、柱穴平面形は円形で28・68号ピット間には柱穴は確認されなかった。
重複関係：1号竪穴建物跡、1号掘立柱建物跡、1号柱穴列との新旧関係は不明である。
出土遺物：11・28号ピットから土器片微量が出土している。

**3号掘立柱建物跡**（遺構：図31・遺物：掲載なし）
位　　置：E－6・7グリッド～F－6・7グリッド
主軸方位：N－70°－E　柱穴：49・79・143・206・208・226号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、長軸は北東から南西へ約3.0m、短軸は北西から南東へ約2.6mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は方形で206・226号ピットからは礎板が検出された。206ピットの礎板は残存状況が不良で木片の一部のみ確認されたが、226号ピットの礎板は、木片自体は薄皮一枚で残存していた状況であったが、辛うじて範囲確認は可能な状態であった。
重複関係：2号竪穴建物跡より新しい。4号掘立柱建物跡、4号柱穴列との新旧関係は不明である。
出土遺物：すべてのピットから土器片少量が出土しているが、時期を確定できる資料は見当たらなかった。

**4号掘立柱建物跡**（遺構：図31・遺物：掲載なし）
位　　置：E－6・7グリッド～F－6・7グリッド
主軸方位：N－84°－E　柱穴：40・58・82・83・84・231号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、長軸は東から西へ約3.4m、北から南へ約2.8mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は円形及び楕円形である。
重複関係：2号竪穴建物跡より新しい。3・5号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：58・83・84・231号ピットから土器が微量出土している。

**5号掘立柱建物跡**（遺構：図32・遺物：掲載なし）
位　　置：E－7・8グリッド～F－7・8グリッド
主軸方位：N－40°－E　柱穴：17・42・43・65・71・73・94・145号ピット
検出状況：建物平面形は正方形を呈し、一辺が約4.2mを測る。柱穴数は8基であり、柱穴平面形はすべて円形であった。本建物の時期や性格は不明であるが、周溝付平地建物跡と類似した規模、軸線であることから、関連する建物である可能性が考えられる。
重複関係：2・3号竪穴建物跡、4号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：17・43・65・71・73・94・145号ピットから土器が微量出土している。

**6号掘立柱建物跡**（遺構：図32・遺物：掲載なし）
位　　置：D－7・E－7グリッド
主軸方位：N－77°－E　柱穴：100（142）・111・135・139（147・165）号ピット
検出状況：建物平面形は正方形を呈し、一辺が約2.5mを測る。柱穴は4基で構成され、柱穴平面形は重複もあるためやや不整形となっているが円形及び方形で、うち111号ピットか

らは礎板が検出されている。また、100・142号ピットと139・147・165号ピットはそれぞれ重複関係にあり、建替えられた可能性も考えられる。
重複関係：５号柱穴列との新旧関係は不明である。
出土遺物：111・139号ピットから土器が微量出土している。

**７号掘立柱建物跡**（遺構：図32・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｃ－７・８グリッド～Ｄ－７グリッド
主軸方位：Ｎ－68°－Ｅ　柱穴：110・129・131・185号ピット
検出状況：北西部分が調査区外に延びると考えられるが、建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北西から南東へ約3.8ｍ、北東から南西へ約3.0ｍを測る。柱穴数は４基のみ確認され、柱穴平面形は円形である。
重複関係：５号柱穴列より古い。
出土遺物：129号ピットから土器が微量出土している。

**８号掘立柱建物跡**（遺構：図32・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｆ－８・９グリッド
主軸方位：Ｎ－36°－Ｅ　柱穴：88・90・122・124号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約2.6ｍ、北西から南東へ約1.7ｍを測る。柱穴数は４基であり、柱穴平面形は円形である。
重複関係：９・10・11号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：88・90・124号ピットから土器が微量出土している。

**９号掘立柱建物跡**（遺構：図32・遺物：図51）
位　　置：Ｅ－８・９グリッド～Ｆ－８・９グリッド
主軸方位：Ｎ－24°－Ｗ　柱穴：123・170・174・189・197・603号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北西から南東へ約4.8ｍ、北東から南西へ約3.8ｍを測る。柱穴数は６基であり、柱穴平面形は円形である。近接する10号掘立柱建物跡と併行関係にあり、同時期の可能性がある。
重複関係：５号溝跡より新しく、１号周溝付平地建物跡、８・11号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：170号ピットから265の坏が出土している。

**10号掘立柱建物跡**（遺構：図33・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｆ－８・９グリッド
主軸方位：Ｎ－25°－Ｗ　柱穴：86・87・98・119・120・152号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北西から南東へ約3.4ｍ、北東から南西へ約2.7ｍを測る。柱穴数は６基であり、柱穴平面形は円形である。近接する９号掘立柱建物跡と併行関係にあり、同時期の可能性がある。
重複関係：５号溝跡、８・11号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：98・119・120号ピットから土器が微量出土している。

**11号掘立柱建物跡**（遺構：図33・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｅ－８・９グリッド～Ｆ－８・９グリッド
主軸方位：Ｎ－69°－Ｅ　柱穴：97・116・125・146・173・180号ピット

検出状況：建物平面形は長方形を呈し、北東から南西へ約2.6m、北西から南東へ約2.6mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は円形及び楕円形である。
重複関係：8・9・10号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：97・116・125・180号ピットから土器が少量出土している。

**12号掘立柱建物跡**（遺構：図33・遺物：掲載なし）
位　　置：G10・11グリッド
主軸方位：N－66°－E　柱穴：326・393・631号ピット
検出状況：検出された柱穴数は3基のみで大部分が調査区外に展開しているものと考えられるが、重複する13号掘立柱建物跡の柱穴規模との類似性から、長軸は北東から南西方向と予測される。検出範囲内で北西から南東へ約3.3m、北東から南西へ約2.5mを測る。柱穴平面形は円形及び方形である。
重複関係：6号竪穴建物跡より古い。13号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：326・631号ピットから土器が微量出土している。

**13号掘立柱建物跡**（遺構：図33・遺物：掲載なし）
位　　置：F－11グリッド～G－10・11グリッド
主軸方位：N－63°－E　柱穴：291・373・396・550・623号ピット
検出状況：南東部は調査区外に展開すると考えられるが、柱穴規模は約0.7mと掘立柱建物跡の中でも大型であり、平面形は円形及び方形である。建物平面形は長方形で、建物規模は北東から南西へ約4.5m、北西から南東へ約2.6mを測り、5基の柱穴が検出されている。
重複関係：6号竪穴建物跡より古く、1号周溝付平地建物跡より新しい。12号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：373・550号ピットから土器が微量出土している。

**14号掘立柱建物跡**（遺構：図34・遺物：掲載なし）
位　　置：E－12・13グリッド～F－12・13グリッド
主軸方位：N－70°－E　柱穴：372・378・407・411・444・448号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約3.8m、北西から南東へ約3.2mを測る。柱穴数は6基で構成され、柱穴平面形は円形及び長方形であるが、同規模の柱穴との重複があり、建替えがあった可能性がある。
重複関係：12号竪穴建物跡との新旧関係は明確ではないが、調査段階では新しいと判断した。
出土遺物：すべてのピットから土器が少量出土している。378号ピットからは高坏、407・448号ピットからS字甕が出土している。

**15号掘立柱建物跡**（遺構：図34・遺物：図51）
位　　置：D－9・10グリッド～E－10グリッド
主軸方位：N－75°－E　柱穴：395・589・590・591・599号ピット
検出状況：6・13号溝跡など複数の遺構が重複しており、北東部の柱穴が確認できなかったが、円形の柱穴を5基検出している。建物平面形は長方形を呈し、建物規模は東から西へ約3.2m、北から南へ約2.4mを測る。
重複関係：1・2号周溝付平地建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：591号ピットから266の小型土器が出土している。また、395・589・599号ピットから土器が微量出土している。

**16号掘立柱建物跡**（遺構：図34・遺物：掲載なし）
位　　置：C－10・11グリッド～D－11グリッド
主軸方位：N－70°－E　柱穴：323・330・548・660・691号ピット
検出状況：竪穴建物跡が重複しており、北東部の柱穴は確認できなかったため、円形の柱穴が5基検出されている。建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約2.8m、北西から南東へ約2.6mを測る。
重複関係：8・14・16号竪穴建物跡との新旧関係は明確には明らかにできなかったが、14・16号竪穴建物跡より古いと考えられる。
出土遺物：すべてのピットから土器が微量出土しているが、691号ピットからは高坏が出土している。

**17号掘立柱建物跡**（遺構：図34・遺物：掲載なし）
位　　置：D－11・12グリッド～E－10・11グリッド
主軸方位：N－65°－E　柱穴：308・381・382・659・663・665号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北西から南東へ約4.2m、北東から南西へ約3.4mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は方形及び楕円形である。
重複関係：7号竪穴建物跡より古く、8・16号竪穴建物跡より新しい。
出土遺物：308・381・382・659・665号ピットから土器が微量出土している。659号ピットからは二重口縁壺が出土している。

**18号掘立柱建物跡**（遺構：図35・遺物：掲載なし）
位　　置：C－12グリッド～D－12グリッド
主軸方位：N－60°－E　柱穴：352・353（433）・355（356）・425・437・515号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約3.2m、北西から南東へ約2.6mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は円形である。
重複関係：11号溝跡より新しく、19号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：352・425・437号ピットから土器が微量出土している。

**19号掘立柱建物跡**（遺構：図35・遺物：掲載なし）
位　　置：C－11・12グリッド～D－11・12グリッド
主軸方位：N－61°－E　柱穴：324・349・351・423・436・462号ピット
検出状況：建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約3.0m、北西から南東へ約3.5mを測る。柱穴数は6基であり、柱穴平面形は円形である。なお、本遺構南西に位置する20号掘立柱建物跡と縦列関係にあることから、配置的にみれば同時期と考えられる。
重複関係：8号竪穴建物跡、18号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：すべてのピットから土器が微量出土している。

**20号掘立柱建物跡**（遺構：図35・遺物：掲載なし）
位　　置：B－12・13グリッド～C－12グリッド
主軸方位：N－60°－E　柱穴：526・571・592・595・609号ピット
検出状況：北東隅部は調査区西壁外へ展開し、円形の柱穴を5基検出している。建物平面形は長方形を呈し、建物規模は北東から南西へ約4.6m、北西から南東へ約3.6mを測る。19号掘立柱建物跡と近似した軸線で縦列する。

重複関係：21号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：526・592・609号ピットから土器が微量出土している。

**21号掘立柱建物跡**（遺構：図35・遺物：掲載なし）
位　　置：B－12グリッド～C－12グリッド
主軸方位：N－78°－E　柱穴：527・572・575・577号ピット
検出状況：建物平面形は正方形を呈し、建物規模は一辺約2.2mを測る。柱穴数は4基であり、柱穴平面形は円形である。
重複関係：20号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：すべてのピットから土器が微量出土している。572号ピットからS字甕が出土している。

**22号掘立柱建物跡**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：E－14・15グリッド～F－14・15グリッド
主軸方位：N－65°－E　柱穴：479・484・503・511号ピット
検出状況：調査区南東隅で確認された建物跡で4基の柱穴が検出されているが、南側柱穴列は中央に位置する511号柱穴以外は調査区外に展開すると考えられる。建物平面形は長方形を呈し、建物規模は、北東から南西へ約5.6m、北西から南東へ約3.4mを測る。全体的に削平を受けているが、確認面での柱穴規模は0.7～0.8mとやや大きく、柱穴平面形は円形及び方形である。
重複関係：12号溝跡、11・15・20号竪穴建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：484・511号ピットから土器が微量出土している。

**（4）柱穴列**

調査区壁際付近に位置する柱穴列には、柱穴規模や規則性から判断し、掘立柱建物跡の可能性が高いものも存在するが、対になる柱穴列を確認した訳ではないために客観的にみて柱穴列とした。

**1号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：G－6・7グリッド
主軸方位：N－30°－W　柱穴：31・32・240号ピット
検出状況：3基の柱穴で構成され、長さは約3.6mを測る。1号竪穴建物跡に関連する柱穴列とも考えられたが、位置的にやや不自然であるため別遺構と判断した。なお、北側に存在する柱穴群には規模の類似するものもあり、建物となる可能性もある。
重複関係：7・8号溝跡、1号竪穴建物跡より新しい。1・2号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：32・240号柱穴から土器が微量出土している。

**2号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：D－7グリッド
主軸方位：N－20°－W　柱穴：108・126・130号ピット
検出状況：3基の柱穴で構成され、長さは約4.0mを測る。柱穴規模は長軸約0.7m、柱穴平面形は隅丸方形である。柱穴の規模からみると調査区西側に同規模の柱穴列が存在する可能性は高く、掘立柱建物跡となるものと考えられる。
重複関係：5号柱穴列との新旧関係は不明である。

出土遺物：すべてのピットから土器が微量出土している。128号ピットからはＳ字甕が出土している。

**３号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｃ－８・９グリッド～Ｄ－８グリッド
主軸方位：Ｎ－25°－Ｅ　柱穴：210・248・328号ピット
検出状況：３基の柱穴で構成され、長さは約4.4m、柱穴平面形は円形である。規模は小さいが、壁面から底部付近にかけて小礫が充塡されていたことから、柱を支える補強材として詰め込まれたものと考えられ、この柱穴列も掘立柱建物跡となる可能性がある。
新旧関係：２号周溝付平地建物跡、４号竪穴建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：210・248号ピットから土器が微量出土している。210号ピットからはＳ字甕が出土している。

**４号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｄ－６～Ｅ－６グリッド
主軸方位：Ｎ－70°－Ｅ　柱穴：57・81・102号ピット
検出状況：３基の柱穴で構成され、長さは約3.8m、柱穴平面形は楕円形である。
重複関係：３号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：57・81号ピットから土器が微量出土している。

**５号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｄ－７～Ｅ－７グリッド
主軸方位：Ｎ－75°－Ｅ　柱穴：101・115・129・144号ピット
検出状況：４基の柱穴で構成されるが、101号ピットについては他の柱穴より深度が浅く、同一の遺構ではない可能性もあるが、ここでは一括して提示しておく。長さは約5.5m、柱穴平面形は円形及び楕円形である。
重複関係：７号掘立柱建物跡より新しい。
出土遺物：101・115・129号ピットから土器が微量出土している。

**６号柱穴列**（遺構：図36・遺物：掲載なし）
位　　置：Ｇ－９・10グリッド
主軸方位：Ｎ－23°－Ｗ　柱穴：441・566・569号ピット
検出状況：３基の柱穴で構成され、長さは約3.7m、柱穴平面形は円形及び楕円形である。
重複関係：６号竪穴建物跡より古い。
出土遺物：441・569号ピットから土器が微量出土している。

**７号柱穴列**（遺構：図36・遺物：なし）
位　　置：Ｆ－11グリッド～Ｇ－10グリッド
主軸方位：Ｎ－73°－Ｅ　柱穴：289・291・581号ピット
検出状況：３基の柱穴で構成され、長さは約2.8m、柱穴平面形は円形である。重複関係：６号竪穴建物跡より古く、１号周溝付平地建物跡より新しい。13号掘立柱建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：なし。

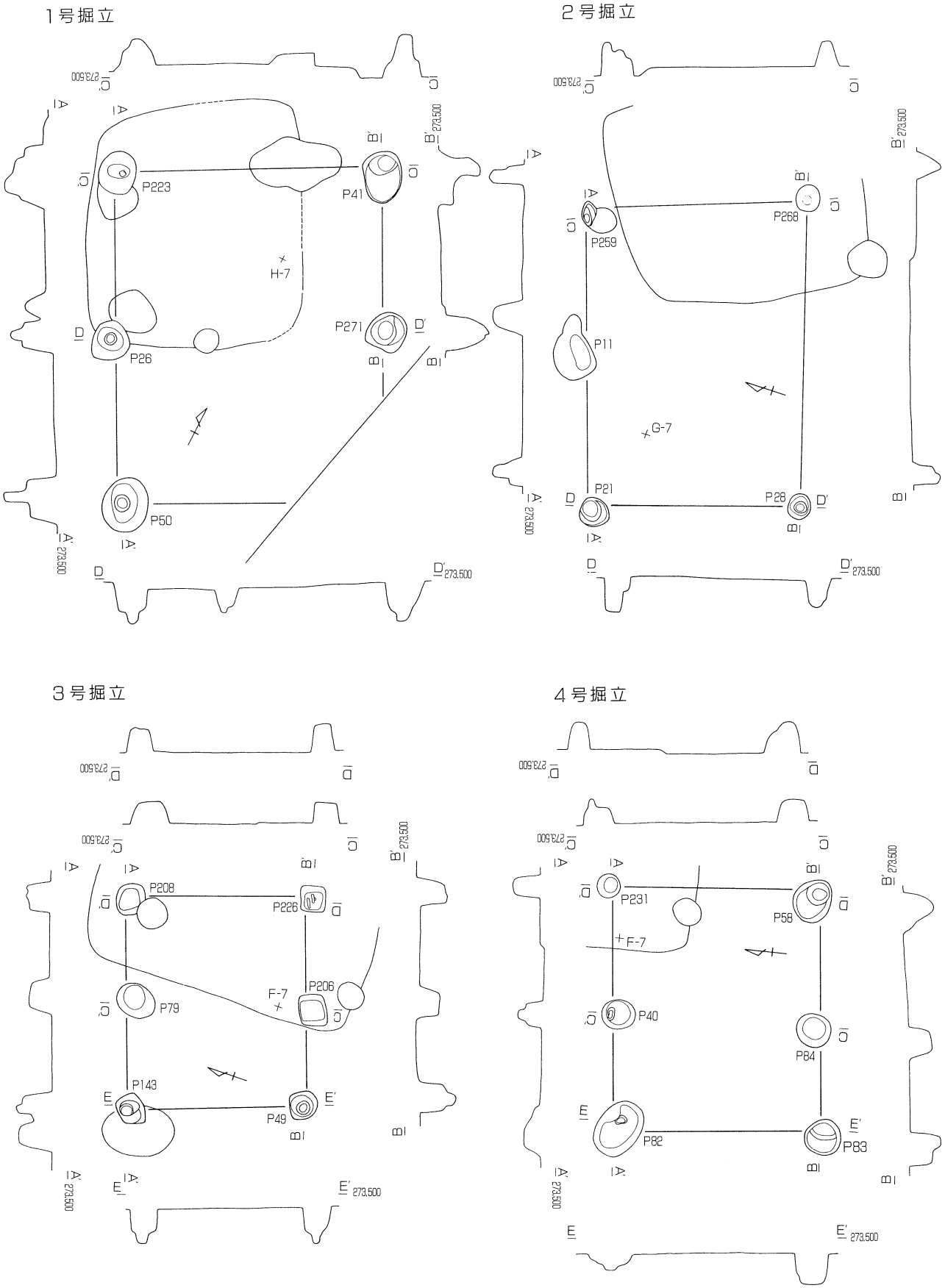



図31　1～4号掘立柱建物跡

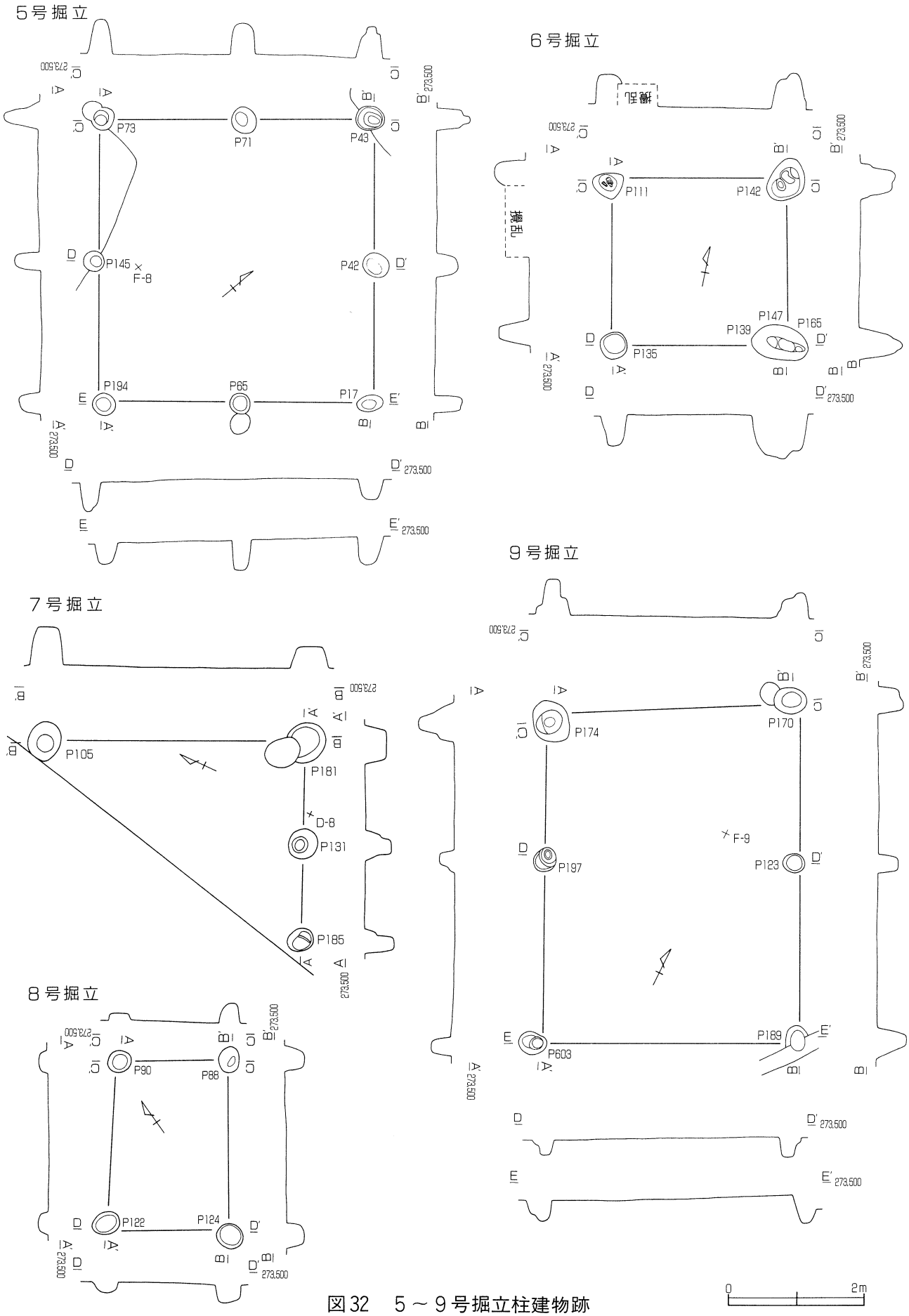



図32　5～9号掘立柱建物跡

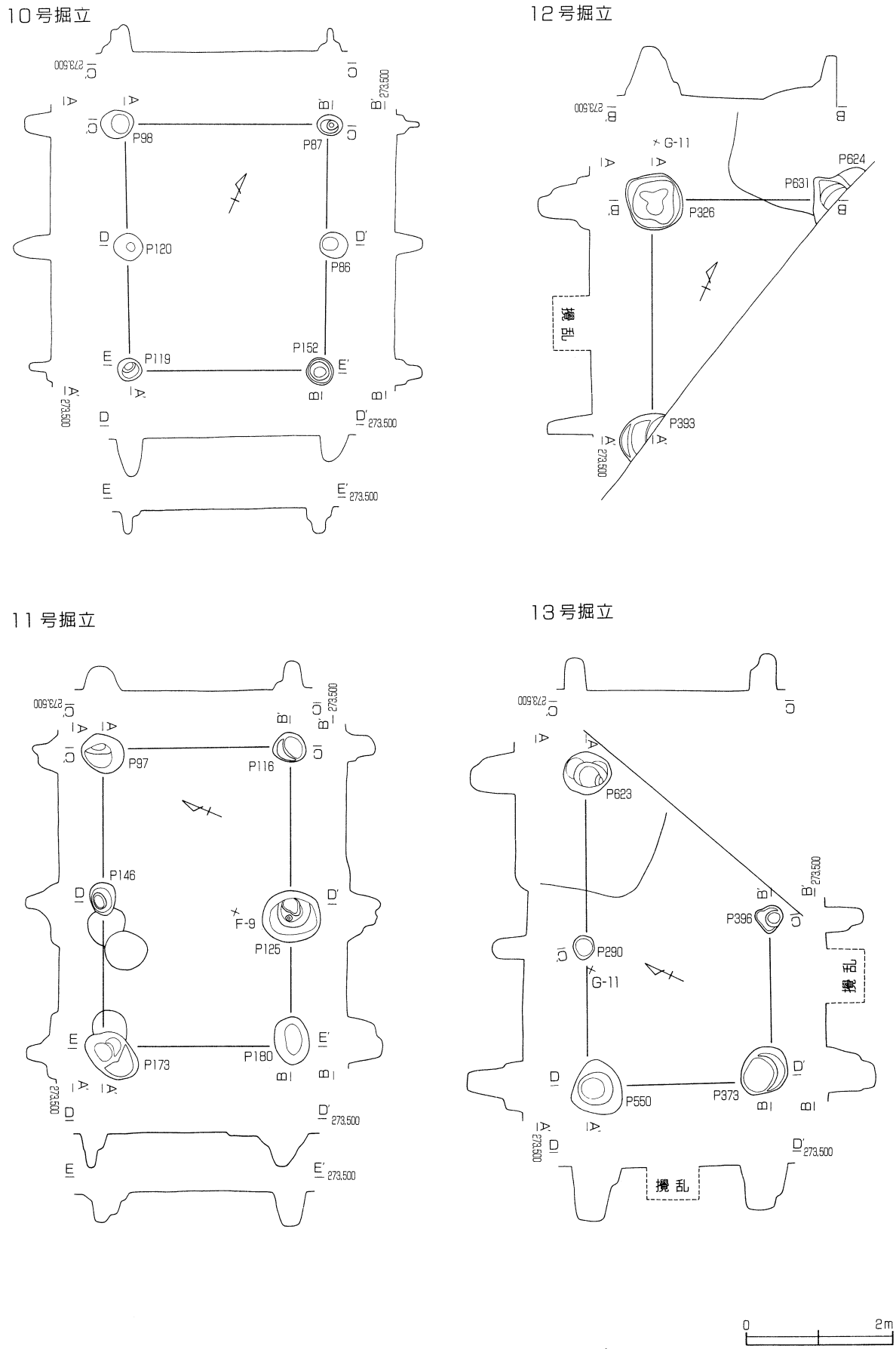



図33　10～13号掘立柱建物跡

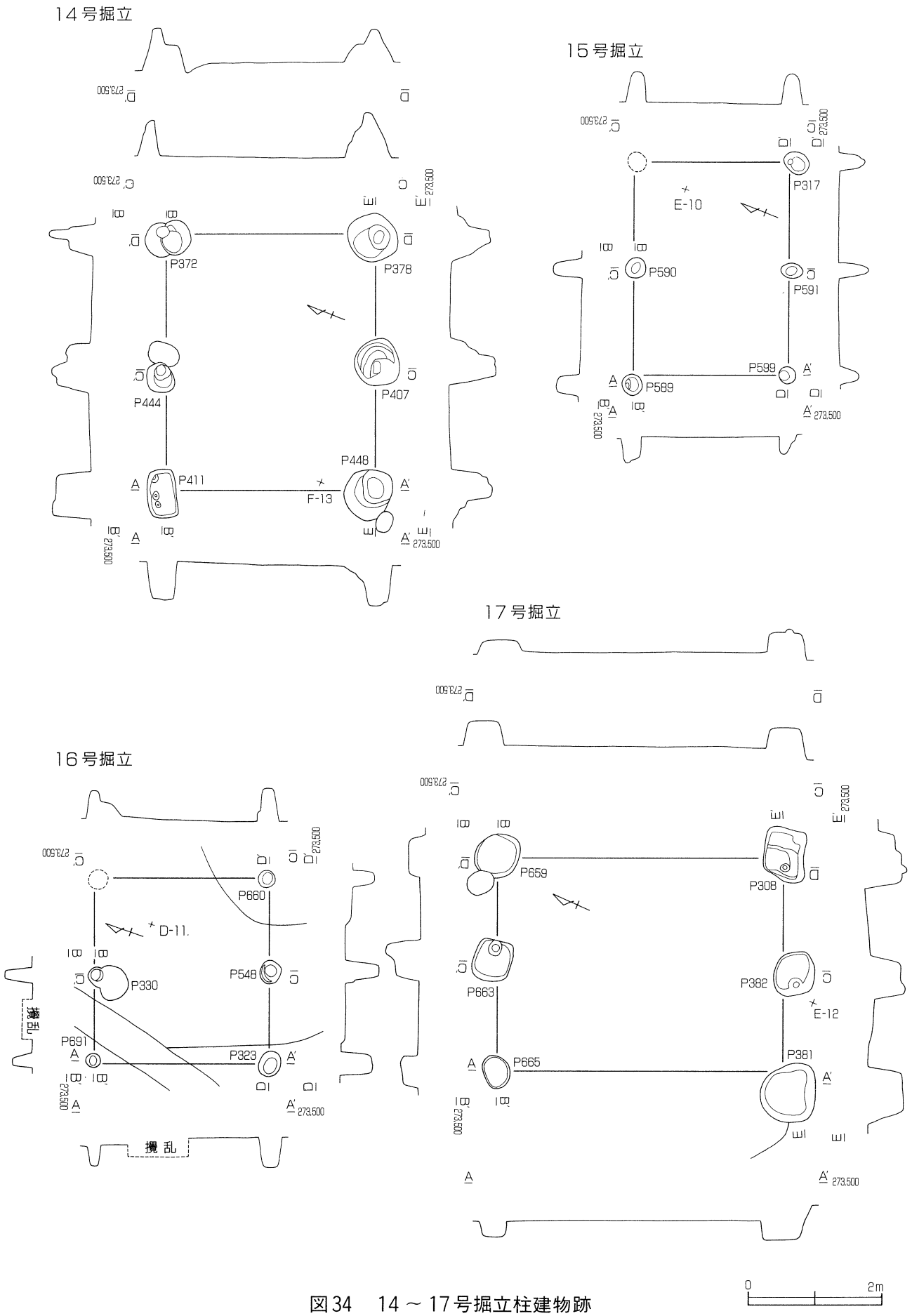



図34　14～17号掘立柱建物跡

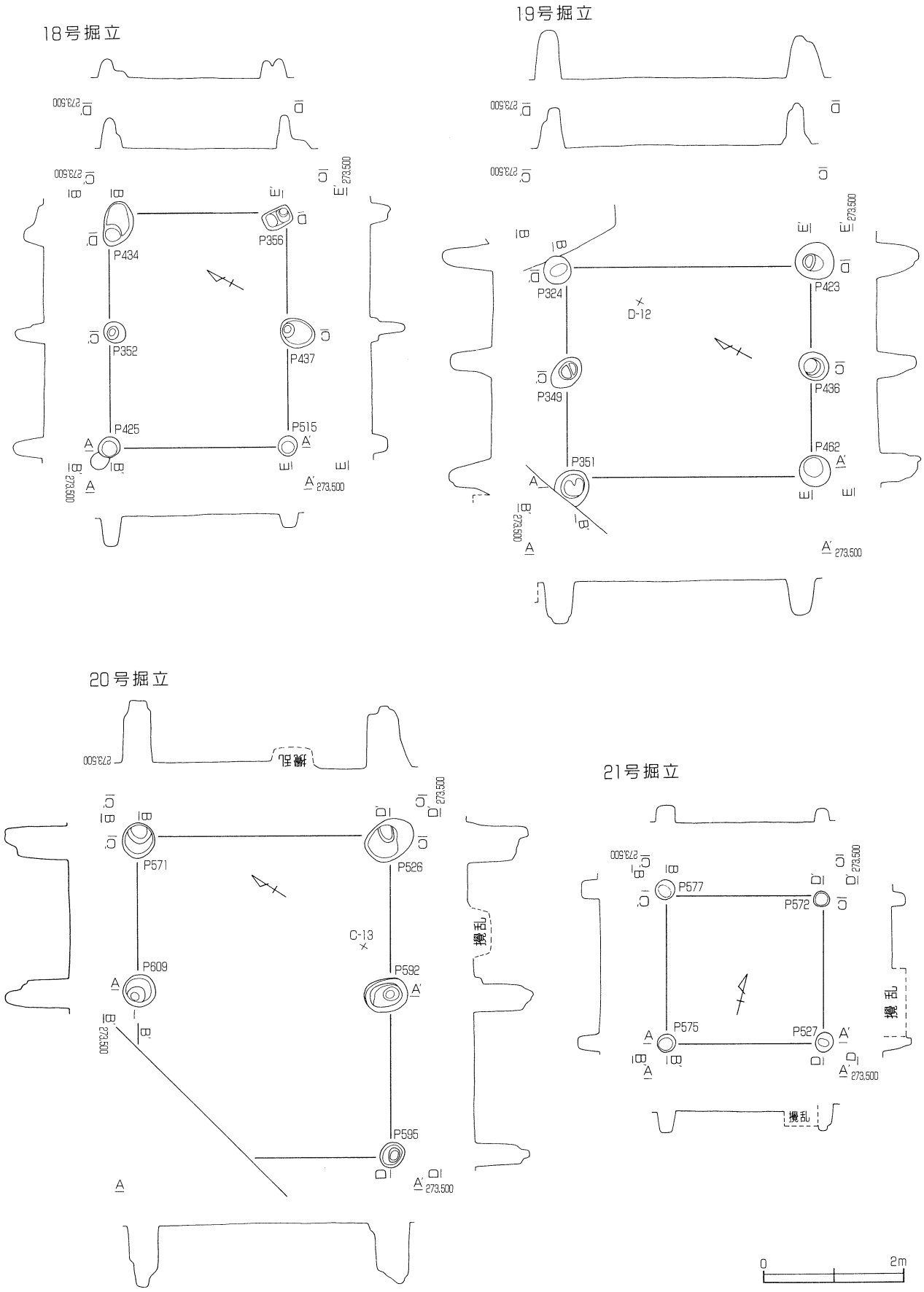



図35　18～21号掘立柱建物跡

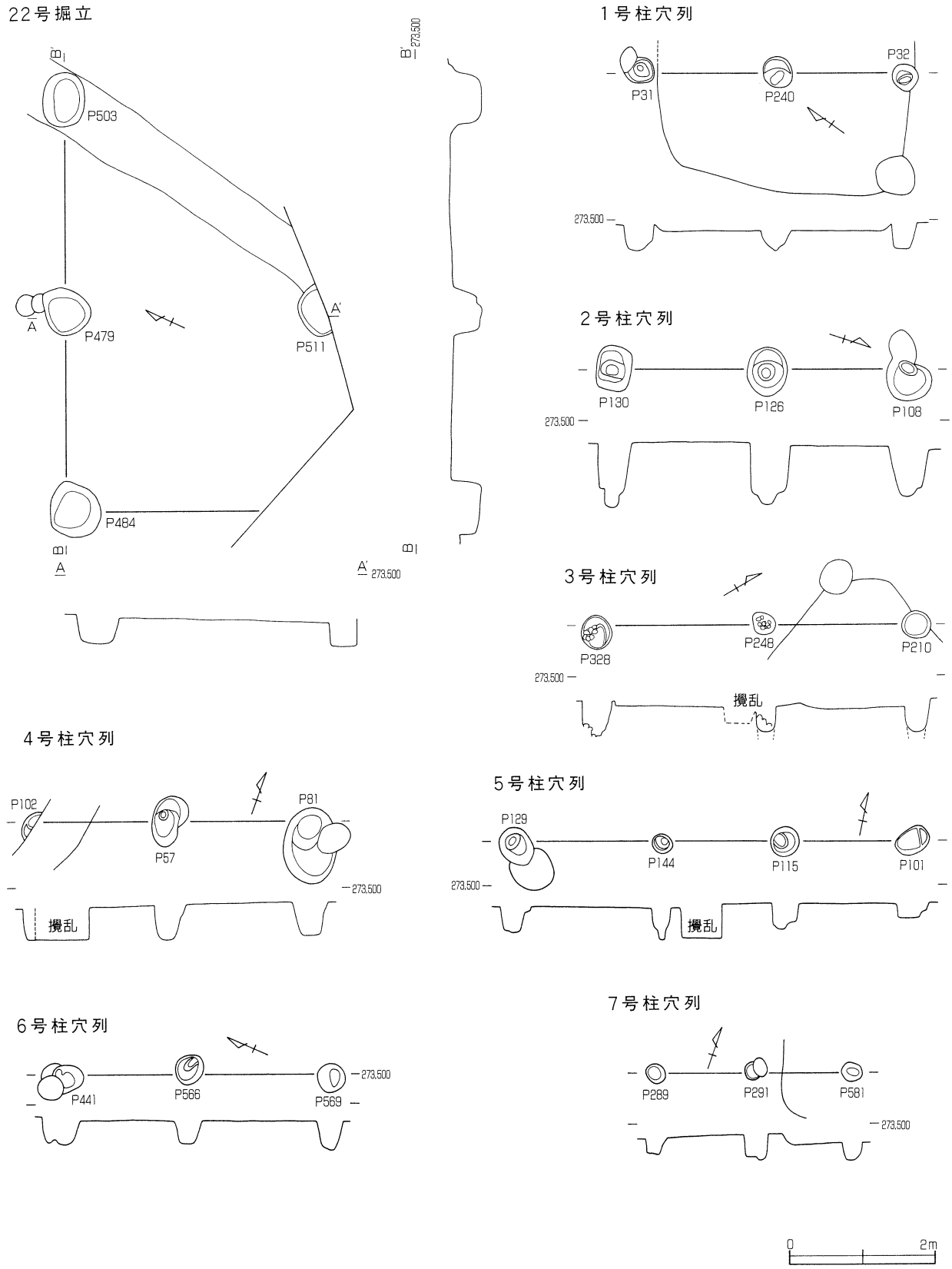



図36　22号掘立柱建物跡・1～7号柱穴列

## 第３節　方形周溝墓

本地区では、調査区北側において２基の方形周溝墓が検出された。位置的に県立甲府工業高校地区一帯の方形周溝墓群の延長線上に位置づけられることから、付近に展開する墓域の南限に位置付けられる。

**１号方形周溝墓**（遺構：図37・遺物：図50）

位　　置：Ｄ－２～４グリッド及びＥ－２～４グリッド、Ｆ－２～４グリッド付近

主軸方位：Ｎ－45°－Ｗ

検出状況：調査区北西隅付近で検出されているが、周溝の大部分は調査区外に展開している。全体に削平されているため、すでに主体部は失われているものと考えられ、周溝のみの検出である。全体規模は不明であるが、推定で全長約15ｍ規模になるものと考えられる。土層の状況では下層に黒色土の堆積があり、しばらく開口したまま自然堆積したと考えられるが、中層でシルト質の黄褐色土が全面に堆積する。この堆積状況は、平成８年度に調査を実施した愛宕町下条線道路改良工事に伴う発掘調査で検出された方形周溝墓の中に同じ埋没過程を辿るものが存在するため、やはり同一集団がある時期に構築した墓であることが窺われる。

重複関係：１号溝跡より古い。

出土遺物：掲載遺物は246～249である。

**２号方形周溝墓**（遺構：図37・遺物：図50）

位　　置：Ｆ－５グリッド～Ｇ－５グリッド付近

主軸方位：Ｎ－60°－Ｅ（推定）

検出状況：調査区北壁外に主体部は展開していると考えられ、検出されたのは周溝の一部分のみであった。全体規模は不明であるが、削平により周溝深度も浅かった。

重複関係：１・２号溝跡より古い。

出土遺物：掲載遺物は250のみであるが、出土状況は潰れた状態であった。

## 第４節　土壙

**１号土壙**（遺構：図38・遺物：なし）

位　　置：Ｇ－６グリッド

検出状況：遺構平面形は不整楕円形で、規模は長軸約1.4ｍ、短軸約0.7ｍである。

重複関係：１号竪穴建物跡より古い。

出土遺物：なし

**２号土壙**（遺構：図38・遺物：掲載なし）

位　　置：Ｃ－10グリッド

検出状況：遺構平面形は長方形で、規模は長軸約1.0ｍ、短軸約0.9ｍである。覆土全体に炭化物と焼土が混入していた。

重複関係：14号竪穴建物跡より新しい。３号周溝付平地建物跡との新旧関係は不明である。

出土遺物：土器が少量出土している。

**３号土壙**（遺構：図38・遺物：図51）

位　　置：Ｄ－９グリッド

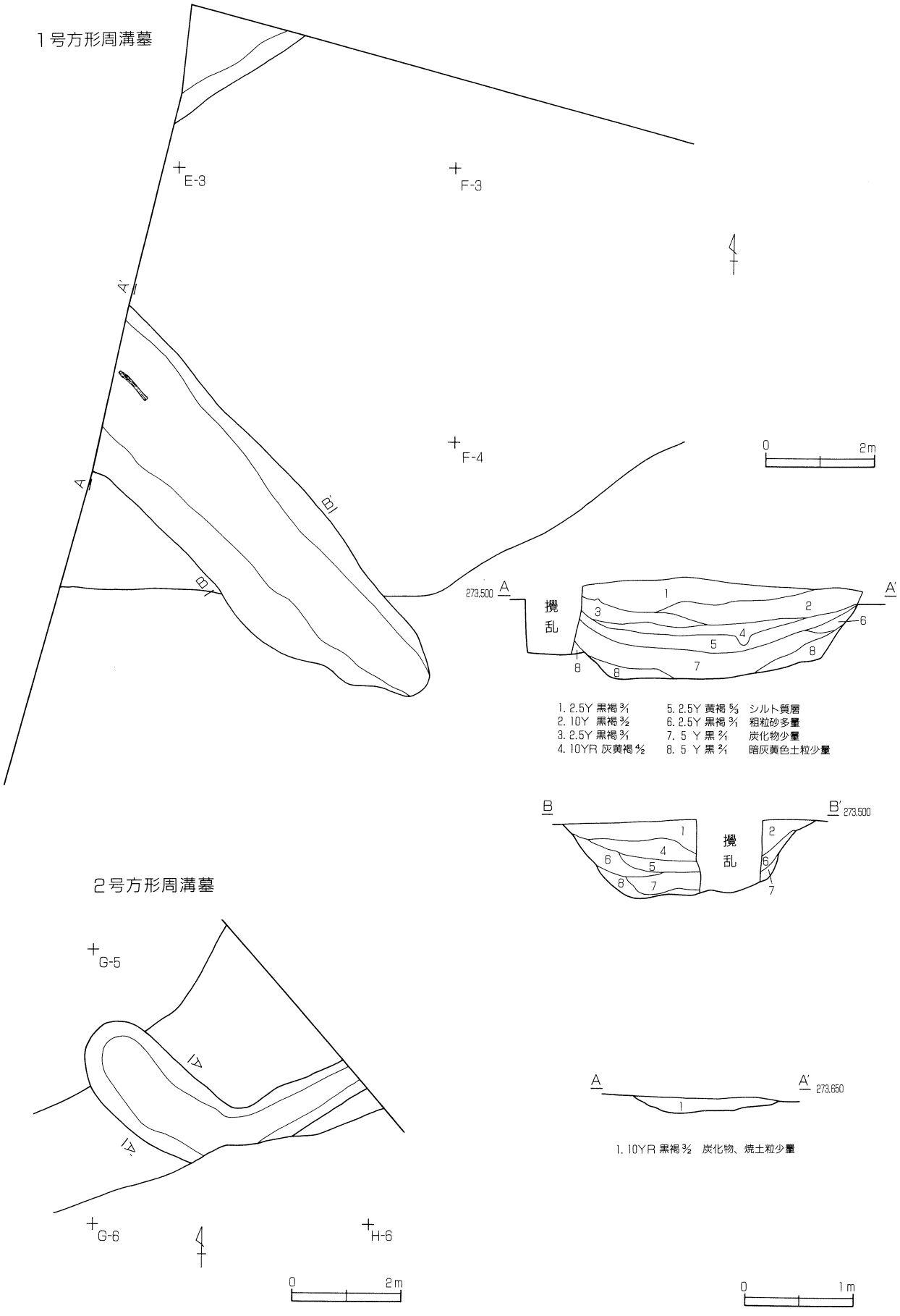



図37　1～2号方形周溝墓

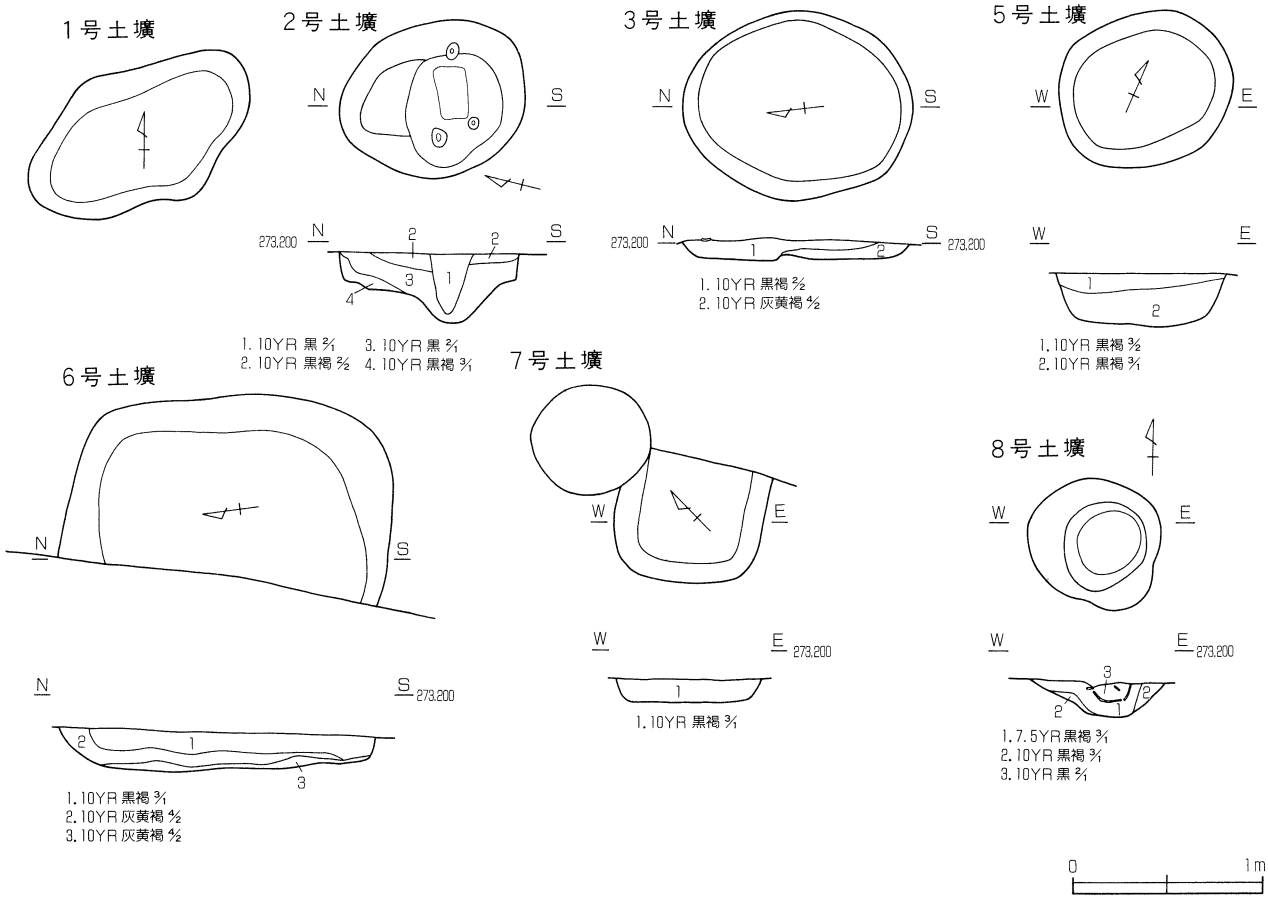



図38　1～3号、5～8号土壙

検出状況：遺構平面形は不整楕円形で、規模は長軸約1.3m、短軸約1.0mである。確認段階で遺構上面に土器小片や炭化物が散乱した状態で出土した。
重複関係：662・697号ピットより新しい。2号周溝付平地建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：掲載遺物は251である。他には生焼けのような土器小片が少量出土している。

**4号土壙**（遺構：図14・遺物：掲載なし）
位　　置：F－11グリッド
検出状況：7号竪穴建物跡に共伴する土壙と考えられ、遺構平面形は円形で、規模は長軸約0.9m、短軸約0.8mである。貯蔵穴のような性格の遺構と考えられる。
重複関係：651号ピットより新しい。
出土遺物：土器が少量出土している。

**5号土壙**（遺構：図38・遺物：図51）
位　　置：E－12グリッド
検出状況：当初は9号竪穴建物跡と共伴する遺構かと考えられたが、検出状況と出土遺物からみて、重複関係にある遺構と判断した。遺構平面形は円形で、規模は長軸約0.9m、短軸約0.8mである。
重複関係：9号竪穴建物跡より古い。
出土遺物：掲載遺物は252である。

**6号土壙**（遺構：図38・遺物：なし）
位　　置：B－13及びC－13グリッド
検出状況：攪乱によって西側が失われているが、遺構平面形は隅丸長方形で、規模は長軸約1.8m、短軸約1.1mである。
重複関係：539号ピットより新しい。
出土遺物：なし。

**7号土壙**（遺構：図38・遺物：なし）
位　　置：D－11グリッド
検出状況：8・16号竪穴建物跡によって北東側が切られているが、遺構平面形は方形と考えられ、規模は一辺約0.7mである。
重複関係：8・16号竪穴建物跡より古い。
出土遺物：なし。

**8号土壙**（遺構：図38・遺物：図51）
位　　置：F－14グリッド
検出状況：遺構平面形は円形で、規模は長軸約0.8m、短軸約0.7mである。
重複関係：15号竪穴建物跡との新旧関係は不明である。
出土遺物：掲載遺物は253～256である。その他S字甕片など少量の土器が出土している。

## 第5節　遺構外出土遺物ほか

G－6・7グリッド及びH－7グリッド付近から土器が集中的に出土している。掲載したものの中で、272・273はS字甕A類に分類されるもので、S字甕初現期の遺物である。また、281～284はH－7グリッドで出土した高坏であるが、281・283は坏部分が潰れたような形で出土している。付近からは図示できなかったものも含め最低でも5～6個体の高坏が確認されている。H－7グリッド遺物の中で1点のみ9号竪穴建物跡出土の158と接合したものが存在する。また、277～279はG－10グリッド出土であるが、6号竪穴建物跡に帰属する遺物の可能性が高い。図化できないほど小片であったが、E－7からは須恵器小片がまとまっていた。

試掘調査段階で注目すべき遺物を2点掲載している。290はトレンチ5から出土した瓦塔である。沼地層からの一括出土であるため、周辺部からの流れ込みの可能性が高いが、摩耗も少ないことから比較的近距離に存在したものと考えられる。本調査区の集落時期には伴わない遺物と考えられるが、付近に寺院関連の施設が存在した可能性が想定される。291はトレンチ6から出土した須恵器瑙で、やはり6世紀前後の須恵器であると考えられる。

## ピット観察表

単位：cm

| 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　　考 | 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 円形 | H－6 | 18 | 16 | 15 | 土器あり | 71 | 円形 | E－7 | 43 | 39 | 47 | 土器あり |
| 2 | 円形 | H－6 | 55 | 47 | 14 | | 72 | 円形 | E－7 | 42 | 38 | 31 | 土器あり |
| 3 | 円形 | H－6 | 24 | 21 | 17 | 土器あり | 73 | 円形 | E－7 | 35 | 34 | 51 | 土器あり |
| 4 | 円形 | F－6 | 37 | 30 | 36 | | 74 | 円形 | E－7 | 59 | 48 | 16 | |
| 5 | 円形 | G－6 | 34 | 32 | 30 | | 75 | 円形 | G－8 | 59 | 56 | 22 | 甕ほか |
| 6 | 円形 | H－6 | 36 | 35 | 20 | | 76 | 円形 | G－8 | 49 | 37 | 25 | |
| 7 | 円形 | G－7 | 29 | 28 | 42 | | 77 | 円形 | G－8 | 38 | 32 | 9 | |
| 8 | 円形 | G－6 | 24 | 22 | 22 | 土器あり | 78 | 円形 | G－8 | 39 | 34 | 23 | 土器あり |
| 9 | 円形 | G－7 | 31 | 26 | 15 | 土器あり | 79 | 楕円形 | E－6 | 59 | 46 | 32 | 土器あり |
| 10 | 円形 | G－6 | 21 | 20 | 12 | | 80 | 円形 | E－6 | 20 | 19 | 27 | |
| 11 | 不整楕円形 | G－6 | 93 | 50 | 50 | 土器あり | 81 | 楕円形 | E－6 | 105 | 73 | 46 | 土器あり |
| 12 | 円形 | G－7 | 23 | 19 | 14 | | 82 | 楕円形 | E－6 | 83 | 61 | 27 | |
| 13 | 円形 | G－7 | 37 | － | 28 | 土器あり | 83 | 円形 | E－7 | 52 | 51 | 45 | 土器あり |
| 14 | 楕円形 | H－6 | 69 | 47 | 54 | 土器あり | 84 | 円形 | E－7 | 51 | 48 | 33 | 土器あり |
| 15 | 円形 | G－6 | 58 | 51 | 46 | 土器あり | 85 | 不整円形 | F－8 | 27 | 22 | 21 | 土器あり |
| 16 | 楕円形 | H－6 | 75 | 53 | 41 | 土器あり | 86 | 円形 | F－8 | 40 | 35 | 37 | |
| 17 | 楕円形 | F－7 | 39 | 25 | 41 | 土器あり | 87 | 円形 | F－8 | 36 | 30 | 33 | |
| 18 | 方形 | G－7 | 21 | 15 | 9 | | 88 | 円形 | F－8 | 39 | 31 | 32 | 土器あり |
| 19 | 円形 | G－6 | 22 | 20 | 9 | | 89 | 円形 | F－8 | 48 | 40 | 20 | 土器あり |
| 20 | 円形 | F－6 | 54 | 46 | 8 | | 90 | 円形 | F－8 | 36 | 33 | 11 | 土器あり |
| 21 | 長方形 | F－6 | 43 | 43 | 43 | 土器あり | 91 | 不整円形 | F－6 | 76 | 66 | 11 | 土器あり |
| 22 | 円形 | G－7 | 34 | 26 | 43 | | 92 | 円形 | F－6 | 26 | 25 | 41 | |
| 23 | 円形 | G－6 | 47 | 46 | 8 | | 93 | 円形 | F－8 | 33 | 32 | 44 | 土器あり |
| 24 | 楕円形 | G－7 | 51 | 39 | 18 | 遺物257 | 94 | 円形 | F－8 | 35 | 32 | 32 | 土器あり |
| 25 | 楕円形 | G－6 | 88 | 57 | 10 | | 95 | 円形 | F－8 | 34 | 33 | 6 | |
| 26 | 円形 | G－7 | 58 | 53 | 59 | 土器あり | 96 | 円形 | F－8 | 54 | 47 | 18 | |
| 27 | 円形 | F－6 | 60 | 50 | 5 | | 97 | 円形 | F－8 | 58 | 51 | 28 | 土器あり |
| 28 | 円形 | F－7 | 37 | 34 | 40 | | 98 | 円形 | F－8 | 49 | 46 | 37 | 土器あり |
| 29 | 円形 | G－7 | 20 | 16 | 17 | | 99 | 円形 | F－8 | 25 | 24 | 18 | |
| 30 | 円形 | G－7 | 71 | 70 | 8 | 土器あり | 100 | 不整楕円形 | E－7 | 40 | 37 | 53 | |
| 31 | 円形 | G－6 | 40 | 36 | 37 | | 101 | 楕円形 | E－7 | 49 | 35 | 20 | 土器あり |
| 32 | 円形 | G－7 | 38 | 35 | 43 | 土器あり | 102 | 円形 | D－6 | 46 | － | 42 | |
| 33 | 円形 | F－7 | 31 | 25 | 10 | | 103 | 円形 | D－7 | 24 | 24 | 15 | |
| 34 | 円形 | F－7 | 35 | 34 | 21 | | 104 | 円形 | D－6 | 27 | 26 | 7 | |
| 35 | 円形 | F－6 | 25 | 24 | 33 | 土器あり | 105 | 円形 | C－7 | 44 | － | 49 | |
| 36 | 円形 | H－6 | 64 | 58 | 11 | | 106 | 円形 | D－7 | 23 | 20 | 22 | |
| 37 | 円形 | F－7 | 33 | 31 | 9 | | 107 | 円形 | D－7 | 22 | 21 | 29 | 高坏 |
| 38 | 円形 | F－7 | 50 | 41 | 13 | 甑ほか | 108 | 方形 | D－7 | 65 | 62 | 54 | S字甕ほか |
| 39 | 不整楕円形 | F－7 | 36 | 25 | 59 | 土器あり | 109 | 楕円形 | D－7 | 49 | 35 | 49 | S字甕ほか |
| 40 | 円形 | E－6 | 46 | 44 | 24 | | 110 | 円形 | C－7 | 59 | 48 | 56 | |
| 41 | 楕円形 | H－6 | 74 | 53 | 54 | 土器あり | 111 | 方形 | D－7 | 43 | 41 | 46 | 土器あり |
| 42 | 円形 | F－7 | 40 | 34 | 31 | | 112 | 円形 | D－7 | 42 | 36 | 47 | |
| 43 | 円形 | F－7 | 41 | 37 | 48 | 土器あり | 113 | 円形 | D－7 | 21 | 20 | 10 | |
| 44 | 円形 | G－6 | 50 | － | 12 | | 114 | 円形 | D－7 | 33 | 30 | 33 | |
| 45 | 円形 | H－6 | 40 | 36 | 13 | | 115 | 円形 | D－7 | 41 | 40 | 36 | 土器あり |
| 46 | 不整楕円形 | H－6 | 56 | 38 | 50 | | 116 | 円形 | F－8 | 44 | 41 | 35 | 土器あり |
| 47 | 円形 | H－6 | 50 | 47 | 8 | | 117 | 円形 | F－8 | 27 | 23 | 19 | |
| 48 | 円形 | F－7 | 30 | 28 | 25 | 土器あり | 118 | 円形 | F－9 | 32 | 30 | 19 | |
| 49 | 方形 | E－7 | 43 | 40 | 53 | 土器あり | 119 | 円形 | F－9 | 33 | 33 | 32 | 土器あり |
| 50 | 円形 | H－7 | 76 | 67 | 67 | 土器あり | 120 | 円形 | F－8 | 39 | 35 | 52 | 土器あり |
| 51 | 円形 | F－7 | 34 | 29 | 31 | | 121 | 円形 | F－9 | 30 | 27 | 10 | |
| 52 | 円形 | F－7 | 49 | 44 | 10 | | 122 | 円形 | F－8 | 41 | 35 | 15 | |
| 53 | 円形 | E－7 | 41 | 38 | 20 | | 123 | 円形 | F－8 | 31 | 27 | 30 | 土器あり |
| 54 | 円形 | F－7 | 50 | 41 | 11 | | 124 | 円形 | F－9 | 39 | 36 | 25 | 土器あり |
| 55 | 楕円形 | G－6 | 48 | 31 | 19 | | 125 | 円形 | F－9 | 81 | 72 | 36 | 土器あり |
| 56 | 円形 | E－6 | 50 | 37 | 38 | S字甕ほか | 126 | 円形 | D－7 | 68 | 55 | 81 | 土器あり |
| 57 | 円形 | E－6 | 52 | 36 | 50 | 土器あり | 127 | 円形 | D－7 | 35 | 34 | 26 | 土器あり |
| 58 | 円形 | F－7 | 65 | 55 | 44 | 土器あり | 128 | 円形 | C－7 | 24 | 23 | 21 | |
| 59 | 円形 | G－6 | 27 | 23 | 16 | | 129 | 円形 | D－7 | 54 | 44 | 34 | 土器あり |
| 60 | 円形 | F－7 | 30 | 27 | 37 | 土器あり | 130 | 方形 | D－7 | 63 | 46 | 78 | 土器あり |
| 61 | 円形 | F－7 | 21 | 21 | 7 | | 131 | 円形 | C－7 | 47 | 44 | 36 | |
| 62 | 円形 | F－7 | 32 | 30 | 32 | | 132 | 円形 | C－8 | 36 | 28 | 19 | |
| 63 | 円形 | G－8 | 33 | 30 | 9 | | 133 | 円形 | E－8 | 28 | 26 | 14 | 土器あり |
| 64 | 円形 | G－8 | 36 | 35 | 21 | | 134 | 方形 | E－9 | 43 | 42 | 13 | |
| 65 | 円形 | F－8 | 33 | 31 | 47 | 土器あり | 135 | 円形 | D－7 | 42 | 41 | 46 | |
| 66 | 楕円形 | G－8 | 50 | － | 21 | 土器あり | 136 | 円形 | F－7 | 53 | 42 | 8 | |
| 67 | 不整円形 | G－8 | 49 | 39 | 23 | 土器あり | 137 | 円形 | D－8 | 23 | 22 | 29 | |
| 68 | 円形 | F－8 | 35 | 29 | 16 | | 138 | 円形 | D－8 | 42 | 39 | 35 | 土器あり |
| 69 | 円形 | H－8 | 38 | 35 | 28 | | 139 | 円形 | E－7 | 47 | (40) | 53 | 土器あり |
| 70 | 円形 | G－8 | 34 | 29 | 17 | | 140 | 円形 | E－7 | 48 | 40 | 36 | 土器あり |

## ピット観察表

単位：cm

| 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 | 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 141 | 円形 | E－8 | 26 | 22 | 43 | 土器あり | 211 | 円形 | C－8 | 49 | 43 | 29 | 土器あり |
| 142 | 不整楕円形 | E－7 | 43 | 30 | 50 | | 212 | 円形 | C－8 | 51 | 50 | 24 | 土器あり |
| 143 | 方形 | E－6 | 46 | 38 | 49 | 土器あり | 213 | 円形 | C－8 | 35 | 29 | 22 | 土器あり |
| 144 | 円形 | D－6 | 29 | 26 | 45 | | 214 | 円形 | D－8 | 41 | 34 | 48 | 土器あり |
| 145 | 円形 | E－8 | 31 | 31 | 45 | 土器あり | 215 | 円形 | E－9 | 46 | 38 | 9 | 土器あり |
| 146 | 円形 | E－8 | 45 | 35 | 47 | | 216 | 円形 | E－9 | － | 31 | 24 | 土器あり |
| 147 | 楕円形 | E－7 | 49 | (23) | 65 | | 217 | 円形 | D－9 | 34 | 30 | 16 | 土器あり |
| 148 | 円形 | F－7 | 23 | 21 | 20 | 土器あり | 218 | 円形 | D－9 | 36 | 33 | 13 | 土器あり |
| 149 | 円形 | E－7 | 23 | 22 | 46 | 土器あり | 219 | 円形 | D－9 | 34 | 32 | 34 | 土器あり |
| 150 | 円形 | E－7 | 34 | 31 | 29 | | 220 | 円形 | H－7 | 30 | 26 | 66 | 土器あり |
| 151 | 円形 | F－7 | 28 | 27 | 21 | 土器あり | 221 | 楕円形 | H－6 | 76 | 61 | 36 | 坩ほか |
| 152 | 円形 | F－8 | 39 | 38 | 37 | | 222 | 楕円形 | F－9 | 40 | 29 | 53 | 土器あり |
| 153 | 円形 | E－7 | 28 | 23 | 17 | | 223 | 方形 | G－6 | 58 | 57 | 39 | |
| 154 | 楕円形 | E－7 | 60 | 44 | 13 | 土器あり | 224 | 円形 | G－7 | 68 | 56 | 30 | 土器あり |
| 155 | 円形 | E－7 | 39 | 39 | 10 | | 225 | 円形 | D－8 | 30 | 30 | 13 | 土器あり |
| 156 | 円形 | E－7 | 24 | 22 | 16 | 土器あり | 226 | 方形 | F－6 | 45 | 35 | 38 | 土器あり |
| 157 | 楕円形 | E－6 | 61 | 49 | 44 | S字甕ほか | 227 | 円形 | E－8 | 55 | 50 | 20 | 土器あり |
| 158 | 楕円形 | E－6 | 29 | 26 | 10 | | 228 | 円形 | D－9 | 39 | 37 | 20 | 土器あり |
| 159 | 円形 | E－6 | 34 | 31 | 14 | 土器あり | 229 | 円形 | F－6 | 22 | 22 | 32 | |
| 160 | 円形 | E－6 | 31 | 31 | 7 | | 230 | 円形 | F－6 | 26 | 25 | 13 | |
| 161 | 円形 | G－9 | － | 26 | 12 | | 231 | 円形 | F－6 | 36 | 33 | 41 | 土器あり |
| 162 | 円形 | D－7 | 35 | 32 | 6 | | 232 | 円形 | C－8 | 37 | 37 | 34 | |
| 163 | 円形 | D－7 | 23 | 22 | 6 | | 233 | 円形 | E－8 | 38 | 37 | 40 | 土器あり |
| 164 | 円形 | E－7 | 21 | 20 | 7 | | 234 | 楕円形 | E－8 | 56 | 35 | 35 | |
| 165 | 円形 | E－7 | 41 | (19) | 56 | | 235 | 円形 | E－8 | 77 | 53 | 25 | |
| 166 | 円形 | E－7 | 31 | 28 | 37 | | 236 | 楕円形 | D－9 | 76 | 46 | 50 | |
| 167 | 円形 | E－8 | 26 | 25 | 10 | 土器あり | 237 | 円形 | E－7 | 35 | 34 | 9 | |
| 168 | 円形 | E－8 | 39 | 35 | 26 | 土器あり | 238 | 円形 | E－8 | 31 | 31 | 43 | 土器あり |
| 169 | 円形 | E－9 | 44 | 41 | 44 | 土器あり | 239 | 円形 | H－6 | 27 | 25 | 40 | 土器あり |
| 170 | 円形 | E－8 | 45 | 39 | 38 | 遺物265 | 240 | 円形 | G－6 | 42 | 40 | 29 | 土器あり |
| 171 | 円形 | E－8 | 31 | 31 | 43 | | 241 | 円形 | E－8 | 30 | 29 | 31 | |
| 172 | 円形 | E－8 | 52 | 47 | 14 | | 242 | 円形 | E－7 | 19 | 18 | 12 | 土器あり |
| 173 | 楕円形 | E－8 | 79 | 55 | 22 | | 243 | 不整円形 | E－8 | 43 | 39 | 38 | |
| 174 | 方形 | E－8 | 61 | 53 | 53 | 土器あり | 244 | 円形 | E－8 | 38 | 35 | 21 | |
| 175 | 円形 | D－6 | 36 | 34 | 40 | | 245 | 円形 | E－8 | 47 | 41 | 10 | |
| 176 | 円形 | E－8 | 59 | 54 | 32 | 土器あり | 246 | 円形 | D－8 | 36 | 34 | 31 | 土器あり |
| 177 | 円形 | D－5 | 38 | 35 | 40 | | 247 | 円形 | D－8 | 35 | 27 | 16 | |
| 178 | 円形 | D－5 | 20 | 19 | 17 | | 248 | 円形 | C－8 | 34 | 32 | 25 | 土器あり |
| 179 | 円形 | D－6 | 31 | 30 | 18 | 土器あり | 249 | 円形 | E－8 | 22 | 21 | 9 | 土器あり |
| 180 | 楕円形 | E－9 | 67 | 48 | 48 | 土器あり | 250 | 楕円形 | E－8 | 76 | 51 | 12 | 土器あり |
| 181 | 円形 | D－7 | 64 | 57 | 39 | 二重口縁壺 | 251 | 円形 | G－8 | 38 | 36 | 17 | |
| 182 | 円形 | D－7 | 37 | 29 | 11 | | 252 | 円形 | G－7 | 43 | 38 | 13 | |
| 183 | 円形 | D－8 | 42 | 41 | 8 | | 253 | 円形 | D－8 | 34 | 27 | 30 | 土器あり |
| 184 | 円形 | D－8 | 35 | 35 | 35 | 土器あり | 254 | 円形 | C－9 | 29 | 27 | 10 | |
| 185 | 円形 | C－8 | 41 | 33 | 43 | | 255 | 円形 | C－9 | 33 | 28 | 20 | |
| 186 | 円形 | F－6 | 45 | 44 | 30 | 土器あり | 256 | 円形 | D－9 | 47 | 39 | 30 | 土器あり |
| 187 | 円形 | F－9 | 30 | 28 | 34 | | 257 | 円形 | D－9 | 48 | 44 | 33 | 土器あり |
| 188 | 円形 | F－8 | 37 | 36 | 8 | | 258 | 円形 | E－9 | 45 | 42 | 29 | S字甕ほか |
| 189 | 楕円形 | F－9 | － | 34 | 45 | 土器あり | 259 | 楕円形 | G－6 | 37 | 23 | 48 | |
| 190 | 円形 | G－9 | 26 | 25 | 21 | 土器あり | 260 | 楕円形 | E－8 | 37 | 36 | 32 | 遺物262 |
| 191 | 円形 | G－9 | 36 | 36 | 12 | | 261 | 円形 | E－8 | 43 | 37 | 13 | |
| 192 | 楕円形 | G－9 | 57 | 42 | 15 | 土器あり | 262 | 円形 | G－8 | 40 | 35 | 11 | |
| 193 | 円形 | G－9 | 37 | 32 | 11 | | 263 | 不整円形 | F－7 | 79 | 63 | 21 | 土器あり |
| 194 | 円形 | G－9 | 34 | 34 | 20 | | 264 | 円形 | G－6 | 45 | － | 16 | 土器あり |
| 195 | 円形 | F－9 | 23 | 20 | 35 | 土器あり | 265 | 円形 | G－8 | 39 | 34 | 15 | |
| 196 | 円形 | F－9 | 61 | 50 | 21 | | 266 | 円形 | G－8 | 27 | 26 | 15 | |
| 197 | 円形 | E－9 | 38 | 33 | 23 | 土器あり | 267 | 方形 | H－7 | 58 | 57 | 16 | 土器あり |
| 198 | 円形 | E－7 | 46 | 43 | 15 | 土器あり | 268 | 円形 | G－7 | 40 | 34 | 36 | |
| 199 | 円形 | E－8 | 33 | 28 | 56 | S字甕ほか | 269 | 不整円形 | G－7 | 60 | 58 | 58 | 土器あり |
| 200 | 円形 | E－8 | 32 | 32 | 55 | 土器あり | 270 | 円形 | H－6 | 52 | － | 67 | S字甕ほか |
| 201 | 楕円形 | E－9 | 64 | 43 | 38 | | 271 | 方形 | H－7 | 60 | 58 | 58 | S字甕ほか |
| 202 | 円形 | E－9 | 40 | 36 | 5 | | 272 | 円形 | H－7 | 19 | 18 | 22 | 土器あり |
| 203 | 円形 | E－9 | 21 | 18 | 45 | | 273 | 円形 | G－6 | 47 | 33 | 45 | |
| 204 | 円形 | G－9 | 46 | 40 | 19 | 土器あり | 274 | 円形 | H－6 | 49 | 36 | 9 | |
| 205 | 円形 | E－8 | 69 | 57 | 16 | 土器あり | 275 | 円形 | G－7 | 22 | 20 | 11 | |
| 206 | 方形 | E－7 | 45 | 40 | 28 | 土器あり | 276 | 円形 | G－9 | 34 | 31 | 8 | |
| 207 | 円形 | F－7 | 26 | 24 | 18 | 土器あり | 277 | 円形 | G－9 | 33 | 30 | 18 | |
| 208 | 方形 | F－6 | 49 | 41 | 35 | 土器あり | 278 | 円形 | G－9 | 37 | 30 | 53 | |
| 209 | 円形 | C－8 | 28 | 27 | 43 | | 279 | 円形 | F－9 | 35 | 34 | 33 | 土器あり |
| 210 | 円形 | D－8 | 40 | 38 | 43 | S字甕ほか | 280 | 円形 | G－10 | 33 | 26 | 16 | 土器あり |

## ピット観察表

単位：cm

| 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 | 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 281 | 円形 | F－9 | 38 | 37 | 22 | 土器あり | 351 | 円形 | C－12 | 53 | 50 | 60 | 土器あり |
| 282 | 円形 | F－9 | 37 | 34 | 18 | | 352 | 円形 | D－12 | 33 | 30 | 43 | 土器あり |
| 283 | 円形 | F－9 | 45 | 40 | 35 | 土器あり | 353 | 楕円形 | D－11 | 67 | 42 | 10 | |
| 284 | 円形 | F－9 | 39 | 36 | 15 | S字甕ほか | 354 | 楕円形 | D－12 | 51 | (30) | 50 | 土器あり |
| 285 | 円形 | F－10 | 46 | 44 | 42 | 土器あり | 355 | 方形 | D－12 | 30 | (23) | 25 | |
| 286 | 円形 | F－11 | 30 | 28 | 34 | 土器あり | 356 | 方形 | D－12 | 28 | (20) | 28 | |
| 287 | 楕円形 | F－10 | 61 | 34 | 23 | 土器あり | 357 | 円形 | D－12 | 18 | 18 | 19 | 土器あり |
| 288 | 円形 | F－10 | 30 | 27 | 18 | 土器あり | 358 | 円形 | E－12 | 31 | 29 | 21 | S字甕ほか |
| 289 | 円形 | F－11 | 28 | 27 | 24 | | 359 | 円形 | E－12 | 27 | 25 | 53 | |
| 290 | 円形 | G－10 | 33 | 30 | 45 | | 360 | 円形 | E－12 | 40 | 37 | 8 | S字甕 |
| 291 | 円形 | G－10 | 26 | 24 | 31 | | 361 | 円形 | E－12 | 33 | 31 | 14 | |
| 292 | 円形 | F－10 | 41 | 39 | 44 | 土器あり | 362 | 楕円形 | E－12 | 54 | 37 | 22 | 土器あり |
| 293 | 円形 | F－10 | 37 | 31 | 27 | 土器あり | 363 | 円形 | E－11 | 49 | 43 | 40 | 土器あり |
| 294 | 円形 | E－9 | 41 | 36 | 22 | 土器あり | 364 | 楕円形 | E－12 | 39 | 27 | 36 | 土器あり |
| 295 | 円形 | E－9 | 51 | 40 | 46 | 土器あり | 365 | 円形 | E－12 | 28 | 25 | 30 | |
| 296 | 円形 | E－10 | 40 | 38 | 25 | 土器あり | 366 | 円形 | E－12 | 25 | 19 | 60 | |
| 297 | 円形 | D－8 | 33 | 33 | 10 | | 367 | 円形 | E－12 | 27 | 23 | 17 | |
| 298 | 円形 | D－8 | 22 | 19 | 13 | | 368 | 楕円形 | F－12 | 70 | 52 | 37 | |
| 299 | 円形 | D－8 | 20 | 19 | 15 | | 369 | 円形 | F－12 | 79 | 49 | 17 | 土器あり |
| 300 | 円形 | D－9 | 28 | 26 | 46 | S字甕 | 370 | 楕円形 | F－12 | 47 | 37 | 43 | 土器あり |
| 301 | 円形 | D－9 | 32 | 25 | 48 | 土器あり | 371 | 不整円形 | F－12 | 61 | 52 | 18 | |
| 302 | 円形 | D－9 | 55 | 53 | 26 | 土器あり | 372 | 円形 | F－12 | 52 | 46 | 41 | 土器あり |
| 303 | 円形 | D－9 | 40 | 38 | 35 | 土器あり | 373 | 円形 | F－11 | 74 | 62 | 66 | 土器あり |
| 304 | 円形 | D－10 | 36 | 32 | 23 | | 374 | 円形 | F－11 | 31 | 24 | 39 | |
| 305 | 円形 | D－10 | 36 | 35 | 25 | 土器あり | 375 | 円形 | F－11 | 31 | 26 | 30 | |
| 306 | 楕円形 | D－10 | 44 | 35 | 44 | 土器あり | 376 | 円形 | F－11 | 25 | 23 | 34 | |
| 307 | 円形 | E－11 | 56 | 45 | 45 | 土器あり | 377 | 楕円形 | G－11 | 30 | 22 | 35 | |
| 308 | 方形 | E－11 | 80 | 59 | 33 | 土器あり | 378 | 方形 | F－12 | 76 | 72 | 62 | 高坏・器台 |
| 309 | 円形 | G－11 | 31 | 30 | 30 | | 379 | 円形 | D－10 | 41 | 39 | | 土器あり |
| 310 | 円形 | D－10 | 27 | 26 | 43 | 土器あり | 380 | 円形 | D－11 | 36 | 34 | | |
| 311 | 円形 | D－10 | 27 | 24 | 20 | 土器あり | 381 | 方形 | D－11 | 84 | 80 | 54 | 土器あり |
| 312 | 円形 | E－10 | 47 | 41 | 16 | 高坏 | 382 | 方形 | E－11 | 71 | 60 | 55 | 土器あり |
| 313 | 円形 | E－10 | 42 | 38 | 46 | | 383 | 楕円形 | C－10 | 69 | 55 | 45 | 土器あり |
| 314 | 円形 | E－10 | 24 | 23 | 26 | 土器あり | 384 | 円形 | C－11 | 20 | 19 | 32 | 土器あり |
| 315 | 円形 | E－10 | 28 | 27 | 30 | 土器あり | 385 | 円形 | G－9 | 31 | 25 | 39 | |
| 316 | 円形 | E－10 | 40 | 38 | 41 | 二重口縁壺 | 386 | 円形 | G－11 | 35 | 28 | 55 | |
| 317 | 円形 | E－10 | 41 | 32 | 35 | 土器あり | 387 | 円形 | G－11 | 49 | 46 | 31 | 土器あり |
| 318 | 円形 | D－10 | 23 | 23 | 24 | | 388 | 円形 | G－9 | 26 | 24 | 7 | |
| 319 | 円形 | E－10 | 42 | 36 | 45 | 土器あり | 389 | 円形 | G－9 | 24 | 21 | 8 | |
| 320 | 円形 | E－10 | 45 | 40 | 50 | 土器あり | 390 | 不整楕円形 | G－9 | 120 | 53 | 50 | |
| 321 | 円形 | C－10 | 26 | 22 | 39 | 土器あり | 391 | 円形 | G－10 | 26 | 19 | 42 | |
| 322 | 円形 | D－10 | 28 | 28 | 40 | | 392 | 楕円形 | F－11 | 54 | 33 | 59 | 高坏 |
| 323 | 円形 | C－11 | 39 | 33 | 51 | 土器あり | 393 | 円形 | G－11 | 80 | － | 64 | |
| 324 | 円形 | C－11 | 40 | 39 | 71 | 土器あり | 394 | 円形 | F－13 | 29 | 28 | 33 | S字甕ほか |
| 325 | 円形 | F－11 | 32 | 27 | 45 | 土器あり | 395 | 円形 | E－10 | 9 | 8 | 37 | 土器あり |
| 326 | 方形 | G－11 | 77 | 77 | 75 | 土器あり | 396 | 円形 | G－11 | 24 | 23 | 50 | |
| 327 | 楕円形 | C－10 | 41 | 29 | 38 | | 397 | 円形 | G－11 | 36 | 36 | 35 | |
| 328 | 円形 | C－9 | 47 | 41 | 52 | | 398 | 円形 | C－9 | 30 | 27 | 22 | |
| 329 | 楕円形 | C－9 | 50 | 39 | 12 | | 399 | 円形 | F－10 | 26 | 23 | 26 | |
| 330 | 円形 | C－10 | (28) | 27 | 36 | 土器あり | 400 | 円形 | C－9 | 23 | 22 | 46 | S字甕 |
| 331 | 円形 | C－9 | 26 | 25 | 22 | 土器あり | 401 | 円形 | C－9 | 21 | 21 | 41 | |
| 332 | 円形 | C－9 | 34 | 34 | 17 | | 402 | 円形 | F－12 | 32 | 23 | 30 | 土器あり |
| 333 | 円形 | C－10 | 31 | 28 | 52 | | 403 | 円形 | F－12 | 57 | 48 | 15 | |
| 334 | 円形 | C－9 | 26 | 26 | 19 | 土器あり | 404 | 不整円形 | F－12 | 47 | 40 | 22 | 土器あり |
| 335 | 円形 | C－10 | 44 | 42 | 15 | | 405 | 円形 | F－12 | 33 | 31 | 16 | |
| 336 | 円形 | C－10 | 31 | － | 12 | | 406 | 円形 | F－12 | 38 | 36 | 44 | 土器あり |
| 337 | 円形 | D－8 | 37 | 31 | 42 | 土器あり | 407 | 方形 | F－12 | 70 | 65 | 70 | S字甕ほか |
| 338 | 円形 | C－11 | 40 | 35 | 37 | 土器あり | 408 | 円形 | E－12 | 28 | 28 | 15 | |
| 339 | 円形 | C－10 | － | 65 | 28 | | 409 | 円形 | F－12 | 52 | 50 | 32 | 甕ほか |
| 340 | 円形 | C－10 | 31 | 30 | 16 | 土器あり | 410 | 円形 | F－12 | 33 | 33 | 38 | 土器あり |
| 341 | 円形 | B－11 | 26 | 23 | 10 | 土器あり | 411 | 長方形 | E－12 | 73 | 44 | 58 | 土器あり |
| 342 | 円形 | B－11 | 25 | 22 | 11 | | 412 | 円形 | E－12 | 64 | 54 | 49 | 土器あり |
| 343 | 円形 | B－11 | 29 | 26 | 6 | | 413 | 円形 | E－14 | 55 | 46 | 51 | |
| 344 | 不整円形 | B－11 | 28 | 25 | 24 | | 414 | 円形 | E－12 | 24 | 21 | 25 | |
| 345 | 円形 | B－11 | 33 | 32 | 27 | 高坏 | 415 | 円形 | E－12 | 29 | 24 | 34 | 土器あり |
| 346 | 円形 | C－12 | 27 | 25 | 24 | | 416 | 円形 | E－12 | 17 | 17 | 25 | |
| 347 | 円形 | C－11 | 33 | 32 | 43 | | 417 | 円形 | E－12 | 30 | 27 | 26 | S字甕ほか |
| 348 | 円形 | C－11 | 32 | 26 | 13 | | 418 | 円形 | E－12 | 27 | 27 | 44 | |
| 349 | 楕円形 | C－11 | 51 | 37 | 61 | 土器あり | 419 | 円形 | F－12 | 32 | 30 | 22 | 土器あり |
| 350 | 円形 | C－11 | 45 | 43 | 16 | | 420 | 円形 | E－12 | 28 | 24 | 15 | 土器あり |

## ピット観察表

単位：cm

| 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 | 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 421 | 円形 | E－12 | 32 | 29 | 18 | | 491 | 円形 | D－14 | 21 | 20 | 22 | |
| 422 | 円形 | D－12 | 34 | 34 | 20 | | 492 | 円形 | D－14 | 30 | 28 | 32 | 高坏 |
| 423 | 円形 | D－12 | 54 | 54 | 61 | 土器あり | 493 | 楕円形 | E－15 | 38 | 27 | 48 | |
| 424 | 円形 | D－12 | 29 | 25 | 20 | 土器あり | 494 | 円形 | E－14 | 53 | 45 | 58 | 土器あり |
| 425 | 円形 | C－12 | 31 | 30 | 44 | 土器あり | 495 | 楕円形 | G－10 | 43 | 31 | 42 | |
| 426 | 円形 | E－12 | 29 | 26 | 12 | | 496 | 円形 | C－14 | 30 | 27 | 6 | |
| 427 | 円形 | C－12 | 14 | 14 | | | 497 | 円形 | D－15 | 30 | 28 | 10 | |
| 428 | 円形 | C－12 | 28 | 27 | 33 | | 498 | 円形 | D－15 | 38 | 34 | 17 | 土器あり |
| 429 | 円形 | C－12 | 28 | 28 | 12 | 土器あり | 499 | 円形 | F－13 | 56 | － | 60 | |
| 430 | 円形 | C－12 | 24 | 24 | 9 | | 500 | 円形 | F－12 | 58 | 49 | 48 | |
| 431 | 円形 | C－12 | 35 | 34 | 22 | 土器あり | 501 | 円形 | E－11 | 33 | 29 | 36 | 高坏 |
| 432 | 円形 | C－12 | 27 | 26 | 26 | | 502 | 円形 | F－14 | 32 | 30 | 40 | S字甕ほか |
| 433 | 楕円形 | F－12 | 41 | 30 | 39 | 土器あり | 503 | 長方形 | F－14 | 74 | 56 | 30 | |
| 434 | 楕円形 | D－12 | 33 | 27 | 31 | 土器あり | 504 | 円形 | F－12 | 41 | 40 | 16 | 土器あり |
| 435 | 円形 | C－12 | 35 | 33 | 22 | 土器あり | 505 | 円形 | F－12 | 39 | 35 | 54 | 土器あり |
| 436 | 円形 | D－12 | 44 | 41 | 41 | 土器あり | 506 | 円形 | F－12 | 31 | 30 | 48 | 土器あり |
| 437 | 楕円形 | D－12 | 50 | 43 | 23 | 土器あり | 507 | 円形 | E－12 | 25 | 23 | 27 | 土器あり |
| 438 | 不整楕円形 | D－12 | 29 | 18 | 19 | 土器あり | 508 | 円形 | E－12 | 27 | 27 | 17 | |
| 439 | 円形 | D－12 | 18 | 16 | 12 | | 509 | 円形 | F－15 | 26 | 24 | 23 | |
| 440 | 楕円形 | D－13 | 29 | 18 | 14 | 土器あり | 510 | 円形 | B－13 | 49 | 48 | 48 | 土器あり |
| 441 | 円形 | G－9 | 42 | 41 | 41 | 土器あり | 511 | 方形 | F－15 | 60 | － | 26 | 土器あり |
| 442 | 円形 | G－9 | － | 35 | 38 | 土器あり | 512 | 円形 | C－12 | 73 | 71 | 9 | |
| 443 | 円形 | F－12 | 49 | － | 64 | S字甕ほか | 513 | 円形 | E－14 | 40 | 38 | 42 | |
| 444 | 方形 | F－12 | 45 | 37 | 56 | 土器あり | 514 | 円形 | C－12 | 29 | 27 | 43 | |
| 445 | 円形 | E－13 | 27 | 22 | 18 | | 515 | 円形 | D－12 | 30 | 27 | 21 | |
| 446 | 円形 | E－13 | 34 | 27 | 26 | 土器あり | 516 | 円形 | D－11 | 28 | 27 | 15 | |
| 447 | 円形 | F－13 | 25 | 24 | 25 | | 517 | 円形 | C－12 | 24 | 23 | 11 | |
| 448 | 円形 | E－13 | 75 | 67 | 62 | S字甕ほか | 518 | 円形 | C－12 | 29 | 27 | 9 | 土器あり |
| 449 | 円形 | F－13 | 20 | 19 | 18 | 土器あり | 519 | 円形 | C－12 | 28 | 25 | 10 | 土器あり |
| 450 | 楕円形 | D－12 | 43 | (27) | 56 | | 520 | 円形 | C－12 | 23 | 18 | 9 | |
| 451 | 円形 | F－13 | 53 | 44 | 56 | | 521 | 円形 | C－13 | 12 | 11 | 16 | |
| 452 | 円形 | F－13 | 38 | 34 | 24 | 土器あり | 522 | 円形 | C－13 | 13 | 12 | 21 | |
| 453 | 円形 | F－13 | 33 | 28 | 26 | | 523 | 円形 | C－13 | 16 | 14 | 14 | |
| 454 | 円形 | F－13 | 54 | 49 | 68 | S字甕ほか | 524 | 円形 | C－13 | 27 | 22 | 18 | |
| 455 | 円形 | F－13 | 27 | 25 | 19 | | 525 | 円形 | C－13 | 24 | 20 | 17 | |
| 456 | 不整楕円形 | F－13 | 50 | 36 | 61 | 土器あり | 526 | 方形 | C－12 | 73 | 56 | 76 | 土器あり |
| 457 | 円形 | F－13 | 30 | 26 | 52 | | 527 | 円形 | C－12 | 30 | 25 | 39 | 土器あり |
| 458 | 円形 | F－13 | 35 | 32 | 53 | 土器あり | 528 | 円形 | C－13 | 31 | 27 | 18 | 土器あり |
| 459 | 円形 | C－12 | 22 | 21 | 40 | 土器あり | 529 | 円形 | C－13 | 41 | 34 | 18 | 土器あり |
| 460 | 円形 | C－12 | 33 | 30 | 10 | 土器あり | 530 | 円形 | C－13 | 35 | 34 | 8 | |
| 461 | 円形 | E－12 | 32 | 27 | 27 | S字甕ほか | 531 | 円形 | C－13 | 67 | 66 | 8 | S字甕ほか |
| 462 | 円形 | C－12 | 46 | 44 | 51 | 土器あり | 532 | 円形 | C－13 | 26 | 25 | 15 | |
| 463 | 円形 | F－10 | 39 | 35 | 32 | 土器あり | 533 | 円形 | C－13 | 24 | 23 | 12 | |
| 464 | 円形 | F－10 | 27 | 22 | 15 | | 534 | 円形 | C－13 | 23 | 23 | 15 | |
| 465 | 円形 | E－14 | 35 | 30 | 41 | | 535 | 円形 | C－13 | 29 | 28 | 14 | |
| 466 | 円形 | E－14 | 21 | 17 | 12 | | 536 | 円形 | C－13 | 21 | 18 | 11 | |
| 467 | 円形 | E－14 | 26 | 24 | 5 | | 537 | 円形 | C－13 | 34 | 33 | 10 | |
| 468 | 円形 | E－14 | 40 | 33 | 36 | S字甕 | 538 | 円形 | C－13 | 21 | 21 | 14 | |
| 469 | 円形 | E－14 | 25 | 23 | 40 | | 539 | 円形 | C－13 | 36 | 34 | 32 | |
| 470 | 円形 | F－12 | 30 | 28 | 45 | | 540 | 円形 | C－13 | 30 | 28 | 10 | 土器あり |
| 471 | 円形 | F－14 | 37 | 36 | 37 | 土器あり | 541 | 円形 | C－13 | 17 | 17 | 8 | |
| 472 | 円形 | F－14 | 26 | 25 | 27 | | 542 | 円形 | C－13 | 30 | 26 | 14 | |
| 473 | 円形 | F－14 | 33 | 32 | 47 | 土器あり | 543 | 円形 | D－10 | 45 | 44 | 25 | S字甕ほか |
| 474 | 円形 | E－14 | 53 | 48 | 49 | 土器あり | 544 | 楕円形 | D－10 | 30 | 23 | 16 | 土器あり |
| 475 | 円形 | F－14 | 56 | 47 | 29 | 土器あり | 545 | 楕円形 | C－11 | 64 | 47 | 54 | 土器あり |
| 476 | 円形 | E－14 | 32 | 30 | 19 | | 546 | 円形 | D－10 | 26 | 26 | 35 | 土器あり |
| 477 | 円形 | E－14 | 30 | 28 | 25 | 土器あり | 547 | 円形 | D－11 | 36 | 35 | 48 | 土器あり |
| 478 | 円形 | E－14 | 27 | 25 | 35 | | 548 | 円形 | C－11 | 36 | 32 | 50 | 土器あり |
| 479 | 方形 | E－14 | 71 | 60 | 38 | | 549 | 円形 | D－11 | 64 | 59 | 27 | 土器あり |
| 480 | 円形 | E－14 | 17 | 15 | 18 | 土器あり | 550 | 円形 | F－11 | 71 | 71 | 75 | 土器あり |
| 481 | 円形 | E－14 | 17 | 15 | 7 | | 551 | 円形 | F－10 | 60 | 54 | 28 | 土器あり |
| 482 | 円形 | E－15 | 37 | 29 | 17 | | 552 | 円形 | E－10 | 52 | 48 | 67 | 坏 |
| 483 | 円形 | E－15 | 26 | 25 | 22 | | 553 | 円形 | E－11 | 52 | 44 | 62 | 土器あり |
| 484 | 方形 | E－15 | 81 | 69 | 42 | 土器あり | 554 | 円形 | E－11 | 35 | 32 | 37 | 甕ほか |
| 485 | 円形 | E－15 | 37 | 36 | 44 | 土器あり | 555 | 円形 | E－11 | 35 | 32 | 53 | |
| 486 | 楕円形 | E－15 | 22 | 17 | 43 | | 556 | 円形 | E－11 | 39 | 36 | 13 | 土器あり |
| 487 | 円形 | D－15 | 33 | 32 | 33 | 土器あり | 557 | 円形 | E－11 | 30 | 24 | 10 | 土器あり |
| 488 | 円形 | D－15 | 39 | 32 | 8 | 台付甕 | 558 | 円形 | F－11 | 37 | 37 | 51 | 土器あり |
| 489 | 円形 | D－14 | 38 | 34 | 26 | | 559 | 不整円形 | E－11 | 53 | 45 | 57 | 台付甕・高坏 |
| 490 | 円形 | D－14 | 29 | 27 | 19 | 土器あり | 560 | 円形 | E－11 | 37 | 34 | 14 | |

## ピット観察表

単位：cm

| 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 | 番号 | 平面形態 | 位置 | 長径 | 短径 | 深度 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 561 | 円形 | C－14 | 22 | 21 | 12 | | 632 | 円形 | D－13 | 27 | 23 | 12 | |
| 562 | 円形 | E－13 | 84 | 77 | 43 | 遺物261 | 633 | 円形 | D－10 | 51 | 44 | 27 | 土器あり |
| 563 | 円形 | G－9 | 51 | 43 | 16 | | 634 | 円形 | C－11 | 35 | 31 | 17 | |
| 564 | 円形 | G－10 | 33 | 29 | 17 | | 635 | 楕円形 | C－10 | 45 | 35 | 59 | 土器あり |
| 565 | 円形 | E－11 | 16 | 14 | 8 | | 636 | 円形 | B－10 | 60 | 53 | 11 | 土器あり |
| 566 | 円形 | G－10 | 44 | 37 | 31 | | 637 | 円形 | C－10 | 50 | (48) | 22 | |
| 567 | 円形 | B－12 | 20 | 19 | 18 | | 638 | 円形 | C－11 | 41 | 41 | 55 | 土器あり |
| 568 | 円形 | G－10 | 22 | 21 | 9 | | 639 | 円形 | B－14 | 27 | 24 | 61 | |
| 569 | 円形 | G－10 | 40 | 35 | 38 | 土器あり | 640 | 円形 | F－11 | 24 | 21 | 12 | 土器あり |
| 570 | 円形 | G－10 | 40 | 30 | 56 | 遺物264 | 641 | 円形 | F－11 | 22 | 22 | 41 | 土器あり |
| 571 | 円形 | B－12 | 49 | 48 | 92 | | 642 | 円形 | F－11 | 55 | 52 | 21 | 土器あり |
| 572 | 円形 | C－12 | 23 | 23 | 19 | S字甕ほか | 643 | 円形 | F－12 | 16 | 16 | 15 | |
| 573 | 円形 | G－10 | 49 | 39 | 39 | 土器あり | 644 | 円形 | F－12 | 19 | 18 | 18 | |
| 574 | 楕円形 | B－12 | 33 | 25 | 46 | 土器あり | 645 | 円形 | F－12 | 19 | 18 | 17 | |
| 575 | 円形 | B－12 | 28 | 28 | 30 | 土器あり | 646 | 円形 | F－11 | 33 | 29 | 50 | S字甕ほか |
| 576 | 楕円形 | B－12 | 32 | 23 | 51 | 土器あり | 647 | 円形 | F－11 | 29 | 23 | 31 | |
| 577 | 円形 | B－12 | 30 | 29 | 25 | 土器あり | 648 | 円形 | F－12 | 30 | 26 | 36 | |
| 578 | 円形 | D－12 | 22 | 20 | 16 | | 649 | 円形 | C－10 | 40 | 36 | 12 | |
| 579 | 円形 | E－10 | 43 | 39 | 45 | | 650 | 円形 | F－12 | 28 | 26 | 22 | 土器あり |
| 580 | 円形 | E－9 | 29 | 26 | 16 | 土器あり | 651 | 円形 | F－11 | 74 | 47 | 41 | |
| 581 | 円形 | G－10 | 29 | 26 | 24 | 遺物266 | 652 | 円形 | B－14 | 31 | 27 | 14 | |
| 582 | 円形 | E－10 | 39 | 36 | 28 | 高坏 | 653 | 円形 | B－14 | 40 | 32 | 29 | 土器あり |
| 583 | 円形 | D－12 | 31 | 31 | 19 | 土器あり | 654 | 円形 | C－14 | 43 | 39 | 26 | |
| 584 | 円形 | F－12 | 27 | 26 | 22 | | 655 | 円形 | D－14 | 22 | 20 | 41 | 土器あり |
| 585 | 円形 | B－13 | 21 | 20 | 38 | | 656 | 円形 | B－14 | 42 | 35 | 25 | |
| 586 | 円形 | B－13 | 31 | 26 | 32 | | 657 | 円形 | B－13 | 36 | 30 | 16 | |
| 587 | 円形 | D－10 | 38 | 34 | 32 | 土器あり | 658 | 楕円形 | D－11 | － | 28 | 26 | 土器あり |
| 588 | 円形 | D－9 | 33 | 31 | 33 | 土器あり | 659 | 方形 | E－10 | 71 | 63 | 31 | 二重口縁壺 |
| 589 | 円形 | D－9 | 33 | 30 | 39 | 土器あり | 660 | 円形 | D－11 | 26 | 25 | 31 | 土器あり |
| 590 | 円形 | D－9 | 31 | 30 | 45 | | 661 | 円形 | D－11 | 32 | 30 | 28 | |
| 591 | 楕円形 | D－10 | 32 | 23 | 45 | S字甕ほか | 662 | 方形 | D－9 | 60 | 54 | 39 | 遺物258・259 |
| 592 | 長方形 | B－13 | 59 | 47 | 82 | 土器あり | 663 | 方形 | D－11 | 72 | 58 | 51 | |
| 593 | 円形 | B－13 | 45 | 41 | 34 | | 664 | 円形 | D－11 | 70 | 56 | 28 | 高坏 |
| 594 | 円形 | B－13 | 27 | 26 | 25 | | 665 | 楕円形 | D－11 | 51 | 41 | 25 | 土器あり |
| 595 | 円形 | B－13 | 48 | 34 | 80 | | 666 | 円形 | E－11 | 45 | 43 | 20 | |
| 596 | 不整円形 | B－13 | 33 | 30 | 29 | | 667 | 円形 | D－11 | 45 | 44 | 46 | 土器あり |
| 597 | 円形 | B－13 | 22 | 22 | 15 | | 668 | 円形 | D－11 | 41 | 38 | 54 | 土器あり |
| 598 | 円形 | D－10 | 26 | 25 | 18 | 土器あり | 669 | 円形 | E－11 | 48 | 46 | 42 | 土器あり |
| 599 | 円形 | D－10 | 28 | 25 | 30 | 土器あり | 670 | 円形 | F－11 | 27 | 23 | 12 | |
| 600 | 円形 | D－9 | 25 | 23 | 57 | | 671 | 円形 | D－11 | 47 | 43 | 27 | 土器あり |
| 601 | 円形 | D－9 | 22 | 21 | 39 | S字甕 | 672 | 円形 | E－11 | 97 | 85 | 53 | 土器あり |
| 602 | 円形 | D－9 | 21 | 19 | 33 | | 673 | 楕円形 | F－13 | 55 | 37 | 45 | 土器あり |
| 603 | 円形 | E－9 | 43 | 34 | 32 | 土器あり | 674 | 円形 | B－14 | 68 | 55 | 20 | |
| 604 | 円形 | C－14 | 26 | 25 | 25 | | 675 | 楕円形 | B－14 | 35 | 17 | 12 | |
| 605 | 円形 | C－14 | 45 | 40 | 21 | 土器あり | 676 | 円形 | D－13 | 23 | 21 | 11 | |
| 606 | 円形 | B－12 | 17 | 17 | 29 | | 677 | 円形 | D－13 | 42 | 39 | 68 | 土器あり |
| 607 | 円形 | B－12 | 18 | 17 | 15 | 遺物260 | 678 | 円形 | D－13 | 36 | 31 | 9 | |
| 608 | 円形 | B－12 | 20 | 17 | 18 | 土器あり | 679 | 円形 | D－13 | 33 | 30 | 12 | |
| 609 | 円形 | B－12 | 48 | 45 | 84 | 土器あり | 680 | 円形 | D－13 | 33 | 28 | 14 | 遺物263 |
| 610 | 円形 | B－14 | 44 | 43 | 47 | 土器あり | 681 | 不整楕円形 | D－13 | 37 | 29 | 31 | |
| 611 | 円形 | B－14 | 30 | 30 | 17 | | 682 | 円形 | D－14 | 37 | 36 | 60 | 土器あり |
| 612 | 円形 | C－14 | 28 | 22 | 10 | | 683 | 円形 | D－13 | 48 | 43 | 65 | 土器あり |
| 613 | 円形 | E－15 | 22 | 21 | 28 | | 684 | 円形 | D－13 | 30 | 29 | 11 | 土器あり |
| 614 | 円形 | F－13 | 29 | 28 | 39 | | 685 | 円形 | C－14 | 22 | 18 | 35 | |
| 615 | 円形 | B－14 | 31 | － | 22 | | 686 | 円形 | E－13 | 46 | 44 | 58 | 土器あり |
| 616 | 不整円形 | E－12 | 47 | 46 | 36 | S字甕ほか | 687 | 円形 | D－14 | 40 | 36 | 8 | S字甕ほか |
| 617 | 円形 | E－13 | 45 | 38 | 45 | 高坏 | 688 | 円形 | C－10 | 54 | 45 | 48 | 台付甕 |
| 618 | 円形 | E－13 | 46 | 40 | 37 | 土器あり | 689 | 円形 | B－11 | 35 | 30 | 50 | |
| 619 | 円形 | E－13 | 41 | 38 | 49 | 土器あり | 690 | 円形 | C－11 | 53 | 50 | 29 | 台付甕 |
| 620 | 円形 | G－10 | 26 | 26 | 19 | 土器あり | 691 | 円形 | C－10 | 23 | 20 | 25 | 高坏 |
| 621 | 円形 | F－11 | － | 36 | 20 | | 692 | 円形 | F－13 | － | 31 | 29 | |
| 622 | 円形 | G－9 | 35 | 33 | 24 | | 693 | 円形 | F－13 | 43 | － | 42 | S字甕ほか |
| 623 | 円形 | G－10 | 67 | 59 | 62 | | 694 | 円形 | B－13 | 82 | 64 | 40 | 土器あり |
| 624 | 円形 | G－10 | － | － | 16 | 土器あり | 695 | 円形 | F－15 | 20 | 14 | 7 | |
| 625 | 円形 | E－11 | 28 | 21 | 56 | 土器あり | 696 | 円形 | G－10 | 25 | 25 | 18 | |
| 626 | 円形 | E－11 | 41 | 36 | 5 | | 697 | 楕円形 | D－9 | 33 | 22 | 29 | 土器あり |
| 627 | 円形 | E－10 | 32 | 30 | 47 | | 698 | 円形 | B－14 | 23 | 19 | 30 | 土器あり |
| 628 | 円形 | F－11 | 26 | 24 | 57 | 土器あり | 699 | 円形 | D－8 | 21 | 17 | 10 | |
| 629 | 円形 | E－10 | 27 | 21 | 19 | | 700 | 円形 | C－8 | 46 | 40 | 76 | |
| 630 | 円形 | F－11 | 35 | 33 | 56 | | 701 | 円形 | D－8 | 20 | 18 | 15 | |
| 631 | 方形 | G－10 | － | 67 | 57 | 土器あり | 702 | 円形 | D－10 | 40 | 35 | 28 | |

## 出土遺物観察表

単位：cm　（　）は反転実測による復元値

| 図版番号 | 番号 | 出土位置・遺構 | 器　種 | 法　量 | | | 色　調 | 焼成 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | |
| 39 | 1 | 1号溝跡・下層 | 碗 | (12.8) | ( 4.7) | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 39 | 2 | 1号溝跡・下層 | 碗 | 11.6 | 5.5 | — | 10YR 鈍い黄橙 6/4 | 良 | |
| 39 | 3 | 1号溝跡・下層 | 碗 | (14.2) | ( 5.6) | — | 10YR 鈍い黄褐 5/3 | 良 | 摩耗している |
| 39 | 4 | 1号溝跡・下層 | 碗 | (15.1) | ( 5.2) | 4.6 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 内外面赤彩？ |
| 39 | 5 | 1号溝跡・下層 | 坏 | 13.1 | 5.2 | 5.0 | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 39 | 6 | 1号溝跡・下層 | 坏 | 13.6 | 5.7 | | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | |
| 39 | 7 | 1号溝跡・下層 | 坏 | 13.8 | 7.1 | 5.3 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 39 | 8 | 1号溝跡・下層 | 碗 | (16.3) | 6.5 | — | 10YR 灰黄褐 6/2 | 良 | 摩耗している |
| 39 | 9 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | (16.2) | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | |
| 39 | 10 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 17.8 | ( 7.1) | — | 7.5YR 灰褐 6/2 | 良 | 二次被熱 |
| 39 | 11 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | (19.4) | — | — | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 39 | 12 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 16.6 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 39 | 13 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 15.5 | 10.1 | 11.0 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 39 | 14 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 15.6 | 8.1 | 9.8 | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 39 | 15 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 18.3 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 摩耗している |
| 39 | 16 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | (24.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 摩耗している |
| 39 | 17 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | 18.7 | 13.7 | 13.9 | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | 摩耗している |
| 39 | 18 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | — | — | (11.6) | 7.5YR 鈍い褐 5/4 | 良 | |
| 39 | 19 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | — | — | 10.3 | 5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 39 | 20 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | — | — | 11.2 | 10YR 灰黄灰 6/2 | 良 | |
| 39 | 21 | 1号溝跡・下層 | 高坏 | (20.2) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 39 | 22 | 1号溝跡・下層 | 坩 | 9.8 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | 輪積み痕あり |
| 39 | 23 | 1号溝跡・下層 | 坩 | 8.4 | 11.5 | 3.0 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 39 | 24 | 1号溝跡・下層 | 坩 | 7.6 | 7.9 | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 39 | 25 | 1号溝跡・下層 | 坩 | ( 6.8) | 9.1 | 3.2 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 39 | 26 | 1号溝跡・下層 | 坩 | ( 9.5) | 10.4 | 3.4 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 輪積み痕あり |
| 40 | 27 | 1号溝跡・下層 | 坩か小壺 | — | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 輪積み痕あり |
| 40 | 28 | 1号溝跡・下層 | 坩 | — | — | ( 3.8) | 7.5YR 橙 6/6 | 良 | 穿孔あり |
| 40 | 29 | 1号溝跡・下層 | 坩 | — | ( 7.8) | — | 5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 40 | 30 | 1号溝跡・下層 | S字甕 | — | ( 7.8) | ( 9.9) | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 40 | 31 | 1号溝跡・下層 | S字甕 | — | ( 6.5) | ( 9.2) | 10YR 鈍い黄褐 7/2 | 良 | |
| 40 | 32 | 1号溝跡・下層 | S字甕 | (11.4) | ( 3.8) | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 40 | 33 | 1号溝跡・下層 | S字甕 | (12.6) | ( 4.5) | — | 7.5YR 鈍い褐 7/4 | 良 | |
| 40 | 34 | 1号溝跡・下層 | 甕 | (16.8) | ( 9.5) | — | 7.5YR 鈍い褐 5/3他 | 良 | |
| 40 | 35 | 1号溝跡・下層 | 甕か壺 | 15.6 | ( 7.7) | — | 7.5YR 鈍い褐 6/3 | 良 | ハケが不鮮明 |
| 40 | 36 | 1号溝跡・下層 | 折返口縁壺 | (21.6) | ( 7.8) | — | 10YR 灰黄褐 6/2 | 良 | |
| 40 | 37 | 1号溝跡・下層 | 甕か壺 | (16.0) | ( 5.5) | — | 7.5YR 鈍い褐 5/3 | 良 | |
| 40 | 38 | 1号溝跡・下層 | 壺 | (15.0) | (10.4) | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 40 | 39 | 1号溝跡・下層 | 壺 | 13.8 | — | — | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | 摩耗・剥離あり |
| 40 | 40 | 1号溝跡・下層 | 甕 | 16.2 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 40 | 41 | 1号溝跡・下層 | 壺 | (14.8) | (13.8) | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4他 | 良 | |
| 40 | 42 | 1号溝跡・下層 | 壺 | — | (13.0) | ( 6.6) | 10YR 鈍い黄褐 7/2 | 良 | |
| 40 | 43 | 1号溝跡・下層 | 甕 | (19.3) | (28.7) | 8.1 | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 40 | 44 | 1号溝跡・下層 | 甕 | (13.5) | 23.5 | 5.5 | 10YR 鈍い黄橙 6/4 | 良 | 外面にスス付着 |
| 41 | 45 | 1号溝跡・下層 | 甕 | | | | 7.5YR 鈍い褐 5/3 | 良 | |
| 41 | 46 | 1号溝跡・下層 | 甕 | (23.0) | (33.1) | | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | |
| 41 | 47 | 1号溝跡・下層 | 甕 | 19.0 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | 外面にスス付着 |
| 41 | 48 | 1号溝跡・下層 | 甑 | | | | 2.5Y 浅黄 7/3 | 良 | |
| 41 | 49 | 1号溝跡・下層 | 蓋 | — | — | — | 5B 青灰 6/1 | 良 | 須恵器 |
| 41 | 50 | 1号溝跡・最下層 | 高坏 | — | (12.2) | 16.2 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 41 | 51 | 1号溝跡・最下層 | S字甕 | 14.0 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 41 | 52 | 1号溝跡・最下層 | S字甕 | (14.2) | ( 5.2) | — | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 41 | 53 | 1号溝跡・最下層 | 甕 | (18.7) | ( 5.0) | — | 5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 41 | 54 | 1号溝跡 | 高坏 | — | — | 11.4 | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 赤彩あり |
| 41 | 55 | 1号溝跡 | 坩 | | | | 10YR 灰黄褐 6/2 | 良 | |
| 41 | 56 | 1号溝跡 | 坩か小壺 | 9.6 | 10.1 | 5.0 | 10YR 鈍い黄橙 7/2 | 良 | |
| 41 | 57 | 1号溝跡 | 坩 | ( 7.8) | 8.7 | — | 10YR 鈍い黄橙 6/3 | 良 | |
| 42 | 58 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 59 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 60 | 1号溝跡・下層 | 刀形 | — | — | — | | | 木製品 |

## 出土遺物観察表

単位：cm　（　）は反転実測による復元値

| 図版番号 | 番号 | 出土位置・遺構 | 器　種 | 法　量 | | | 色　調 | 焼成 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | |
| 42 | 61 | 1号溝跡・下層 | 柄 | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 62 | 1号溝跡・下層 | 板材 | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 63 | 1号溝跡・下層 | 板材 | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 64 | 1号溝跡・下層 | 板材 | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 65 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 66 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 67 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 68 | 1号溝跡・下層 | — | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 69 | 1号溝跡・下層 | 板材 | — | — | — | | | 木製品 |
| 42 | 70 | 1号溝跡・下層 | 板材 | — | — | — | | | 木製品 |
| 43 | 71 | 4号溝跡 | 甕 | (14.2) | — | — | YR 橙 7/8 | 良 | |
| 43 | 72 | 4号溝跡 | 甕か壺 | — | — | 5.7 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 43 | 73 | 6号溝跡 | 甕 | 14.0 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 43 | 74 | 12号溝跡 | 器台か | 6.1 | — | — | 5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 43 | 75 | 14号溝跡 | 器台 | (22.6) | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | 北陸系 |
| 43 | 76 | 14号溝跡 | 折返口縁鉢 | (17.0) | — | — | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 43 | 77 | 14号溝跡 | 壺 | — | — | 6.0 | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 43 | 78 | 14号溝跡 | 二重口縁壺 | 17.0 | — | — | 7.5YR 鈍い褐 6/3 | 良 | 畿内系 |
| 43 | 79 | 14号溝跡 | 台付甕 | (16.4) | — | ( 9.4) | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 43 | 80 | 3号竪穴建物 | 折返口縁壺 | 15.3 | | | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 43 | 81 | 3号竪穴建物 | 高坏 | (18.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 摩耗している |
| 43 | 82 | 3号竪穴建物 | 器台 | — | — | (22.0) | 5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 43 | 83 | 5号竪穴建物 | 甕か | — | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/2 | 良 | 縄文土器 |
| 43 | 84 | 5号竪穴建物 | 甕 | (24.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 43 | 85 | 6号竪穴建物 | 碗 | (14.2) | 5.4 | ( 5.7) | 2.5YR 赤褐 4/6 | 良 | 摩耗している |
| 43 | 86 | 6号竪穴建物 | 碗 | (13.7) | 6.4 | 3.8 | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | 摩耗している |
| 43 | 87 | 6号竪穴建物 | 碗 | | | | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 摩耗している |
| 43 | 88 | 6号竪穴建物 | 碗か坏 | — | — | 4.3 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 43 | 89 | 6号竪穴建物 | 高坏 | (14.3) | 8.9 | 9.5 | 5YR 橙 6/8 | 良 | 摩耗している |
| 43 | 90 | 6号竪穴建物 | 甕 | (20.9) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 43 | 91 | 6号竪穴建物 | 甕 | 23.8 | — | — | 5YR 赤褐 4/6 | 良 | 摩耗している |
| 44 | 92 | 6号竪穴建物 | 甕 | (18.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 不良 | 摩耗している |
| 44 | 93 | 6号竪穴建物 | 甕 | (18.0) | — | — | 2.5YR 浅黄 7/3 | 良 | |
| 44 | 94 | 6号竪穴建物 | 甕 | (16.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 輪積み痕あり |
| 44 | 95 | 6号竪穴建物 | 甕 | 14.3 | — | — | 2.5YR 浅黄 8/3 | 良 | |
| 44 | 96 | 6号竪穴建物 | 甕 | — | — | 7.7 | 7.5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 44 | 97 | 6号竪穴建物 | 壺か | — | — | — | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | 赤彩あり |
| 44 | 98 | 6号竪穴建物 | 壺か | — | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 44 | 99 | 7号竪穴建物 | 碗 | (14.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 44 | 100 | 7号竪穴建物 | 碗 | (11.4) | 4.9 | | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 44 | 101 | 7号竪穴建物 | 碗 | (12.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 44 | 102 | 7号竪穴建物 | 碗 | (12.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 44 | 103 | 7号竪穴建物 | 坏 | 13.0 | 6.2 | 4.7 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 44 | 104 | 7号竪穴建物 | 坏 | 12.8 | 5.75 | 6.0 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 不良 | 焼けムラあり |
| 44 | 105 | 7号竪穴建物 | 坏 | (13.4) | (4.75) | | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 44 | 106 | 7号竪穴建物 | 坏 | 11.9 | 6.8 | 4.3 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 44 | 107 | 7号竪穴建物 | 甑 | (16.6) | ( 9.0) | | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 44 | 108 | 7号竪穴建物 | 高坏 | (14.6) | ( 8.4) | 11.1 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 二次被熱 |
| 44 | 109 | 7号竪穴建物 | 高坏 | 14.7 | 10.2 | 10.5 | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 44 | 110 | 7号竪穴建物 | 高坏 | 16.3 | 10.9 | 10.9 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 44 | 111 | 7号竪穴建物 | 高坏 | — | — | — | 7.5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 44 | 112 | 7号竪穴建物 | 高坏 | — | — | 9.8 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 45 | 113 | 7号竪穴建物 | 小壺 | — | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 45 | 114 | 7号竪穴建物 | 鉢 | — | — | 4.9 | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 45 | 115 | 7号竪穴建物 | 小壺 | ( 9.7) | (11.0) | ( 6.4) | 5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 底部割れ・二次被熱 |
| 45 | 116 | 7号竪穴建物 | 甕か | (15.7) | ( 3.3) | — | 5YR 橙 7/6 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 117 | 7号竪穴建物 | 甕 | (15.9) | ( 5.2) | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 45 | 118 | 7号竪穴建物 | 甕か | (17.0) | — | — | 10YR 浅黄橙 8/4 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 119 | 7号竪穴建物 | 甕 | (17.0) | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 45 | 120 | 7号竪穴建物 | 甕 | (14.8) | — | — | 7.5YR 橙 7/6 | 良 | |

## 出土遺物観察表

単位：cm　（　）は反転実測による復元値

| 図版番号 | 番号 | 出土位置・遺構 | 器　種 | 法　量 | | | 色　調 | 焼成 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | |
| 45 | 121 | 7号竪穴建物 | 甕 | (17.0) | ( 9.2) | — | 7.5YR 褐灰 4/1 | 良 | ハケ目が不鮮明 |
| 45 | 122 | 7号竪穴建物 | 甕 | (21.0) | ( 4.4) | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 45 | 123 | 7号竪穴建物 | 甕 | (16.8) | ( 8.0) | — | 2.5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 124 | 7号竪穴建物 | 甕 | (17.5) | (10.8) | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 125 | 7号竪穴建物 | 甕 | (20.3) | — | — | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 126 | 7号竪穴建物 | 壺 | (19.0) | (15.0) | — | 10YR 褐灰 6/1 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 45 | 127 | 7号竪穴建物 | 甕 | 16.5 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | 二次被熱 |
| 45 | 128 | 7号竪穴建物 | 甕 | (16.5) | | | 7.5YR 浅黄橙 8/4 | 不良 | 焼けムラあり |
| 45 | 129 | 7号竪穴建物 | 甕 | (16.0) | (24.6) | 6.6 | 7.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 45 | 130 | 7号竪穴建物 | 壺 | 11.0 | 16.5 | 5.0 | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | |
| 45 | 131 | 7号竪穴建物 | 甕 | 19.0 | 37.8 | 7.8 | 10YR 灰白 8/2 | 良 | 輪積み痕あり |
| 46 | 132 | 7号竪穴建物 | 甕 | — | (11.0) | ( 7.0) | 5YR 橙 6/6 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 46 | 133 | 7号竪穴建物 | 甕 | — | (11.9) | ( 7.6) | 5YR 橙 6/6 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 46 | 134 | 7号竪穴建物 | 甕 | — | (11.8) | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 46 | 135 | 7号竪穴建物 | 甕 | — | — | ( 7.4) | 5YR 橙 6/6 | 良 | 二次被熱により変形 |
| 46 | 136 | 7号竪穴建物 | 甕 | — | ( 4.0) | ( 7.0) | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 46 | 137 | 7号竪穴建物 | 小型甕か壺 | — | — | 3.8 | 5YR 橙 6/8 | 良 | |
| 46 | 138 | 7号竪穴建物 | 無蓋高坏か | 17.0 | — | — | N 灰白 7/ | 良 | 須恵器 |
| 46 | 139 | 7号竪穴建物 | 甕 | (32.0) | (58.5) | — | 5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 須恵器 |
| 47 | 140 | 7号竪穴建物 | 砥石 | — | — | — | | | |
| 47 | 141 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 142 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 143 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 144 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 145 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 146 | 7号竪穴建物 | 編物用石錘 | — | — | — | | | |
| 47 | 147 | 8号竪穴建物 | 甕 | | — | — | 7.5YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 47 | 148 | 8号竪穴建物 | S字甕 | 12.3 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 47 | 149 | 8号竪穴建物 | 器台 | 10.0 | 9.5 | (13.4) | 5YR 橙 7/6 | 良 | 摩耗・穿孔あり |
| 47 | 150 | 8号竪穴建物 | 高坏か | 12.7 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 47 | 151 | 8号竪穴建物 | 小型甕か壺 | — | — | 5.0 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 内面にスス付着 |
| 47 | 152 | 8号竪穴建物 | 丸底鉢 | (16.0) | — | — | 7.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 47 | 153 | 9号竪穴建物 | 高坏 | (17.8) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | 二次被熱 |
| 47 | 154 | 9号竪穴建物 | 小型土器 | — | ( 4.2) | 3.1 | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 47 | 155 | 9号竪穴建物 | 小型土器 | — | ( 3.5) | 3.6 | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 47 | 156 | 9号竪穴建物 | 鉢 | (13.1) | ( 8.9) | ( 7.6) | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 47 | 157 | 9号竪穴建物 | 甕 | (17.8) | (10.5) | — | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 47 | 158 | 9号竪穴建物 | 壺 | (16.0) | | ( 6.2) | 5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 輪積み痕あり |
| 47 | 159 | 9号竪穴建物 | 甕 | (19.2) | (30.0) | 7.5 | 5YR 橙 6/6他 | 良 | 二次被熱 |
| 48 | 160 | 9号竪穴建物 | 壺 | (18.8) | (25.8) | ( 9.6) | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 48 | 161 | 9号竪穴建物 | 小型甕 | (13.8) | (12.0) | | 2.5YR 浅黄 7/3 | 良 | |
| 48 | 162 | 9号竪穴建物 | 小型甕 | — | — | ( 4.3) | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 48 | 163 | 9号竪穴建物 | 甕 | 15.8 | — | — | 7.5YR 浅黄橙 8/4 | 良 | |
| 48 | 164 | 10号竪穴建物 | 高坏 | (21.7) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | 摩耗している |
| 48 | 165 | 10号竪穴建物 | 高坏 | (22.7) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 48 | 166 | 10号竪穴建物 | 高坏 | (19.6) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 摩耗している |
| 48 | 167 | 10号竪穴建物 | 高坏 | (22.8) | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | |
| 48 | 168 | 10号竪穴建物 | 高坏 | 14.5 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | 孔3箇所あり |
| 48 | 169 | 10号竪穴建物 | 器台 | 9.0 | 8.0 | (12.7) | 2.5YR 浅黄 7/3 | 良 | 孔3箇所あり |
| 48 | 170 | 10号竪穴建物 | 高坏 | — | — | ( 9.8) | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 孔3箇所あり |
| 48 | 171 | 10号竪穴建物 | 高坏 | — | — | 14.0 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 48 | 172 | 10号竪穴建物 | 小壺か | — | — | — | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 48 | 173 | 10号竪穴建物 | S字甕 | (11.0) | — | — | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 48 | 174 | 10号竪穴建物 | S字甕 | (16.2) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | |
| 48 | 175 | 10号竪穴建物 | 小型土器 | — | — | 3.8 | 5YR 橙 6/6 | 良 | 内外面にスス付着 |
| 48 | 176 | 10号竪穴建物 | 甕 | (19.8) | — | — | 10YR 浅黄橙 8/4 | 良 | |
| 48 | 177 | 10号竪穴建物 | S字甕 | — | — | ( 9.8) | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 48 | 178 | 10号竪穴建物 | 甕か | (22.8) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 48 | 179 | 12号竪穴建物 | 高坏 | (13.8) | — | — | 10YR 灰白 8/1 | 良 | 焼けムラあり |
| 48 | 180 | 12号竪穴建物 | 甕か | (13.6) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |

## 出土遺物観察表

単位：cm　（　）は反転実測による復元値

| 図版番号 | 番号 | 出土位置・遺構 | 器　種 | 法　量 | | | 色　調 | 焼成 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | |
| 48 | 181 | 12号竪穴建物 | 小型甕 | (13.8) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 48 | 182 | 12号竪穴建物 | 壺 | — | — | ( 9.0) | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 48 | 183 | 12号竪穴建物 | 甕 | (18.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 48 | 184 | 12号竪穴建物 | 壺 | — | — | 5.4 | 2.5YR 橙 6/8 | 良 | 焼けムラあり |
| 48 | 185 | 12号竪穴建物 | S字甕 | (19.0) | — | — | 5YR 橙 6/6他 | 良 | |
| 49 | 186 | 13号竪穴建物 | 坏 | 12.8 | 4.4 | 4.2 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 49 | 187 | 13号竪穴建物 | 高坏 | (11.8) | ( 6.9) | ( 7.8) | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 49 | 188 | 13号竪穴建物 | 高坏 | 11.1 | — | — | 7.5YR 橙 7/6 | 良 | 二次被熱 |
| 49 | 189 | 13号竪穴建物 | 器台 | 4.4 | — | — | 7.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 49 | 190 | 13号竪穴建物 | 壺 | 11.4 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | 加飾口縁 |
| 49 | 191 | 13号竪穴建物 | 高坏 | — | ( 6.5) | ( 9.6) | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 49 | 192 | 13号竪穴建物 | 高坏 | | | | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 49 | 193 | 13号竪穴建物 | 高坏 | 13.3 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | 穿孔５箇所 |
| 49 | 194 | 13号竪穴建物 | 器台 | 8.6 | 10.0 | 14.4 | 2.5YR 橙 6/8 | 良 | |
| 49 | 195 | 13号竪穴建物 | 鉢 | — | — | 3.7 | 7.5YR 明褐灰 7/2 | 良 | |
| 49 | 196 | 13号竪穴建物 | 鉢 | ( 9.6) | (10.1) | 5.0 | 5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 49 | 197 | 13号竪穴建物 | 鉢 | (11.5) | (10.6) | 3.0 | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 49 | 198 | 13号竪穴建物 | 壺 | — | (12.5) | ( 5.8) | 7.5YR 明褐灰 7/2 | 良 | |
| 49 | 199 | 13号竪穴建物 | S字甕 | 9.4 | — | — | 5YR 明茶褐 5/6 | 良 | |
| 49 | 200 | 13号竪穴建物 | S字甕 | (11.0) | — | — | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 49 | 201 | 13号竪穴建物 | S字甕 | 10.6 | — | — | 5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 49 | 202 | 13号竪穴建物 | S字甕 | (13.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 49 | 203 | 13号竪穴建物 | S字甕 | (15.1) | — | — | 5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 49 | 204 | 13号竪穴建物 | S字甕 | (15.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 49 | 205 | 13号竪穴建物 | S字甕 | 14.4 | — | — | 5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 49 | 206 | 13号竪穴建物 | S字甕 | — | — | 6.1 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 49 | 207 | 13号竪穴建物 | S字甕 | (13.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 49 | 208 | 13号竪穴建物 | S字甕 | 19.2 | | (11.1) | 7.5YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 49 | 209 | 13号竪穴建物 | S字甕 | — | — | 9.7 | 2.5YR 橙 6/8 | 良 | スス付着 |
| 49 | 210 | 13号竪穴建物 | S字甕 | — | — | (10.0) | 10YR 浅黄褐 8/3 | 良 | |
| 49 | 211 | 13号竪穴建物 | S字甕 | | | | 7.5YR 浅黄橙 8/4 | 良 | |
| 49 | 212 | 13号竪穴建物 | 壺か | — | — | (11.5) | 2.5YR 橙 6/8 | 良 | 摩耗している |
| 49 | 213 | 13号竪穴建物 | 壺か | (16.7) | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 黒変している |
| 50 | 214 | 13号竪穴建物 | 壺 | (16.0) | — | — | 10YR 灰白 8/2 | 良 | タール付着 |
| 50 | 215 | 13号竪穴建物 | 甕か | (16.6) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 50 | 216 | 14号竪穴建物 | 壺 | — | (17.0) | 6.5 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 50 | 217 | 14号竪穴建物 | 坏 | (13.6) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 218 | 14号竪穴建物 | 高坏 | (12.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 219 | 14号竪穴建物 | 壺 | (15.9) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 50 | 220 | 14号竪穴建物 | 高坏 | (22.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 50 | 221 | 14号竪穴建物 | 甕 | (21.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 50 | 222 | 15号竪穴建物 | 壺 | (11.8) | (17.6) | 5.6 | 7.5YR 鈍い橙 7/3 | 良 | 焼けムラあり |
| 50 | 223 | 15号竪穴建物 | 小型甕 | 10.7 | 11.0 | 3.9 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 224 | 15号竪穴建物 | 折返口縁壺 | | | | 7.5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 50 | 225 | 15号竪穴建物 | 甕か | — | — | 7.0 | 5YR 橙 5/6 | 良 | |
| 50 | 226 | 15号竪穴建物 | 壺 | 20.8 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 227 | 15号竪穴建物 | 甕 | — | — | 7.3 | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | |
| 50 | 228 | 15号竪穴建物 | 甕か | (10.2) | ( 2.4) | ( 7.0) | 5YR 鈍い橙 6/3 | 良 | |
| 50 | 229 | 16号竪穴建物 | 紡錘車 | 5.7 | 1.5 | 0.6 | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 土製 |
| 50 | 230 | 16号竪穴建物 | 坏 | (13.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | S字系 |
| 50 | 231 | 16号竪穴建物 | 坏 | ( 9.0) | ( 4.6) | 3.1 | 5YR 橙 6/6 | 良 | S字系 |
| 50 | 232 | 16号竪穴建物 | 高坏 | (21.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | S字系 |
| 50 | 233 | 16号竪穴建物 | 高坏 | — | — | (15.0) | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 50 | 234 | 16号竪穴建物 | 甕 | (19.0) | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 50 | 235 | 16号竪穴建物 | 甕 | (18.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 50 | 226 | 16号竪穴建物 | 甕 | — | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 237 | 16号竪穴建物 | 甕か壺 | (13.9) | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 50 | 238 | 16号竪穴建物 | 壺 | — | — | ( 5.0) | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 50 | 239 | 16号竪穴建物 | 把手 | — | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 50 | 240 | 16号竪穴建物 | S字甕 | (15.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |

## 出土遺物観察表

単位：cm　（　）は反転実測による復元値

| 図版番号 | 番号 | 出土位置・遺構 | 器　種 | 法　量 | | | 色　調 | 焼成 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 口径 | 器高 | 底径 | | | |
| 50 | 241 | 16号竪穴建物 | S字甕 | (17.0) | — | — | 7.5YR 浅黄橙 8/4 | 良 | |
| 50 | 242 | 16号竪穴建物 | S字甕 | (18.0) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 243 | 17号竪穴建物 | 甕 | (16.4) | — | — | 5YR 赤褐 4/8 | 良 | |
| 51 | 244 | 20号竪穴建物 | 坏 | (12.4) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 245 | 20号竪穴建物 | 甕か壺 | 16.4 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 246 | 1号方形周溝墓 | 高坏 | | | | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 51 | 247 | 1号方形周溝墓 | 高坏 | — | — | (12.0) | 5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 51 | 248 | 1号方形周溝墓 | 坩 | ( 9.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 249 | 1号方形周溝墓 | 台付甕 | — | — | (11.8) | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 51 | 250 | 2号方形周溝墓 | 甕 | (15.8) | — | — | 7.5YR 橙 6/4 | 良 | |
| 51 | 251 | 3号土壙 | 甕 | (17.0) | — | — | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 51 | 252 | 5号土壙 | 甕か | (10.6) | ( 2.4) | ( 7.2) | 5YR 鈍い橙 6/3 | 良 | |
| 51 | 253 | 8号土壙 | 高坏か | — | — | (13.2) | 5YR 鈍い赤褐 5/4 | 良 | |
| 51 | 254 | 8号土壙 | 台付甕か | — | — | ( 5.8) | 5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 51 | 255 | 8号土壙 | S字甕 | — | — | 8.5 | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 256 | 8号土壙 | 壺 | — | — | 7.0 | 7.5YR 鈍い褐 6/3 | 良 | |
| 51 | 257 | 24号ピット | 甕 | (43.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | 縄文土器 |
| 51 | 258 | 662号ピット | 甕 | ( 9.1) | — | — | 7.5YR 鈍い褐 5/3 | 良 | |
| 51 | 259 | 662号ピット | 甕 | (19.0) | — | — | 5YR 橙 7/6 | 良 | |
| 51 | 260 | 607号ピット | 壺 | 11.7 | | | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 51 | 261 | 562号ピット | 甕か | 14.0 | — | — | 10YR 浅黄橙 8/4 | 良 | |
| 51 | 262 | 260号ピット | 甕か | 15.0 | — | — | 2.5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 51 | 263 | 680号ピット | 壺 | 18.3 | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 有段口縁 |
| 51 | 264 | 570号ピット | 坏か | 15.0 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 51 | 265 | 170号ピット | 坏か | — | — | 4.2 | 5YR 赤褐 4/6 | 良 | |
| 51 | 266 | 591号ピット | 小型土器 | 5.7 | | 2.7 | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 52 | 267 | D－9 | 壺 | ( 9.9) | — | — | 2.5YR 浅黄 7/3 | 良 | |
| 52 | 268 | E－7 | 高坏 | (13.9) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 7/4 | 良 | |
| 52 | 269 | E－7 | 高坏 | (19.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 摩耗 |
| 52 | 270 | E－7 | 壺 | 14.0 | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 52 | 271 | E－11 | 小型土器 | ( 4.6) | 2.6 | 1.1 | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 52 | 272 | G－5 | S字甕 | (14.0) | — | — | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 52 | 273 | G－6 | S字甕 | | — | — | 2.5YR 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 52 | 274 | G－6 | 小型土器 | — | — | 4.0 | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 52 | 275 | G－7 | 不明 | — | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/4 | 良 | 縄文土器 |
| 52 | 276 | G－7 | 不明 | — | — | — | 10YR 浅黄橙 8/4 | 良 | 縄文土器 |
| 52 | 277 | G－10 | 甕 | (20.0) | — | — | 2.5Y 浅黄 7/4 | 良 | |
| 52 | 278 | G－10 | 壺 | (15.2) | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | 折返口縁壺 |
| 52 | 279 | G－10 | 甕か | (15.3) | — | — | 10YR 灰白 8/2 | 良 | |
| 52 | 280 | H－7 | 坏か | — | — | ( 4.4) | 7.5YR 鈍い橙 6/4 | 良 | |
| 52 | 281 | H－7 | 高坏 | 19.3 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 52 | 282 | H－7 | 高坏 | — | — | (26.0) | 2.5Y 明赤褐 5/6 | 良 | |
| 52 | 283 | H－7 | 高坏 | 24.2 | — | — | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 52 | 284 | H－7 | 高坏 | (19.4) | — | — | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 52 | 285 | H－7 | 小型土器 | 7.3 | 7.5 | 4.4 | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 52 | 286 | H－7 | 小壺 | ( 9.8) | (12.5) | ( 4.8) | 10YR 鈍い黄橙 7/3 | 良 | |
| 52 | 287 | H－7 | S字甕 | — | — | ( 9.8) | 7.5YR 鈍い橙 6/4他 | 良 | |
| 52 | 288 | H－7 | S字甕 | — | — | (10.0) | 10YR 浅黄橙 8/3 | 良 | |
| 52 | 289 | H－7 | S字甕 | (16.8) | — | ( 9.8) | 5YR 橙 6/6 | 良 | |
| 52 | 290 | トレンチ5 | 瓦塔 | 6.6 | 6.8 | 3.2 | N 灰白 7/ | 良 | 瓦質 |
| 52 | 291 | トレンチ6 | 瑳 | (14.0) | — | — | N 灰白 7/　他 | 良 | 須恵器 |

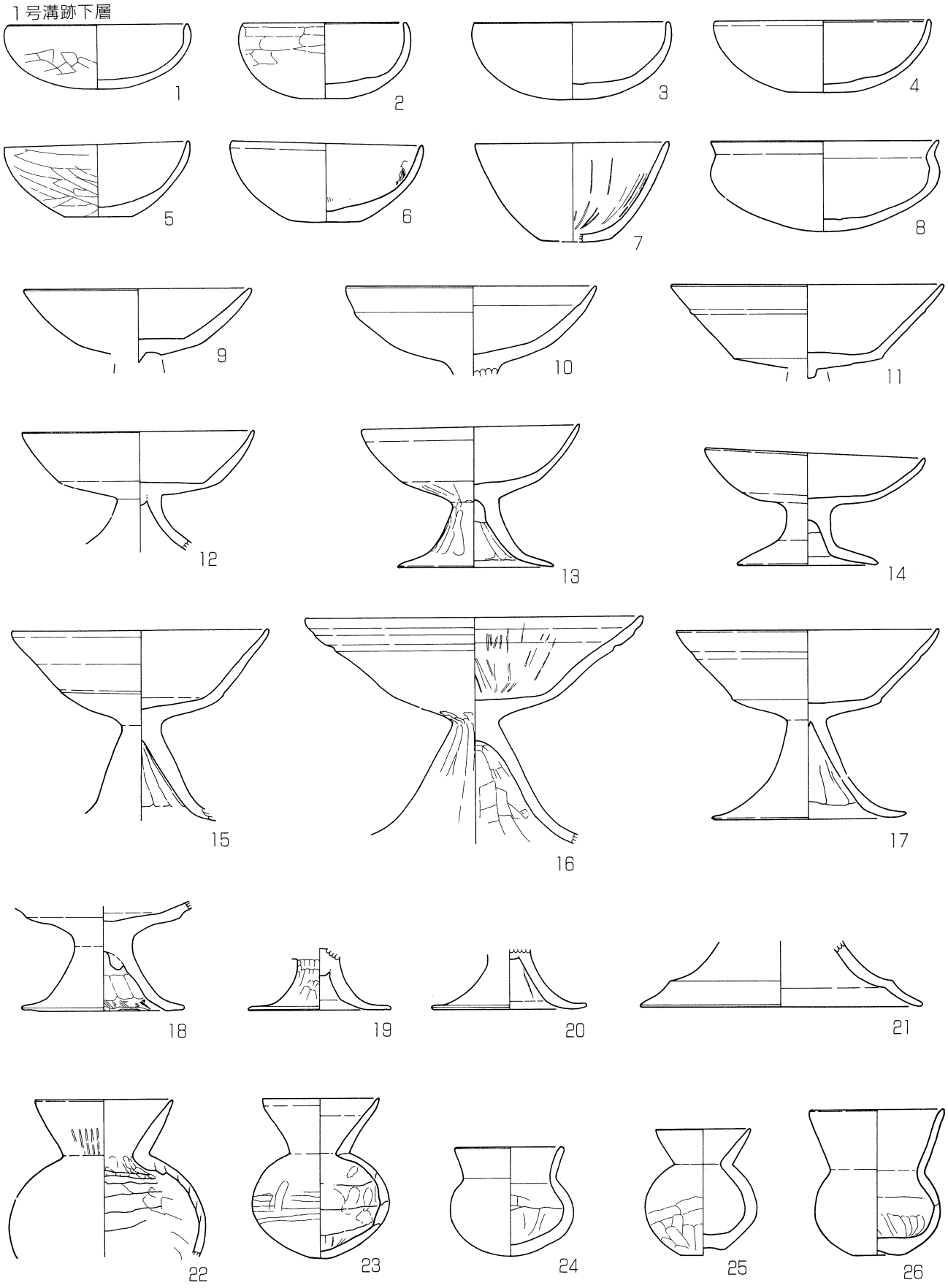



図 39　1 号溝跡出土遺物（1）

図 40　1 号溝跡出土遺物（2）

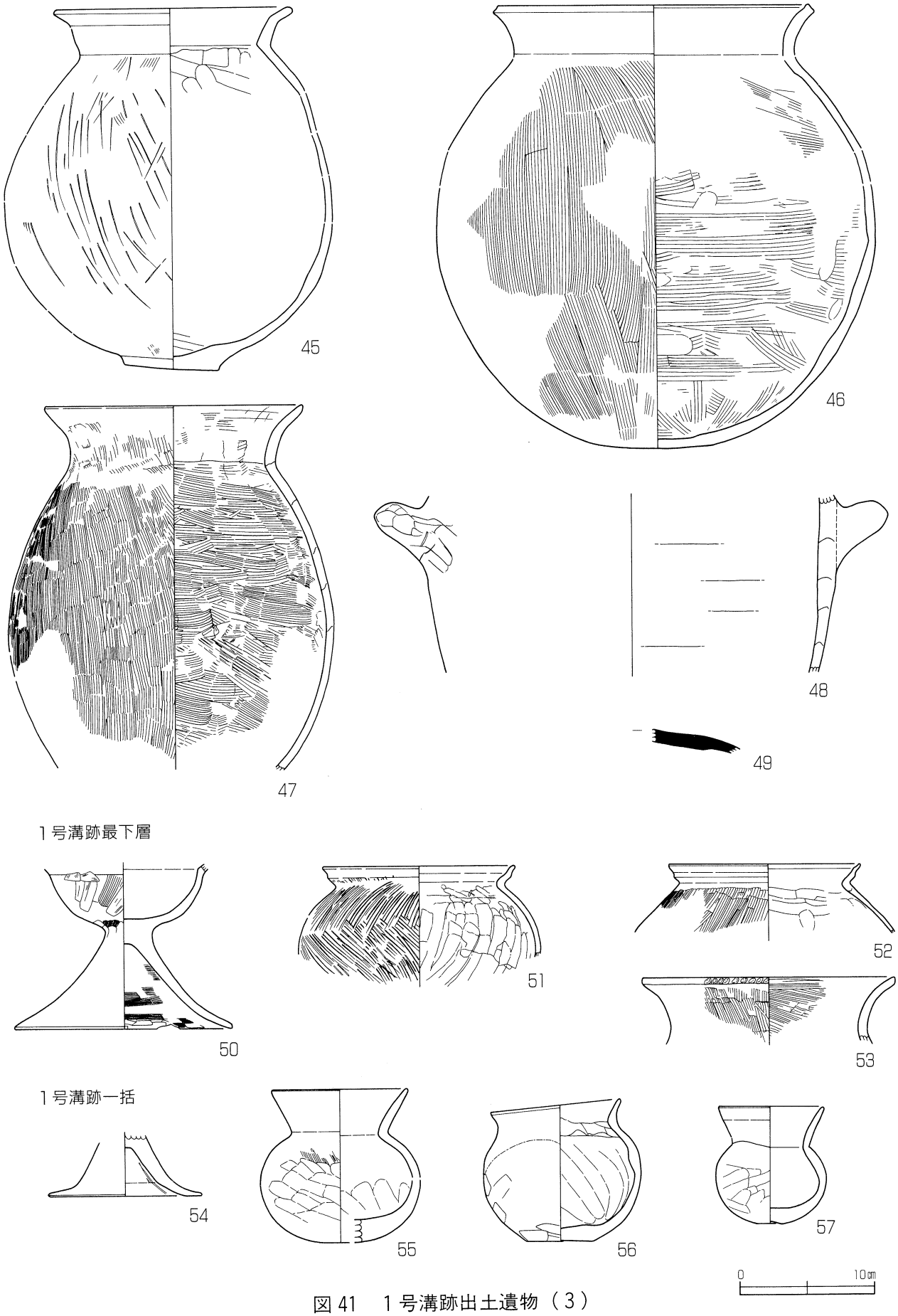



図41　1号溝跡出土遺物（3）

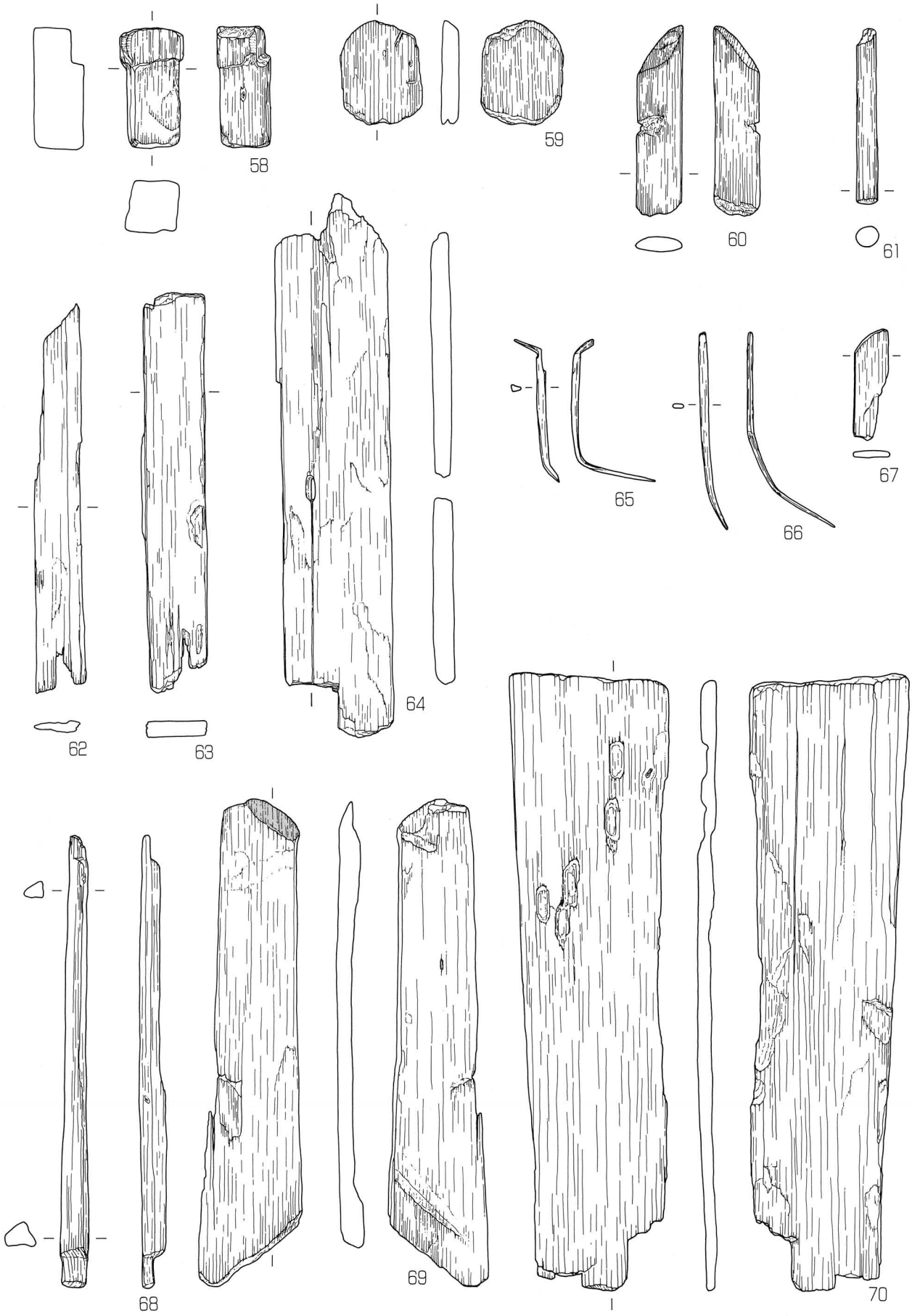



図 42　1 号溝跡出土遺物（4）

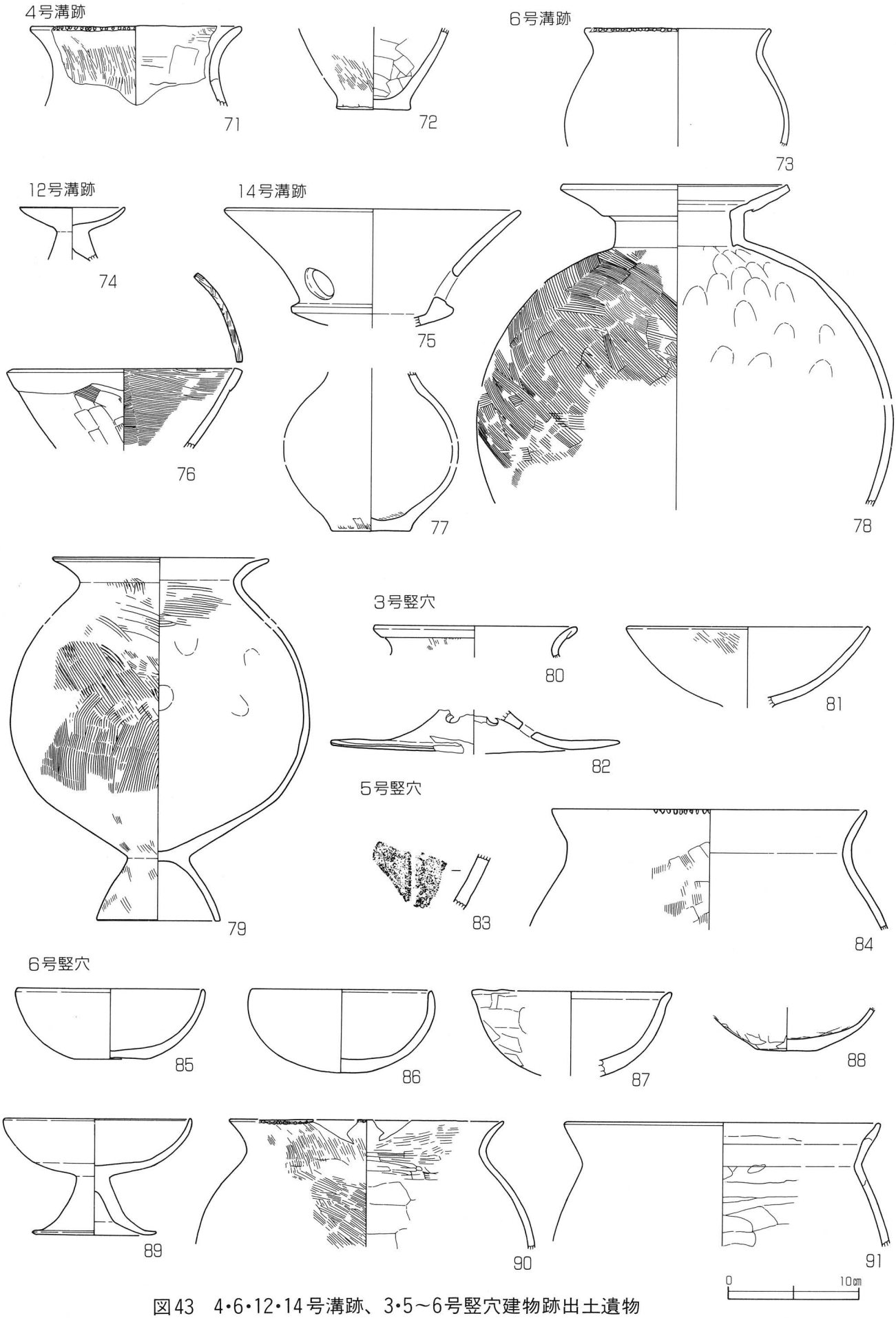



図43　4・6・12・14号溝跡、3・5～6号竪穴建物跡出土遺物

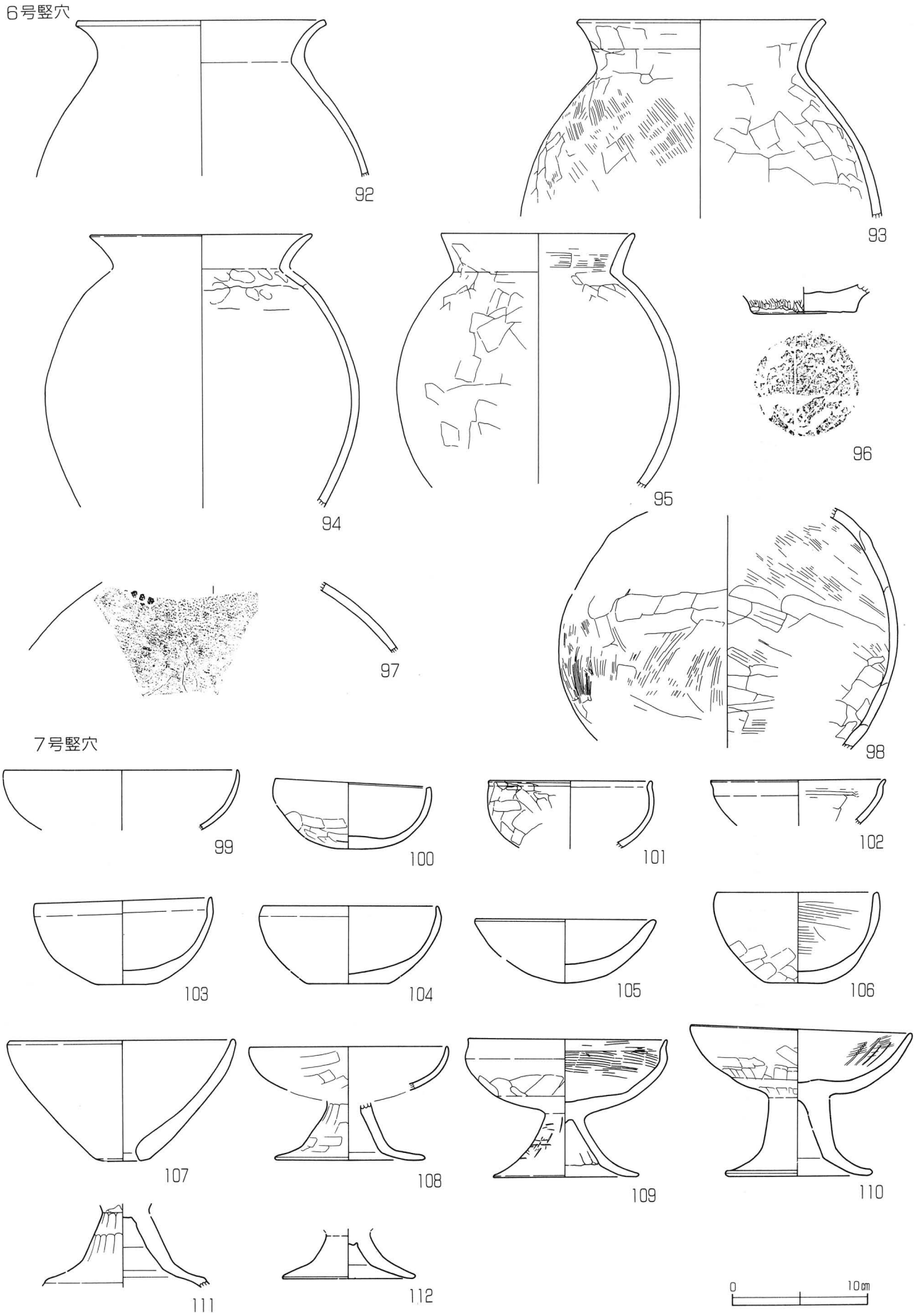



図 44　6～7 号竪穴建物跡出土遺物

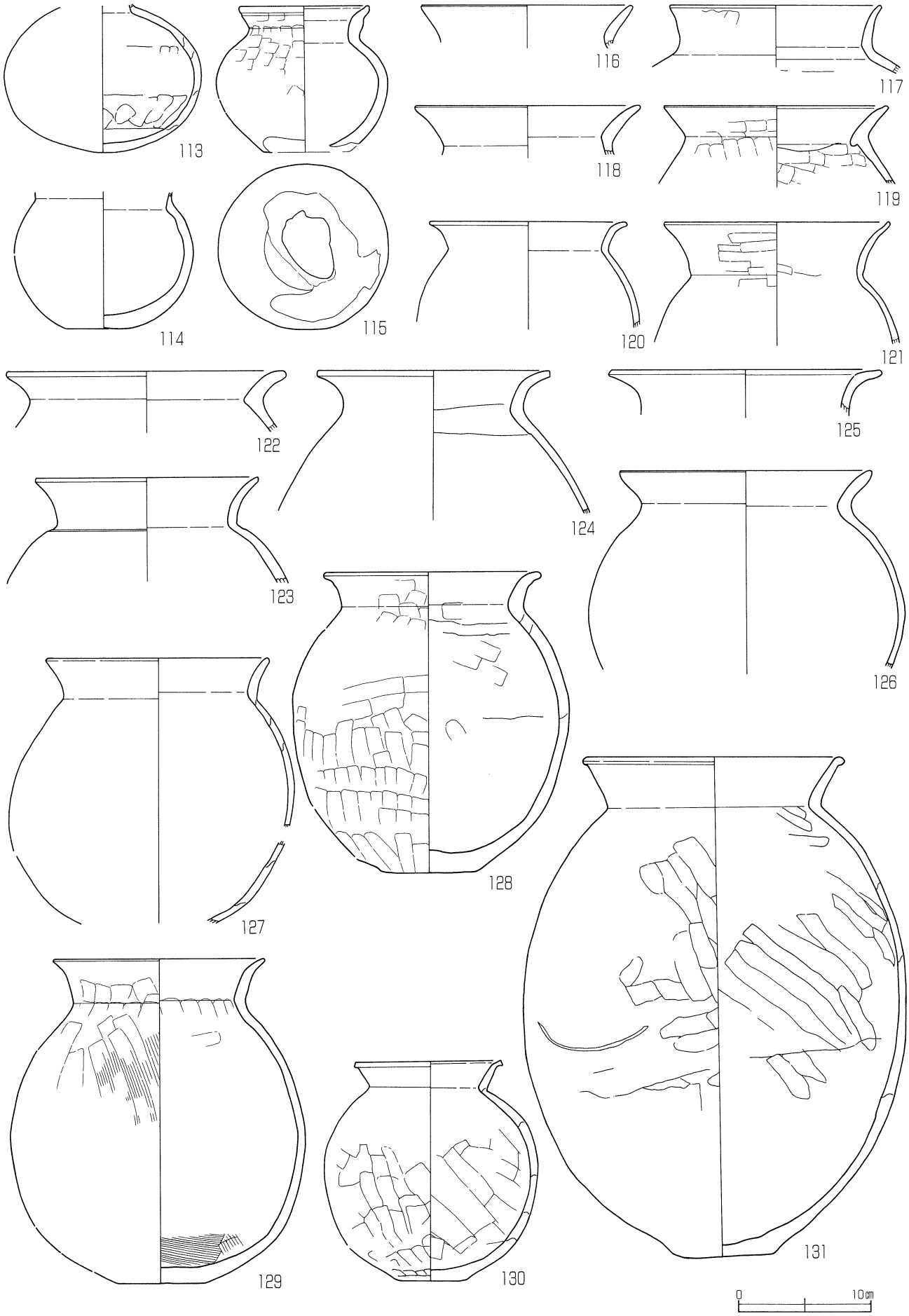



図 45　7 号竪穴建物跡出土遺物（2）

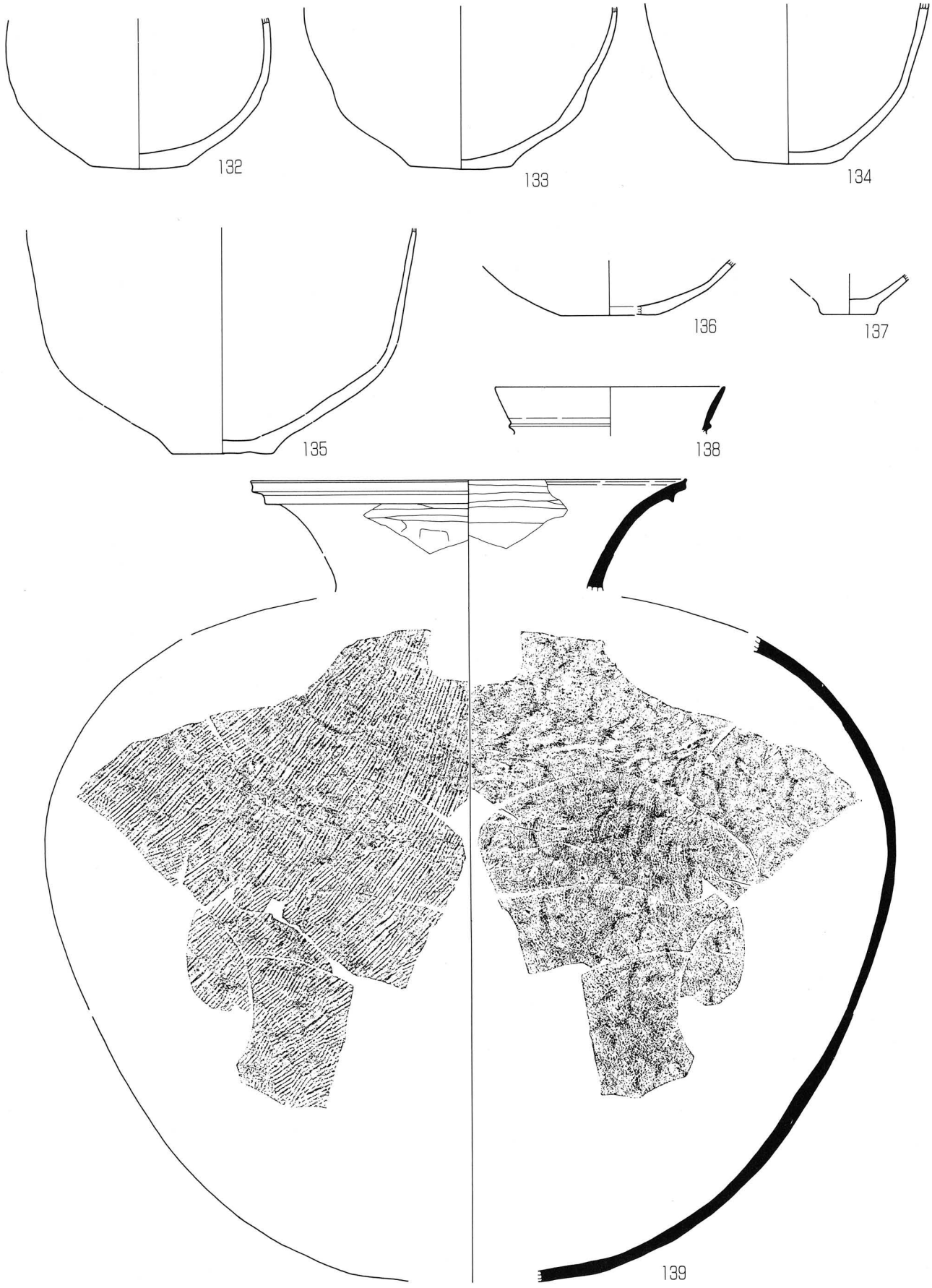



図 46　7 号竪穴建物跡出土遺物（3）

0　10cm

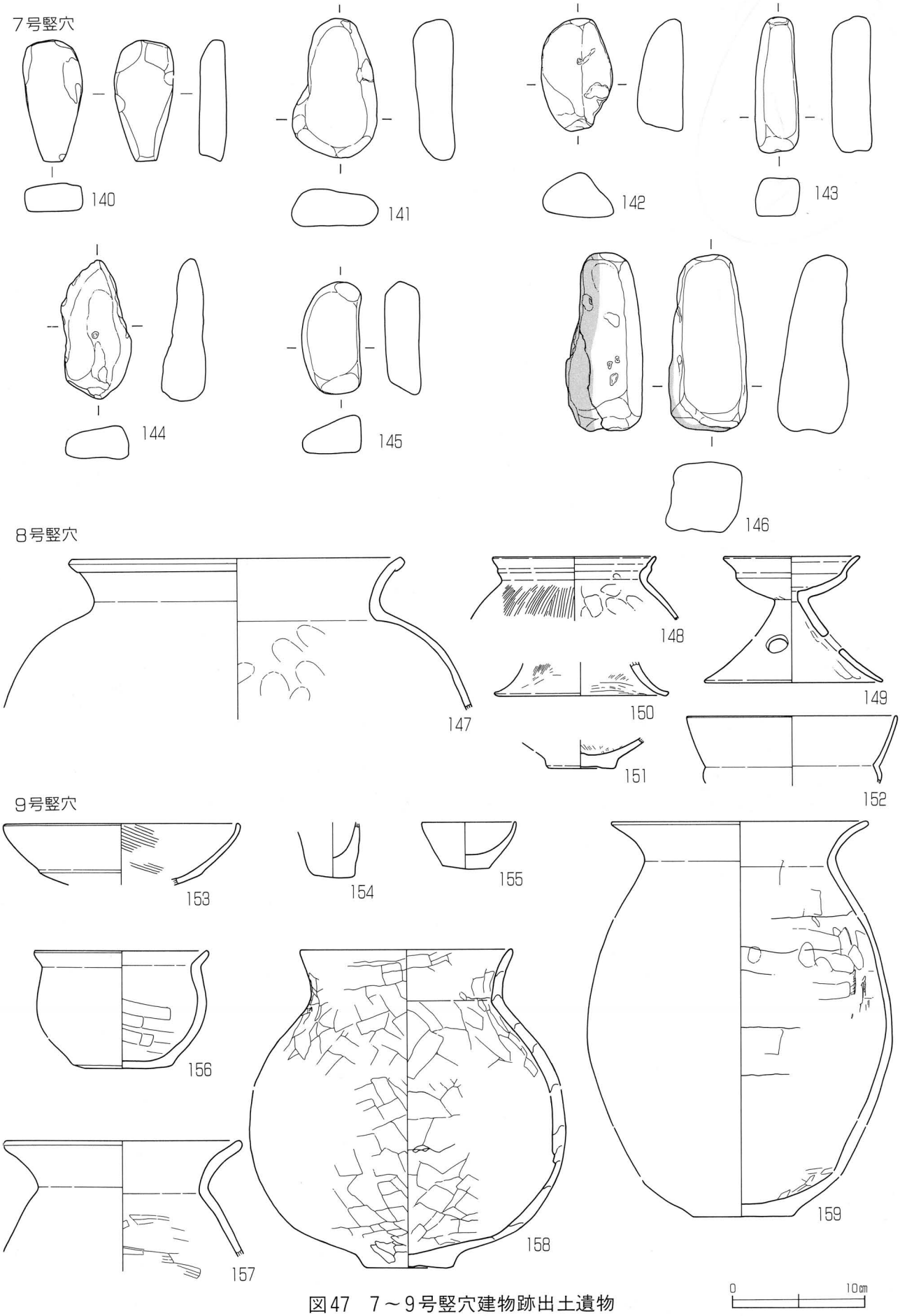



図47　7～9号竪穴建物跡出土遺物

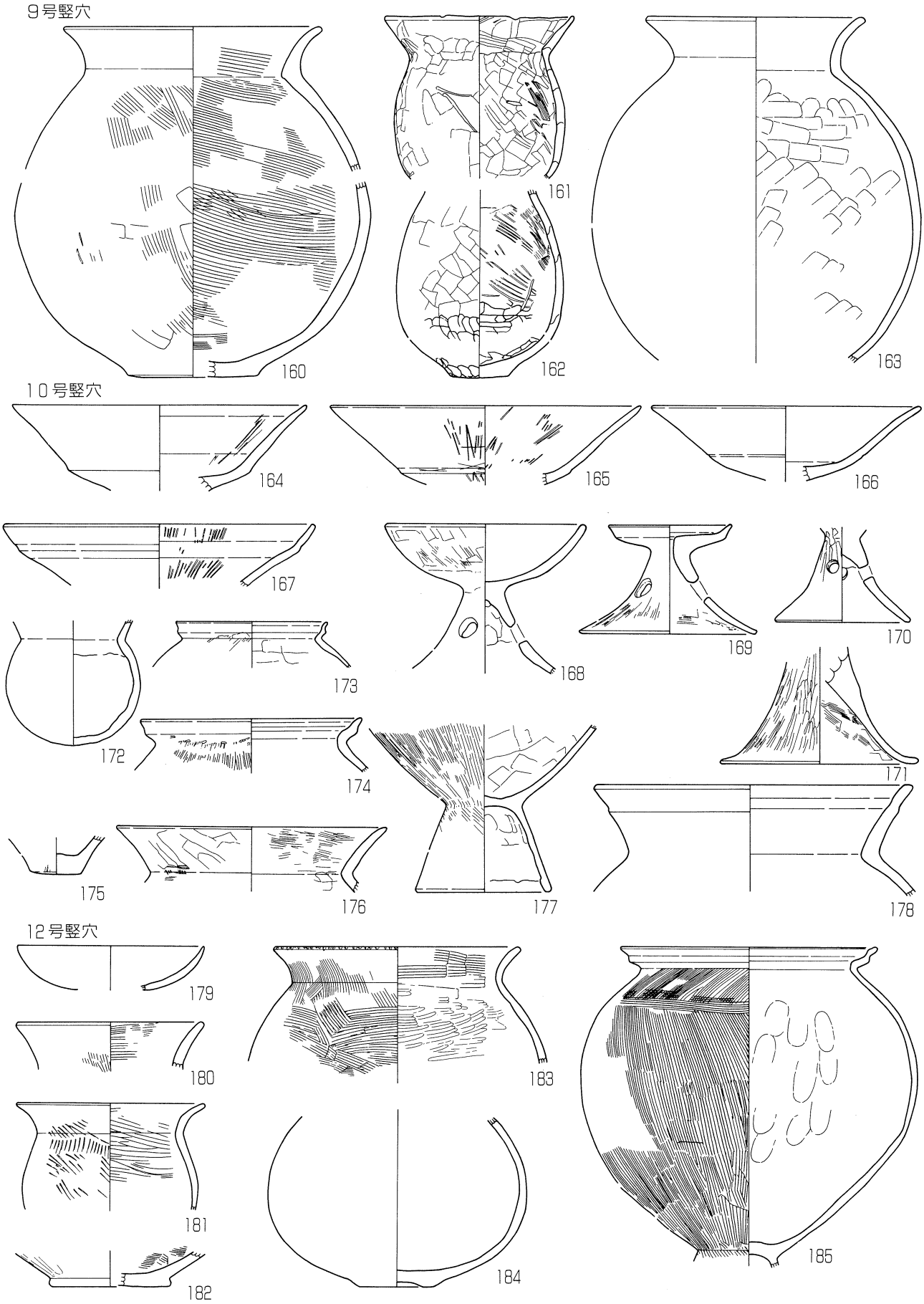



図48　9～10・12号竪穴建物跡出土遺物

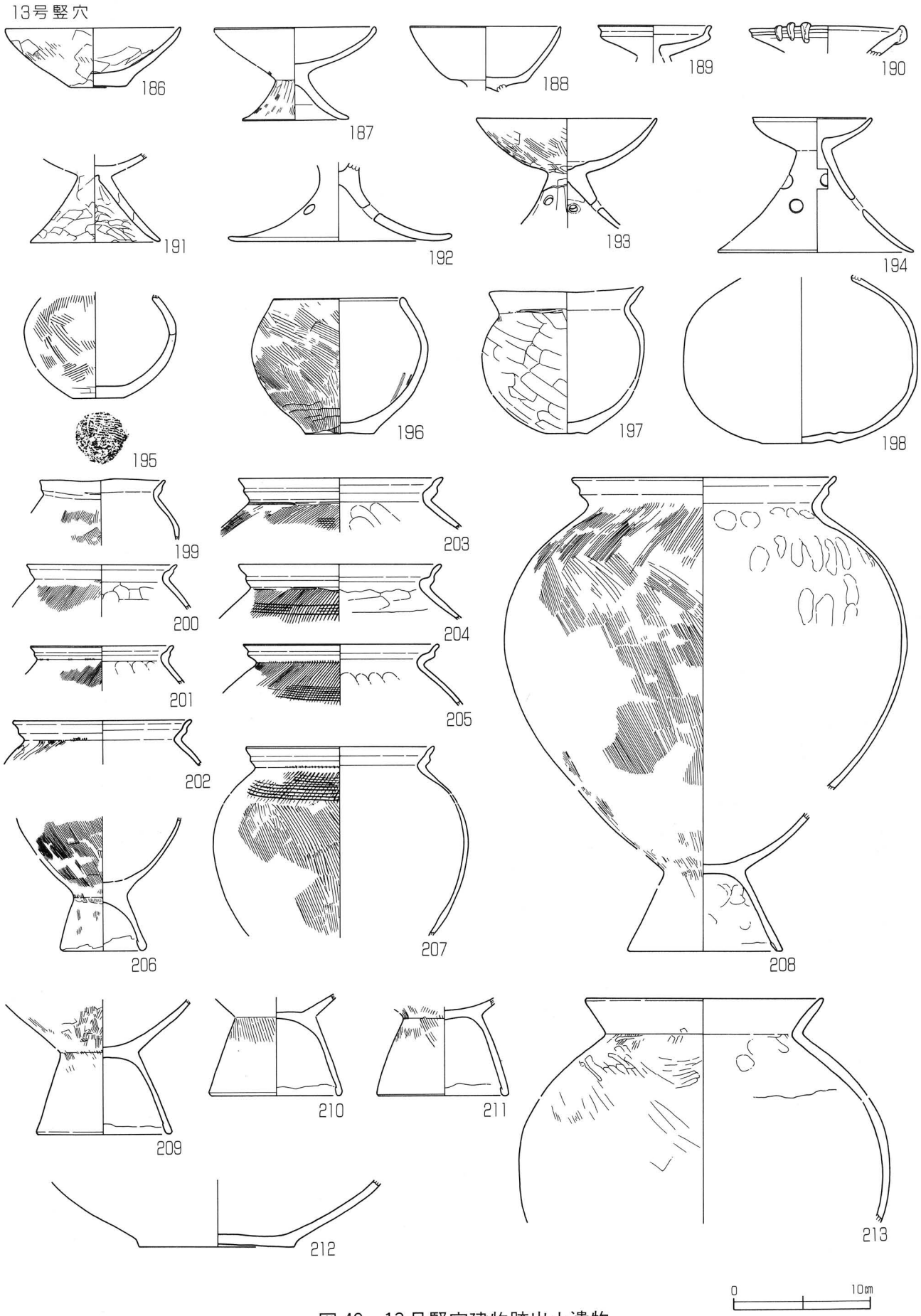



図 49　13 号竪穴建物跡出土遺物

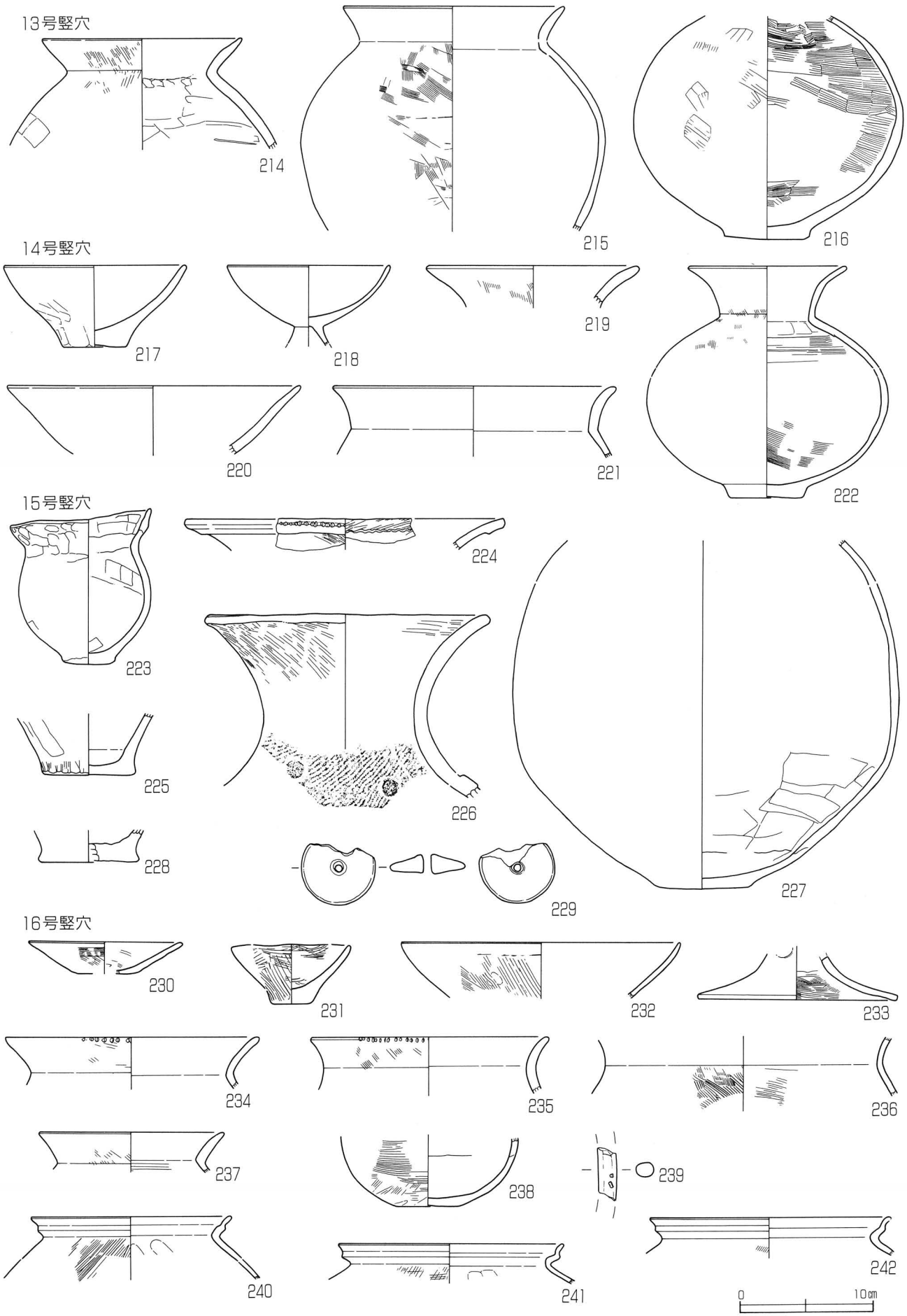



図50　13～16号竪穴建物跡出土遺物

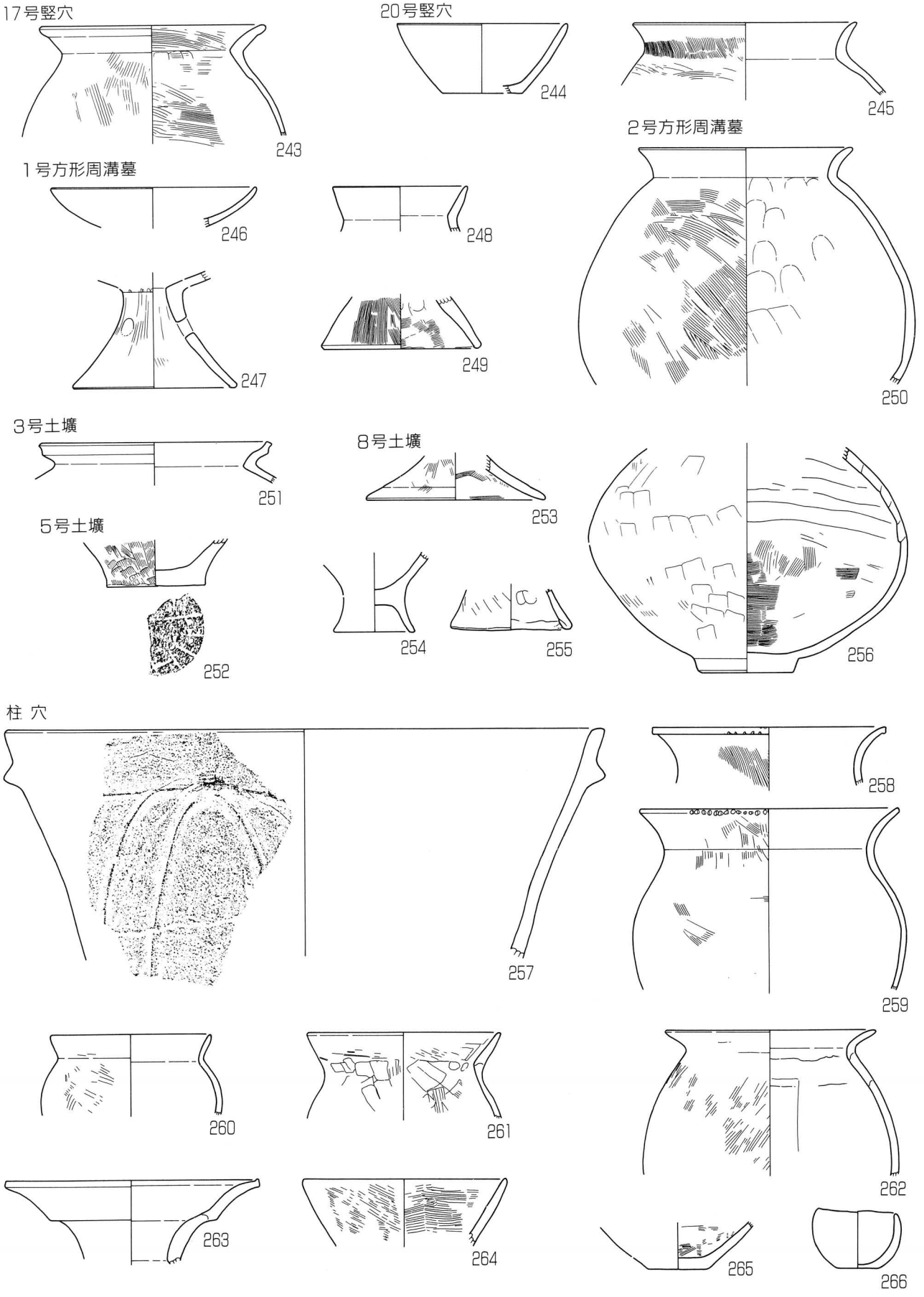



図51　17・20号竪穴建物跡、1～2号方形周溝墓、3・5・8号土壙、柱穴出土遺物

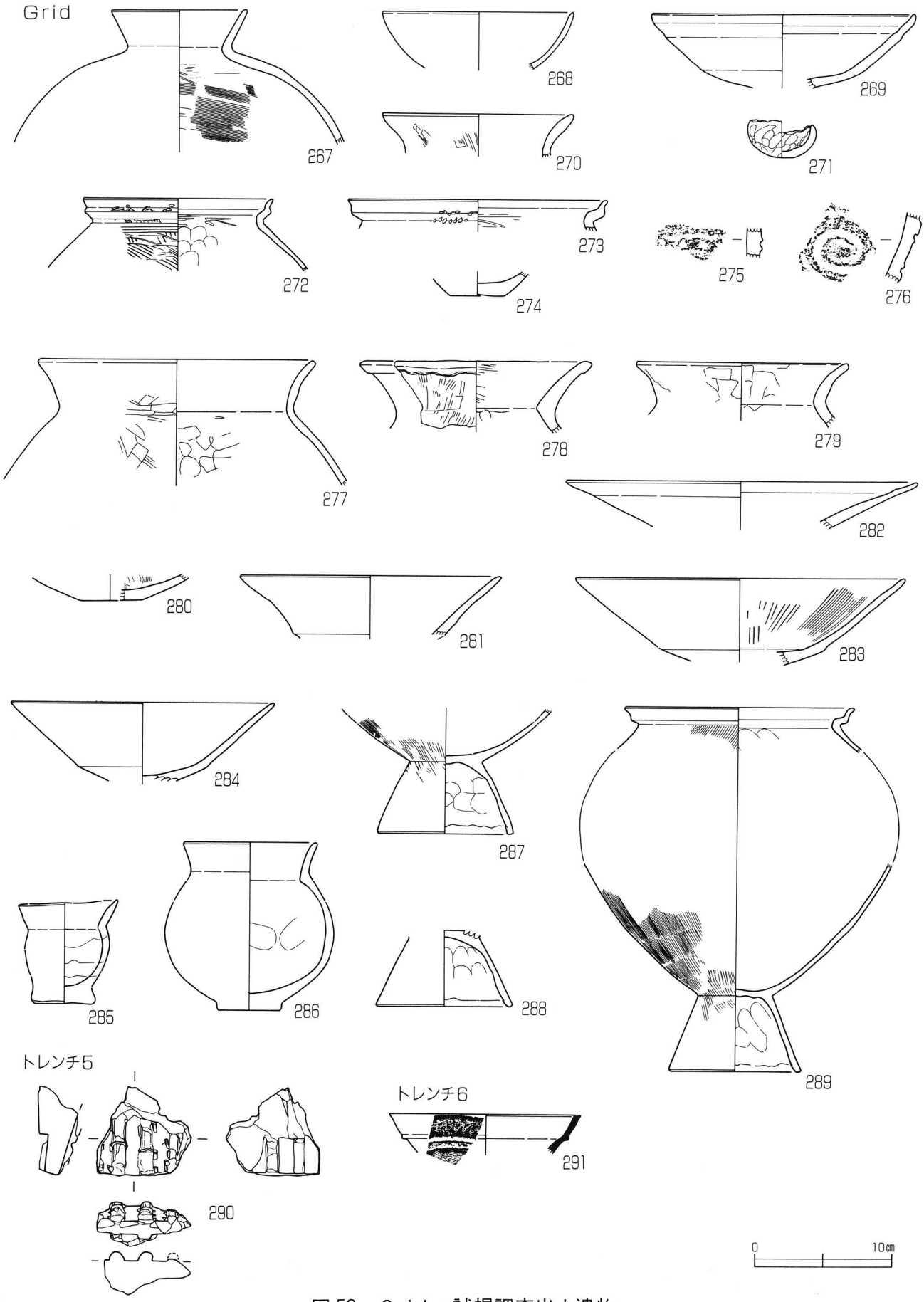



図 52　Grid・試掘調査出土遺物

# 第4章　考　　察

## 第1節　塩部遺跡の集落変遷

本調査地点では、古墳時代の集落跡の一部と考えられ、様々な形態の建物群が多数検出された。中でも低地部分において確認された周溝付平地建物跡は、近年各地で調査事例が増加しつつある建物形態であり、従来方形周溝墓と認識していた遺構群の中にも、そうした建物跡ではないかと考えられる遺構が存在し、研究者によって再検討が進められている。

調査区全体では多数の竪穴建物跡、掘立柱建物跡が検出されているが、建物群についてもそれぞれ重複関係があり、数時期の変遷過程が想定される。よって、ここでは集落構造を解明する手掛りとして集落変遷を整理し、建物構造や土地利用の推移について分析する。

### Ⅰ期（時期：縄文時代中葉）

調査区北東付近を中心に小規模な土壙状のピット群と不整形な溝跡で構成される。いずれも遺構覆土は灰黄褐色系であり、黄褐色の地山に近似した色調であったため、肉眼で確認するのも困難な状況であった。よって、調査当初は掘り過ぎたと考えられた24号ピット下層で縄文土器が出土するまでは、遺構と認定するか判断に迷った遺構群でもあった。本調査区北東側で平成8年度実施した愛宕町下条線改良工事地区（以後、愛宕町下条線A地区）においても、同時期の土壙墓や遺物が出土していることから、本調査区北東部を含む微高地上に縄文時代中葉の短期的な集落が営まれた可能性が想定される。土器の年代からは、加曾利E期と考えられる。

### Ⅱa期（時期：弥生時代末期～古墳時代初頭）

1・2号方形周溝墓が調査区北側に形成された時期をⅡ期とした。両遺構ともに部分的な検出状況であるため遺物量が少なく、帰属年代を確定することは難しい。しかし、方形周溝墓内からは東海系のS字甕等が検出されていないところをみると、それ以前に造営された方形周溝墓であると考えられる。墓と集落との位置から考えると、検出されている建物群との関係が注目される。多くの竪穴建物跡はS字甕主体もしくはそれ以降の建物跡であるが、出土遺物が少なく、帰属年代に不確定要素が多い1～5号竪穴建物跡もしくは1～3号周溝付平地建物跡群が併行する可能性も想定される。4号竪穴建物跡は、重複関係から周溝付平地建物跡より若干古い段階と判断していることから、竪穴建物跡群が併行する可能性の方が僅かに高いだろうか。いずれにしても、周溝付平地建物跡との時期差は大きくないと考えられ、限られた遺物から判断ことが許されるならば、周溝付平地建物跡と併行する可能性もあることを示唆しておく。土器の年代からみると、Ⅱ期は4世紀代と考えられる。

### Ⅱb期（弥生時代末期～古墳時代初頭）

1～3号周溝付平地建物跡を主体とする時期をⅡb期としているが、出土遺物の年代をみる限りⅡa期との時間差は大きくないと考えられる。時期設定の基準となったのは、2号周溝付平地建物跡の遺物群であるが、北陸や畿内の影響を受けた外来系の土器が出土している。県内における北陸系土器を扱った小林健二氏の編年では甲斐Ⅱ期に位置付けられている（小林1999）。

2・3号周溝付平地建物跡は比較的低地部分に位置するが、1号周溝付平地建物跡は2・3号に比べ安定した地山面に形成されており、そのためか他の2つの建物に比べて周溝が浅く、雨落ち溝程度の規模となっている。他地域の事例を参考にすれば、掘立柱建物跡にも併行する建物が存在していると考えられるが、本遺跡では古墳時代の遺構も多数重複していることから、本期に伴う他の遺構は特定できなかった。

**Ⅲ期（古墳時代前期）**

主に８・10・12・13・14・16・20号竪穴建物跡で構成される時期で、Ｓ字甕Ｂ～Ｄ類（小林分類：甲斐Ⅱ類～Ⅳ類）を主体とする時期である（小林1998）。８・14・16号竪穴建物跡は重複しているが、土器からみる限り大幅な時期差は認められなかった。13号竪穴建物跡からは、まとまったＳ字甕が出土し、鉢や高坏もＳ字甕と同質の胎土で焼かれたものが存在するなど器種分化が進んだ様相が窺われる。12・13号竪穴建物跡は建物規模も大きく、縦列する位置関係にあるが、13号竪穴建物跡は時期的にⅣ類のＳ字甕を多く含み、この段階の中でも終末に該当する遺構と考えられる。この段階をもってＳ字系製品は急激に姿を消す。土器の年代からは４世紀後半から５世紀前半と考えられる。

**Ⅳ期（古墳時代中期）**

９・17号竪穴建物跡で構成される時期で、土器からＳ字製品が完全に消滅したばかりではなく、建物構造からも大きな違いが看取される。まず、煮炊きの場は、地床炉から粘土によって囲みを作り、中央に土器を設置する支柱石を配した竈へと変貌を遂げている。設置位置も建物中央部付近から竪穴建物壁際に移動していることから、煙処理と建物空間の利用方法が強く意識され始めた結果と考えられる。建物構造と土器ではどちらが先に変化したのか分らないが、竈構造への変化と合わせて使用される土器煮炊具も変化し、Ｓ字台付甕から形態的に口縁部が「く」の字型に開く甕や壺となり、底部も台付から平底へ変化している。この形態が以後継続して使用されていくことになる。土器の年代からは５世紀中葉から５世紀後半と考えられる。

**Ⅴ期（古墳時代後期）**

６・７号竪穴建物跡で構成される。建物形態は前段階から進化し、建物壁際に移動した竈から建物外部に向かって煙を逃がす煙道が設置される。竈本体も袖石等の竈壁補強材が使用され始め、規模も大きくなっている。６号竪穴建物跡は、大部分が調査区外に展開しているため定かではないが、建物方向や規模からみると７号竪穴建物跡と同規模かつ同列に位置しているため、竈も東側と考えられる。７号竪穴建物跡を例にみると、建物内部の用途はより分化し、竈右側に石組など小規模な施設が設けられ、貯蔵穴とも考えられる４号土壙があることから、建物南東区域は炊事・貯蔵に関連する場所と考えられる。また、南西部には編掛石が山のように積まれ、藁など解す際に移用したものであろうか、叩き台となる石が設置されていたことなどから、作業場としての利用が考えられる。北側については、特徴的な施設や遺物は検出されず、寝間のような空間であったかもしれない。

土器では、新たに碗・坏が土器様式の中で確立され、安定的に使用され始める。最も大きな画期は、須恵器が建物内に出現する点であり、139の甕はＴＫ216かＴＫ208段階と考えられ、本県における初現期の須恵器に位置付けられる。

６・７号竪穴建物跡ともに火災で廃絶しており、後続する建物跡が検出されていないことから、本地区における古墳時代最後の遺構群であると考えられる。土器の年代からは５世紀後半から６世紀前半と考えられる。

**Ⅵａ期（古墳時代初頭～後期）**

時期的にはどの遺構群とセットになるか定かではないが、規則性を持った複数の掘立柱建物群で構成される。規模や微細な方位に若干の違いはあるが、大きく２つの主軸方向があり、一つがⅥａ期とした北東から南西方向に主軸を有す掘立柱建物群を一つの括りとした。しかし、軸線は近似しているが、位置関係や構造からもすべてが同一時期とは考えられず、時期差が存在する可能性は高い。12・13・14・17・22号掘立柱建物跡は、建物面積や柱穴規模も大きく、柱筋も比較的揃った建物跡である。３号掘立柱建物跡も含め、多くが方形で礎板等が用いられ

た痕跡があった建物であり、時期的に併行している可能性がある。

**VIｂ期（古墳時代初頭～後期）**

主軸を北西から南東に有す掘立柱建物群で、数的にはVIａ期の軸線の建物に比べ少ない。11号掘立柱建物跡と重複する９・10号掘立柱建物跡は、併行関係にあることからほぼ同時存在と考えられるが、建物主軸は違っても基本的にVIａ期の建物群と直交する軸線であることから、１号掘立柱建物跡のような位置的にどちらの段階でも想定できる掘立柱建物跡も存在することから、明確に線を引くことは困難であった。

**VII期（近世）**

「塩部たんぼ」と呼ばれた近世の水田に伴う水路跡である。４・10号溝跡が南北方向に併行して存在する。本調査では近世水田面は自動車学校盛土や整地層及び攪乱により状態が極めて悪かったため調査当初に除去していたが、深く掘削されていた水路のみ検出された。

以上、簡単ではあるが、主な遺構の変遷について概観してみた。VII期についてはII～VI期のいずれかに組み込まれると考えられるが、前述のとおり明確な位置付けができなかった。１号溝跡については、II期～VI期まで継続的に存在したことが土器からも窺われるが、溝として機能したのは、おそらくII期～IV期と考えられ、Ｖ・VI期には水路として使用されなくなり、集落で消費された土器等の廃棄場所となったと考えられる。

## 第２節　塩部遺跡と周辺の景観

前節では、本調査区の構造と変遷について述べたが、ここでは周辺部における調査成果も踏まえた上で塩部遺跡を少し広域に概観する。これまでに塩部地区周辺においては、比較的大規模な調査として、県立甲府工業高校校舎建替えに伴う調査（以下、甲府工業地区）、愛宕町下条線Ａ地区、飯田一丁目遺跡（現塩部遺跡内）、富士見一丁目遺跡（現富士見遺跡）などが実施されている。特に甲府工業地区及び愛宕町下条線地区は、今回の調査区と隣接する位置関係にあり、時期的にも弥生時代末期から古墳時代が遺跡の主体となっていることから、景観復元を行う上で重要な調査例となっている。残念ながら愛宕町下条線については、未報告資料となっているため詳細に触れることはできないが、今回は全体図のみ図57の中に落とし込んでいる。

まず、調査区の地形からみると、標高273.5ｍ付近を最高点とし、272.7ｍを低部とする比高差0.8ｍの南西方向の緩傾斜地に遺構が集中する。調査区北西部分には黒色粘質土層が厚く堆積するなど湿地に近い状態であった考えられ、単に標高の高低だけではなく、予想以上に複雑に地形が入り組んでいる様子が窺えた。そのような湿気の多い場所は遺構も少なく、状況に合わせた利用がされていた。さらに本調査区から20.0ｍほど南側の中央線跨道橋工事区内からは厚い川砂や砂礫層が検出され、中から数点の古墳時代の土器片が良好な状態で出土しており、集落の南に河川が存在していたことが明らかとなっている。

### （1）集落構造と生産域

検出された遺構群は、周溝付平地建物跡、竪穴建物跡、掘立柱建物跡などを主体とする多数の遺構が重複しながら密集していた。集落の年代は、弥生時代末期から古墳時代後期までと時間幅があるが、調査区内の竪穴建物跡だけをみると、III期付近でピークを迎えた後、IV期と設定した古墳時代中期には２棟に集約され、集落が解体するＶ期までその体制が維持された。掘立柱建物跡との共判関係については不明であったが、竪穴建物跡が減少する古墳時代中期以降

掘立柱建物跡が増加するのではないかと考えられる。柱間が大きい掘立柱建物もあるが、柱穴数はすべて6基と考えられ、構造的には特殊な建物は存在しなかった。古墳時代前期以降の竪穴建物跡及び掘立柱建物跡の軸線は、北東へ60～70度前後振れた方位及びその軸線に直交する方位が統一されている（図58）。塩部遺跡の集落は、周辺部において確認されてきた同時期の集落とは景観が異なり、全体的に一定の基軸線が設定され、計画的な建物配置が行われたことが看取できる。集落の存続時期は4～6世紀代を中心とするが、建物群の基軸線は遺構変遷からも4世紀代後半までには確立し、6世紀代に集落が途絶えるまで一貫していたと考えられる。

さらに周辺部まで目を向けると、類似する軸線が見られる事例が少し離れた富士見一丁目遺跡第3面で検出された水田跡でも確認できる（図55）。報告書では詳細な座標や軸線の記載がないため、あくまで全体図の状況や写真で確認した程度であるが、非常に近似した方向性を有している。一畳ほどの小規模な面積が連なる水田跡は古墳時代前期の年代が与えられており、塩部遺跡で検出された集落の存続時期と重複する。距離的にも近く、全く無関係であったとは考え難いことから、本調査区の集落が管理する水田であった可能性があり、軸線も本調査区も含めた広範囲において設定されていたものと理解できないだろうか。

条里に先行する段階にこのような計画的な基軸設定による集落が展開した背景は不明であり、基軸が地形の制約によるものか、河川の影響によるものかは現時点で確認する術はないが、この地点だけを見れば、遺構密度が高く主要な遺構が展開する南西方向の緩傾斜に合わせている可能性が最も有力である。偶然にも基軸線が本遺跡北側に位置する神奈備形の湯村山と南側に見える富士山を結ぶ延長線と概ね直交するか合致していることから、推測の域を出ないが、象徴的な山も意識されていた可能性も想定できないだろうか。

### （2）集落と墓域

本調査区では2基の方形周溝墓が検出されているが、甲府工業高校地区から愛宕町下条線A地区にかけての一帯で多数の方形周溝墓が検出されている。遺物年代では、それほど大きな時間差はないように見えるが、S字甕を含む時期と含まない時期の2つの時期が設定されている。本調査区の方形周溝墓と比較すると、1号方形周溝墓はS字甕を含まず、覆土は中層にシルト質の黄褐色土が堆積する特徴的な埋没状況であったが、愛宕町下条線A地区で検出された方形周溝墓の中にも同様の堆積状況を示すものが存在していた。そのうち2基から同様の堆積状況が確認されており、うち1基からはS字甕を含む多数の遺物が出土していたが、多くはシルト質土より上層であり、遺構の構築年代からは若干時間差のある遺物群である状況が窺えた。シルト質土の堆積する方形周溝墓は含まない遺構に切られているため、周辺の方形周溝墓は、覆土からみても本調査区1号方形周溝墓と同時期の遺構とシルト質土を含まない方形周溝墓の2時期に大別されると考えられる。方形周溝墓の様相から、造墓期は弥生末期段階と古墳時代初頭から前期までに分けられ、本調査区の集落に関わる方形周溝墓は後者の一群に属すると考えられる。その場合、前者の造墓集団は別に存在すると考えられるが、愛宕町下条線A地区の西側延長区で平成14年度に実施したC地区の集落域が時期的に該当するのではないかと考えられる。これについては、次の報告時に詳細を明らかにすることとする。

周辺部の調査事例なども踏まえ、本調査区の集落を中心に展開する水田域、墓域を視野に入れ、塩部遺跡周辺の景観を模式図化したものが図56である。墓域と集落は一部分が重複するような形となっているが、前述のとおり方形周溝墓には時期差があり、基本的に同時期での集落と方形周溝墓の重複は少ないものと考えられる。その方形周溝墓群も古墳時代前期で姿を消すことから、現段階で中期以降の墓域や墓制が不明となっている。隣接する塩部三丁目地内には狐塚の小字名が残っていることから、付近に古墳が存在した可能性もあるが、現在では調査区付近に該当する古墳等がないことから少し離れた湯村山内の古墳群や麓の古墳群も視野に入れて考えなければならない。いずれにしても周辺部における今後の調査に期待が持たれる。

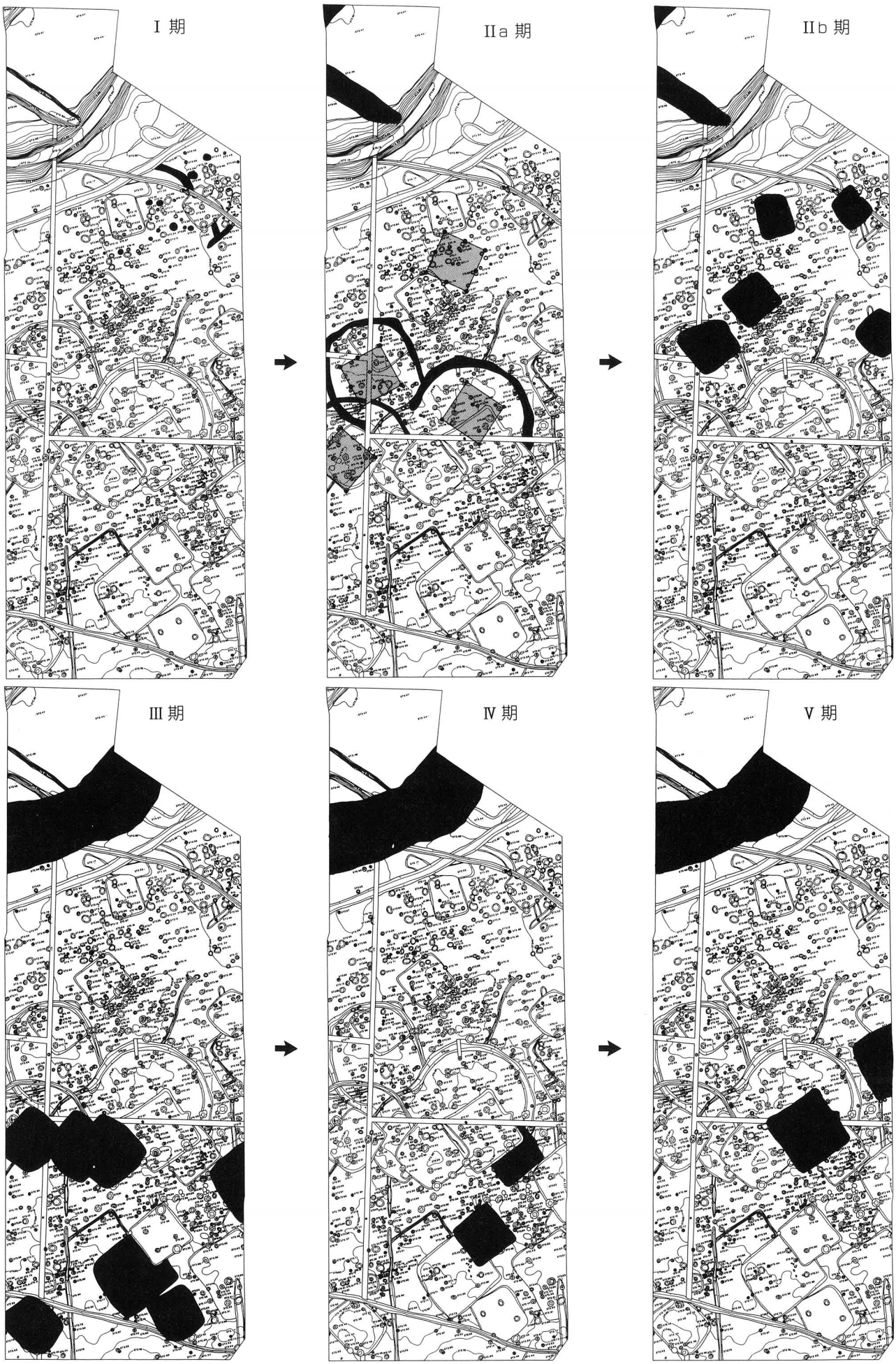



図53　遺構変遷図①

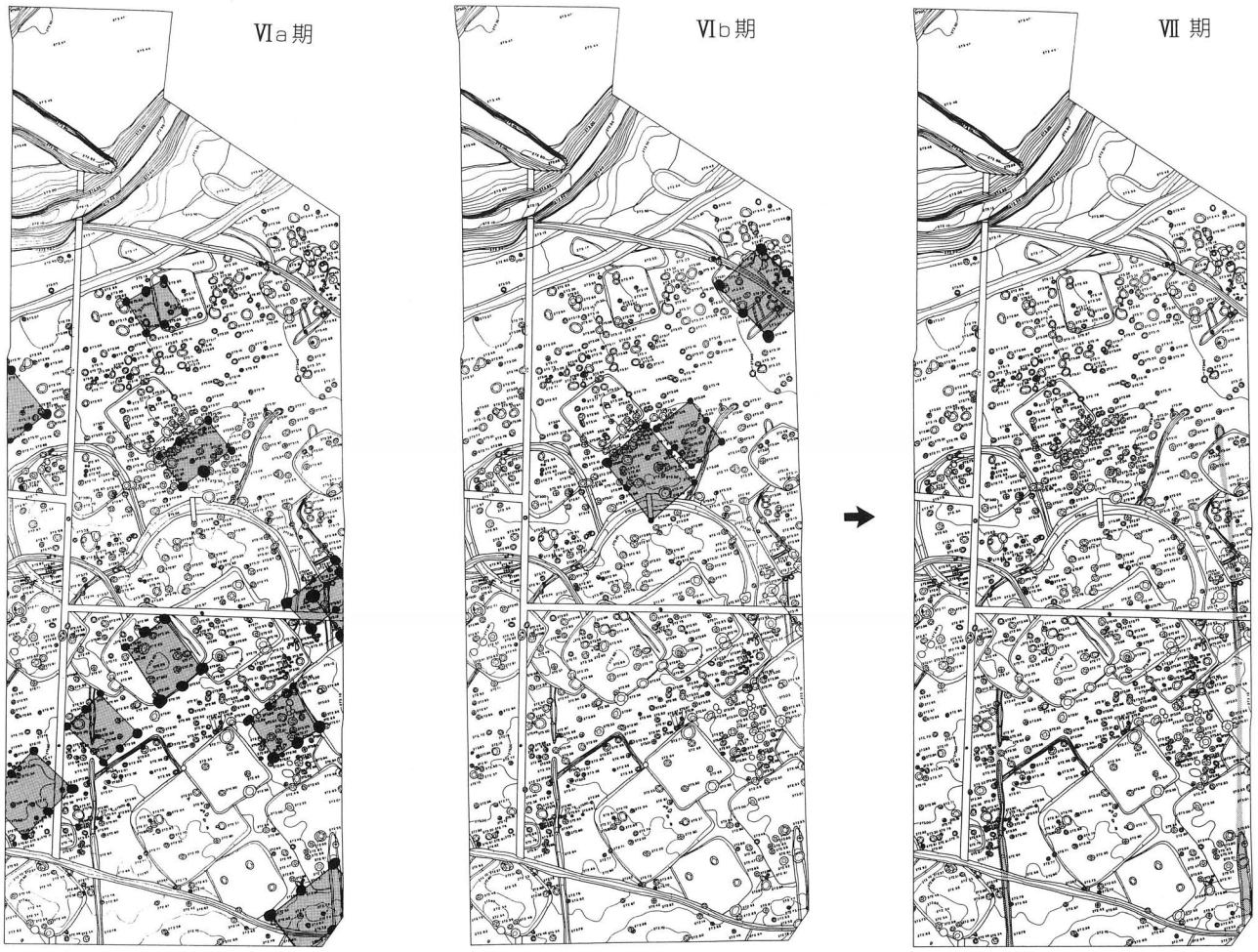



図54　遺構変遷図②

図55　富士見一丁目遺跡第3面水田跡
（報告書より抜枠）

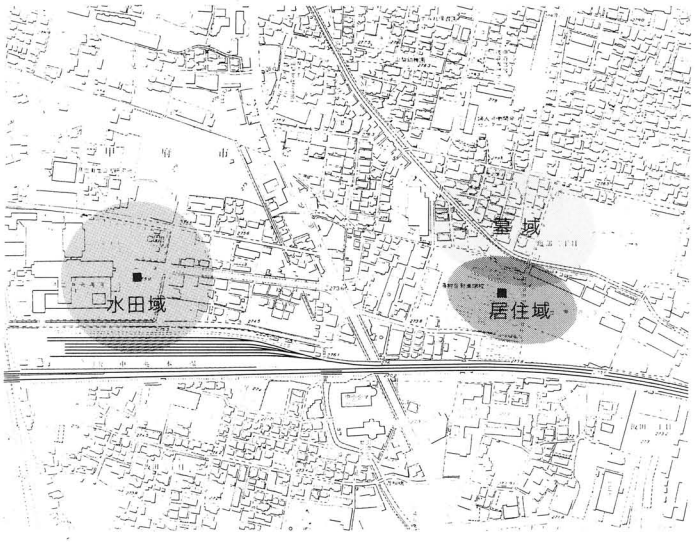



図56　塩部地域の景観模式図

図57　調査区及び周辺の調査状況

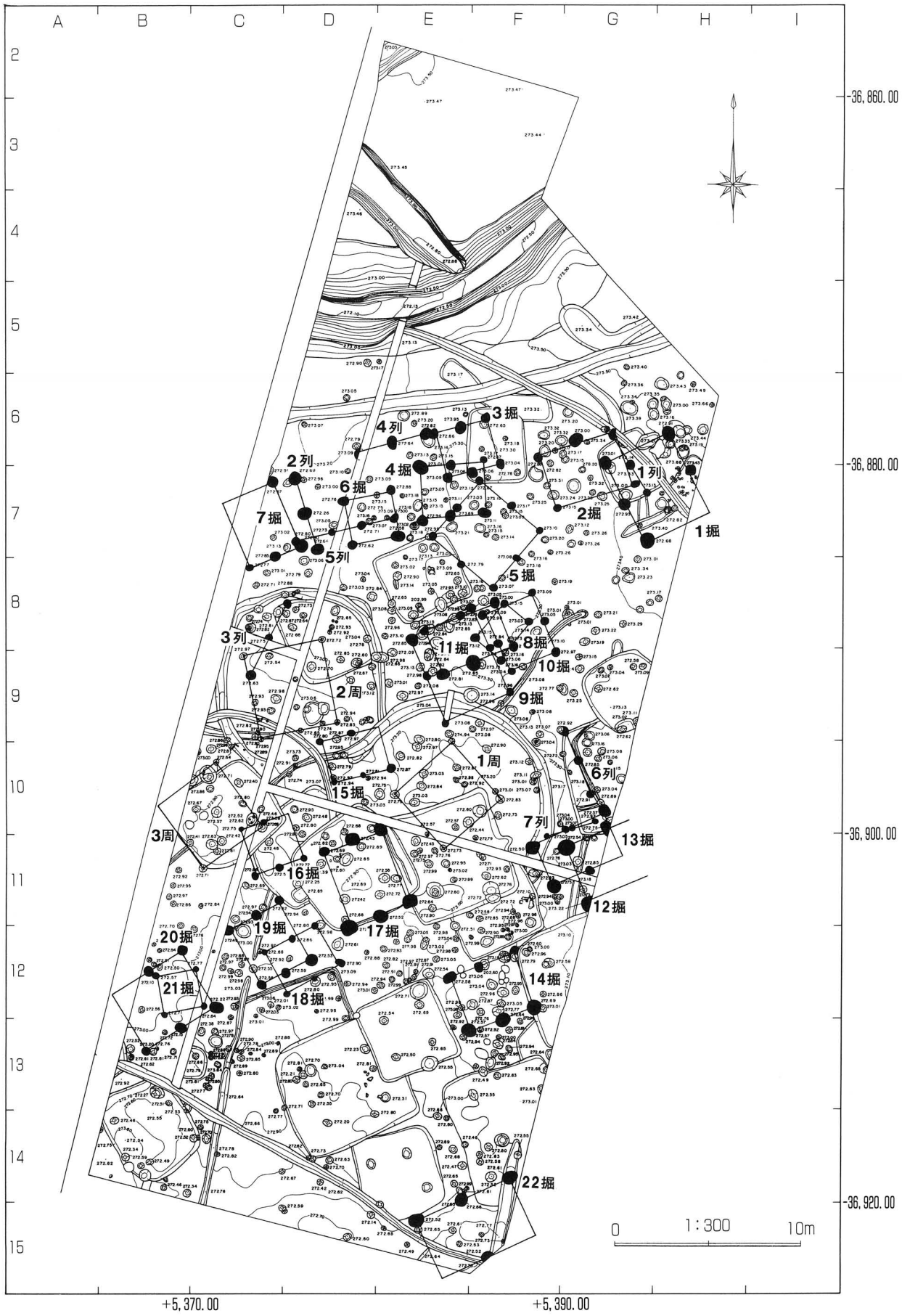



図58　塩部遺跡主要建物跡配置図

# 第5章　結　　語

本調査区を含む塩部遺跡一帯では、県立甲府工業高校地点（県埋蔵文化財センター調査）及び市道愛宕町下条線道路改良工事地点（甲府市教育委員会調査）を始めとする調査によって、弥生時代末期から古墳時代後期までの遺構・遺物が数多く検出されている。巨視すると、本調査区北側で検出された方形周溝墓の一部は、現時点で2つの調査地点で検出された墓域の南限に位置付けられる。

集落を構成する建物群については、大きく3つの形態が確認され、中でも仮に周溝付平地建物としたものは、調査終了後に東海・関東・北陸等で確認例が増加しつつある建物形態であることを知った。したがって、担当者である筆者の認識不足から出土品の取り扱いなどを含め、著しく調査段階の情報を欠落させる結果となってしまったところは誠に遺憾であるが、今後調査をする上で良い反省材料となった。しかし、他地域と類似した建物形態の存在が本県でも確認されたという意義は大きいと確信する。

掘立柱建物跡群については、県内における同時期の遺跡と比べても検出数が多く、規模や規則性からみても異質に感じる。第4章考察で述べたとおり、建物群の方向性は2つに大別される。遺構の重複や出土遺物からの時期変遷が捉え難く、詳細な集落構造を明らかにすることはできなかったが、古墳時代前半段階において、基軸によって計画的に集落景観が整備されていたことは驚きであり、塩部一帯の歴史認識を大きく変えざるを得ない。建物の構造についても、柱穴平面形が方形に掘削され、構造上も基底部に礎板が用いられる等の丁寧な造作が施されるものもあり、建物の性格を考える上でも興味深い成果が得られた。

竪穴建物跡についても、炉から竈構造への変遷過程を看取することできた。煙道を有す竈を備えた7号竪穴建物跡は、火災によって焼失した住居であったが、竪穴建物内の空間利用を知る上で好材料であった。また、県内でも初期に位置づけられる須恵器が多数の土器とともに出土したが、そのような須恵器を所有することのできた人物や階層、入手経路など、今後究明すべき課題は多い。

塩部遺跡内ではこれまでに多くの発掘調査が実施され、周辺の調査事例を活かして本報告ではできる限り一調査区の事実記載に止まらないよう、広い視野から遺跡を見るよう心掛けた。勉強不足で成果を充分活用することができなかったが、今回塩部遺跡で調査された成果は、甲府盆地内における集落の展開や構造を総合的に理解する上で重要であり、甲斐の古墳時代を考える上で貴重な情報提供ができたのではないかと考える。

**参考文献**


山梨県教育委員会 1985『飯田一丁目遺跡』

山梨県教育委員会 1996『塩部遺跡』

山 梨 県 1997『山梨県史　資料編2原始・古代2』

及川良彦 1998「関東地方の低地遺跡の再検討－弥生時代から古墳時代前半の「周溝を有する建物跡」を中心に－」『青山考古』第15号 青山考古学会

小林健二 1998「山梨県出土の東海系土器－波及と定着の変容－」『山梨県考古学協会誌』第10号 山梨県考古学協会

小林健二 1999「山梨県出土の北陸系土器」『山梨県考古学論集Ⅳ』山梨県考古学協会

石神孝子 1999「甲斐における初期須恵器の展開」『山梨県考古学論集Ⅳ』山梨県考古学協会

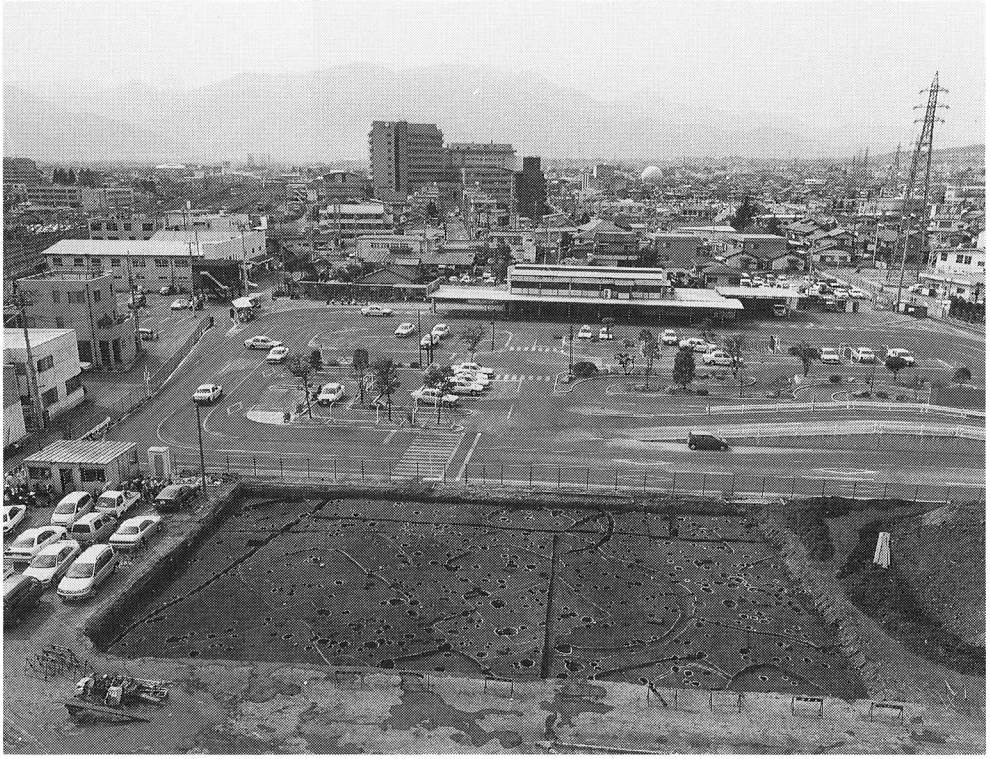
山梨県教育委員会 2000『富士見一丁目遺跡』

静岡市教育委員会 2001『特別史跡 登呂遺跡発掘調査概要報告書Ⅱ』

調　査　区　全　景

Ⅰ区全景
（俯瞰）

Ⅰ区全景

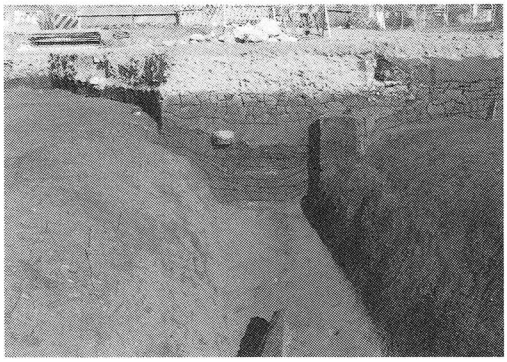


II区全景
（俯瞰）

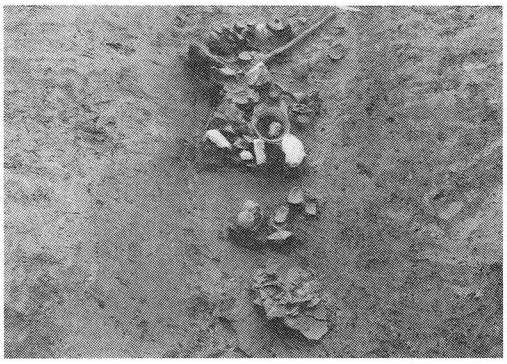
II区全景

1号溝跡
全景

1号溝跡
全景



1号溝跡
北壁セクション

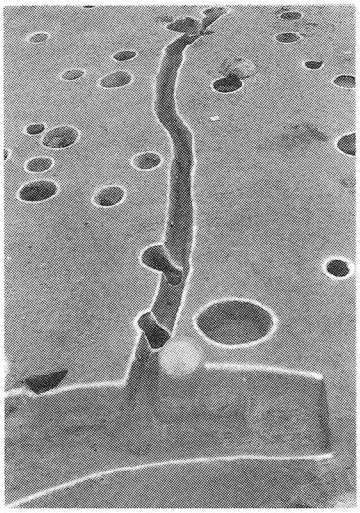


1号溝跡
下層遺物
出土状況

1号溝跡
下層遺物
出土状況

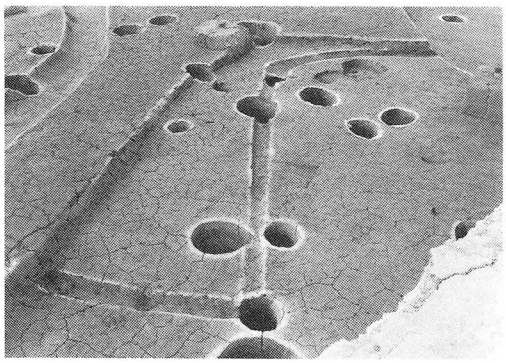
1号溝跡
中間セクション

2号溝跡

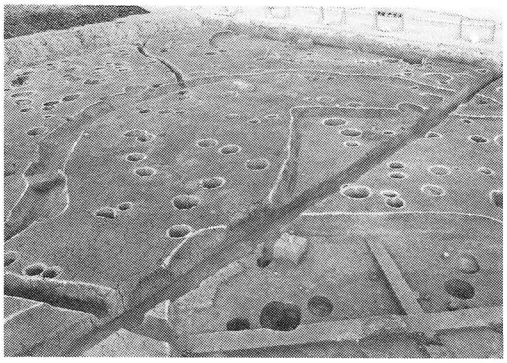


5号溝跡

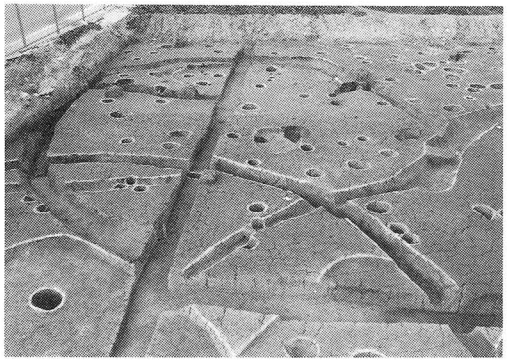
8号溝跡



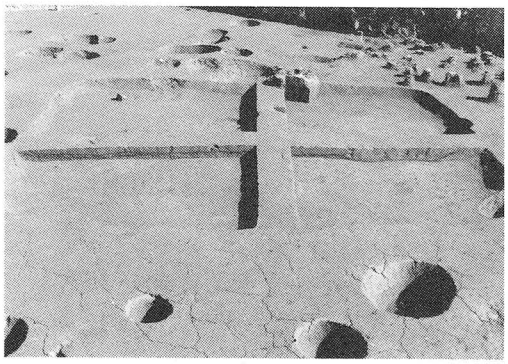
16号溝跡



1号周溝付
平地建物跡

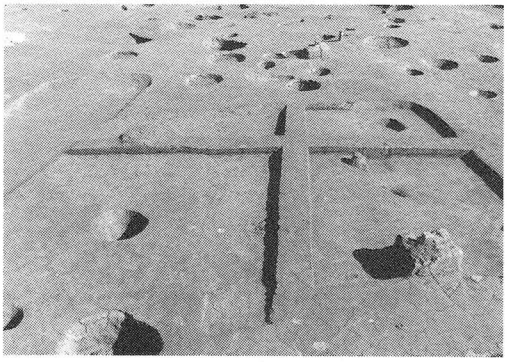


2・3号周溝付
平地建物跡

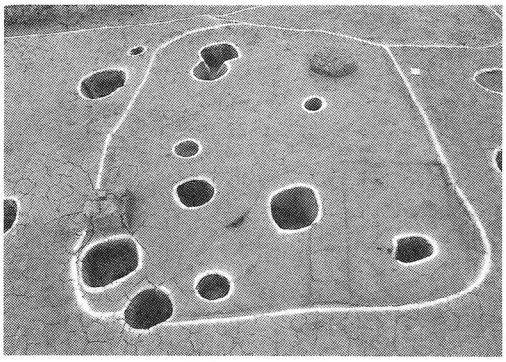


1号竪穴
建物跡
セクション

1号竪穴
建物跡

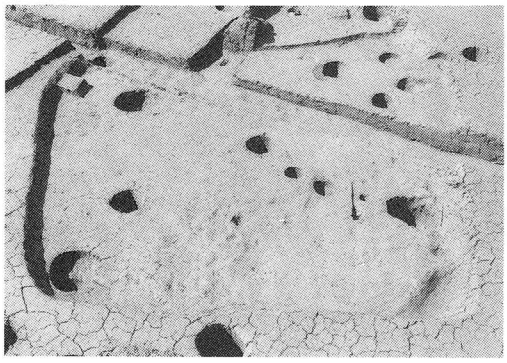


2号竪穴
建物跡
セクション

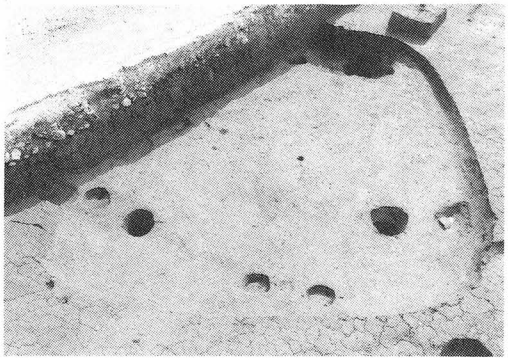


2号竪穴
建物跡

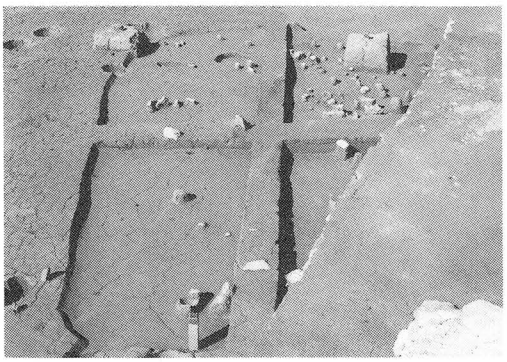
3号竪穴
建物跡



4号竪穴
建物跡

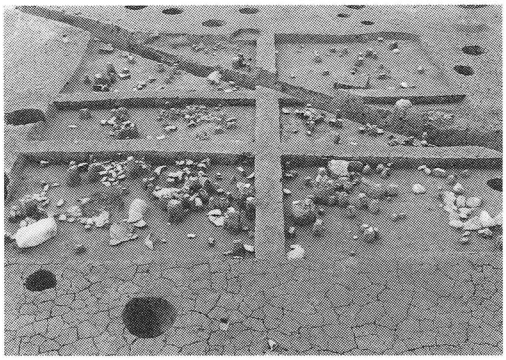


5号竪穴
建物跡



6号竪穴
建物跡
セクション

6号竪穴
建物跡



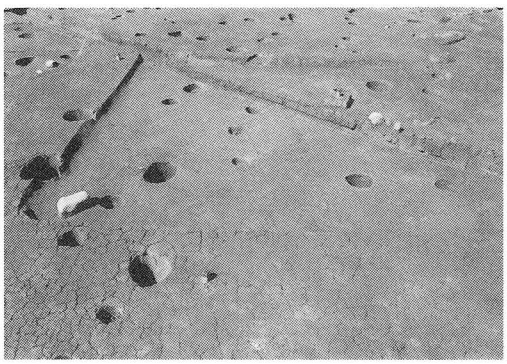
7号竪穴
建物跡
セクション

7号竪穴
建物跡
遺物状況

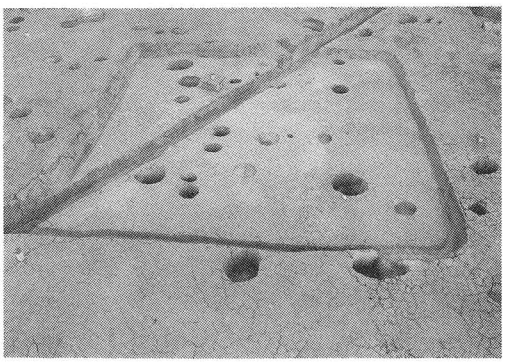
7号竪穴
建物跡
編物用石
錘検出

7号竪穴
建物跡竈

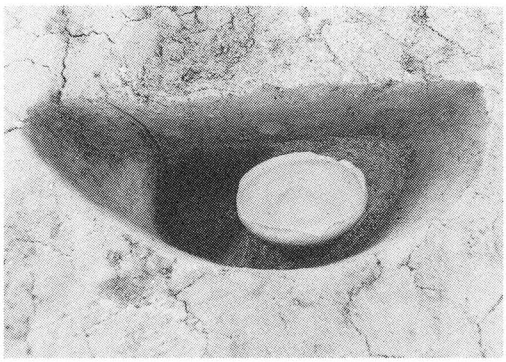
7号竪穴
建物跡竈



7号竪穴
建物跡

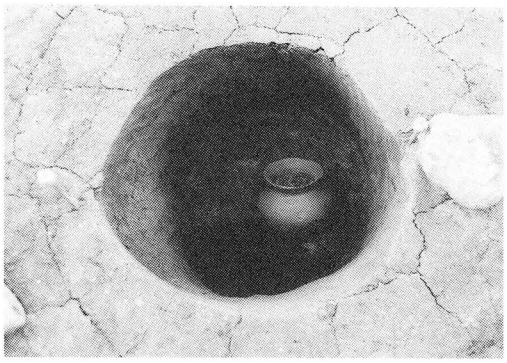


7号竪穴
建物跡
掘り方



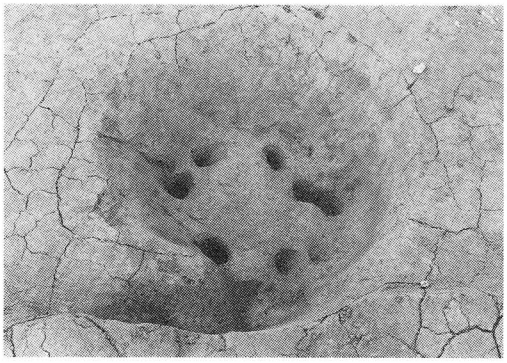
553号
ピット

559号
ピット

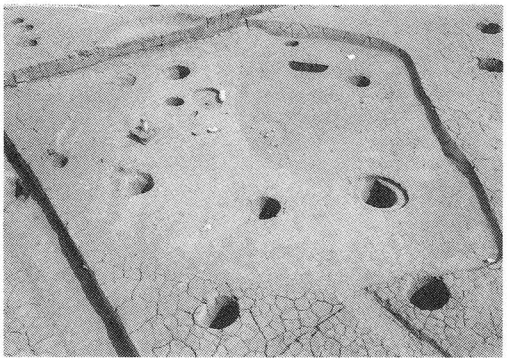


558号
ピット

4号土壙
遺物状況

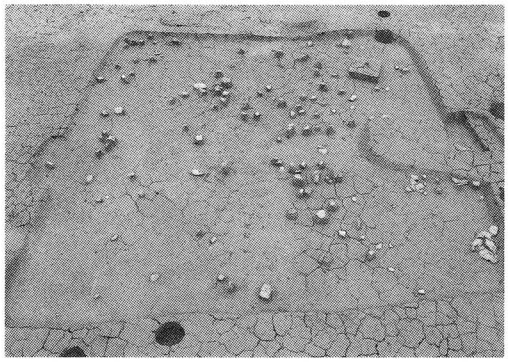


4号土壙

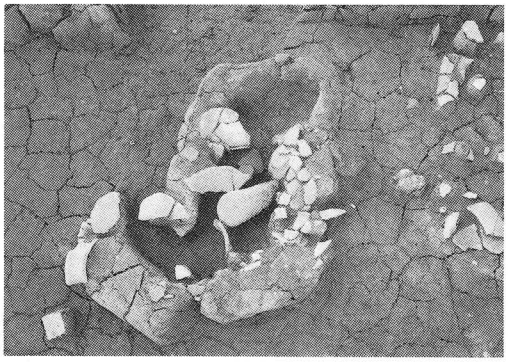


8号竪穴
建物跡

543号
ピット



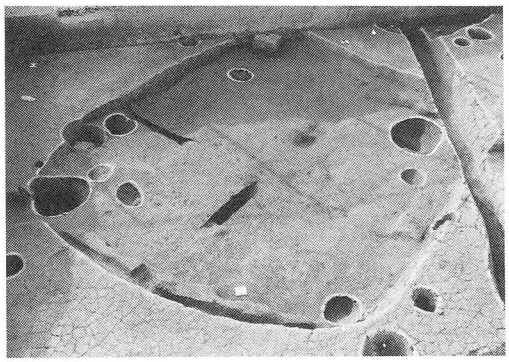
9号竪穴
建物跡



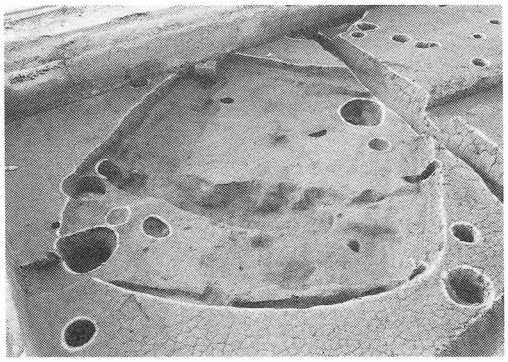
9号竪穴
建物跡竈

9号竪穴
建物跡

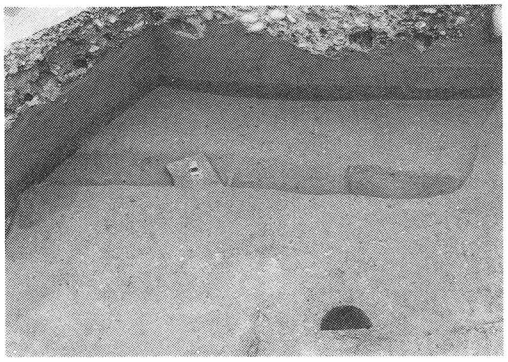
10号竪穴
建物跡
セクション



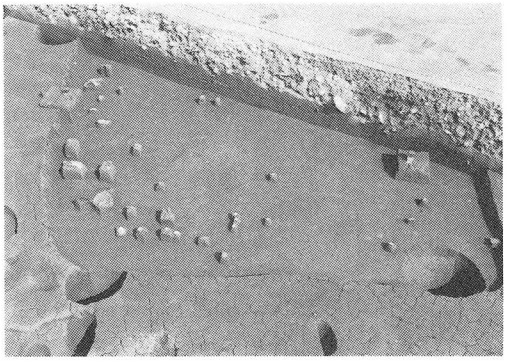
10号竪穴
建物跡



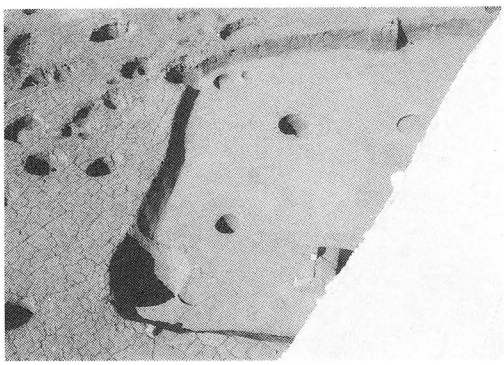
10号竪穴
建物跡
堀り方



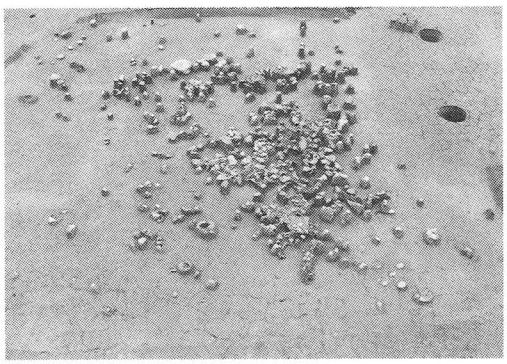
11号竪穴
建物跡



12号竪穴
建物跡
遺物状況

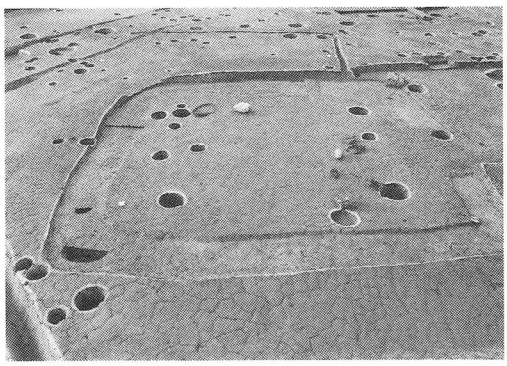


12号竪穴
建物跡



13号竪穴
建物跡
遺物状況

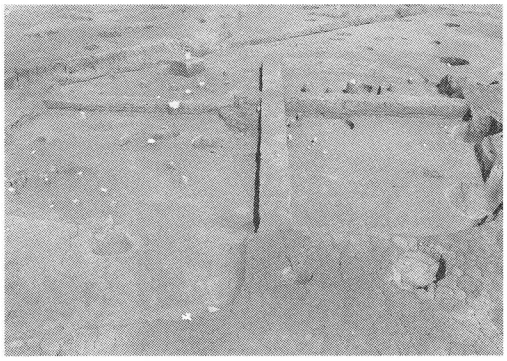
13号竪穴
建物跡



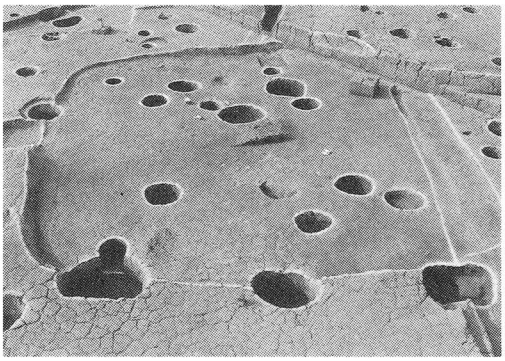
13号竪穴
建物跡
堀り方

14号竪穴
建物跡

15号竪穴
建物跡

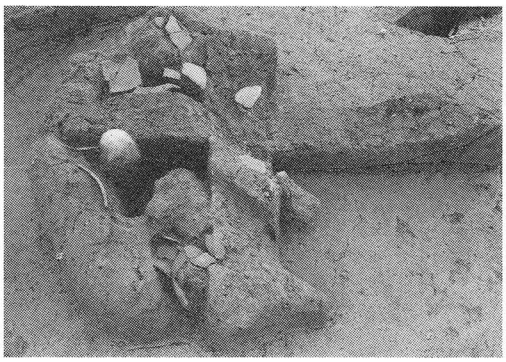


16号竪穴
建物跡
セクション



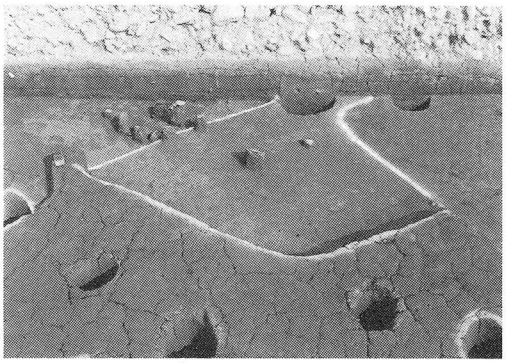
16号竪穴
建物跡

17号竪穴
建物跡

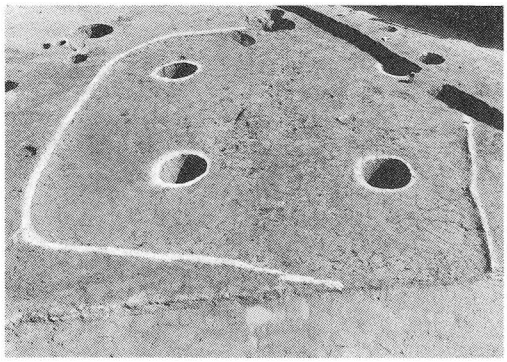


17号竪穴
建物跡竈

18号竪穴
建物跡

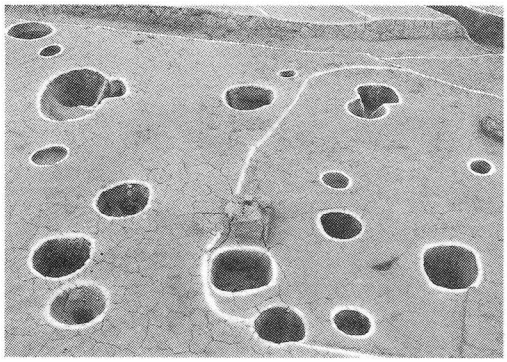


19号竪穴
建物跡

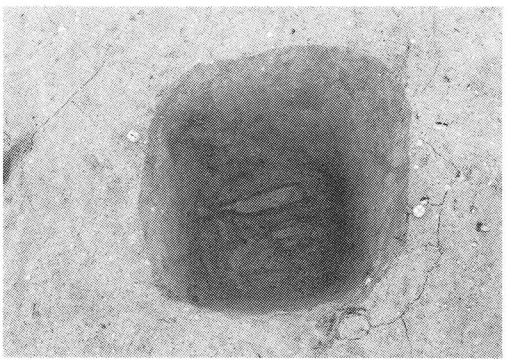


20号竪穴
建物跡

1号掘立柱
建物跡



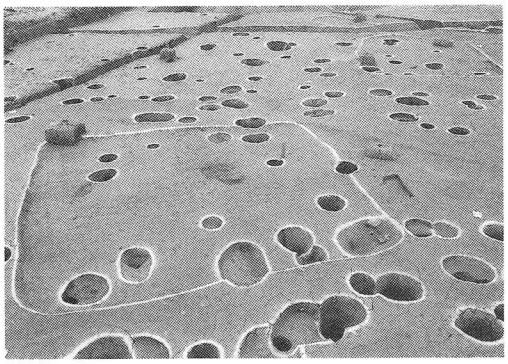
3号掘立柱
建物跡



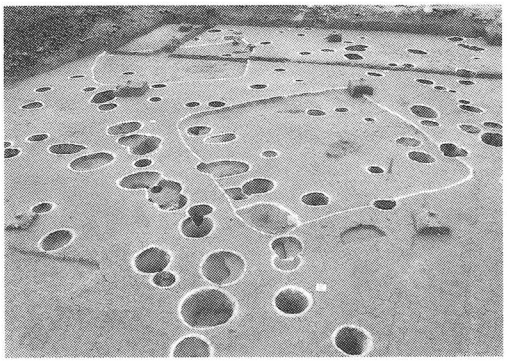
226号
ピット

8号土壙

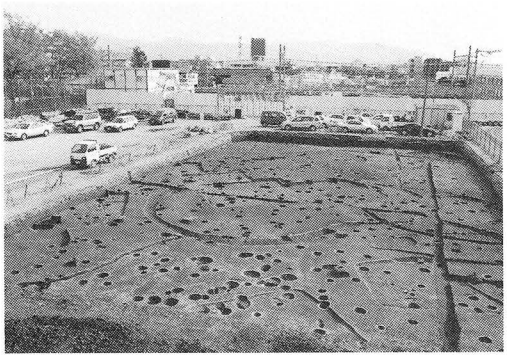
I区全景



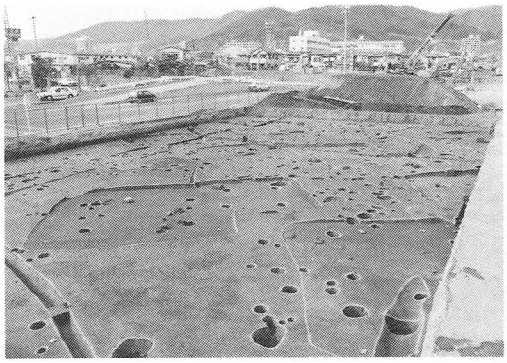
3号竪穴
建物跡周辺



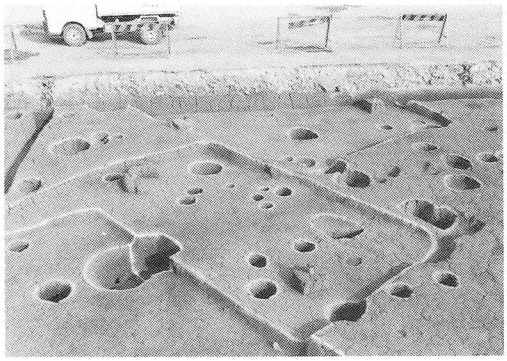
3号竪穴
建物跡周辺



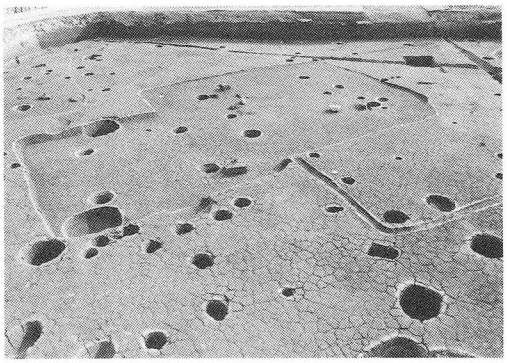
II区全景
(富士山方面)



II区全景
(湯村山方向)

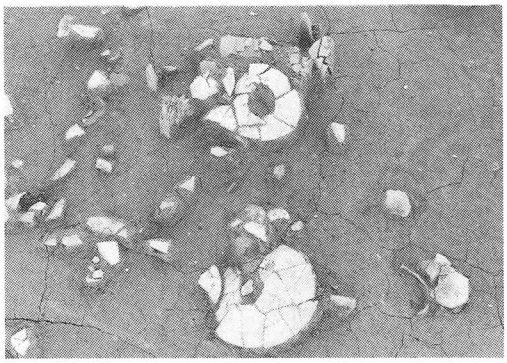


12・17号竪穴
建物跡周辺

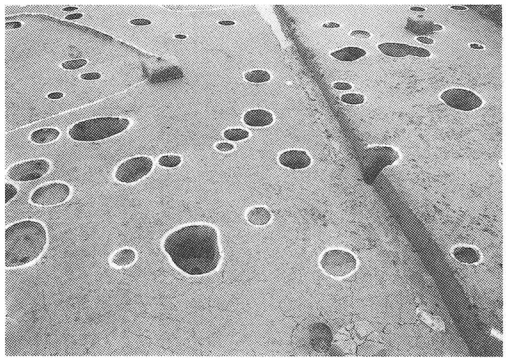


9・13号竪穴
建物跡周辺

8・14・16号
竪穴建物跡
周辺

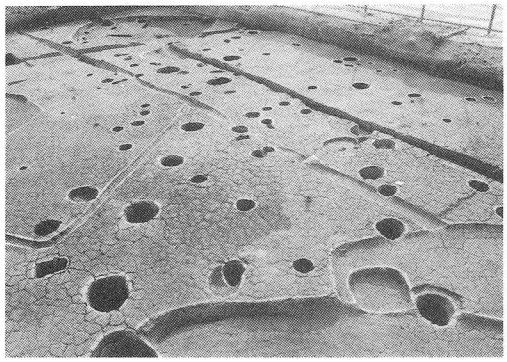


H-7グリッド内
遺物出土状況

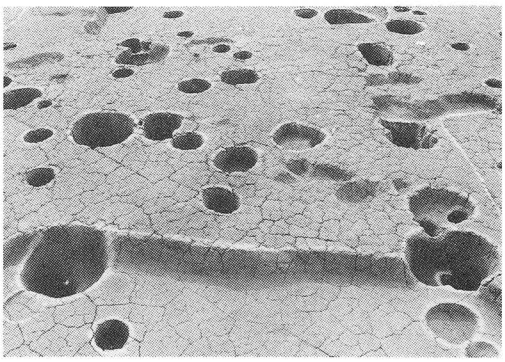


6号掘立柱
建物跡周辺

111号
ピット



18・19・20・21号
掘立柱建物跡
周辺



14号掘立柱
建物跡

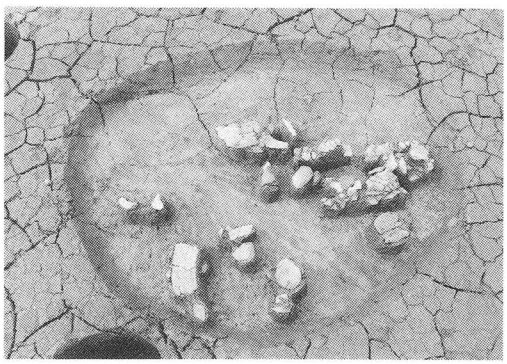
22号掘立柱
建物跡

7号掘立
柱建物跡
2号柱穴
列周辺

1号方形
周溝墓

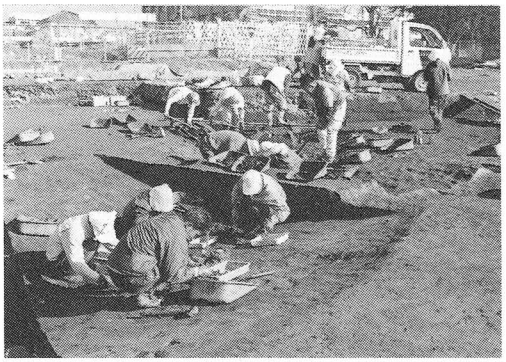
1号方形
周溝墓
セクション

2号方形
周溝墓

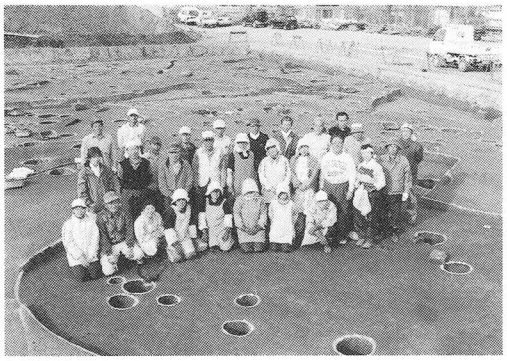


3号土壙

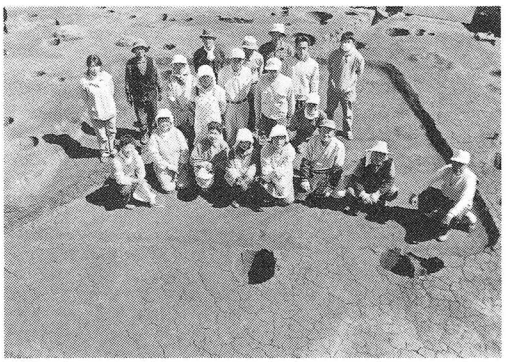
掘削状況



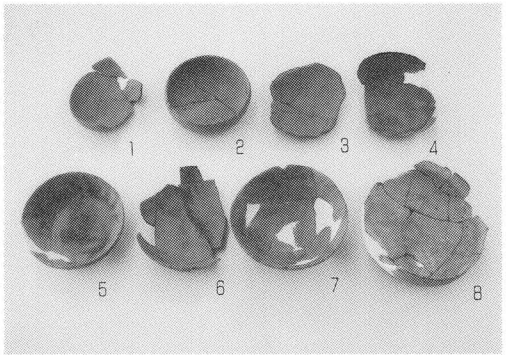
調査風景

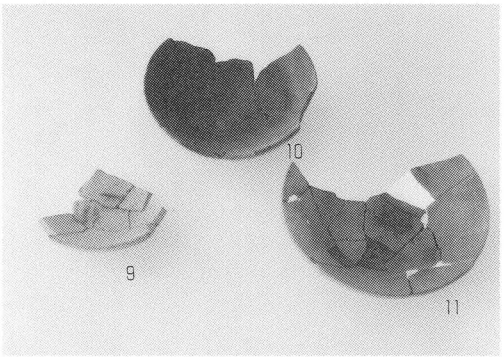


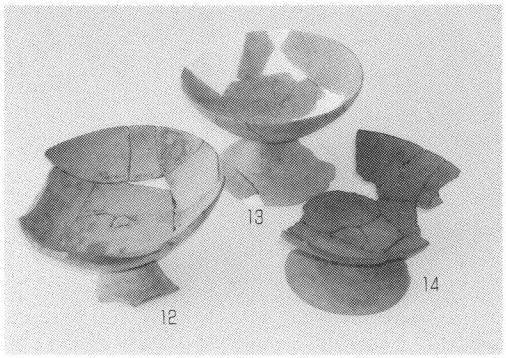
調査参加者

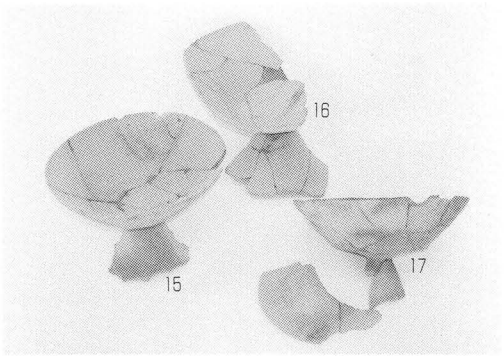


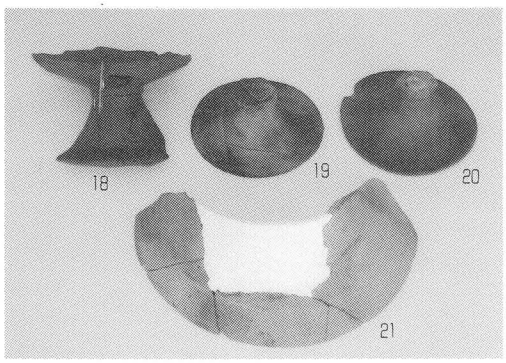
調査参加者

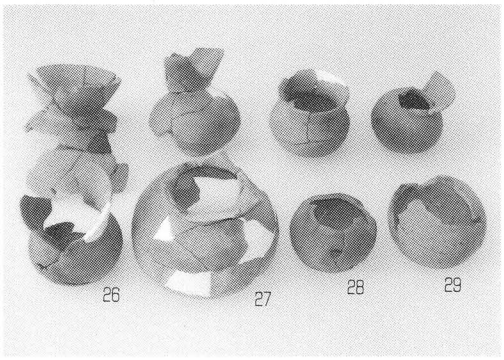


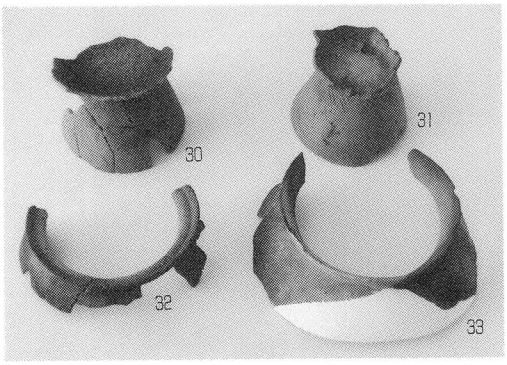



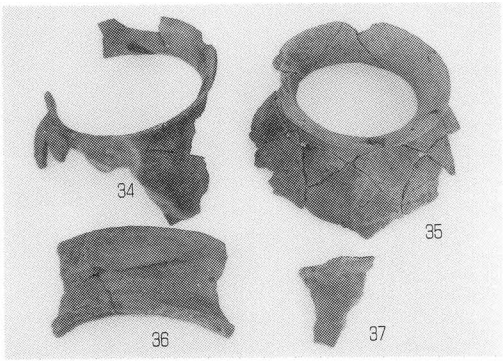



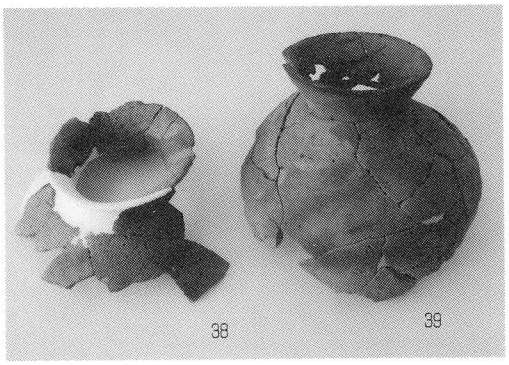



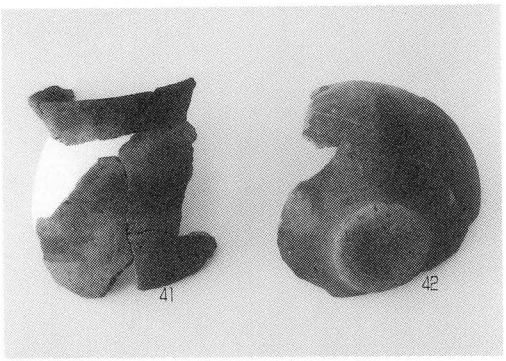



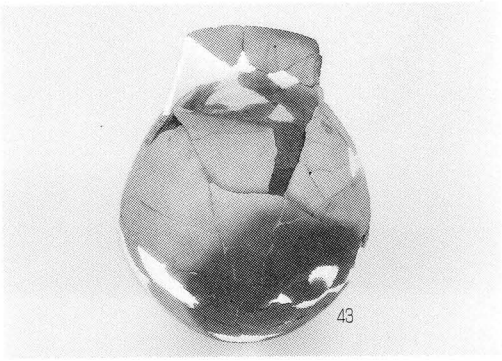

30
31
32
33

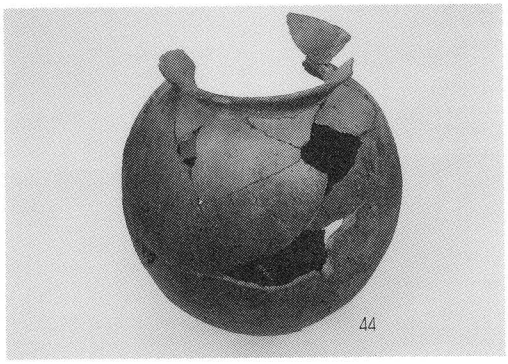

34
35
36
37

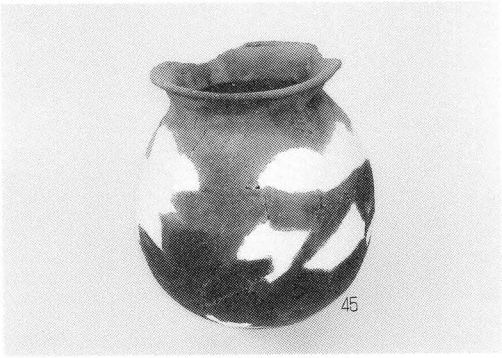

38
39

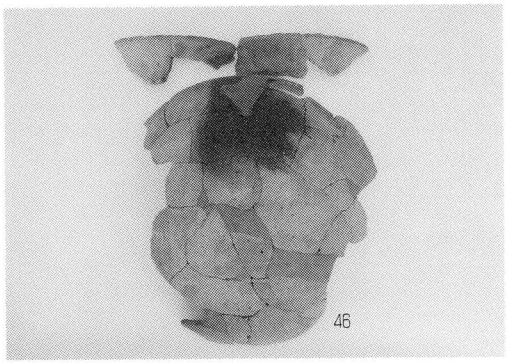
40

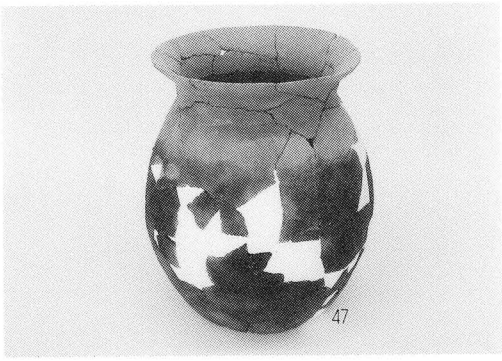

41
42

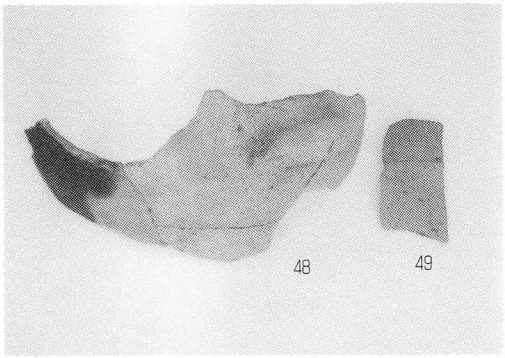

43

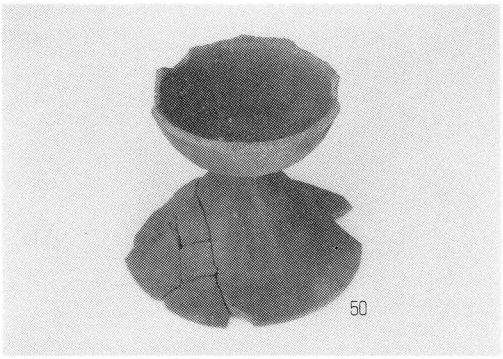

44

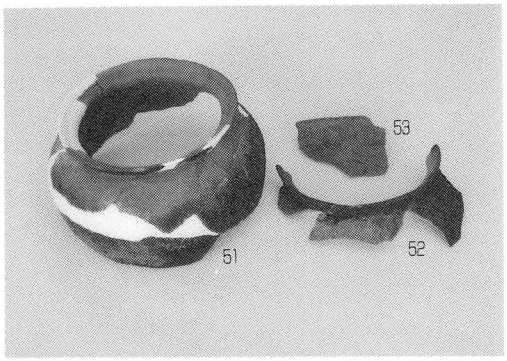

45

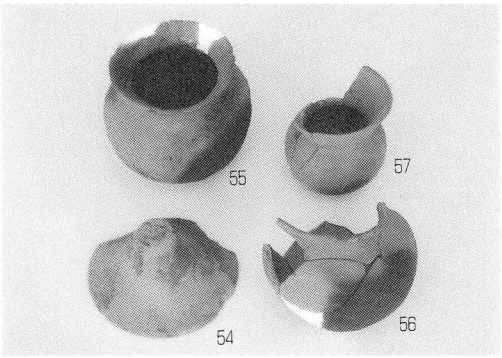

46

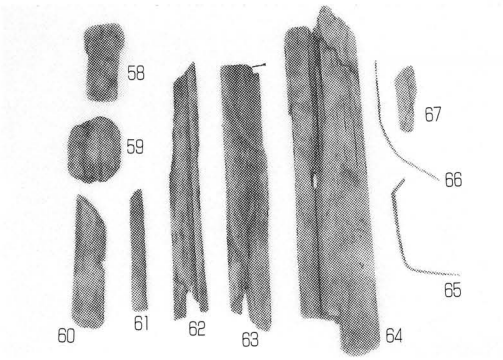

47

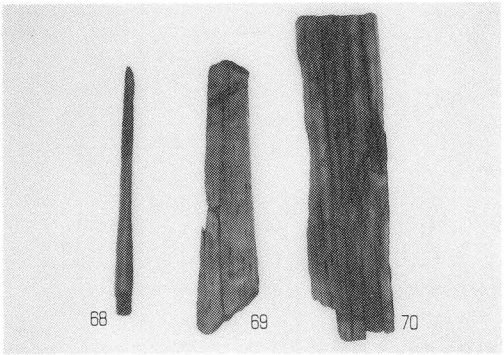

48
49

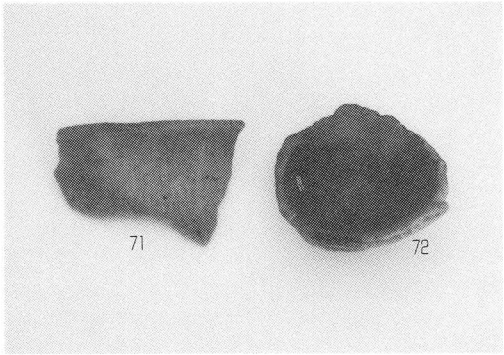

50

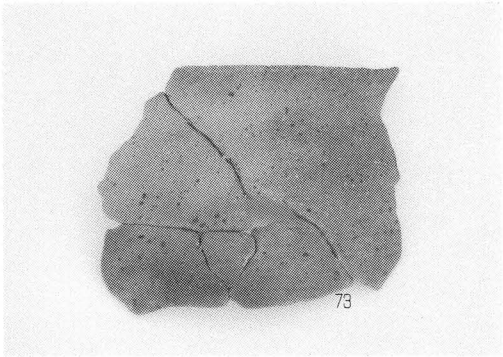

51
52
53

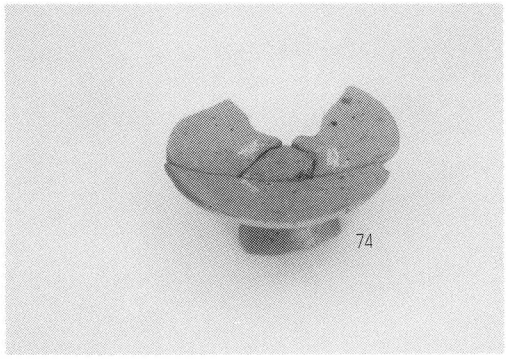

54
55
56
57

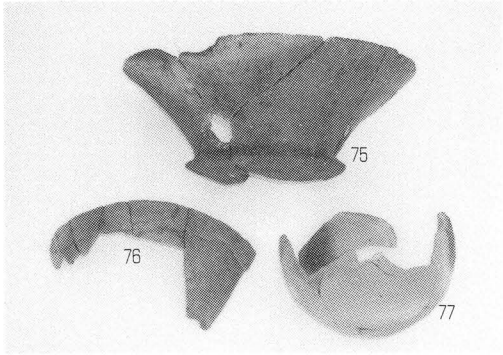

58
59
60
61
62
63
64
65
66
67

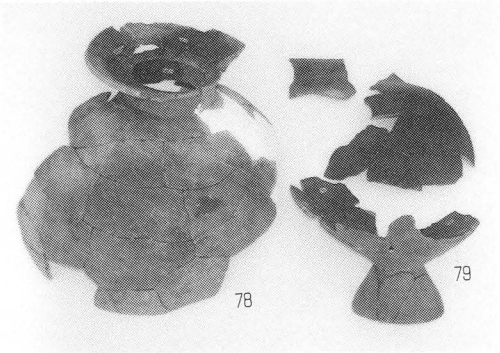

68
69
70

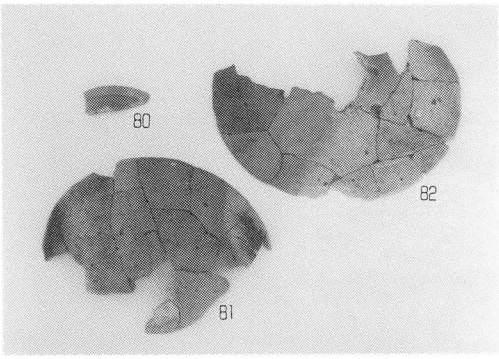

71
72

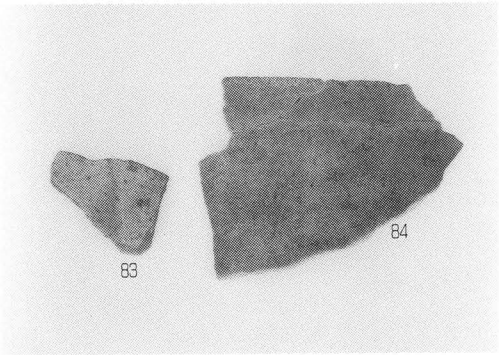

73

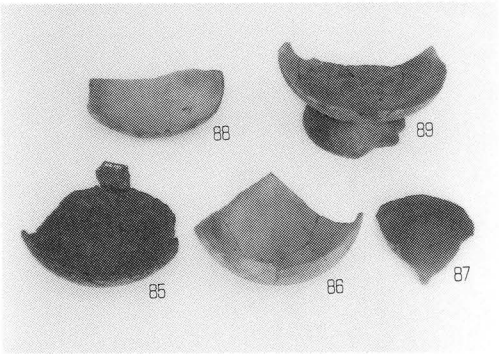

74

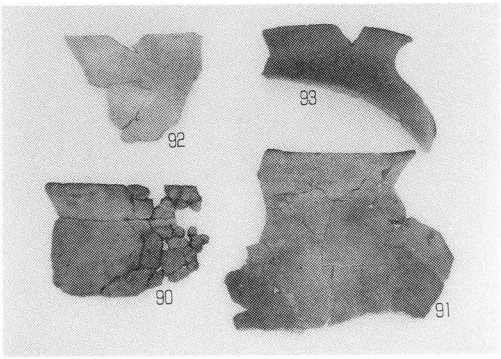

75
76
77

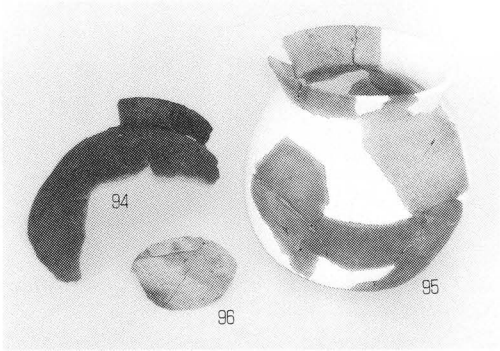

78
79

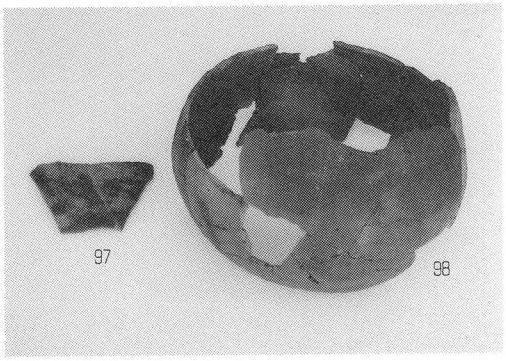

80
81
82

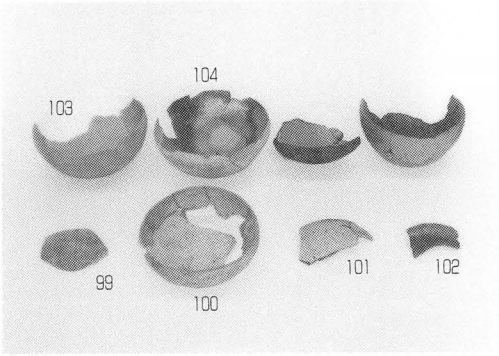

83
84

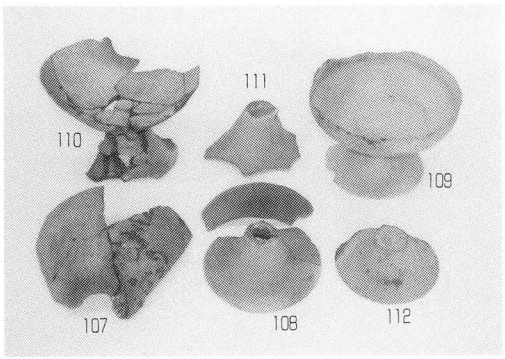

88
89
85
86
87

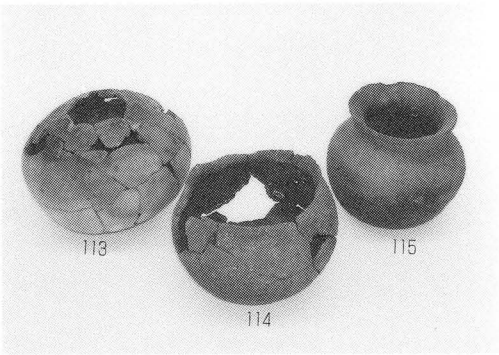

92
93
90
91

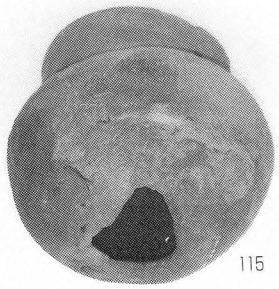

94
95
96

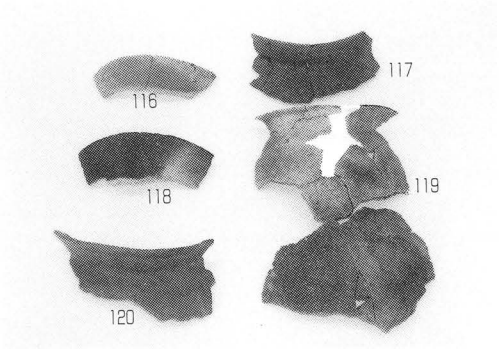

97
98

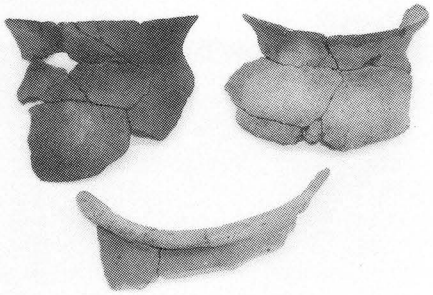

104
103
99
100
101
102

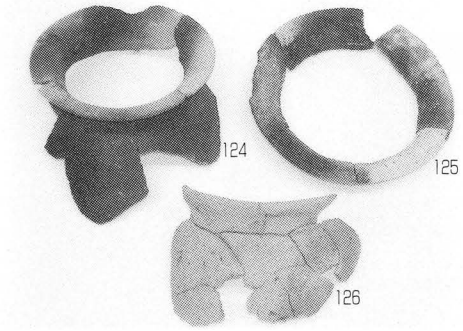

111
110
109
107
108
112

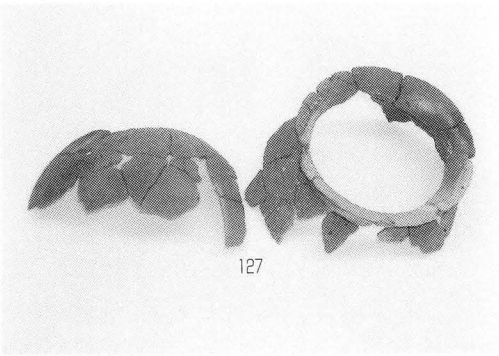

113
115
114

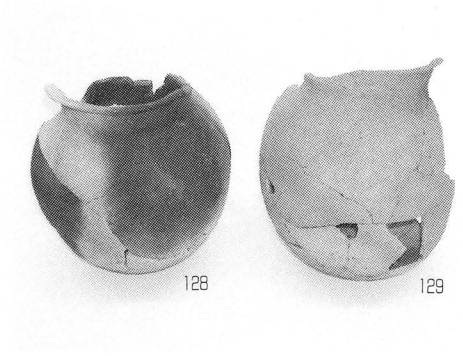

115

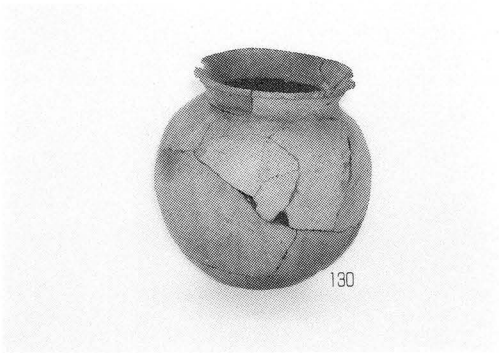

116
117
118
119
120



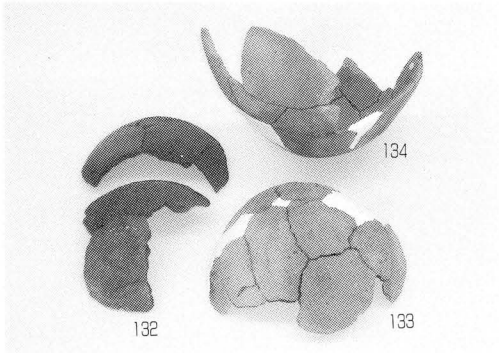

124
125
126

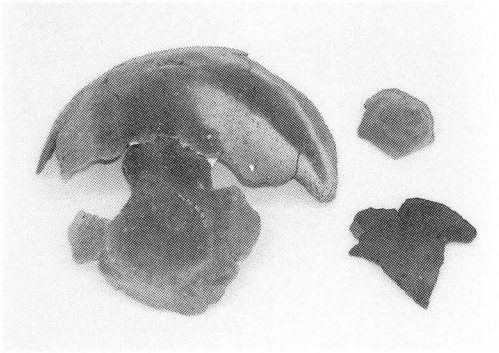

127

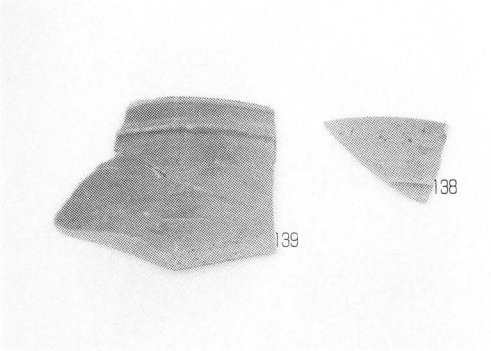

128
129

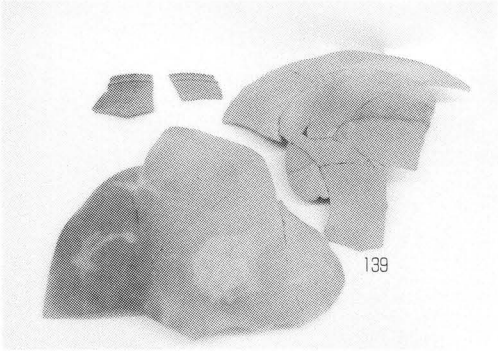

130

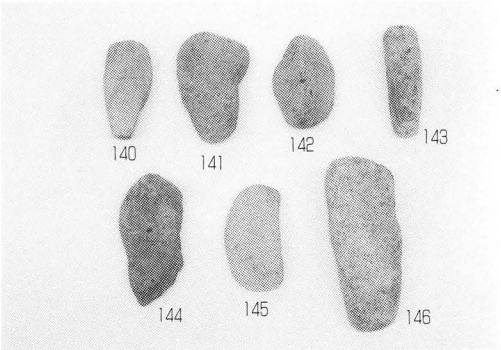
131

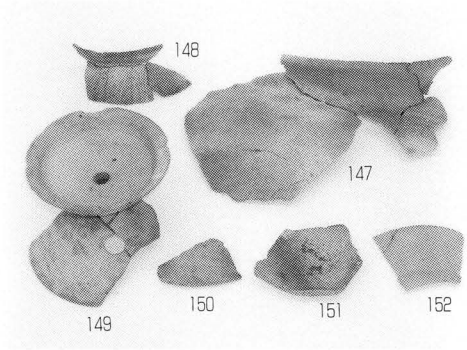

134
132
133

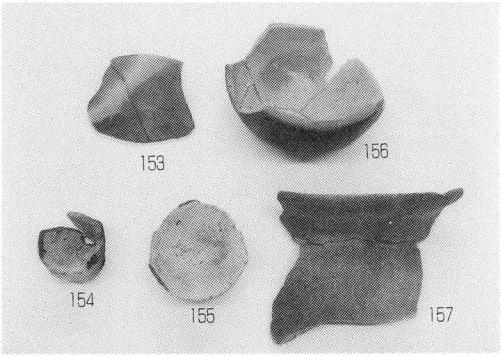


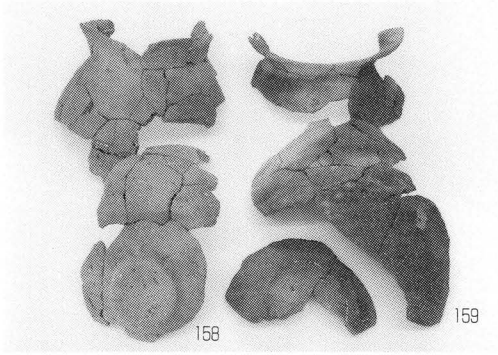

138
139

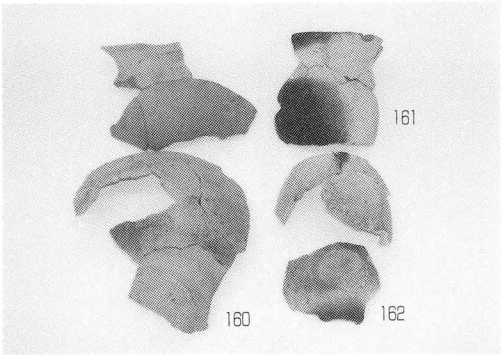

139

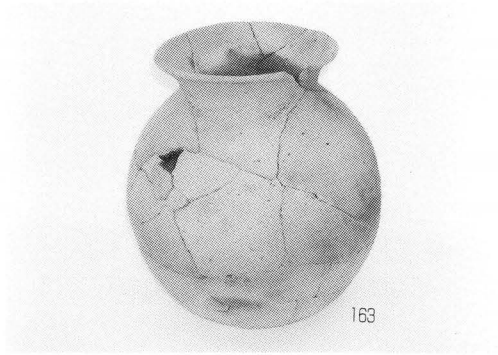

140
141
142
143
144
145
146

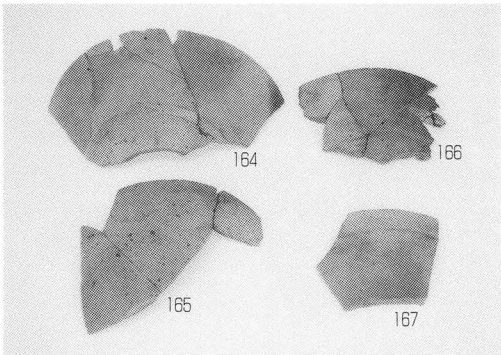

148
147
149
150
151
152

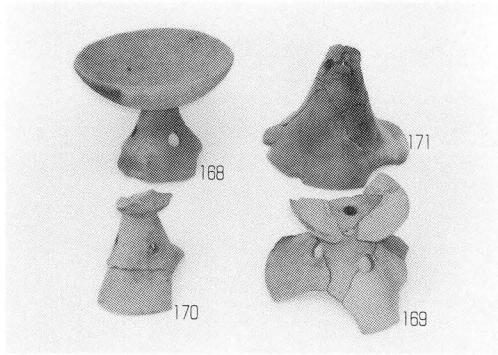

153
156
154
155
157

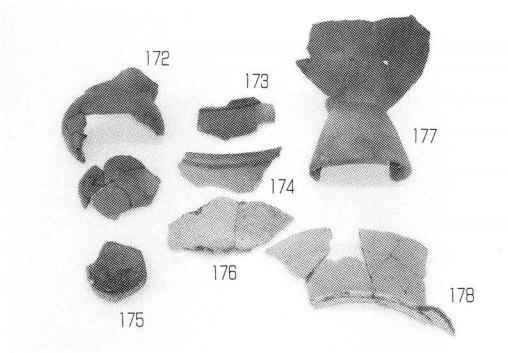

158
159

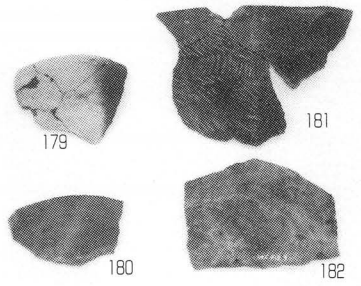

161
160
162

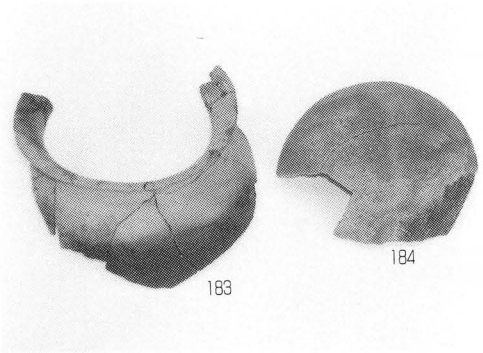

163

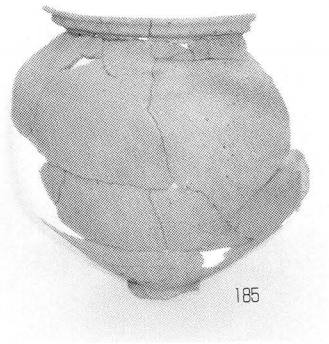

164
166
165
167

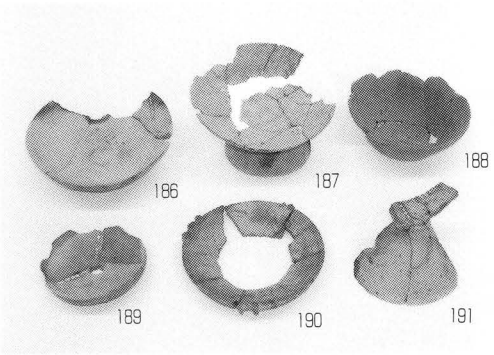

171
168
170
169

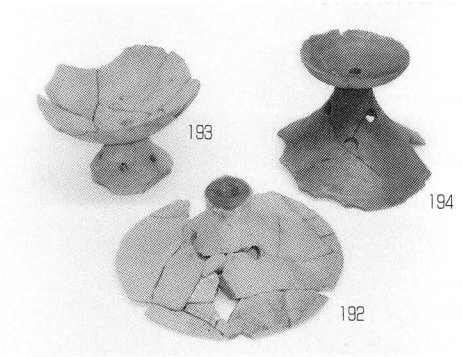

172
173
177
174
176
178
175

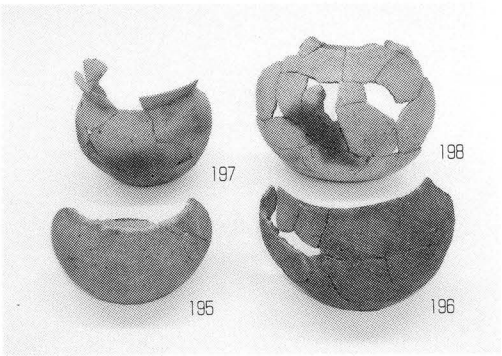

179
181
180
182

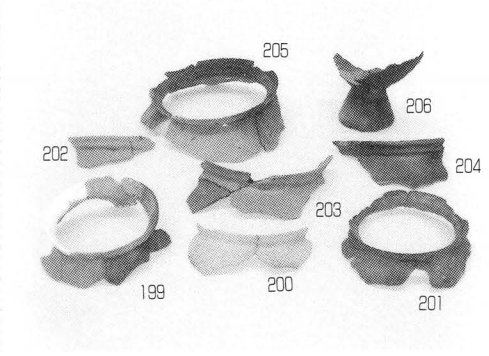

184
183

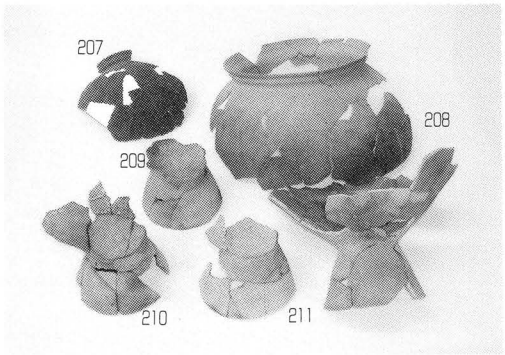

185

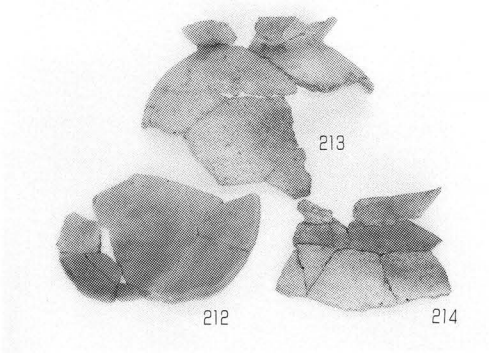

188
186
187
189
190
191

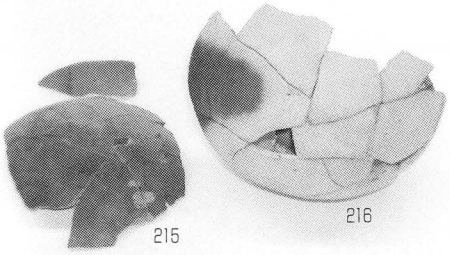

193
194
192

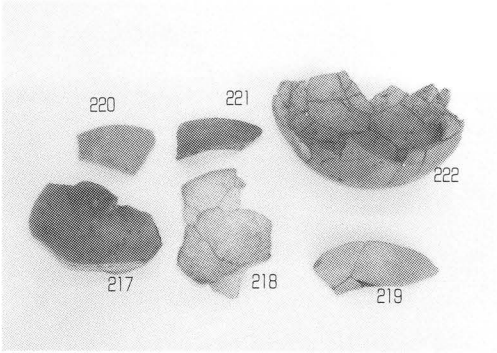

198
197
195
196

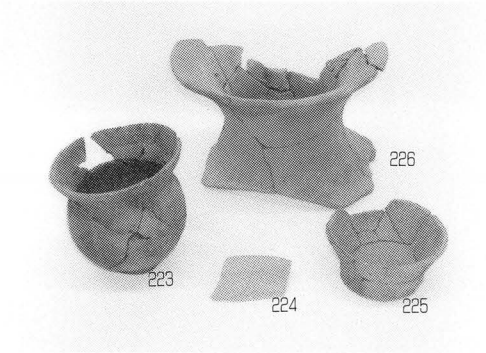

205
206
202
204
203
199
200
201

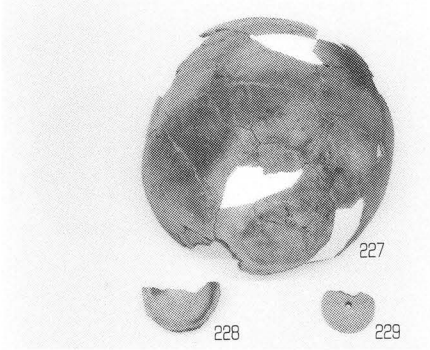

207
208
209
210
211

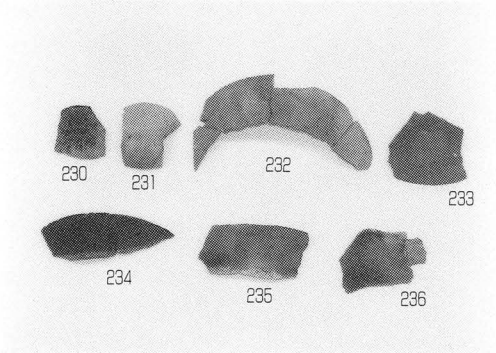

213
212
214

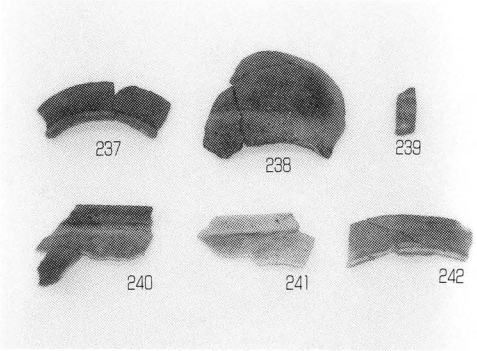

215
216


220
221
222
217
218
219

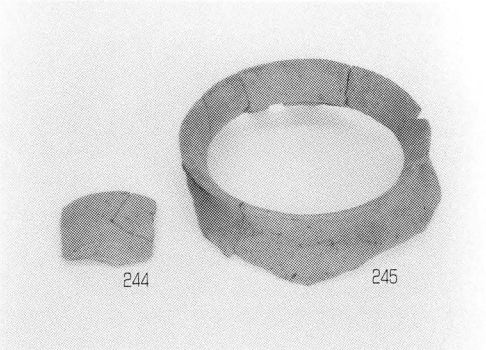

226
223
224
225

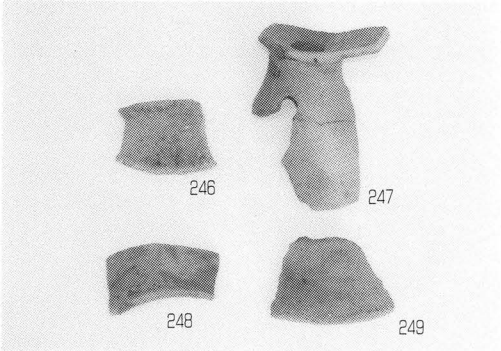

227
228
229

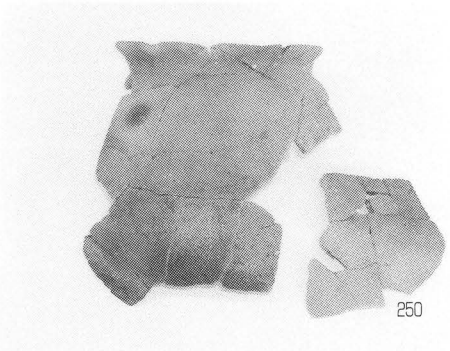

230
231
232
233
234
235
236

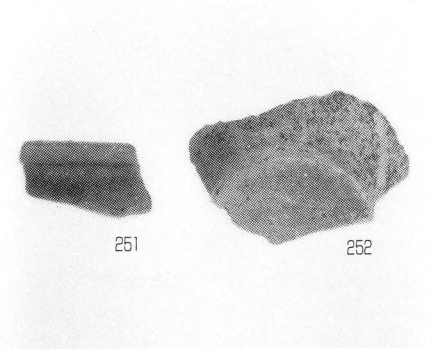

237
238
239
240
241
242

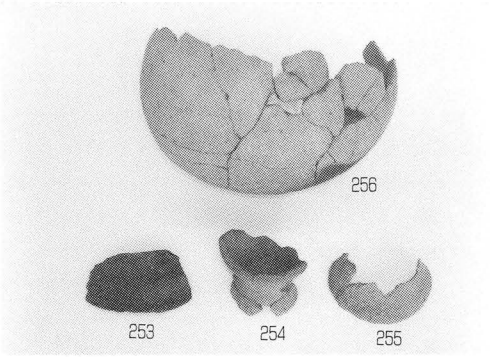
243

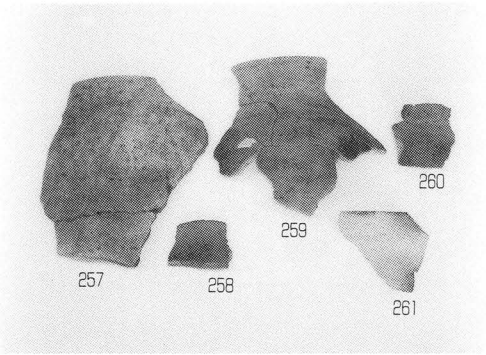

244
245

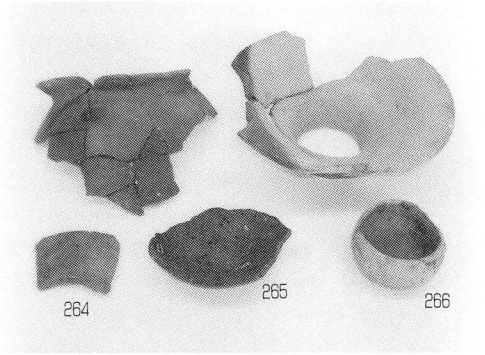

246
247
248
249

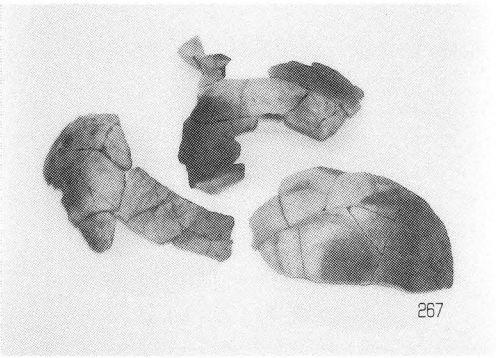

250

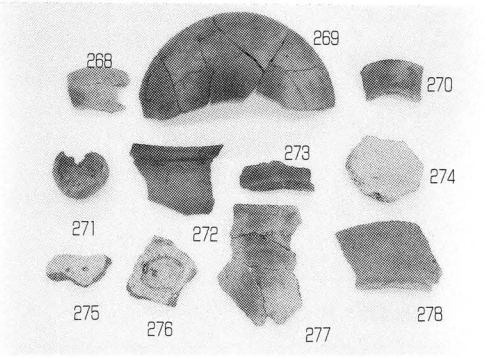

251
252

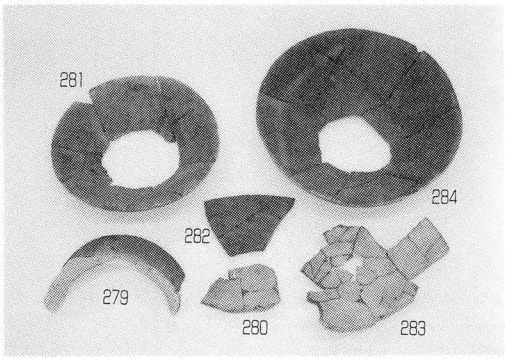

256
253
254
255

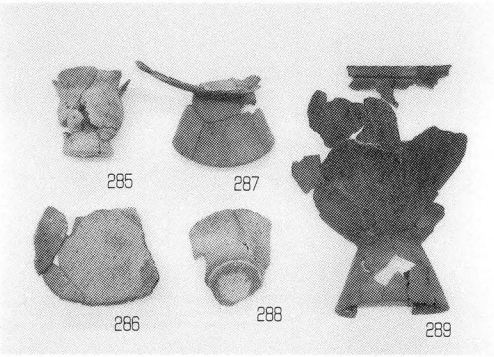

260
259
257
258
261

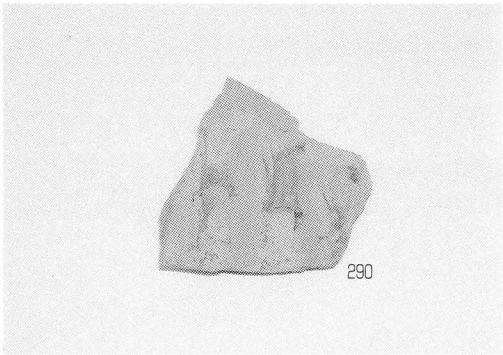

264
265
266

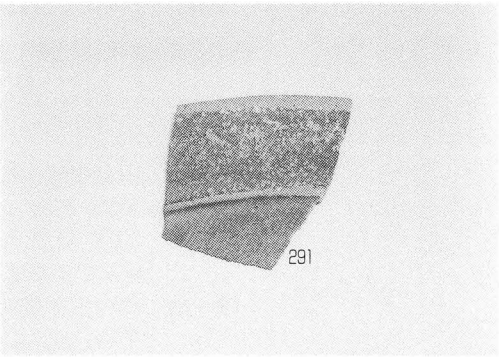

267


269
268
270
273
274
271
272
275
276
277
278


281
284
282
279
280
283


285
287
286
288
289


290


291

# 報　告　書　抄　録

| | |
|---|---|
| ふりがな | しおべいせき |
| 書名 | 塩部遺跡 |
| 副書名 | 山梨県都市計画道路「塩部町開国橋線」道路改良工事に伴う発掘調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 甲府市文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 24 |
| 編集機関 | 甲府市教育委員会 |
| 所在地 | 〒400-8585　山梨県甲府市丸の内一丁目18番１号　電話 055（223）7324 |
| 発行年月日 | 平成16年１月30日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| しおべいせき<br>塩部遺跡 | やまなしけんこうふし<br>山梨県甲府市<br>しおべ<br>塩部二丁目 | 19201 | 74 | 35°<br>40′<br>14″ | 138°<br>33′<br>20″ | 20011107<br>～<br>20020331 | 県道改良<br>工事に伴う<br>発掘調査 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 塩部遺跡 | 包蔵地 | 弥生～古墳 | 竪穴建物跡・周溝付平地建物跡・掘立柱建物跡・方形周溝墓・土壙・溝跡 | 縄文・弥生・古墳時代の土器・石器・木製品 | |


**甲府市文化財調査報告24**

# 塩　部　遺　跡

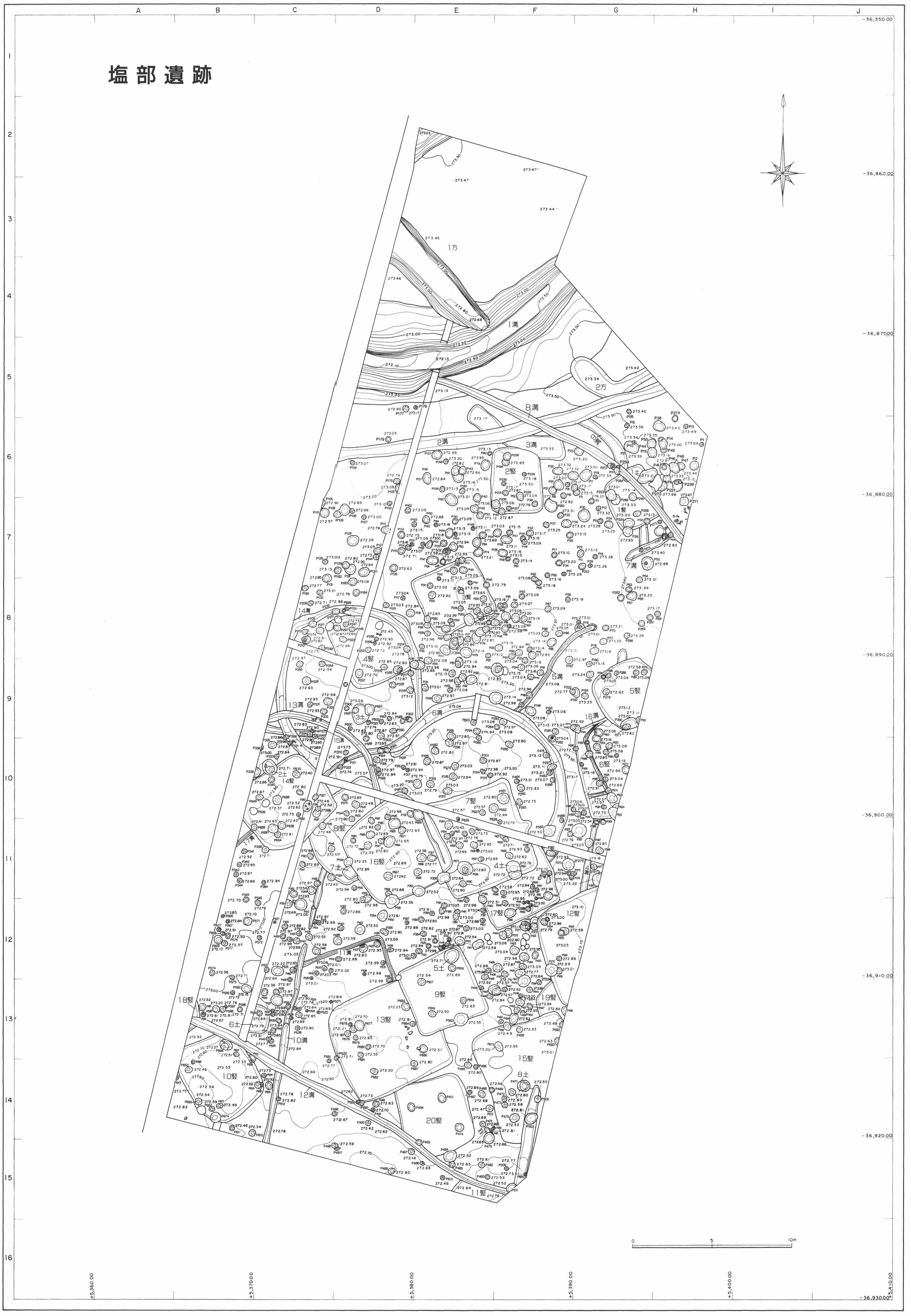
―山梨県都市計画道路塩部町開国橋線道路改良工事に伴う発掘調査報告書―

平成16年１月30日

発　行　山梨県峡中地域振興局・甲府市教育委員会
〒400-8585 山梨県甲府市丸の内一丁目18番１号
TEL ０５５（２２３）７３２４
FAX ０５５（２２６）４８８９

印　刷　㈱内田印刷所
〒400-0032 山梨県甲府市中央二丁目10-18

# 塩部遺跡


1方
2方
1溝
2溝
3溝
4溝
5溝
6溝
7溝
8溝
9溝
10溝
11溝
12溝
13溝
14溝
15溝
16溝
1竪
2竪
3竪
4竪
5竪
6竪
7竪
8竪
9竪
10竪
11竪
12竪
13竪
14竪
15竪
16竪
17竪
18竪
19竪
20竪
1土
2土
3土
4土
5土
6土
7土
8土
0
5
10m